

江東区ヤングケアラー実態調査 報告書

令和5年3月



江東区

目 次

第1章 調査実施の背景	3
1 ヤングケアラーについて	3
2 「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」について	3
第2章 江東区ヤングケアラー実態調査	4
I 調査の概要	4
1 目的	4
2 調査対象	4
3 調査期間	4
4 回答方法	4
5 回収状況	4
6 報告書の見方	5
II 結果の概要	6
1 国と区の調査結果の比較	6
III ふだんの生活についてのアンケート（小学生）調査結果	7
1 基本情報	7
2 ふだんの生活について	9
3 家庭や家族のことについて	14
4 もし自分が家族のお世話をすることになったら	27
5 家族のお世話をしている友人について	34
6 日常生活について	39
7 ヤングケアラーについて	42
8 追加分析	48
IV 普段の生活についてのアンケート（中学生）調査結果	75
1 基本情報	75
2 普段の生活について	78
3 家庭や家族のことについて	83
4 もし自分が家族のお世話をすることになったら	96
5 家族のお世話をしている友人について	102
6 日常生活について	107
7 ヤングケアラーについて	110
8 追加分析	116

V ヤングケアラーに関するアンケート（高校生等世代）調査結果	143
1 基本情報	143
2 普段の生活について	147
3 家庭や家族のことについて	151
4 ヤングケアラーについて	168
5 追加分析	172
資料編	202
I ふだんの生活についてのアンケート（小学生）調査項目	202
II 普段の生活についてのアンケート（中学生）調査項目	207
III ヤングケアラーに関するアンケート（高校生等世代）調査項目	212

第1章 調査実施の背景

1 ヤングケアラーについて

「ヤングケアラー」については法令上の定義はないが、厚生労働省が、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどものこと」としている。

こどもたちの成長期における過度な負担は学業や就職、友人関係などに様々な影響を与える可能性があり、社会的課題となっている。

ヤングケアラーとは



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

【出典：厚生労働省 HP】

2 「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」について

国では、ヤングケアラーに関する調査研究として、各市区町村の要保護児童対策地域協議会を対象にヤングケアラーの実態調査や、ヤングケアラーを早期発見・支援に活用するためのアセスメントシートやガイドラインの作成等を行ってきた。

令和2年度には、ヤングケアラーと思われるこどもをより正確に把握するため、こども本人（中学生・高校生）を対象としたヤングケアラーの全国調査が初めて行われた。令和3年度には、小学生を対象としたヤングケアラーの全国調査も行われ、お世話をしている家族が「いる」と回答したこどもは、小学6年生で6.5%、中学2年生で5.7%、全日制高校2年生で4.1%という結果となった。

しかし、この調査は、あくまでも全国の小中高生のおおよその状況を把握するための調査であり、今後、自治体がそれぞれでこどもの状況を確認し、地域の実情に応じて対応を検討することが期待されていた。

第2章 江東区ヤングケアラー実態調査

I 調査の概要

1 目的

近年、社会問題として認識されているヤングケアラーについて、本区の実態を把握し、支援体制強化の基礎資料とするため、区内の実態調査を行うこととした。

2 調査対象

①ふだんの生活についてのアンケート（小学生）

区立小学校および義務教育学校（前期課程）に在籍する小学4～6年生の児童 12,525人

②普段の生活についてのアンケート（中学生）

区立中学校および義務教育学校（後期課程）に在籍する全生徒 8,435人

③ヤングケアラーに関するアンケート（高校生等世代）

区内に住民登録のある高校生等（15～18歳） 11,821人

3 調査期間

①ふだんの生活についてのアンケート（小学生）、普段の生活についてのアンケート（中学生）

令和5年1月12日（木）から2月28日（火）

②ヤングケアラーに関するアンケート（高校生等世代）

令和5年1月12日（木）から2月25日（土）

4 回答方法

①ふだんの生活についてのアンケート（小学生）、普段の生活についてのアンケート（中学生）

回答入力フォームのURLを学校を通して配付。区貸与の1人1台端末を活用したWeb上での回答を基本とし、学級時間等を利用して調査を実施した。

②ヤングケアラーに関するアンケート（高校生等世代）

回答入力フォームのURLを郵送、Web上での回答を基本とし、調査を実施した。

5 回収状況

各調査の回収数、回収率は次の通りであった。

	回収数	回収率
ふだんの生活についてのアンケート（小学生）	11,323人	90.4%
普段の生活についてのアンケート（中学生）	6,825人	80.9%
ヤングケアラーに関するアンケート（高校生等世代）	2,532人	21.4%

6 報告書の見方

回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してある。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。

複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。

図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。また、回答比率が0.0%の場合は比率を表示していない。

単純集計やクロス集計では、無回答が含まれているが、クロス集計の分析の軸（＝表側）とした調査回答者の属性や設問は、無回答を除いているため、各調査回答者の属性の基数の合計が全体と一致しない場合がある。

基数が20を下回るものについては、調査数が少ないため参考として図示するに留め、文中では言及をしない。（例：ふだんの生活についてのアンケート（小学生）の家族構成「その他世帯」等）

家族のお世話をしている割合については、国の調査結果と比較をしているが、中学2年生、高校2年生世代の結果は、厚生労働省「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」（令和3年3月）、小学6年生の結果は、厚生労働省「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」（令和4年3月）にて公表されている結果と比較をしている。それぞれの調査研究で実施された調査の概要は以下のとおりである。

厚生労働省「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」（令和3年3月）

調査対象	・全国の公立中学校から層化無作為抽出された1,000校に在籍する中学2年生 ・全国の公立高等学校（全日制）から層化無作為抽出された350校に在籍する高校2年生 各都道府県から1校ずつ無作為抽出された公立の定時制高校、通信制高校に在籍する高校2年生相当の生徒：約168,000人
回収数	・全国の中学2年生、高校2年生、高校2年生相当：約13,800人
調査期間	・令和2（2020）年12月21日から令和3（2021）年1月31日 ※通信制高校：令和3（2021）年1月26日から令和3（2021）年2月28日
実施方法	・学校を通じて調査回答フォームのQRコード、URLを記載した調査概要を配付し、Web上で回答・回収

厚生労働省「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」（令和4年3月）

調査対象	・全国の小学校から層化無作為抽出された350校に在籍する小学6年生：約24,500人
回収数	・全国の小学6年生：約9,800人
調査期間	・令和4（2022）年1月
実施方法	・学校を通じて調査票を児童に配布、児童は原則自宅に持ち帰り回答の上郵送回収

II 結果の概要

1 国と区の調査結果の比較

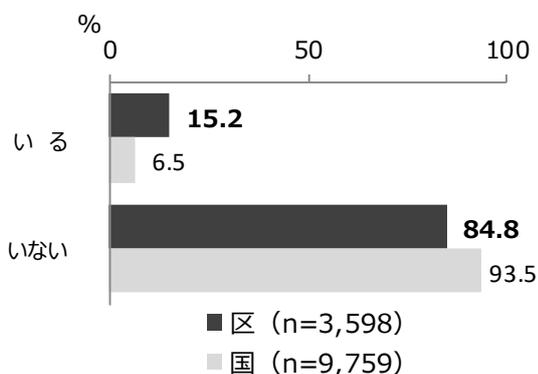
家族のお世話をしている小学6年生、中学2年生、高校2年生世代の割合

家族のお世話をしている割合は、小学6年生で15.2%、中学2年生で14.5%、高校2年生世代で3.5%となっている。

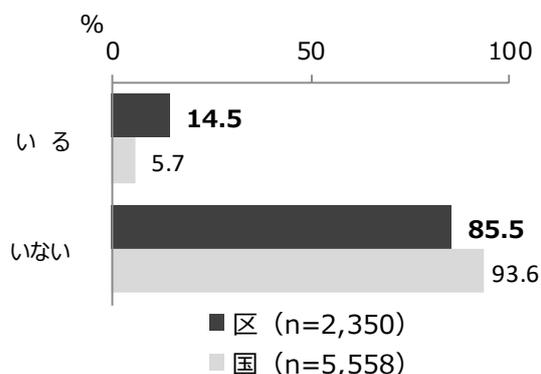
国の調査結果と比較すると、家族のお世話をしている割合は、小学6年生で区が国よりも8.7ポイント、中学2年生で区が国よりも8.8ポイント高くなっている。高校2年生世代では、大きな差異はみられなかった。

国の調査は、本調査と調査対象者の抽出方法や調査の実施時期、調査の依頼方法等が異なるため、その点を留意した上で比較した結果を確認する必要がある。また、本調査結果は、自由記述の回答等から、回答者によって「お世話」の認識に差があることを確認したが、回答者が家族のお世話をしていると回答している場合の回答はすべて結果に反映することとした。これらを留意した上で、小学6年生、中学2年生で家族のお世話をしている割合は、区が国を上回る結果となった。

【小学6年生】

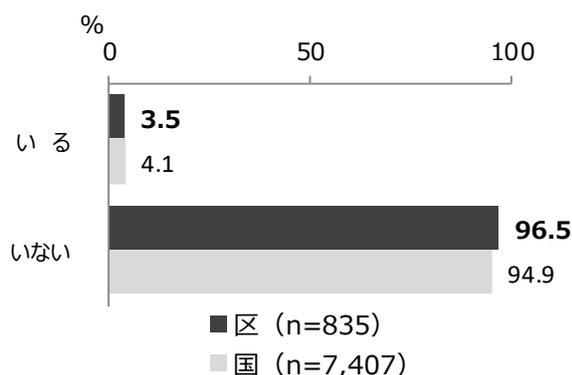


【中学2年生】



※ 国「無回答」：0.6%

【高校2年生世代】



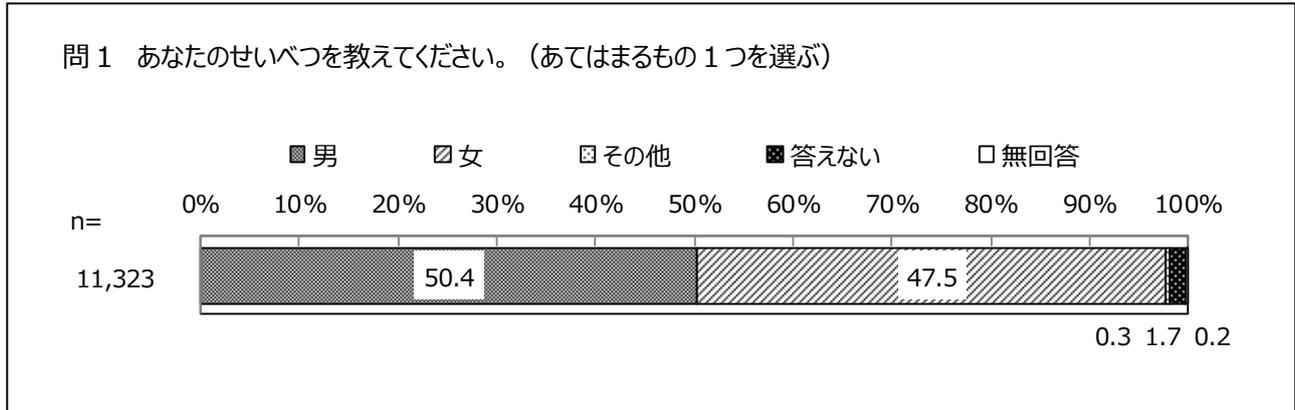
※ 国「無回答」：0.9%

※ 国は全日制高校2年生の結果、区は17歳の結果

Ⅲ ふだんの生活についてのアンケート（小学生）調査結果

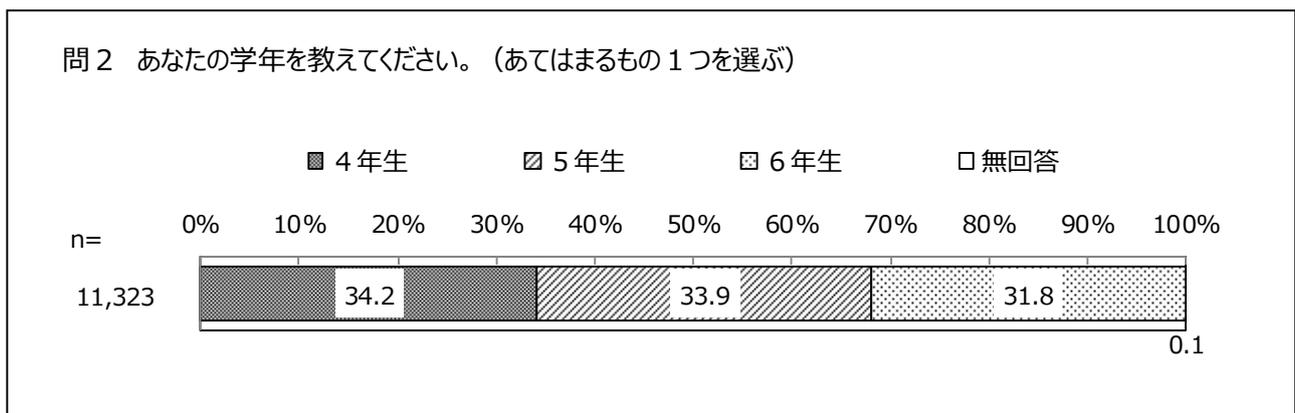
1 基本情報

（1）性別



性別は、「男」が50.4%、「女」が47.5%となっている。

（2）学年

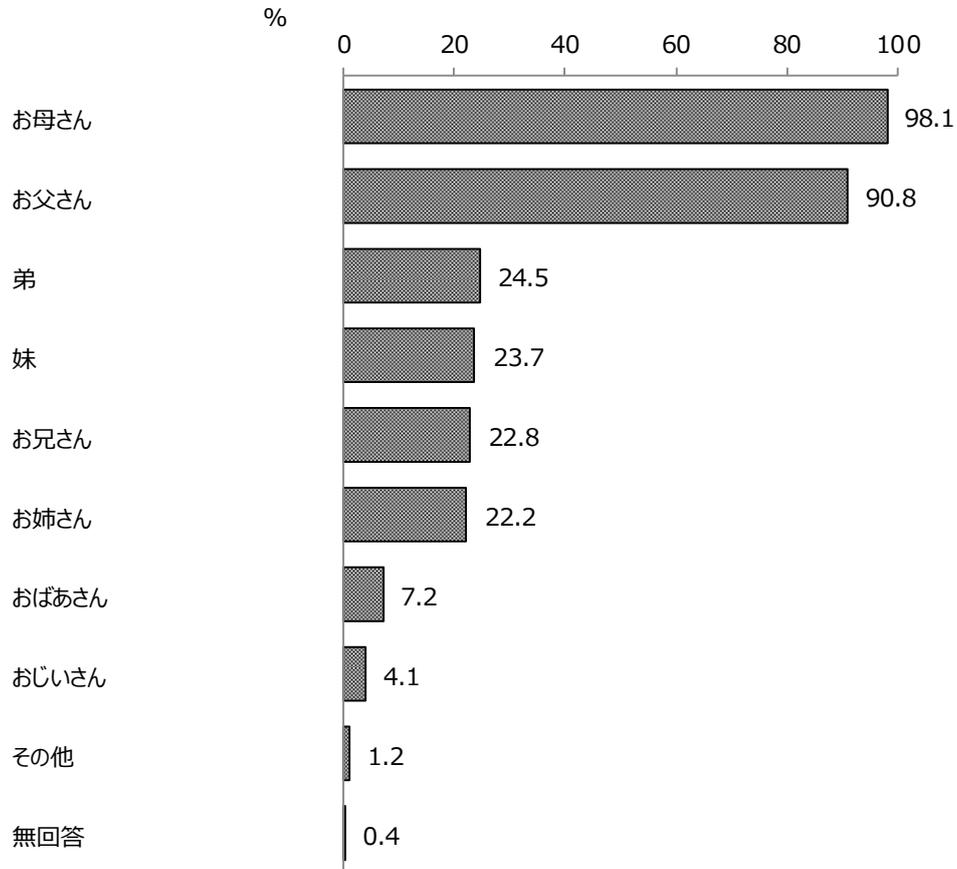


学年は、「4年生」が34.2%、「5年生」が33.9%、「6年生」が31.8%となっている。

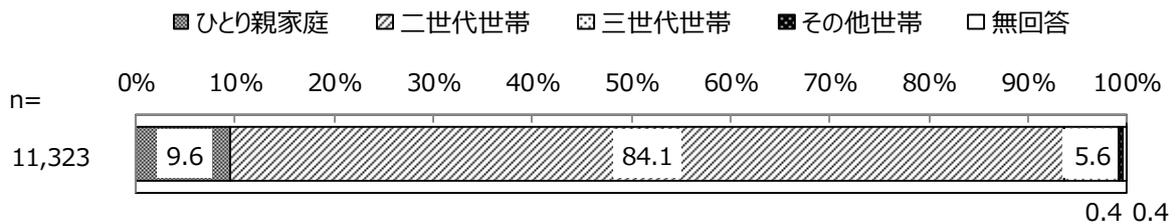
(3) 同居家族

問3 あなたが今、いっしょに住んでいるのはだれですか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

n= 11,323



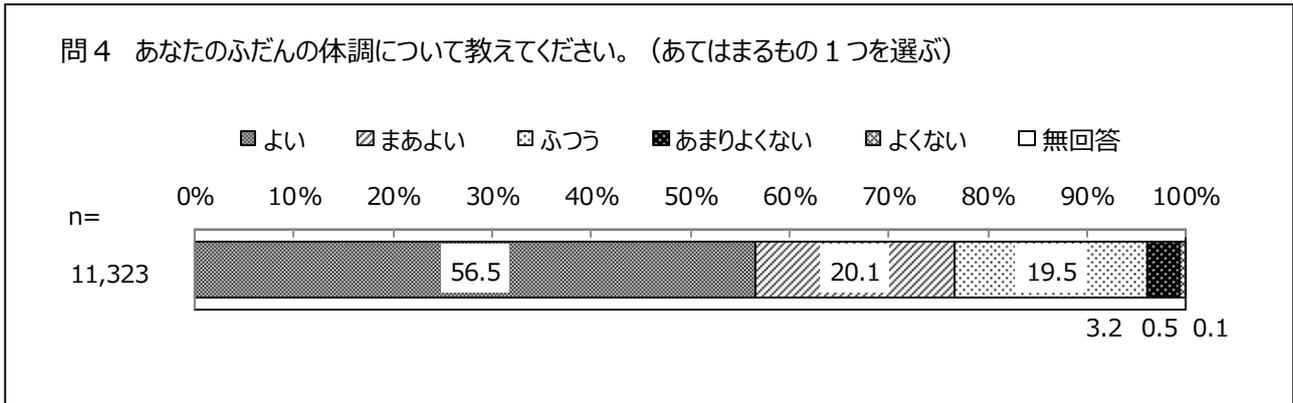
<家族構成 (4 区分) >



同居家族は、「お母さん」が98.1%で最も高く、次いで「お父さん」(90.8%)となっている。

家族構成(4区分)は、「二世帯世帯」が84.1%で最も高く、次いで「ひとり親家庭」(9.6%)、「三世帯世帯」(5.6%)、「その他世帯」(0.4%)となっている。

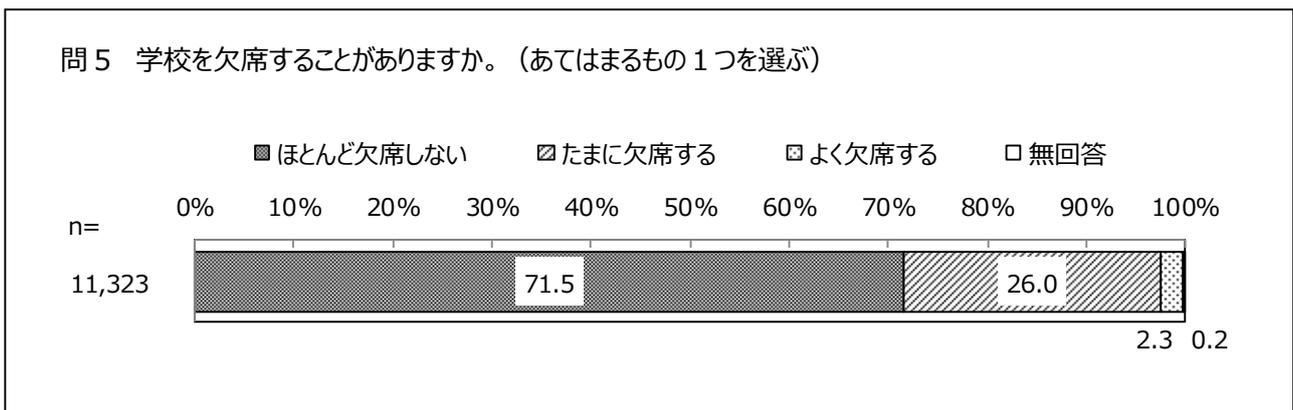
(4) 健康状態



健康状態は、「よい」が56.5%で最も高く、次いで「まあよい」(20.1%)、「ふつう」(19.5%)、「あまりよくない」(3.2%)となっている。

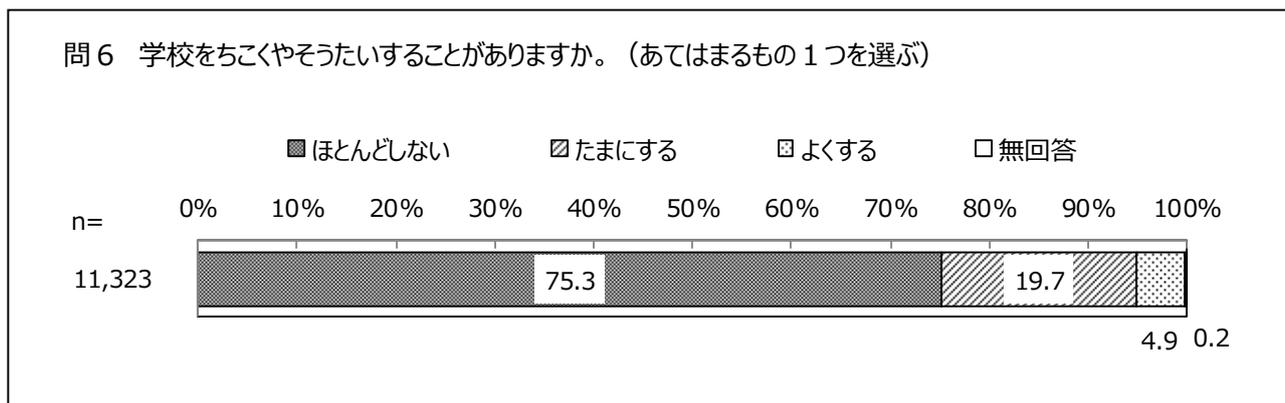
2 ふだんの生活について

(1) - 1 学校への通学状況 (出欠状況)



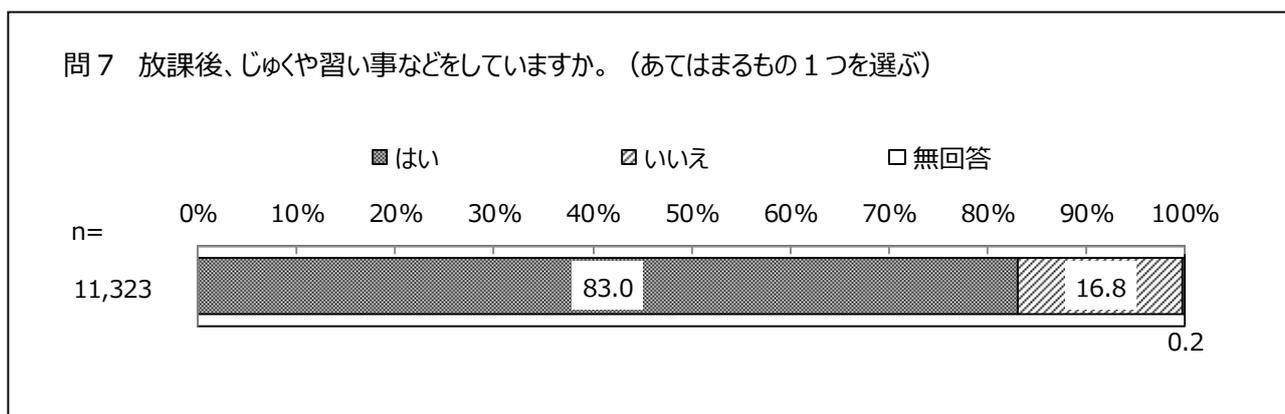
学校への通学状況 (出欠状況) では、「ほとんど欠席しない」が71.5%で最も高く、次いで「たまに欠席する」(26.0%)、「よく欠席する」(2.3%)となっている。

(1) - 2 学校への通学状況 (遅刻や早退の状況)



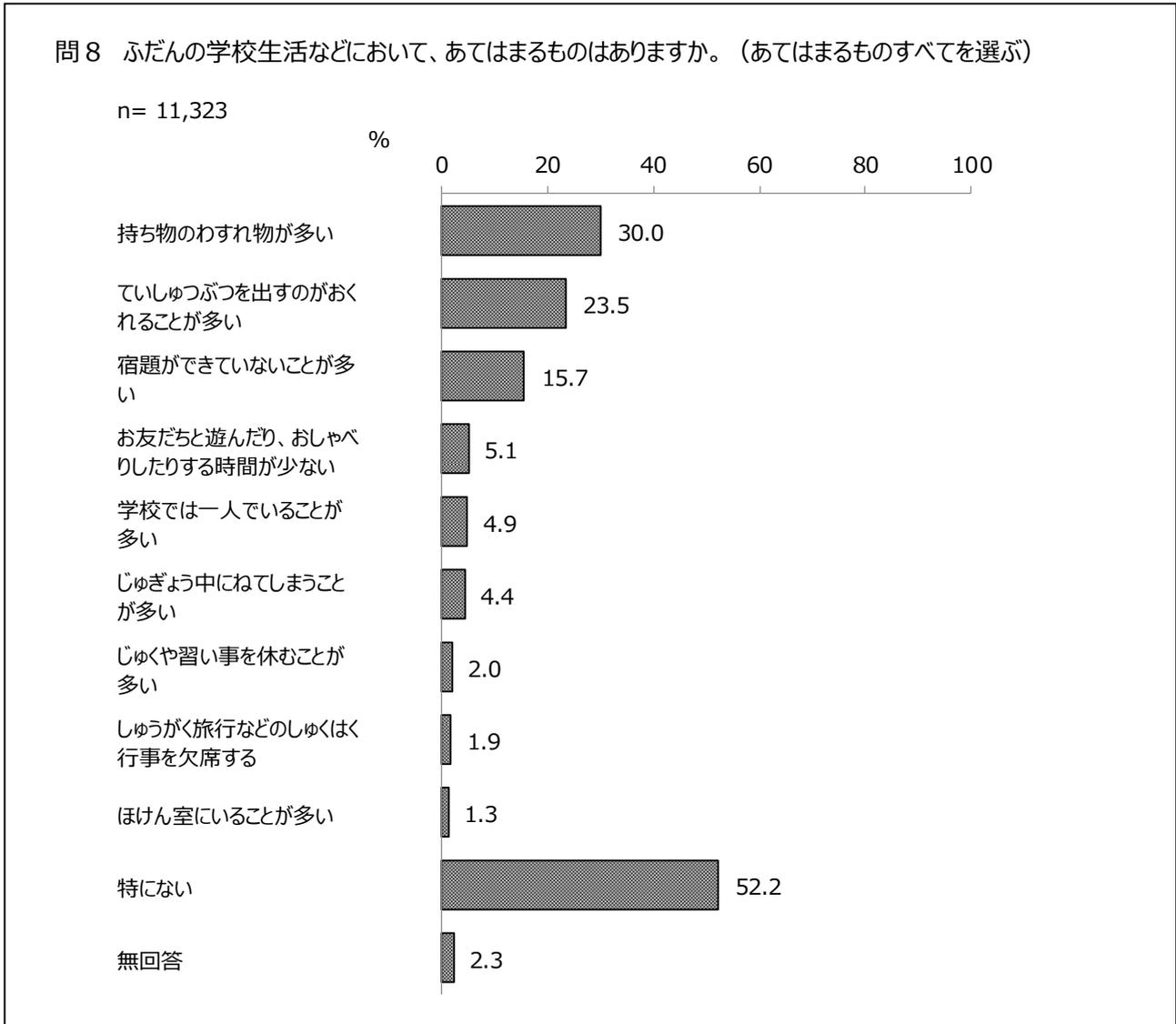
学校への通学状況 (遅刻や早退の状況) は、「ほとんどしない」が 75.3% で最も高く、次いで「たまにする」(19.7%)、「よくする」(4.9%) となっている。

(2) 塾や習い事への参加状況



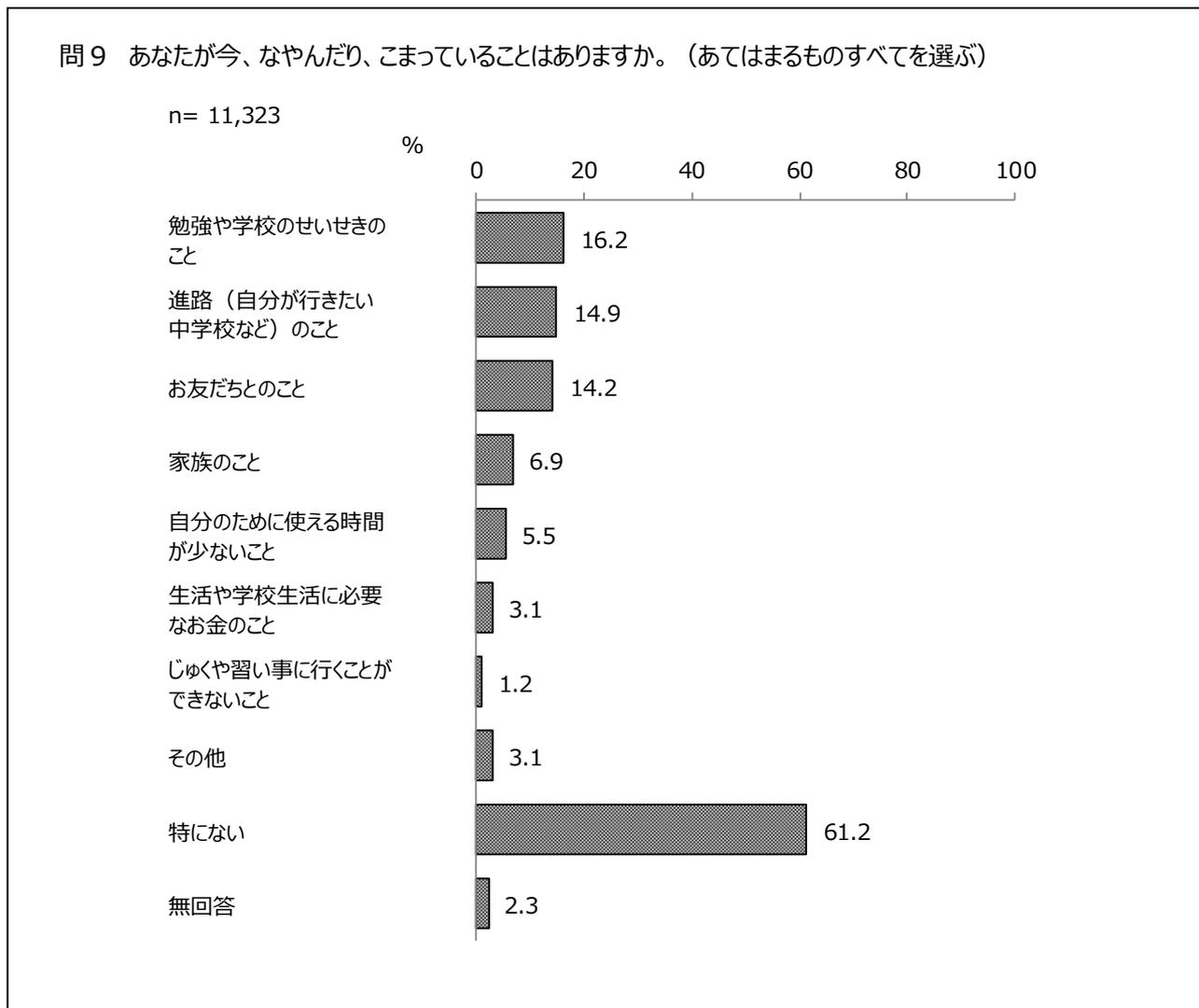
塾や習い事への参加状況は、「はい」が 83.0%、「いいえ」が 16.8% となっている。

(3) ふだんの学校生活などであてはまること



ふだんの学校生活などであてはまることは、「特にない」が52.2%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「持ち物のわすれ物が多い」が30.0%で最も高く、次いで「ていしゅつぶつを出すのがおくれることが多い」(23.5%)、「宿題ができていないことが多い」(15.7%)となっている。

(4) 現在の悩みや困りごと



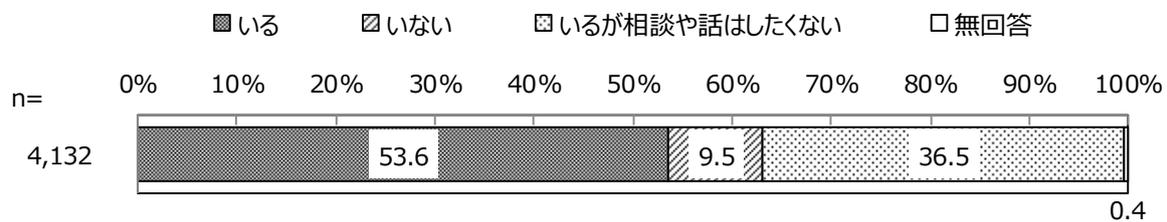
現在の悩みや困りごとは、「特にない」が61.2%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「勉強や学校のせいせきのこと」が16.2%で最も高く、次いで「進路 (自分が行きたい中学校など) のこと」(14.9%)、「お友達たちのこと」(14.2%)、「家族のこと」(6.9%)となっている。

(5) 相談相手の有無

(問9で答えた「なやみ」や「こまっていること」についてお聞きます。)

問10 「なやみ」や「こまっていること」について、話を聞いてくれる人が近くにいますか。

(あてはまるもの1つを選ぶ)



相談相手の有無は、「いる」が53.6%で最も高く、次いで「いるが相談や話はしたくない」(36.5%)、「いない」(9.5%)となっている。

3 家庭や家族のことについて

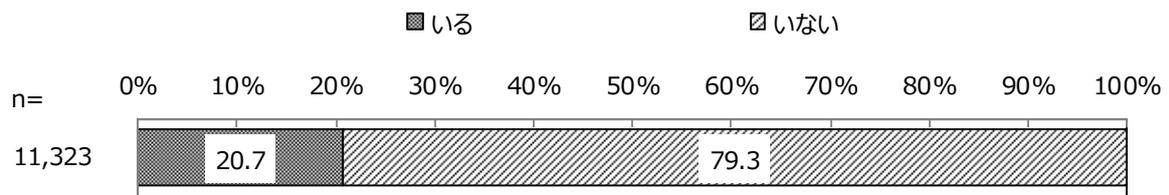
(1) お世話をしている家族の有無

問 11 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

※答えたくない場合は「いない」を選んで、すすんでください。

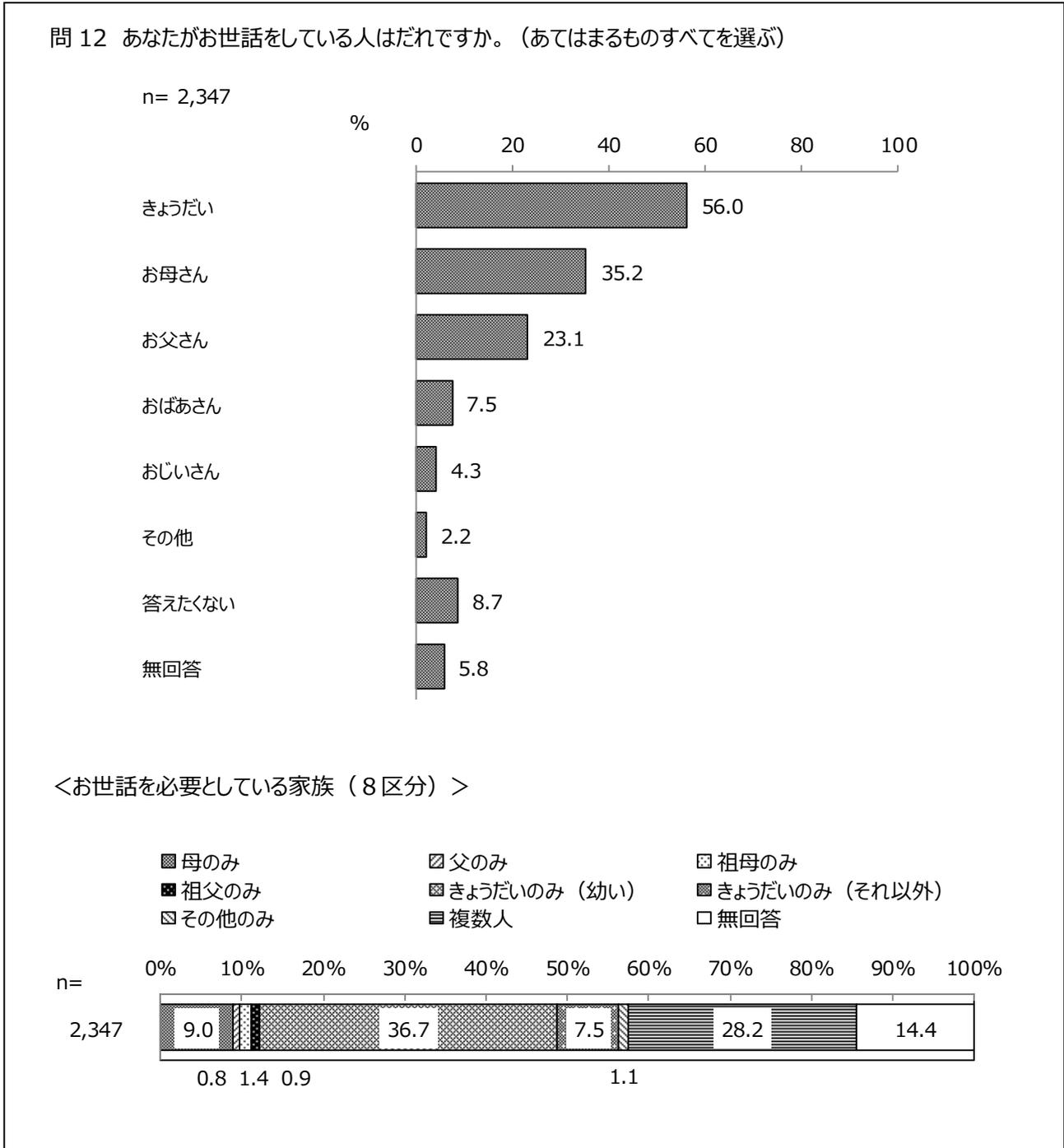
※お世話とは次のようなことです。

- ・家事（食事の用意や後かたづけ、そうじ、せんたく、買い物など）
- ・きょうだいのお世話やほいく園への送りむかえ
- ・着がえやおふろ・トイレの手伝いなど
- ・病院や買い物、さんぽなどにいっしょに行き、手助けをする
- ・こまりごとを聞く、話し相手になる
- ・転んだり、あぶないことをしたりしないか見守る
- ・通やく（日本語を通やくしたり、手話で通やくしたりするなど）
- ・家のお金のかんりをする（お金の使い道を考えたり、お金をはらったりする）
- ・薬を飲んだかたしかめたり、薬をわたしたりする



お世話をしている家族の有無は、「いる」が20.7%、「いない」が79.3%となっている。

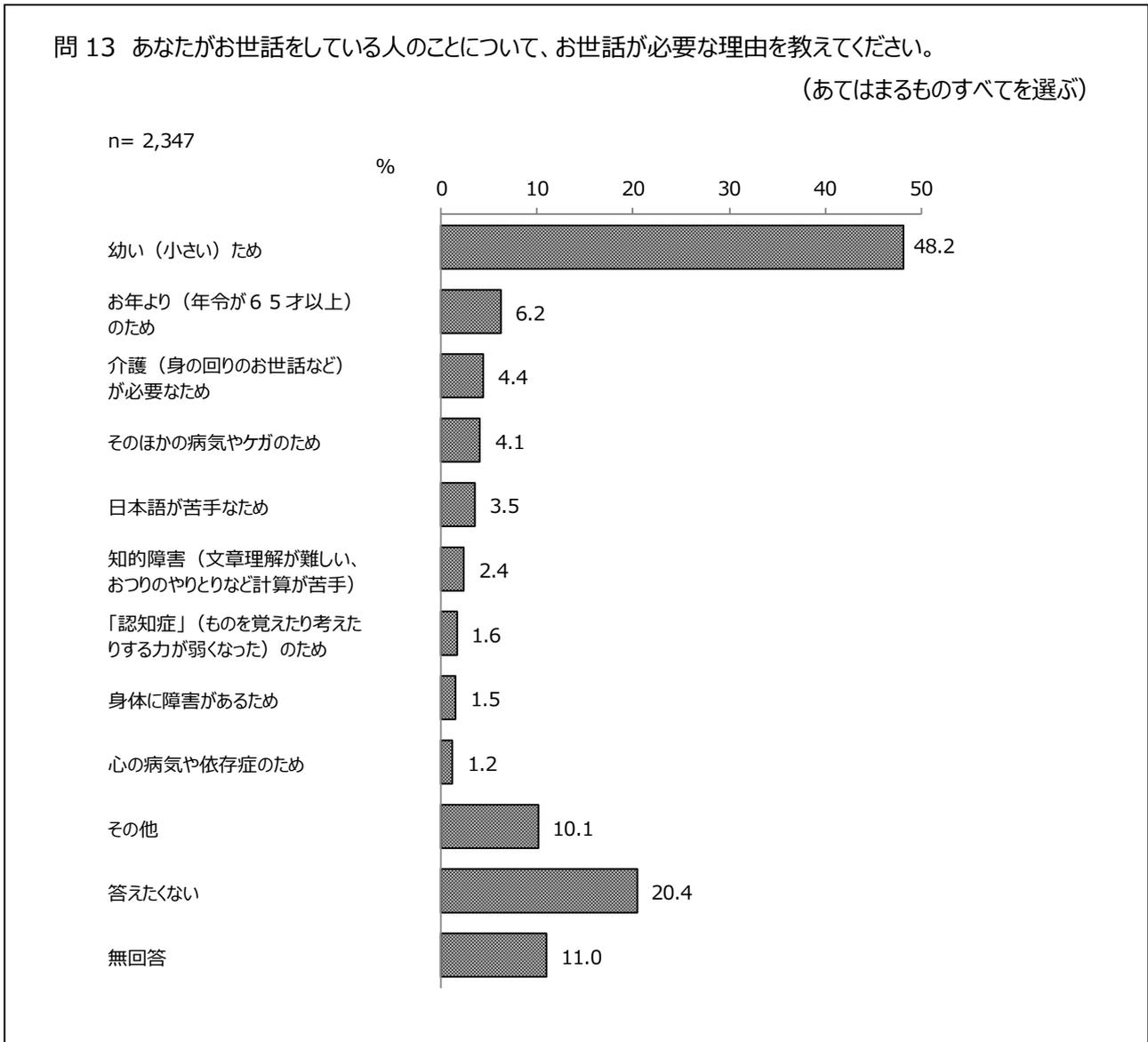
(2) お世話を必要としている家族



お世話を必要としている家族は、「きょうだい」が56.0%で最も高く、次いで「お母さん」(35.2%)、「お父さん」(23.1%)、「おばあさん」(7.5%)となっている。

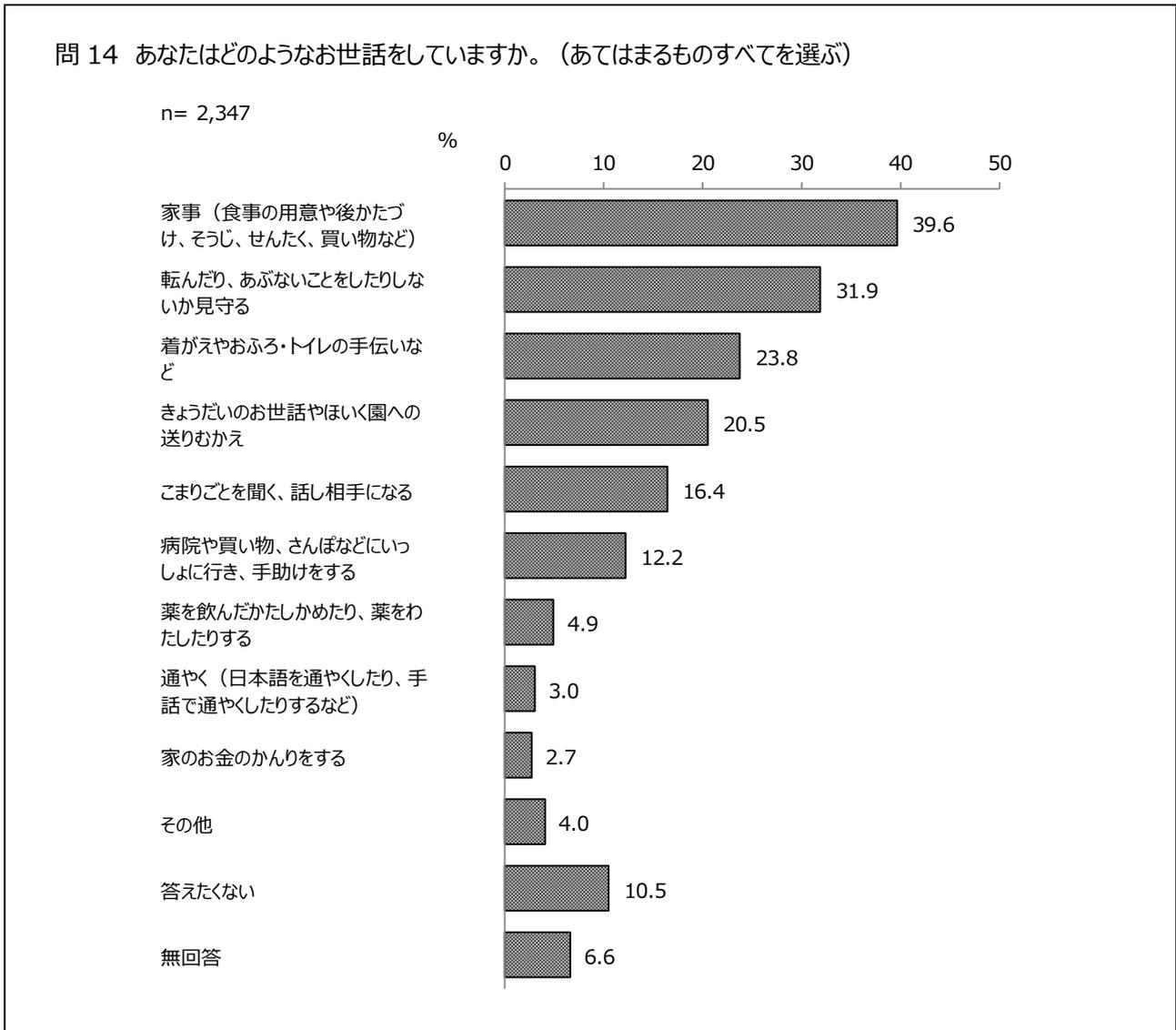
お世話を必要としている家族 (8区分) は、「きょうだいのみ (幼い)」が36.7%で最も高く、次いで「複数人」(28.2%)となっている。

(3) お世話が必要な理由



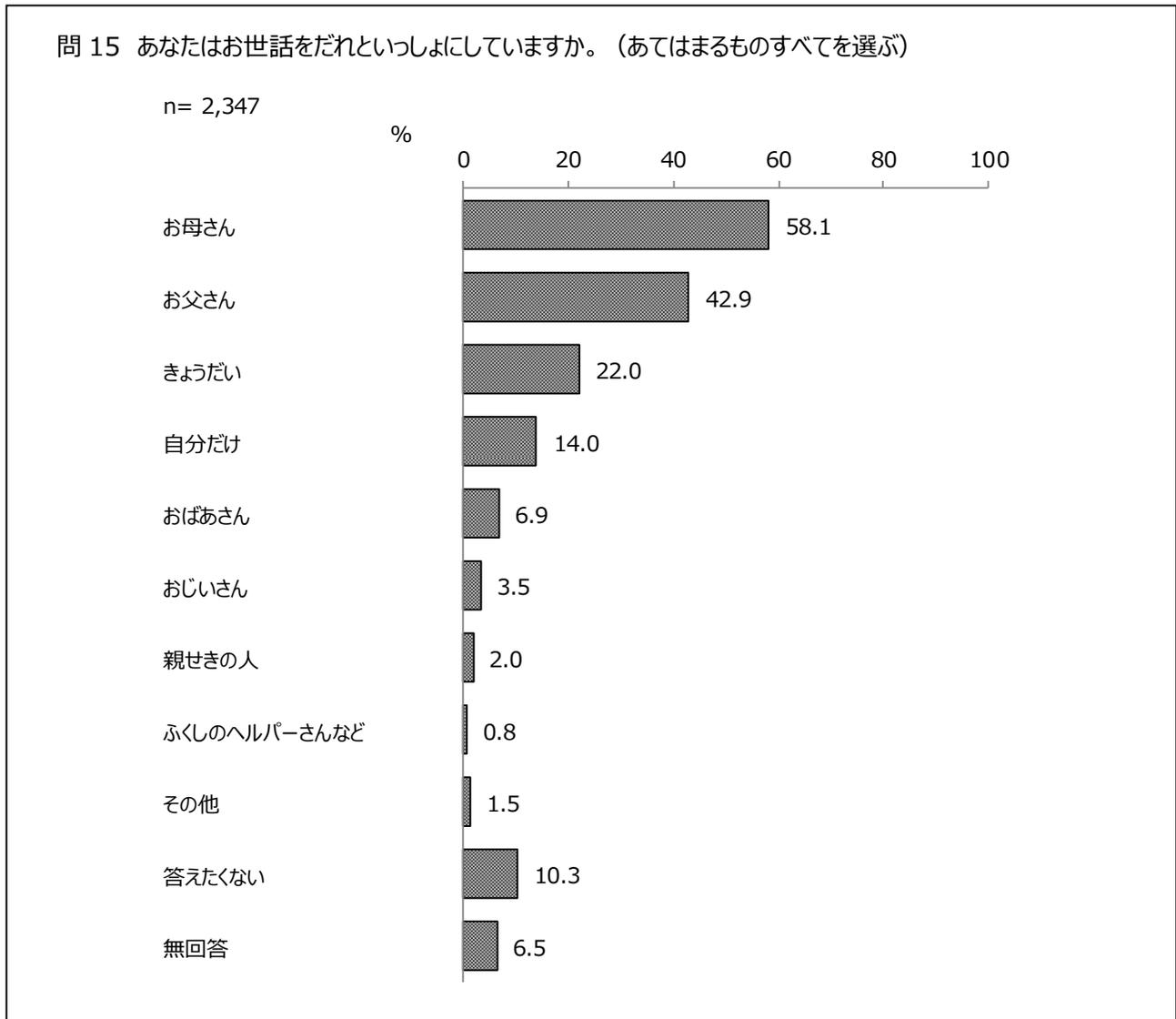
お世話が必要な理由は、「若い (小さい) ため」が 48.2%で最も高く、次いで「お年より (年令が65才以上) のため」(6.2%)、「介護 (身の回りのお世話など) が必要なため」(4.4%)となっている。「答えたくない」は 20.4%だった。また、「その他」の内容には、「親が仕事などで忙しいため」、「家族で役割分担をしているため」、「妊娠しているため」などがあつた。

(4) お世話の内容



お世話の内容は、「家事（食事の用意や後かたづけ、そうじ、せんたく、買い物など）」が39.6%で最も高く、次いで「転んだり、あぶないことをしたりしないか見守る」（31.9%）、「着がえやお風呂・トイレの手伝いなど」（23.8%）、「きょうだいのお世話やほいく園への送りむかえ」（20.5%）となっている。

(5) お世話を一緒にしている人

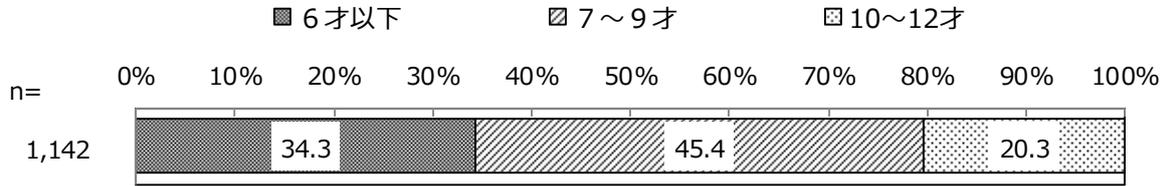


お世話を一緒にしている人は、「お母さん」が 58.1%で最も高く、次いで「お父さん」(42.9%)、「きょうだい」(22.0%)となっている。

(6) お世話を始めた年齢

問 16 あなたはお世話を何才からしていますか。

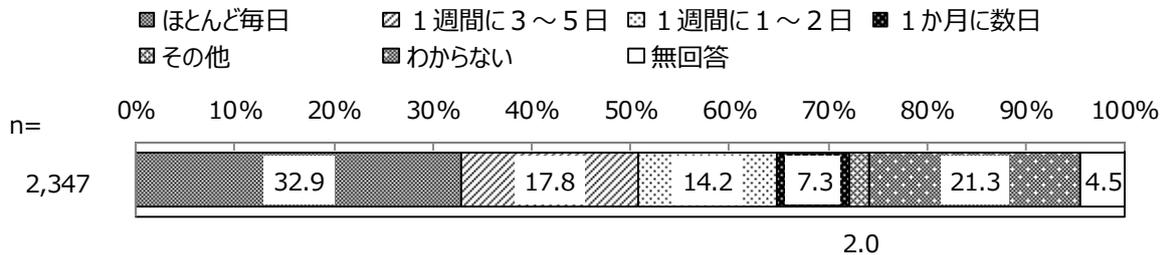
※はっきりとわからない場合は、だいたいの年齢でお答えください。



お世話を始めた年齢は、「7～9才」が45.4%で最も高く、次いで「6才以下」(34.3%)、「10～12才」(20.3%)となっている。

(7) お世話をしている頻度

問 17 あなたはどのくらいお世話をしていますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

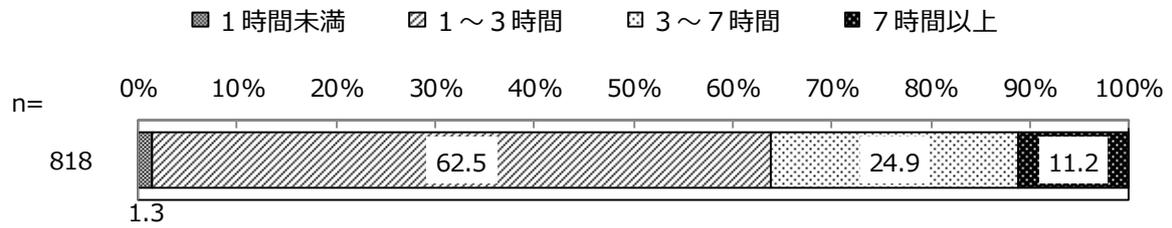


お世話をしている頻度は、「ほとんど毎日」が32.9%で最も高く、次いで「1週間に3～5日」(17.8%)、「1週間に1～2日」(14.2%)となっている。「わからない」は21.3%だった。

(8) 1日あたりにお世話を費やす時間

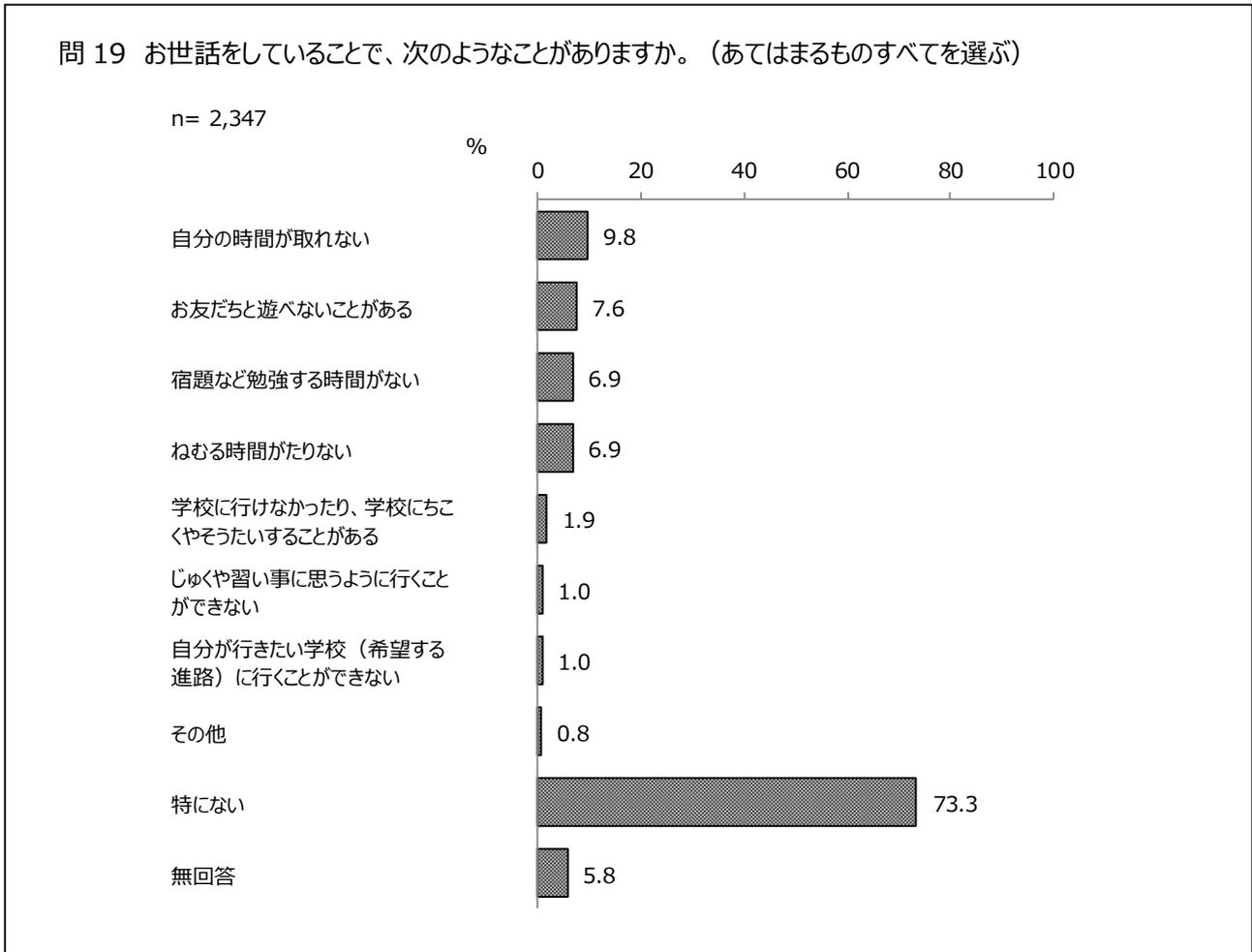
問 18 あなたは1日何時間くらいお世話をしていますか。

※日によってちがう場合は、この1か月でいちばん長かった日の時間を教えてください。



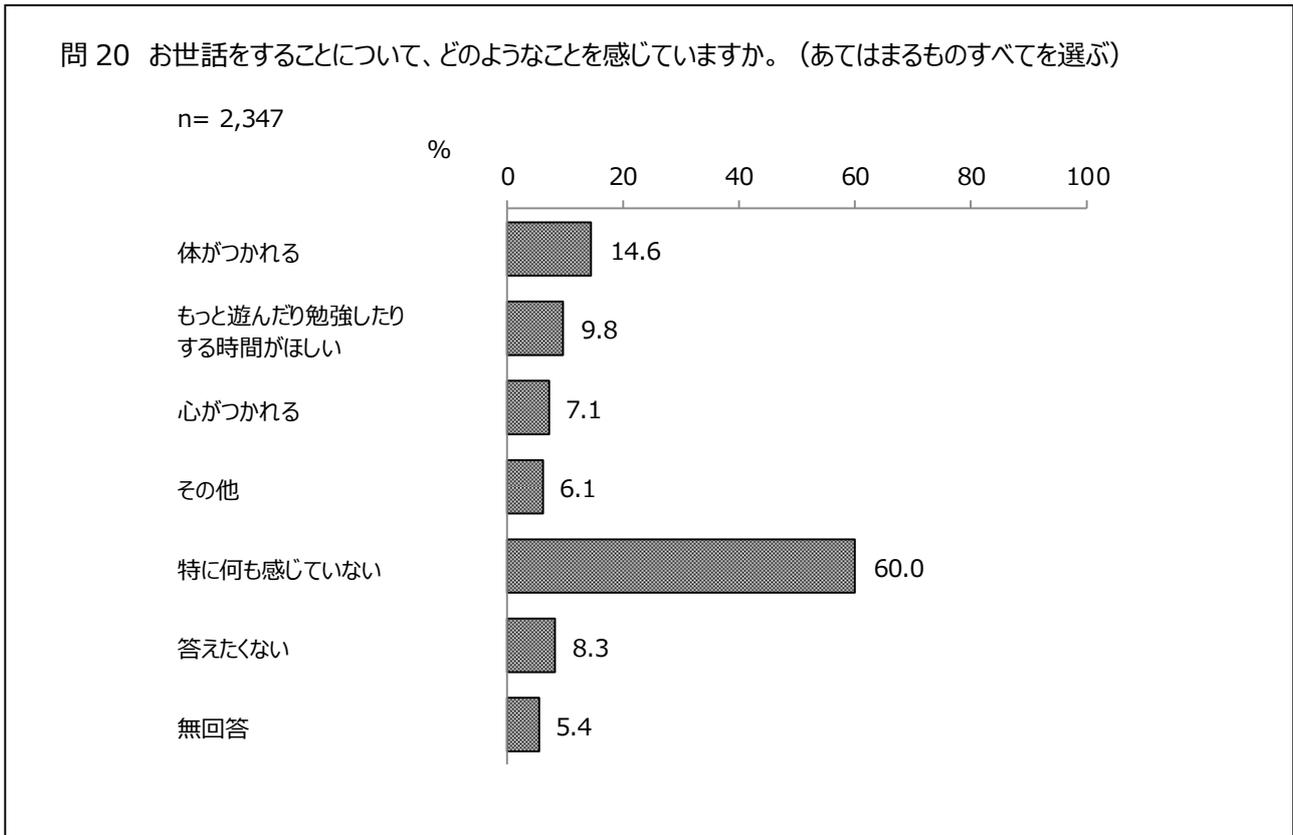
1日あたりにお世話を費やす時間は、「1～3時間」が62.5%で最も高く、次いで「3～7時間」(24.9%)、「7時間以上」(11.2%)となっている。

(9) お世話による制約



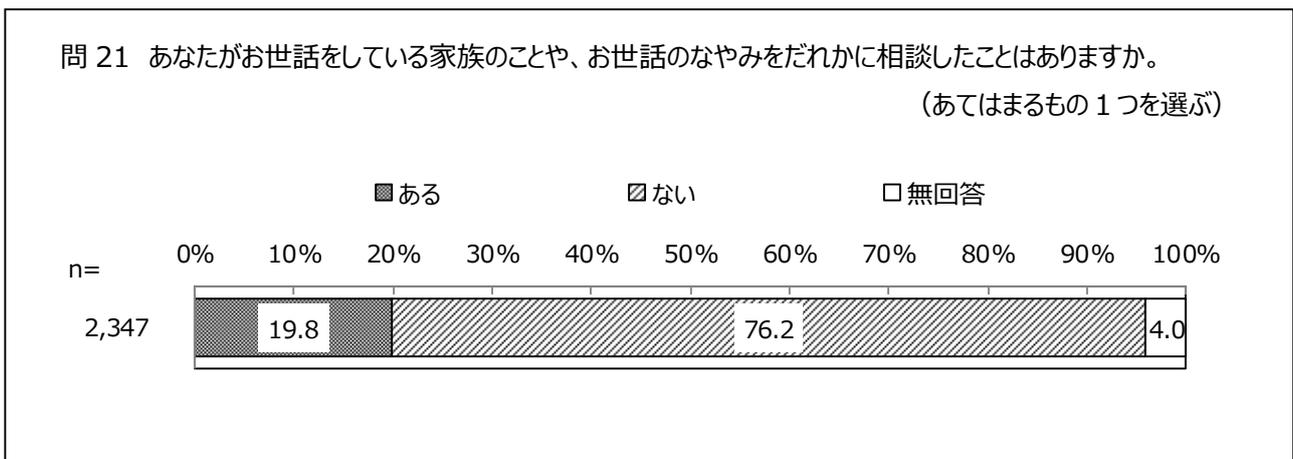
お世話による制約は、「特にない」が73.3%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「自分の時間が取れない」が9.8%で最も高く、次いで「お友だちと遊べないことがある」(7.6%)、「宿題など勉強する時間がない」(6.9%)、「ねむる時間がたりない」(6.9%)となっている。

(10) お世話をすることについて感じていること



お世話をすることについて感じていることは、「特に何も感じていない」が60.0%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「体がつかれる」が14.6%で最も高く、次いで「もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい」(9.8%)、「心がつかれる」(7.1%)となっている。

(11) お世話について相談した経験

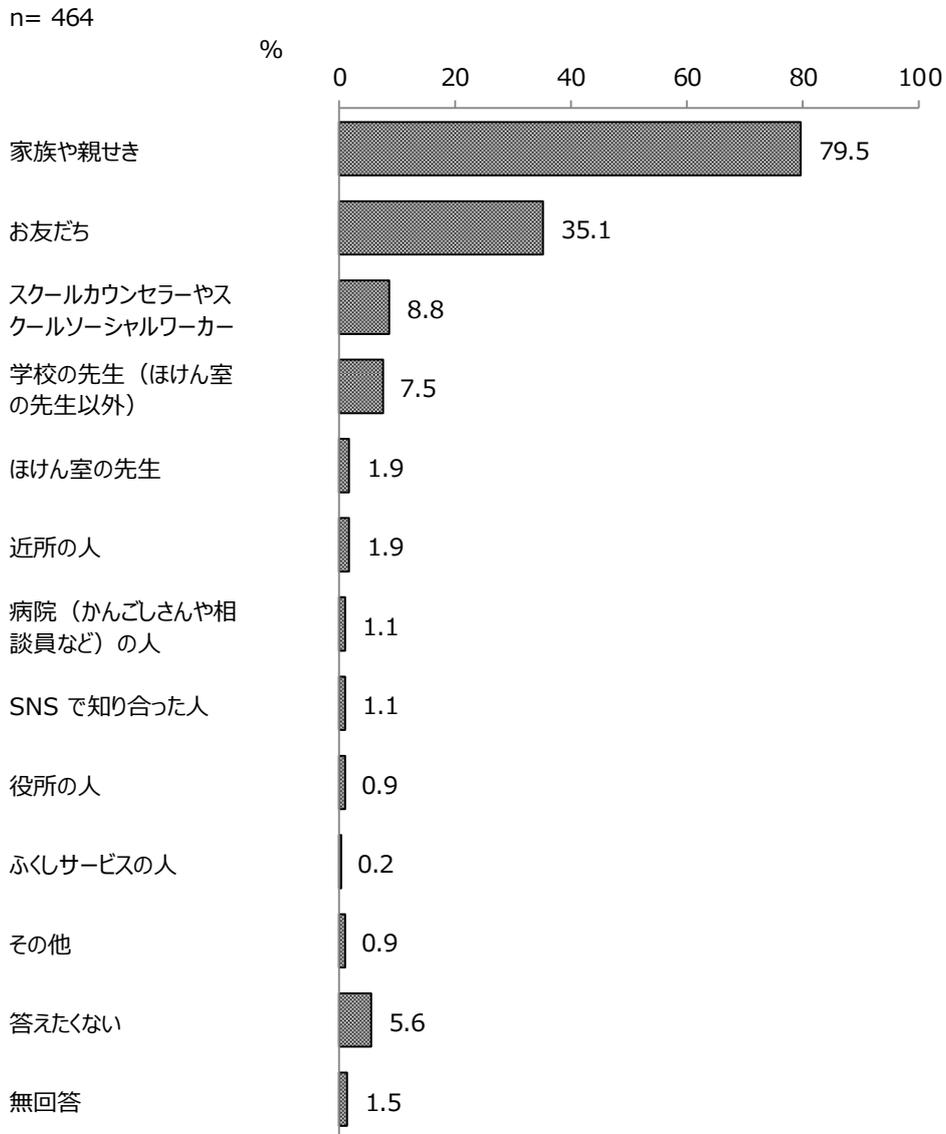


お世話について相談した経験は、「ある」が19.8%、「ない」が76.2%となっている。

(12) お世話についての相談相手

(問 21 で「ある」と答えた人にお聞きします。)

問 22 それはだれですか。(あてはまるものすべてを選ぶ)



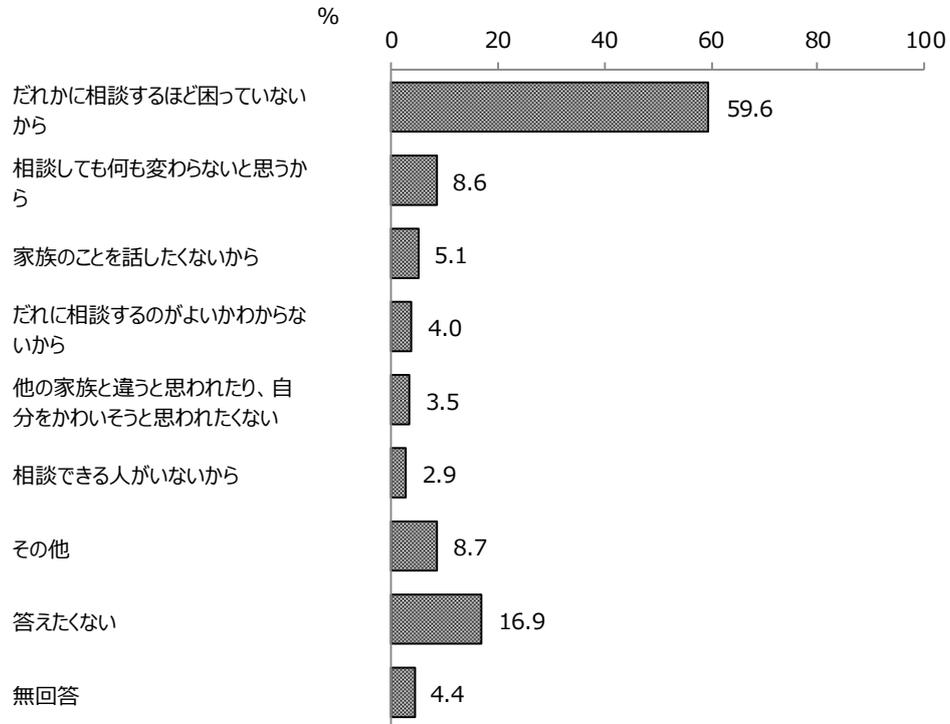
お世話についての相談相手は、「家族や親せき」が79.5%で最も高く、次いで「お友だち」(35.1%)、「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー」(8.8%)、「学校の先生 (ほけん室の先生以外)」(7.5%)となっている。

(13) お世話について相談したことがない理由

(問 21 で「ない」と答えた人にお聞きます。)

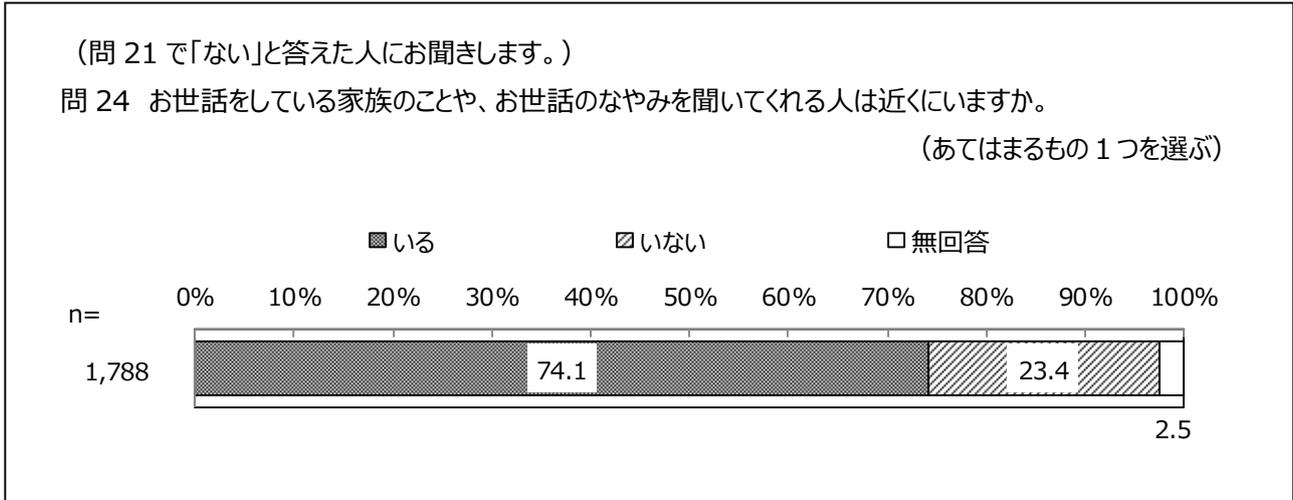
問 23 相談していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてを選ぶ)

n = 1,788



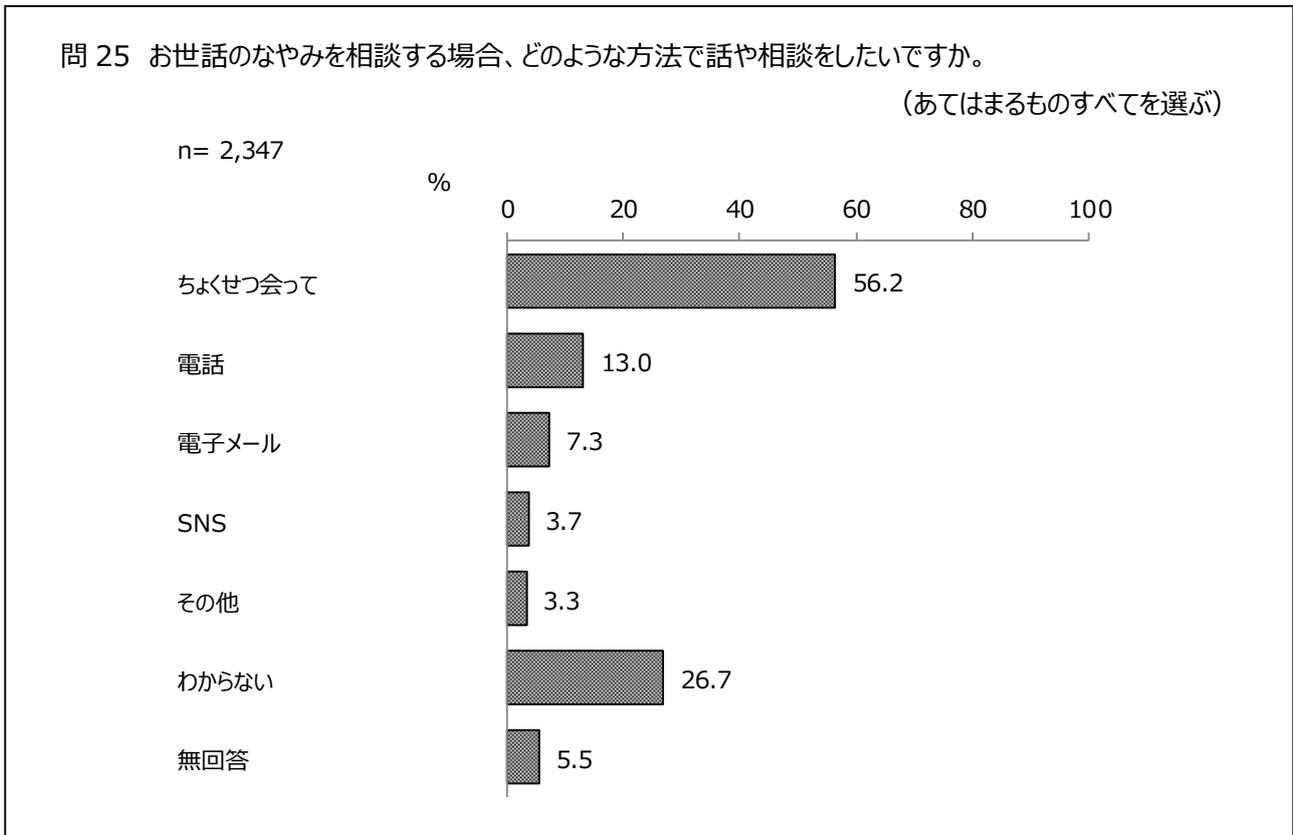
お世話について相談したことがない理由は、「だれかに相談するほど困っていないから」が 59.6%で最も高く、次いで「相談しても何も変わらないと思うから」(8.6%)、「家族のことを話したくないから」(5.1%)となっている。「答えたくない」は 16.9%だった。

(14) お世話について話を聞いてくれる人の有無



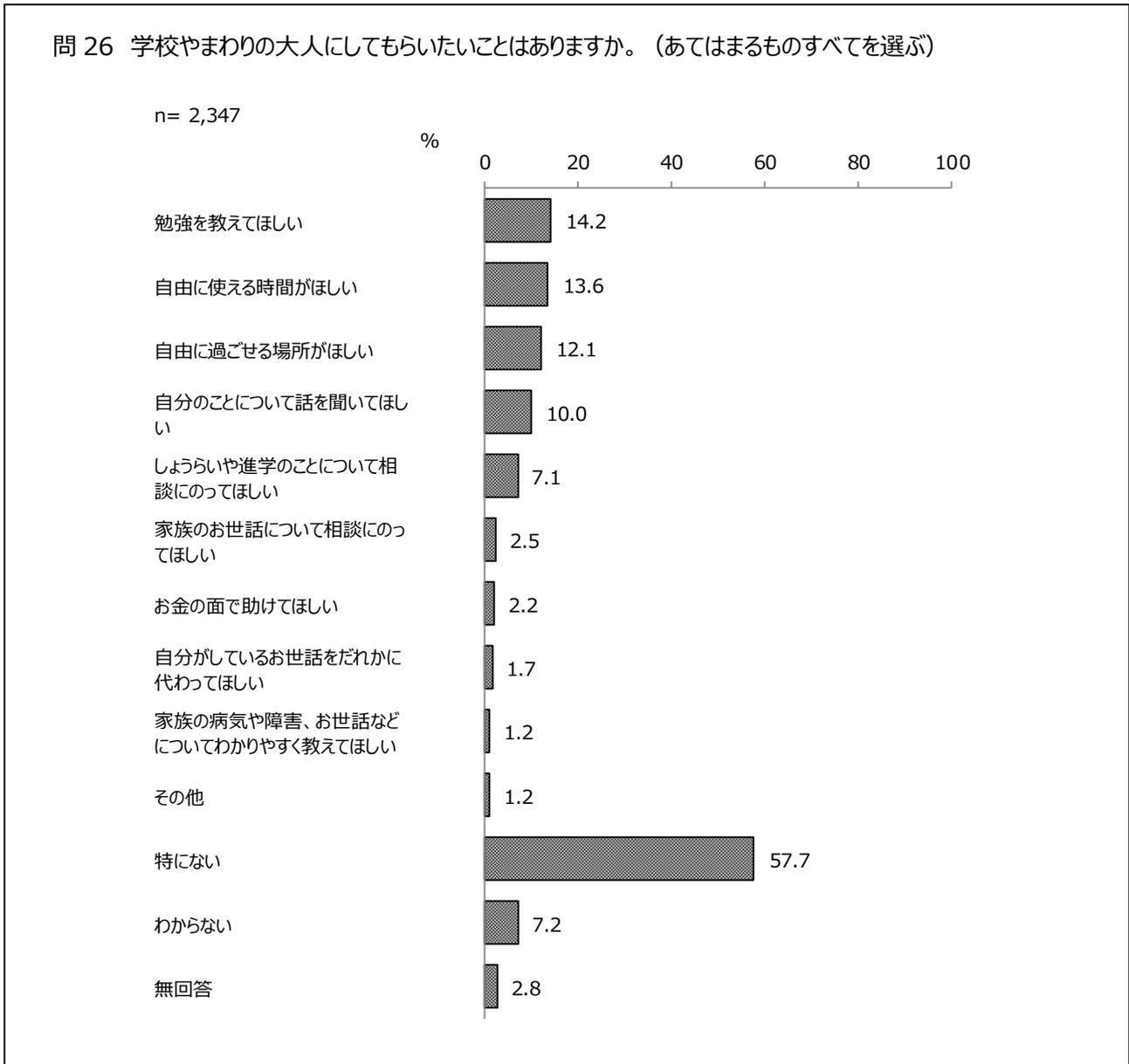
お世話について話を聞いてくれる人の有無は、「いる」が 74.1%、「いない」が 23.4%となっている。

(15) 希望する相談方法



希望する相談方法は、「ちよくせつ会って」が 56.2%で最も高く、次いで「電話」(13.0%)、「電子メール」(7.3%)、「SNS」(3.7%)となっている。「わからない」は 26.7%だった。

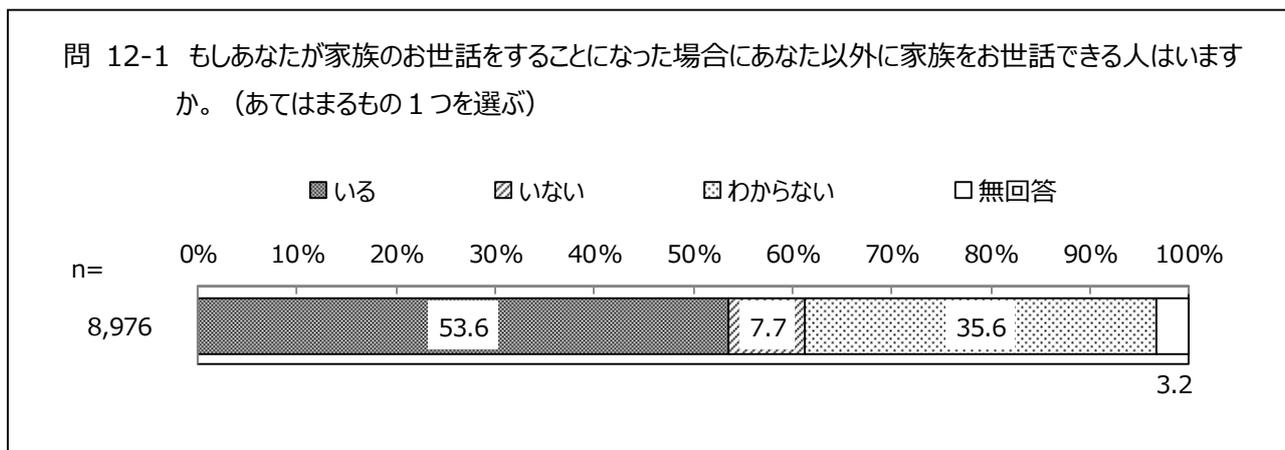
(16) 学校や大人にしてもらいたいこと



学校や大人にしてもらいたいことは、「特にない」が 57.7%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「勉強を教えてほしい」が 14.2%で最も高く、次いで「自由に使える時間がほしい」(13.6%)、「自由に過ごせる場所がほしい」(12.1%)となっている。

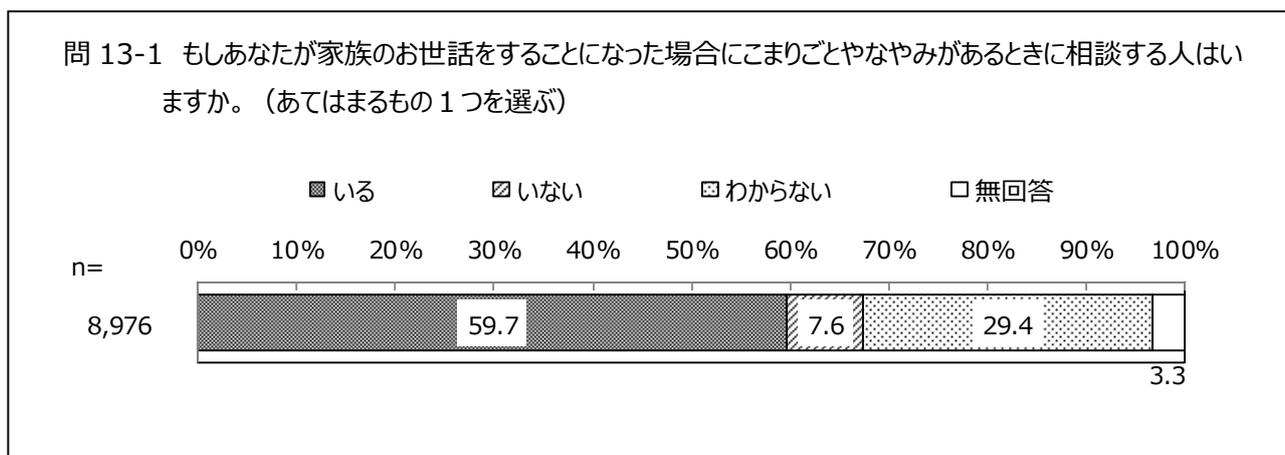
4 もし自分が家族のお世話をすることになったら

(1) 家族のお世話をすることになった場合に自分以外にお世話ができる人



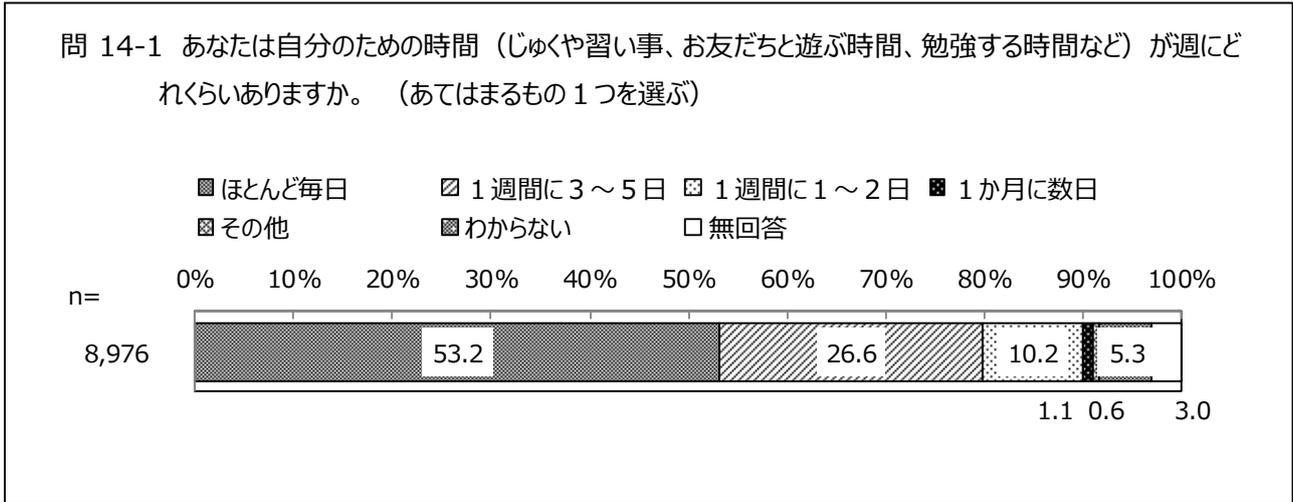
家族のお世話をすることになった場合に自分以外にお世話ができる人は、「いる」が53.6%、「いない」が7.7%、「わからない」が35.6%となっている。

(2) 家族のお世話をすることになった場合に困りごとや悩みを相談できる人



家族のお世話をすることになった場合に困りごとや悩みを相談できる人は、「いる」が59.7%、「いない」が7.6%、「わからない」が29.4%となっている。

(3) 1週間あたりの自分のために使える時間

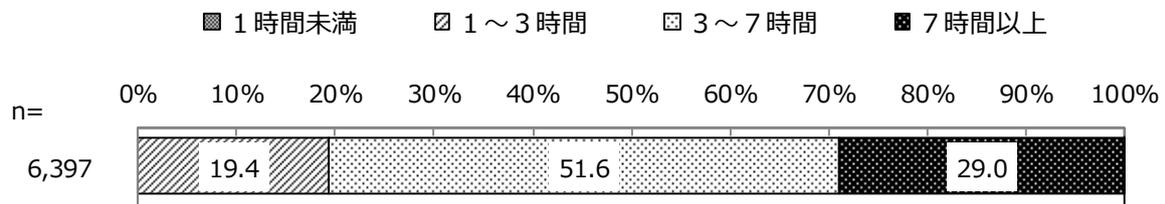


1週間あたりの自分のために使える時間は、「ほとんど毎日」が53.2%で最も高く、次いで「1週間に3～5日」(26.6%)、「1週間に1～2日」(10.2%)となっている。

(4) 1日あたりの自分のために使える時間

問 15-1 あなたは1日何時間くらい自分のための時間（じゅくや習い事、お友だちと遊ぶ時間、勉強する時間など）がありますか。

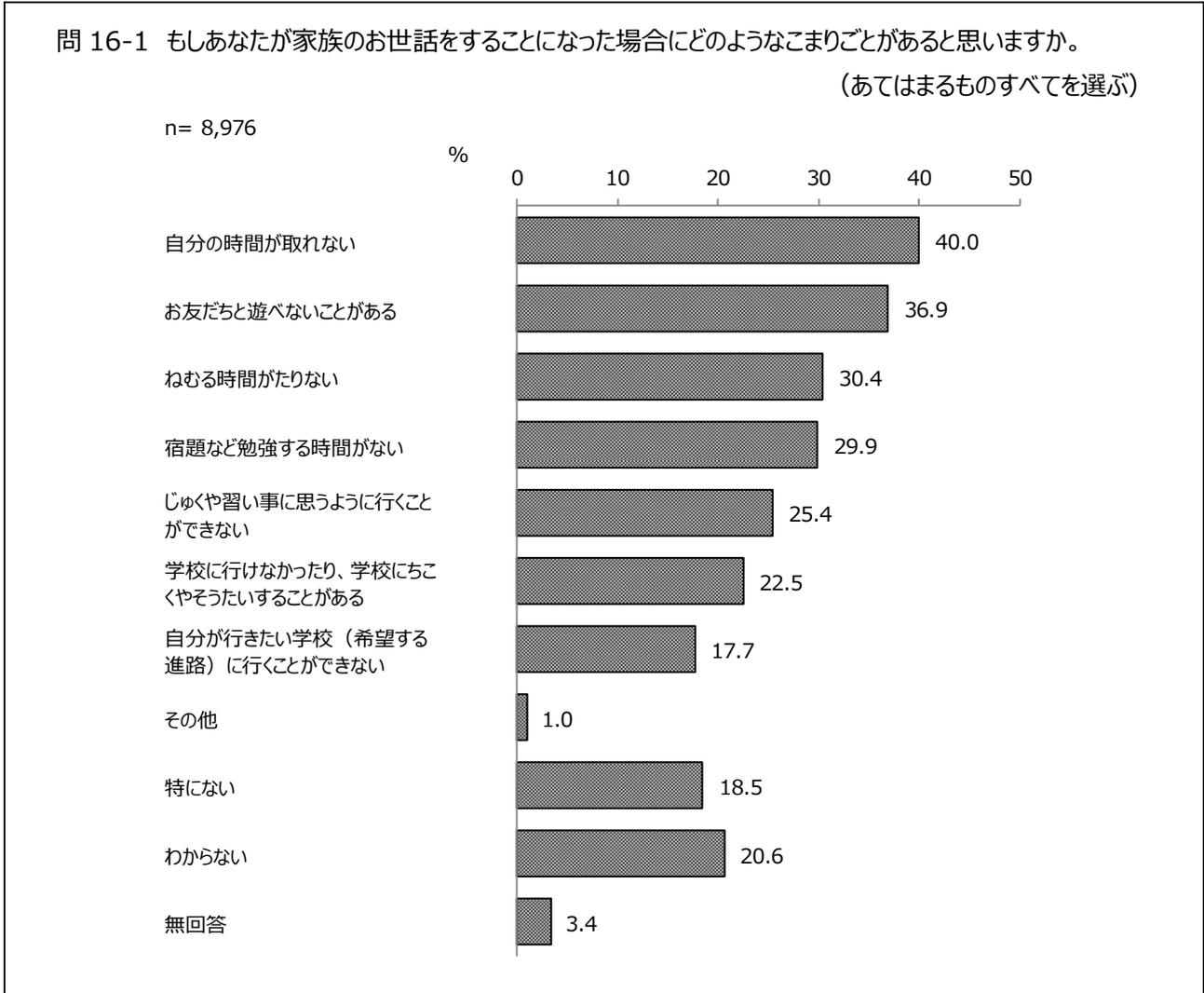
※日によってちがう場合は、この1か月でいちばん長かった日の時間を教えてください。



※「1時間未満」は0.0%のため比率を表示していないが、2件の回答があった。

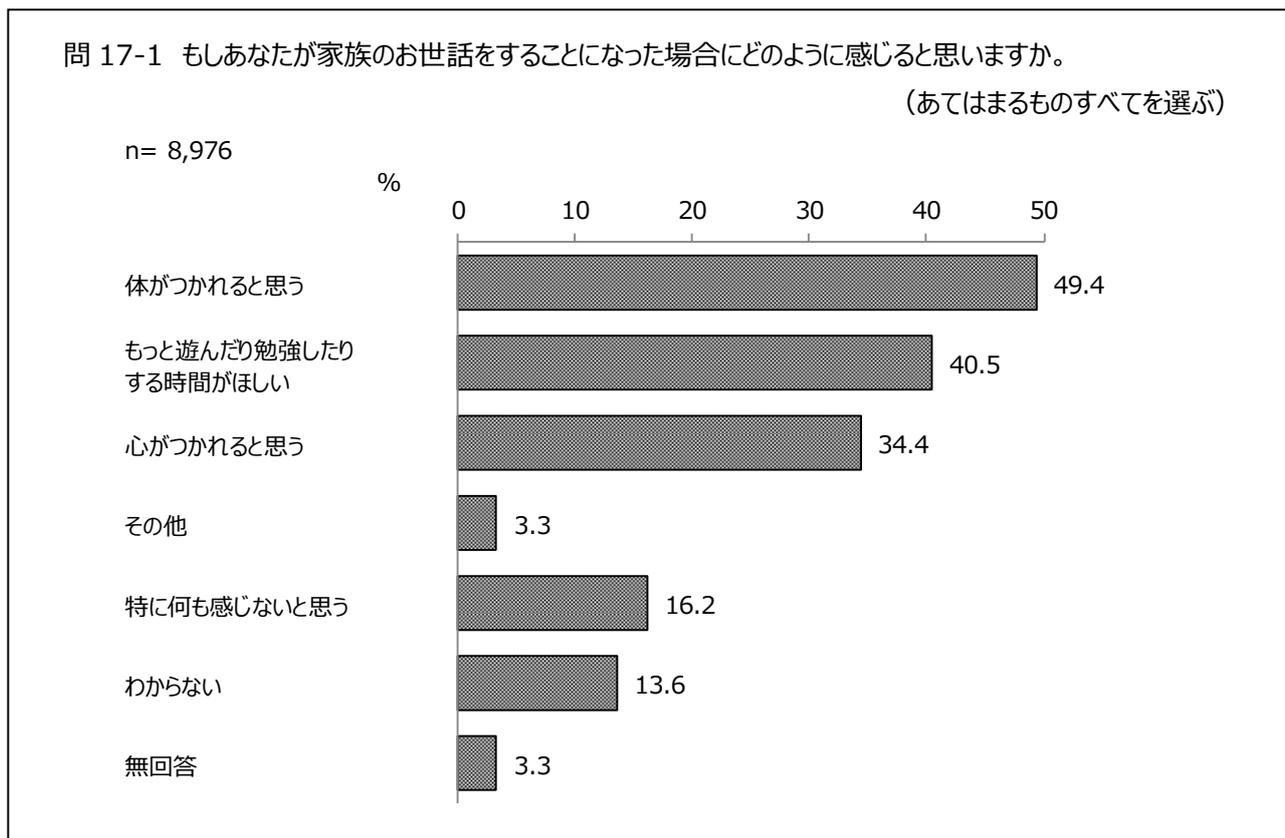
1日あたりの自分のために使える時間は、「3～7時間」が51.6%で最も高くなっており、次いで「7時間以上」(29.0%)、「1～3時間」(19.4%)となっている。

(5) 家族のお世話をすることになった場合に想定できる困りごと



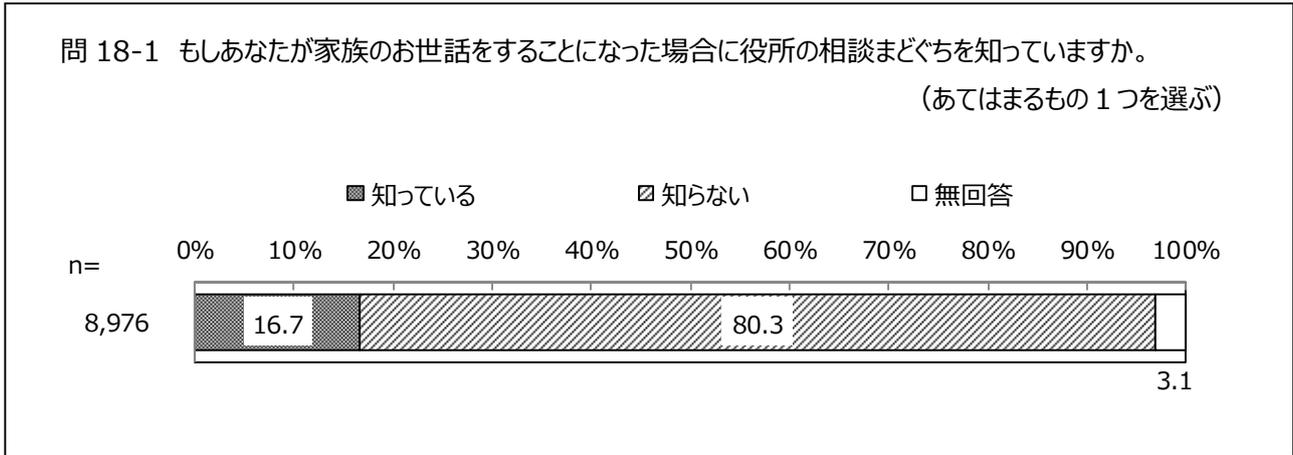
家族のお世話をすることになった場合に想定できる困りごとは、「自分の時間が取れない」が40.0%で最も高く、次いで「お友だちと遊べないことがある」(36.9%)、「ねむる時間がたりない」(30.4%)、「宿題など勉強する時間がない」(29.9%)となっている。

(6) 家族のお世話をすることになった場合に想定できる大変さ



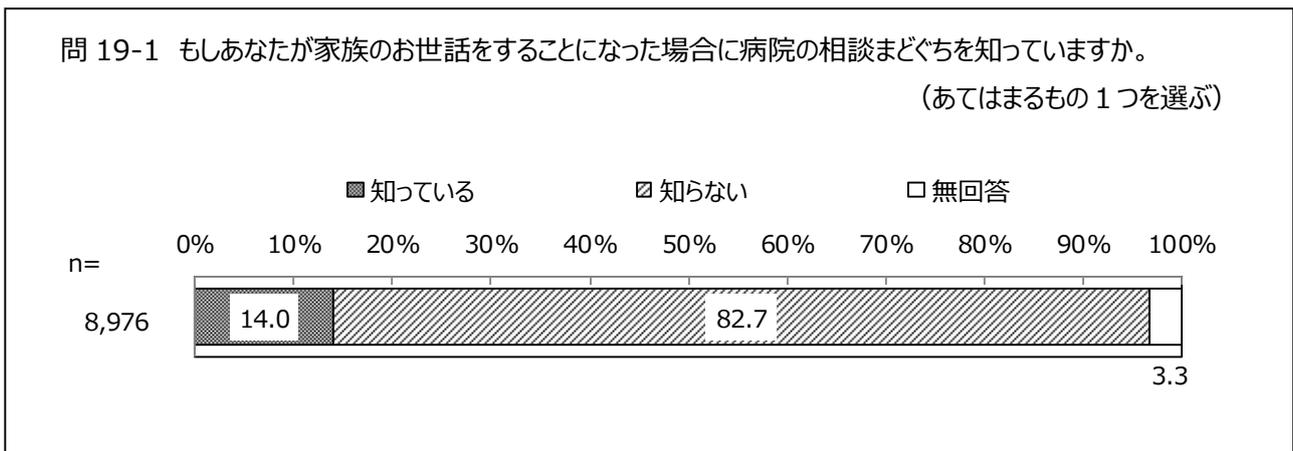
家族のお世話をすることになった場合に想定できる大変さは、「体がつかれると思う」が49.4%で最も高く、次いで「もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい」(40.5%)、「心がつかれると思う」(34.4%)となっている。一方、「特に何も感じないと思う」は16.2%だった。

(7) 役所の相談窓口の認知度



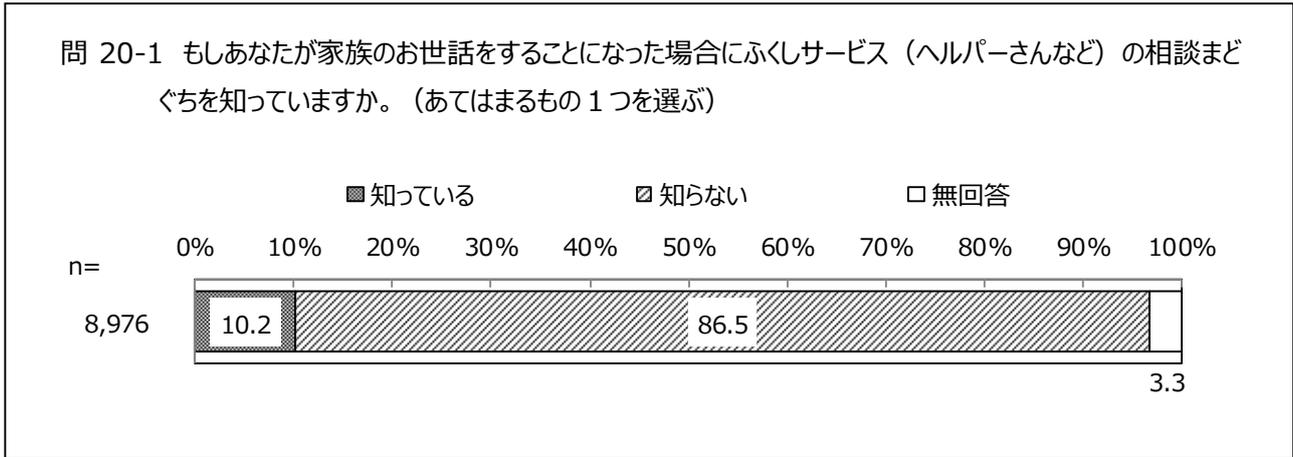
役所の相談窓口の認知度は、「知っている」が16.7%、「知らない」が80.3%となっている。

(8) 病院の相談窓口の認知度



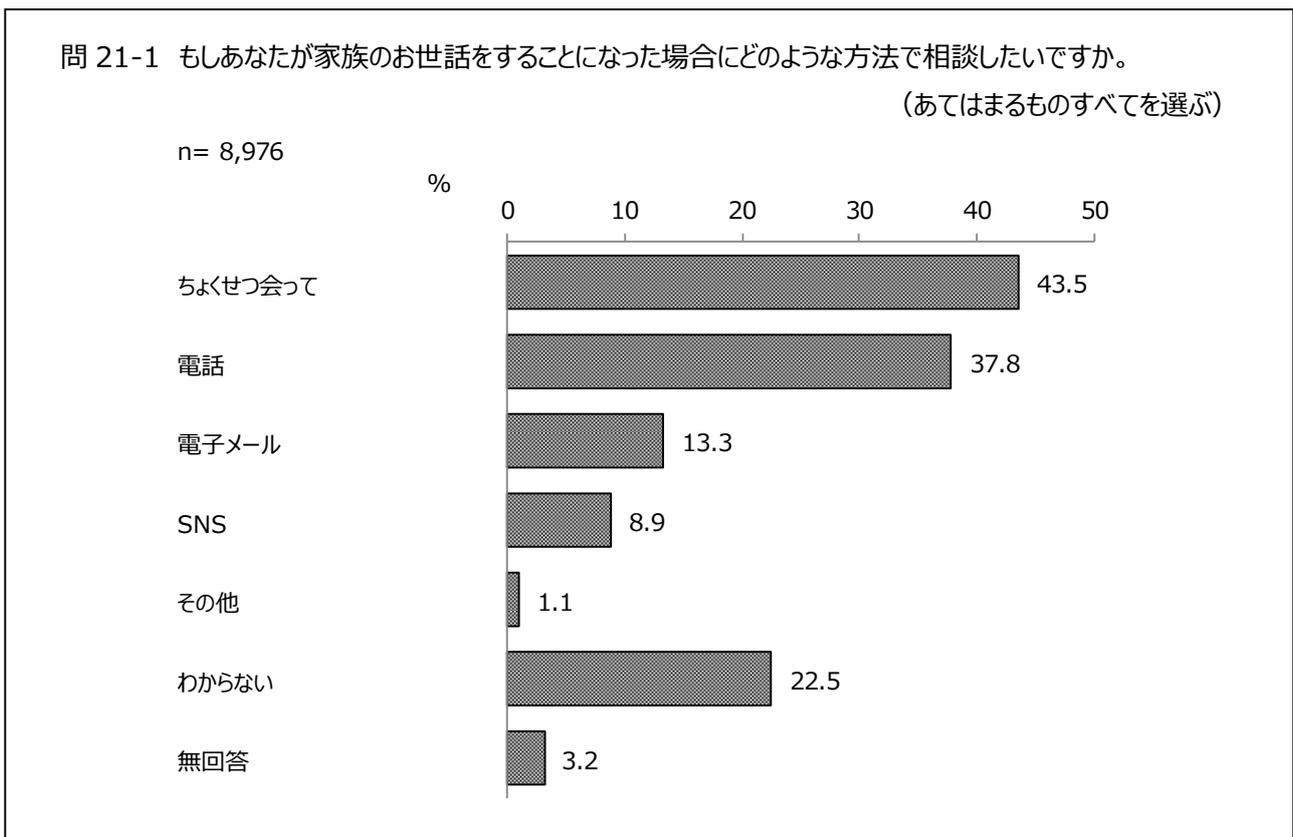
病院の相談窓口の認知度は、「知っている」が14.0%、「知らない」が82.7%となっている。

(9) 福祉サービスの相談窓口の認知度



福祉サービスの相談窓口の認知度は、「知っている」が 10.2%、「知らない」が 86.5%となっている。

(10) 家族のお世話をすることになった場合に希望する相談方法

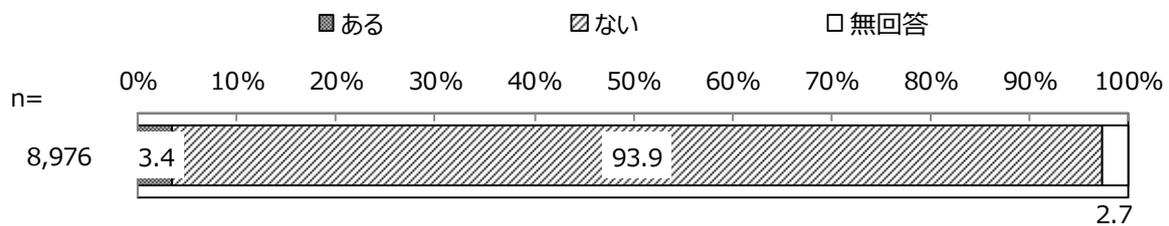


家族のお世話をすることになった場合に希望する相談方法は「ちよくせつ会って」が 43.5%で最も高く、次いで「電話」(37.8%)、「電子メール」(13.3%)、「SNS」(8.9%)となっている。「わからない」は 22.5%だった。

5 家族のお世話をしている友人について

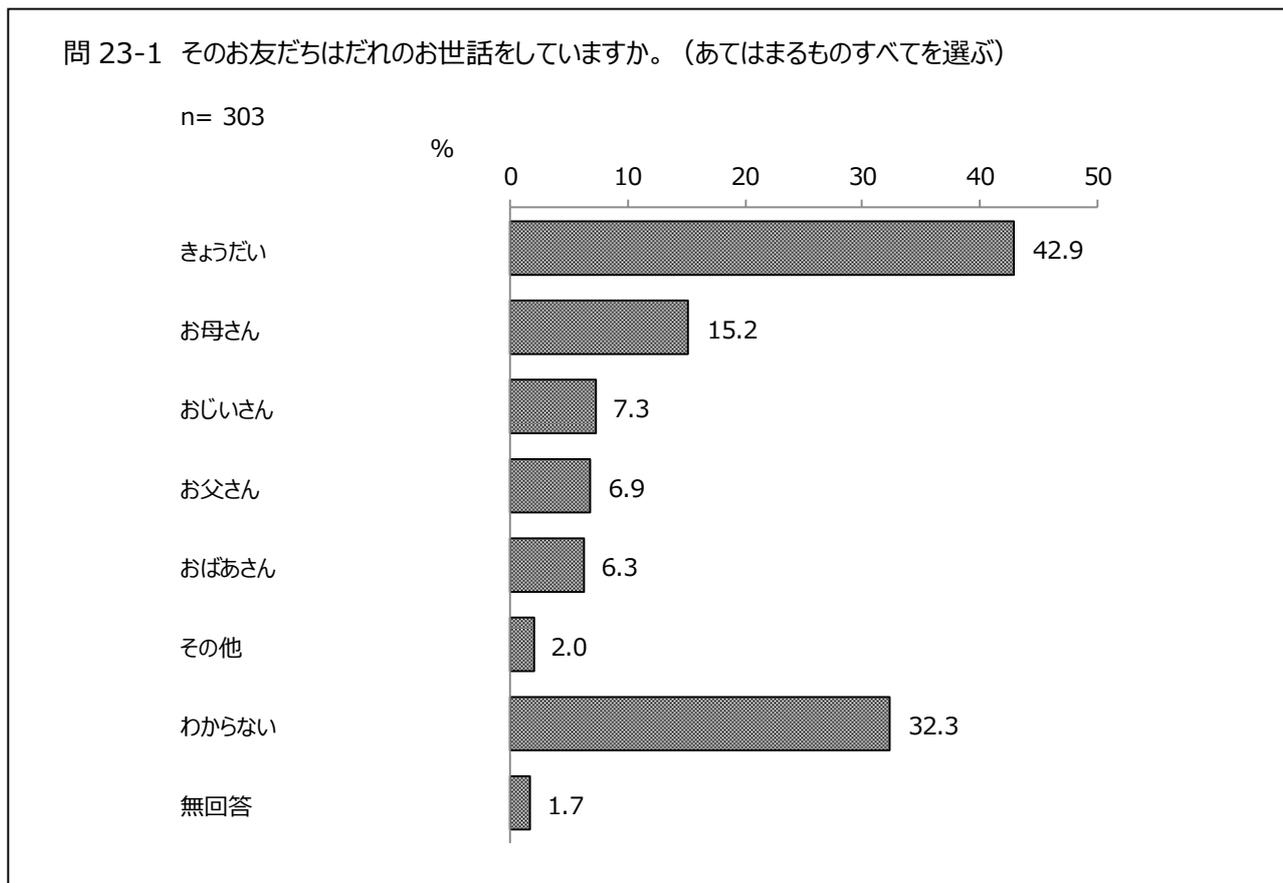
(1) 友人からのお世話についての相談の有無

問 22-1 あなたはお友だちが家族などのお世話をしている話を聞いたことやお世話について相談を受けたことがありますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)



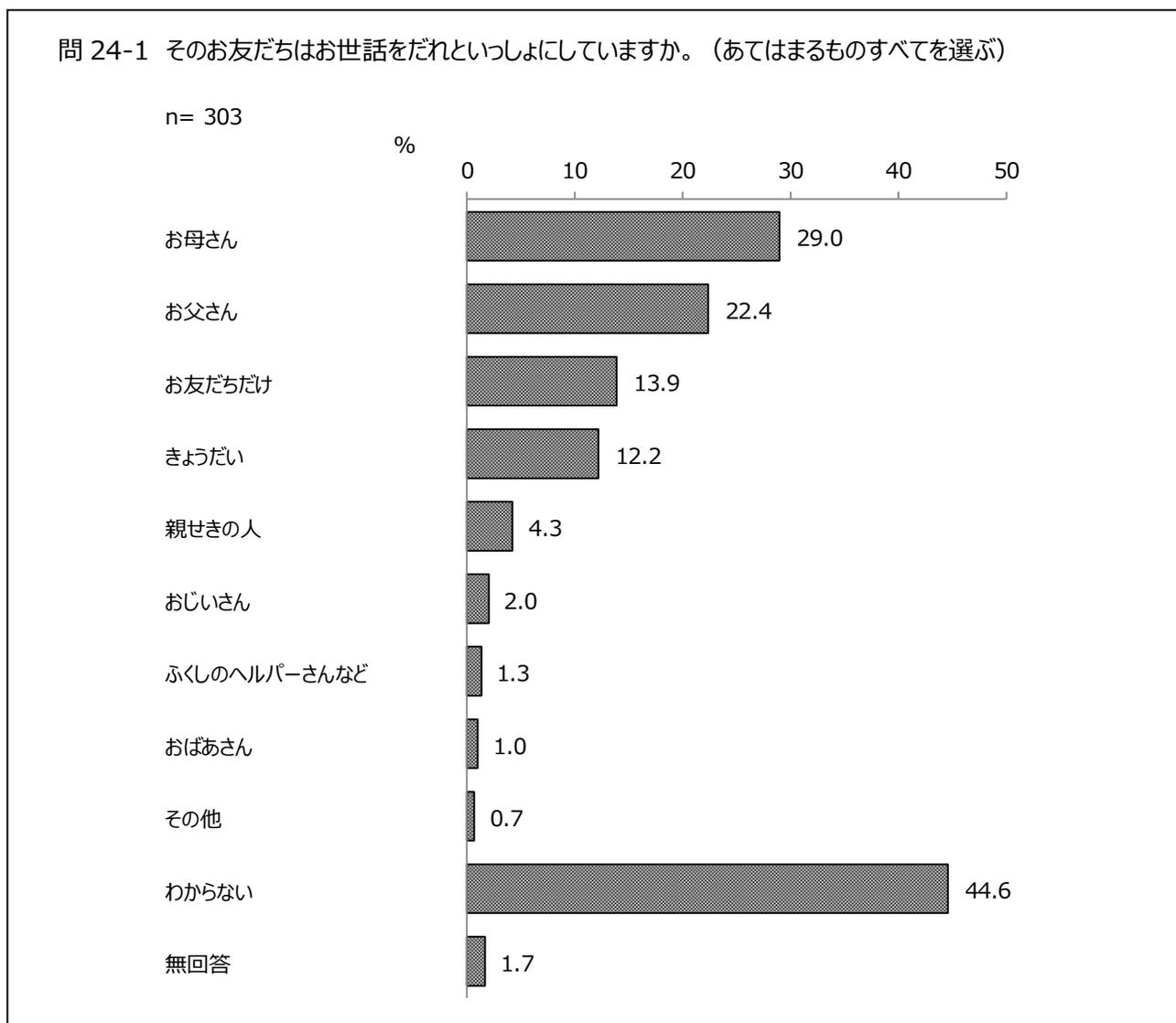
友人からのお世話についての相談の有無は、「ある」が3.4%、「ない」が93.9%となっている。

(2) お世話をしている友人のお世話をしている人



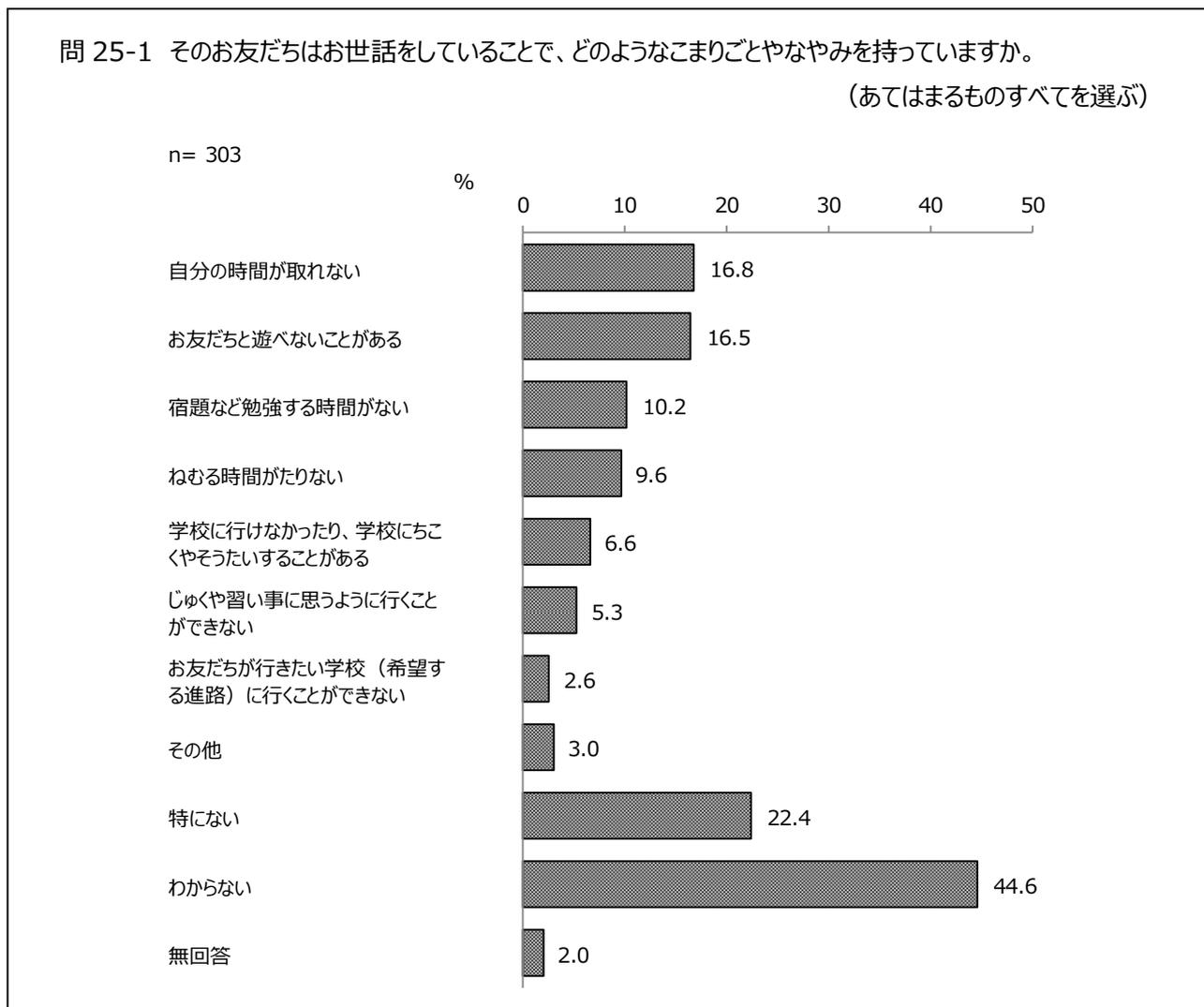
お世話をしている友人のお世話をしている人は、「きょうだい」が42.9%で最も高く、次いで「お母さん」(15.2%)、「おじいさん」(7.3%)、「お父さん」(6.9%)となっている。「わからない」は32.3%だった。

(3) お世話をしている友人と一緒に世話をしている人



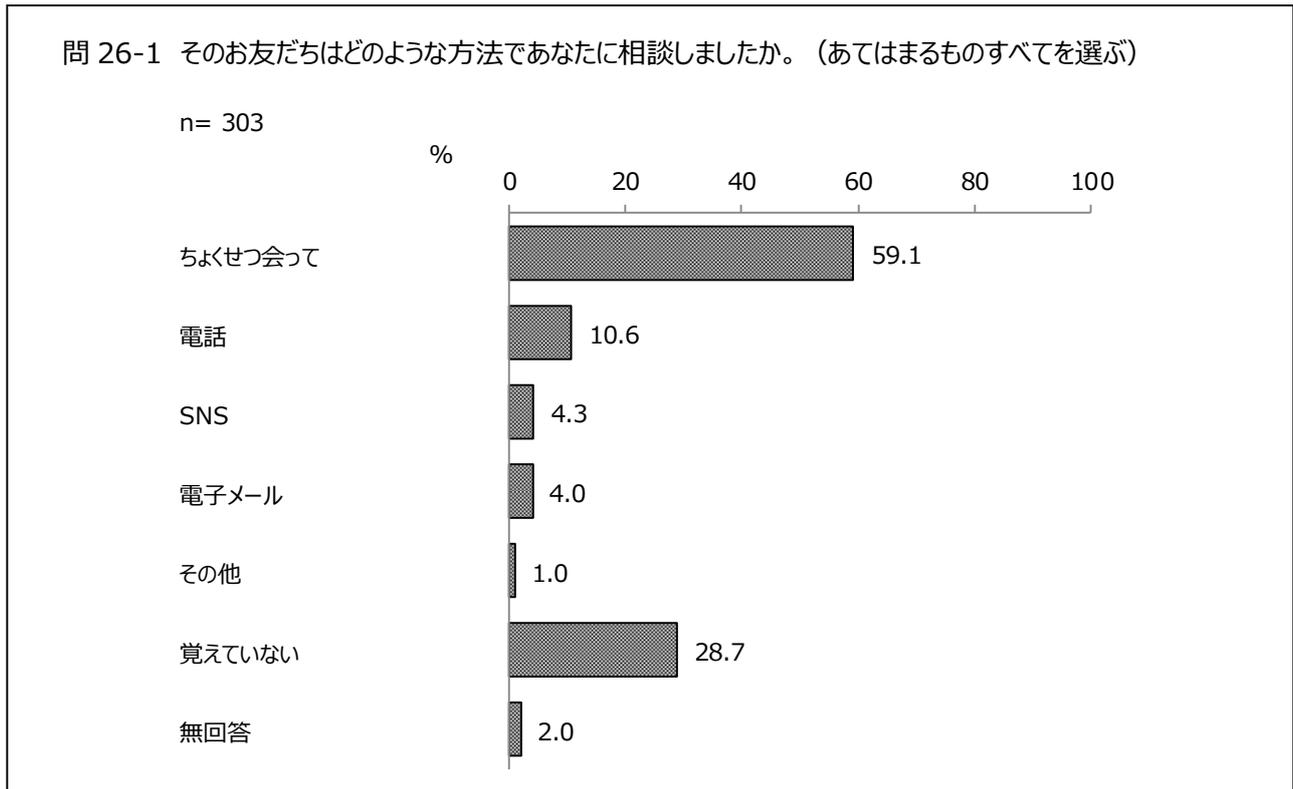
お世話をしている友人と一緒に世話をしている人は、「わからない」が44.6%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「お母さん」が29.0%で最も高く、次いで「お父さん」(22.4%)、「お友だちだけ」(13.9%)、「きょうだい」(12.2%)となっている。

(4) お世話をしている友人のお世話についての困りごとや悩み



お世話をしている友人のお世話についての困りごとや悩みは、「わからない」が44.6%、「特にない」が22.4%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「自分の時間が取れない」が16.8%で最も高く、次いで「お友だちと遊べないことがある」(16.5%)、「宿題など勉強する時間がない」(10.2%)となっている。

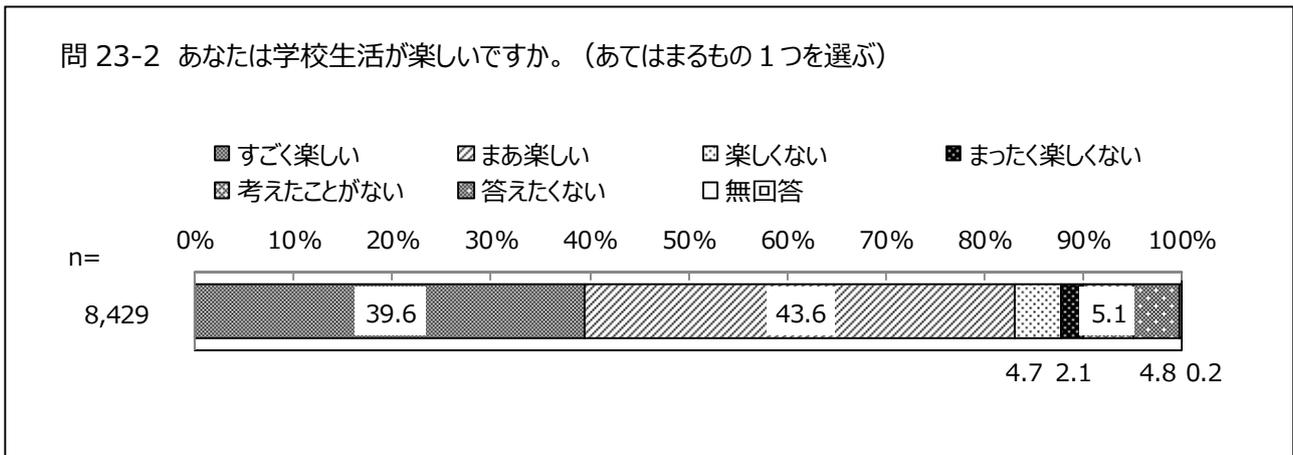
(5) お世話をしている友人からの相談方法



お世話をしている友人からの相談方法は、「ちよくせつ会って」が59.1%で最も高く、次いで「電話」(10.6%)、「SNS」(4.3%)、「電子メール」(4.0%)となっている。「覚えていない」は28.7%だった。

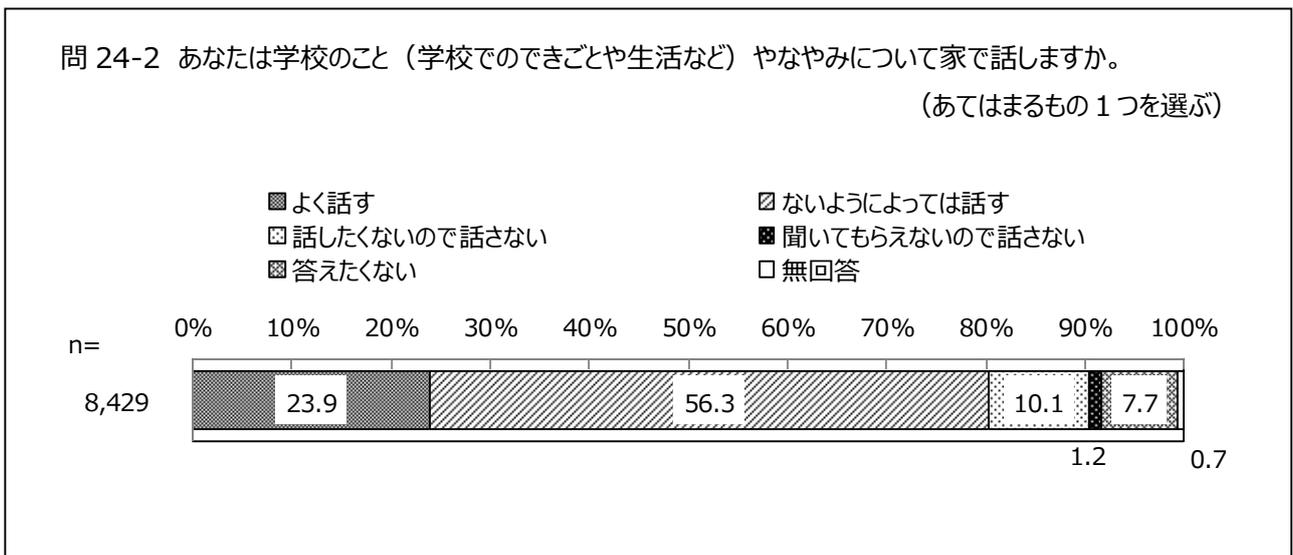
6 日常生活について

(1) 学校生活の満足度



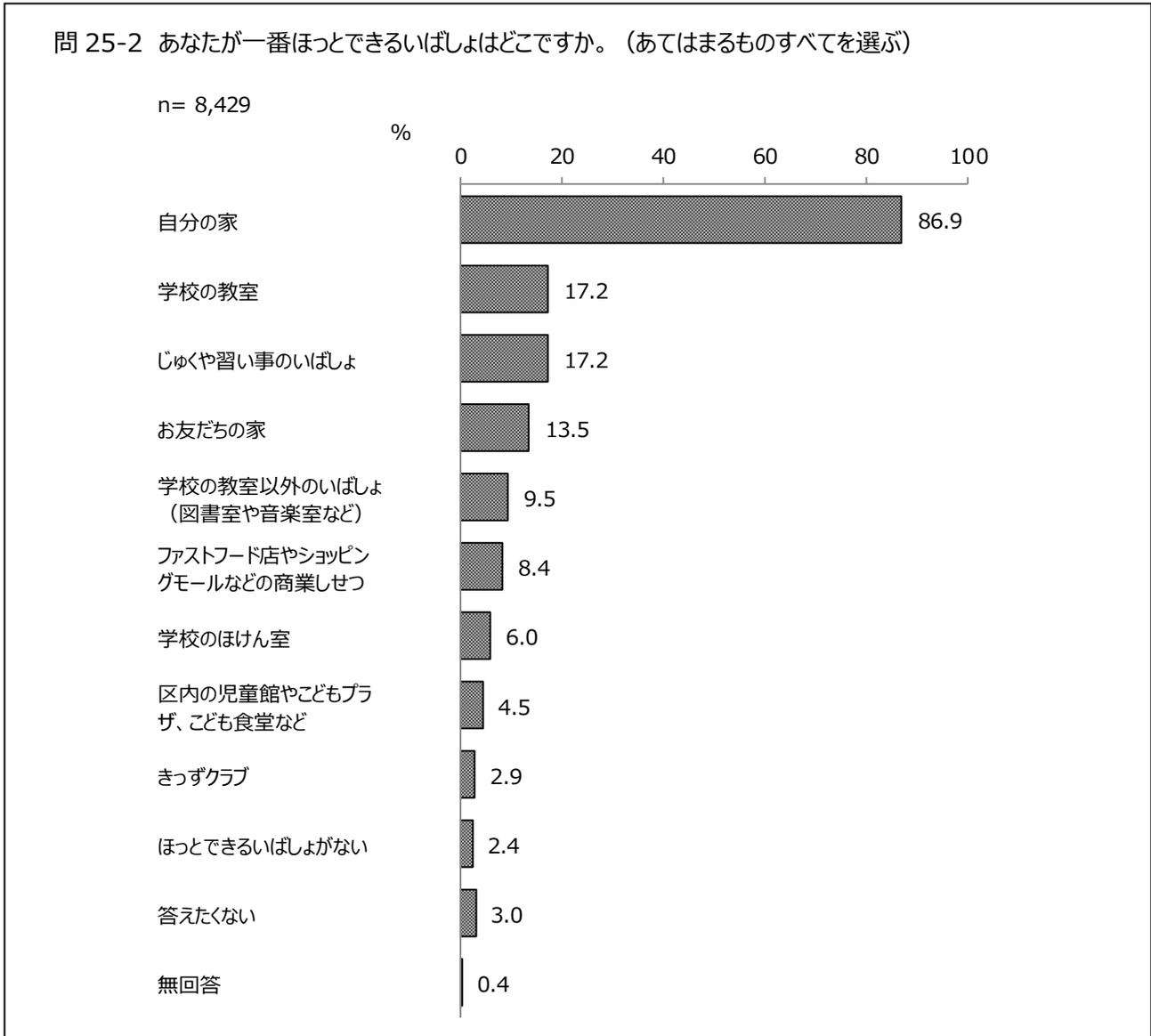
学校生活の満足度は、「まあ楽しい」が43.6%で最も高く、次いで「すごく楽しい」(39.6%)、「考えたことがない」(5.1%)となっている。

(2) 学校生活での悩みを家庭で話すか



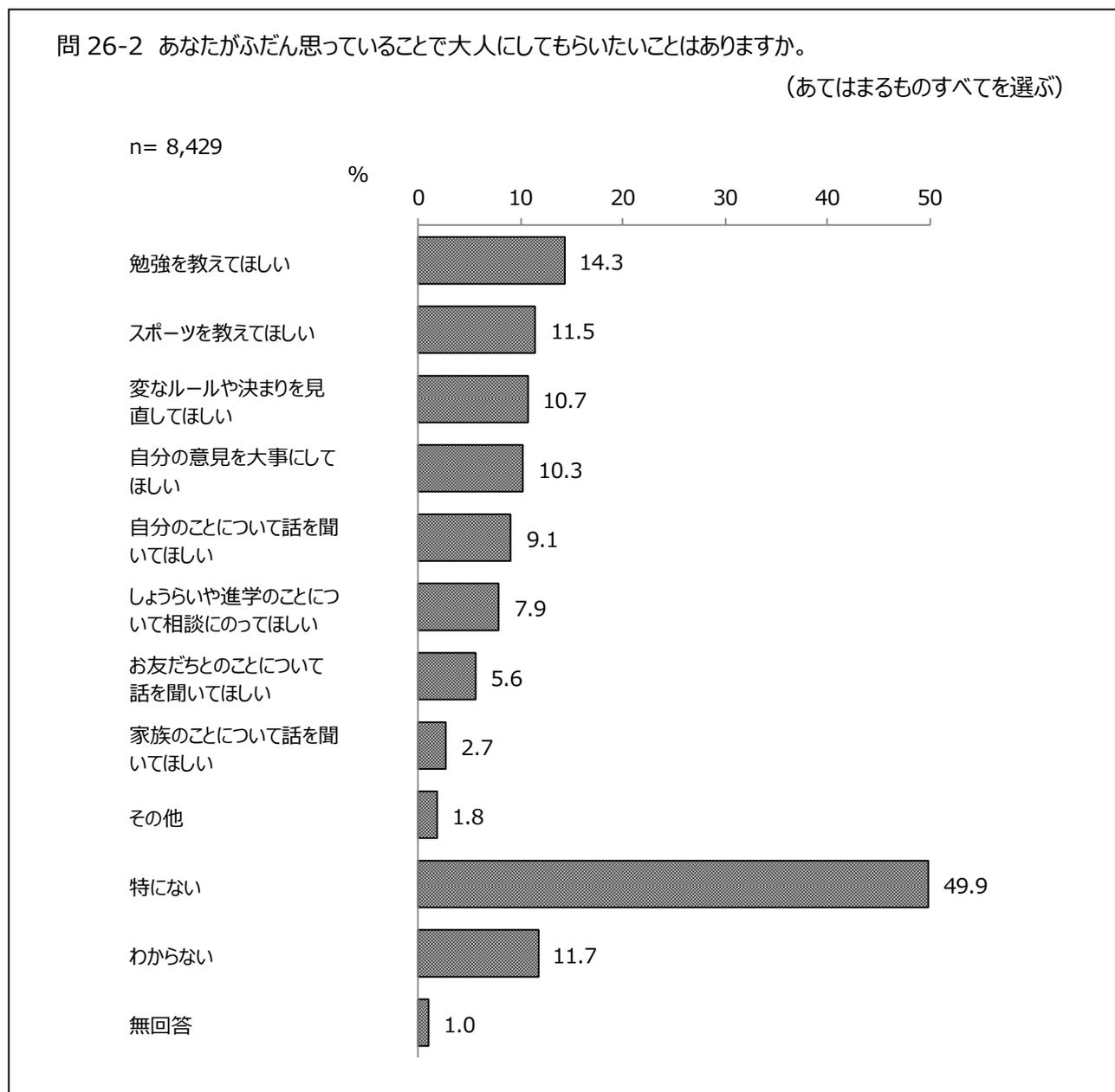
学校生活での悩みを家庭で話すかは、「ないようによつては話す」が56.3%で最も高く、次いで「よく話す」(23.9%)、「話したくないので話さない」(10.1%)となっている。

(3) 一番ほっとできる居場所



一番ほっとできる居場所は、「自分の家」が 86.9%で最も高く、次いで「学校の教室」(17.2%)、「じゅくや習い事のいばしょ」(17.2%)、「お友だちの家」(13.5%)となっている。

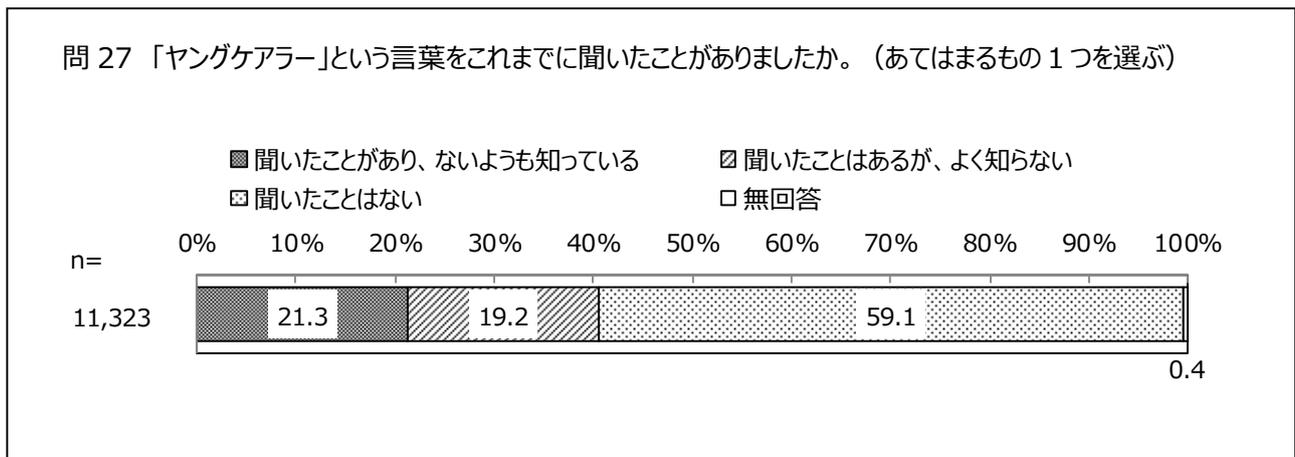
(4) ふだん思っていることについて大人にしてもらいたいこと



ふだん思っていることについて大人にしてもらいたいことは、「特にない」が 49.9%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「勉強を教えてほしい」が 14.3%で最も高く、次いで「スポーツを教えてほしい」(11.5%)、「変なルールや決まりを見直してほしい」(10.7%)となっている。

7 ヤングケアラーについて

(1) 「ヤングケアラー」の認知度



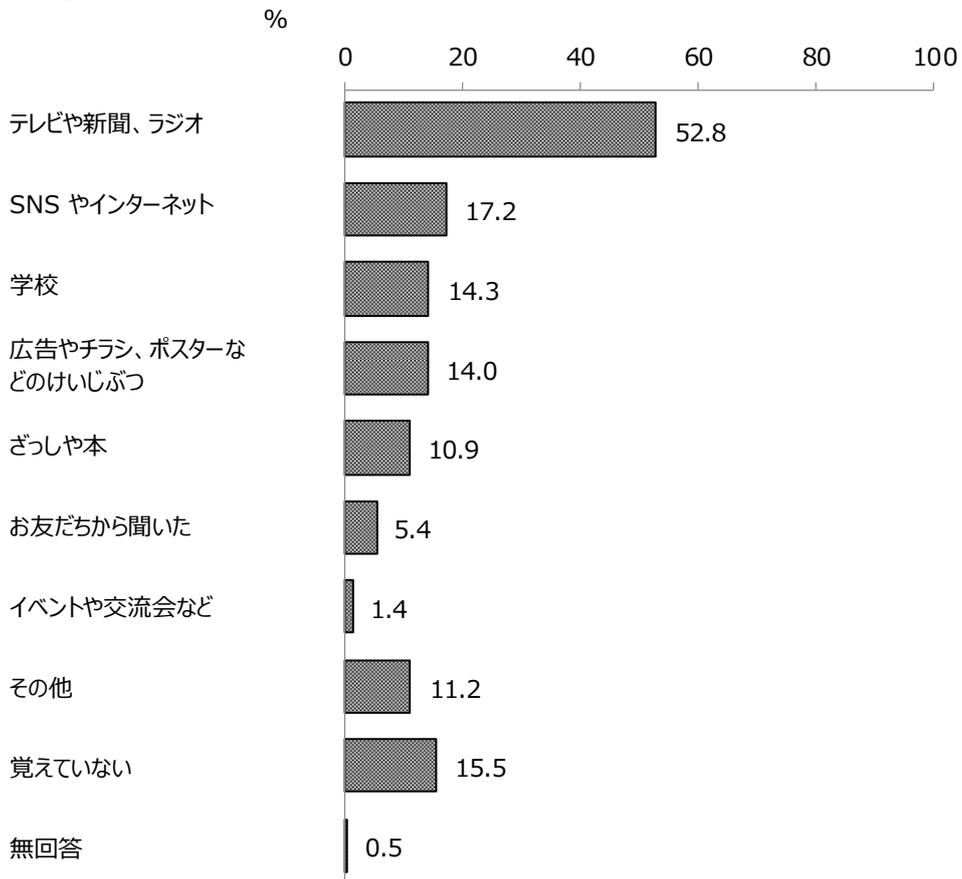
「ヤングケアラー」の認知度は、「聞いたことはない」が59.1%で最も高く、次いで「聞いたことがあり、ないようも知っている」(21.3%)、「聞いたことはあるが、よく知らない」(19.2%)となっている。

(2) 「ヤングケアラー」について知ったきっかけ

(問 27 で「聞いたことがあり、ないようも知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた人にお聞きします。)

問 28 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

n = 4,587



「ヤングケアラー」について知ったきっかけは、「テレビや新聞、ラジオ」が 52.8% で最も高く、次いで「SNS やインターネット」(17.2%)、「学校」(14.3%)、「広告やチラシ、ポスターなどのけいじぶつ」(14.0%)となっている。「覚えていない」は 15.5% だった。

(3) お世話をしている子どものために必要だと思うこと※自由意見

問 29 家族のお世話をしている子どものために必要だと思うことや学校やまわりの大人にしてもらいたいこと、あなたがお世話をしていることでこまっていることなどを自由に書いてください。
(みなさんの名前や家族の名前、住所、学校の名前は書かないでください。)

以下、原文掲載を基本としつつ、一部編集・抜粋の上掲載。

①家族のお世話をしている子どもにとって、必要だと思うこと

- ・お世話の時間をなくすということはできないかもしれないけれど、自分だけの時間も大切にしてほしいです。そして、ストレスをかかえないでほしいです。
- ・家族のお世話をしている人は、自分1人の時間がなかったり、友達との時間がないから、お世話をしている中でも自分の時間を作ったり、友達との時間があってもいいと思う。
- ・家族のお世話をしている子どものために必要だと思うことは、勉強をする時間です。なぜなら、勉強することで、将来の夢がかなうからです。
- ・その子供達が気を許せる場所などがあつたら心地が良いのかなと思います。
- ・必要最低限のことは絶対に補助してあげる。(もしできていない場合) また、体や心が疲れているので少しでも休憩できるような環境を作って欲しい。
- ・子供が大人のお世話をつきっきりで頑張るのではなく、周りの大人や身近にいる人などに相談して一人で抱え込まないようにするのが良いと思う。
- ・先生などがそれに気づいてあげてその子の相談に乗ったり少しでもいいから支援してあげれば良いと思う。
- ・月に一回など心理カウンセラーなどに話を聞いてもらい自分の思いの丈を話す。それだけで心が楽になると思います。
- ・相談窓口を増やす。ヤングケアラーの子どもたちにも目が付きやすいようにポスターやテレビで相談することができるよということを伝える。
- ・お世話をしている子供が、安心して相談できる場所があるといいと思います。また、その子供が同じ境遇を受けている子供に会えて話せる場を作れば良いと思います。
- ・本当に気軽に相談できる所。メールや電話、SNS だと携帯電話を持っていない人はできないから、もっと誰でもできるような相談所。
- ・スクールカウンセラーという名前や、カウンセラーの人の雰囲気から相談しにくいから、もっと相談しやすい雰囲気にとすると良いと思います。
- ・補助金をだして生活を保護してあげたり、お世話をしている子がしっかりと学校に学びにこれるようになったほうが良い。お世話している子の心のケアも周りの大人がしてあげたほうがよいと思う。
- ・国がお金の支援をする。その子供がお金の面で、大学に行けない、食費が足りないなどをなくしてほしい。大人たちがヤングケアラーに対して偏見をなくすことも重要だと思う。
- ・介護が必要な人がいる家庭に補助金の援助や食料品の配給などの支援が必要だと思います。
- ・家族の世話をしている人には専属のヘルパーさんを支給したほうが良い。その事によって子供の時間はできるし、ほとんど自分でやるということが少なくなると思うから。それに誰とも話せなくて困っていた人のためにもなりそうだからです。

<ul style="list-style-type: none"> ・家族のお世話をしている学校に連れていけないならヘルパーを無料でやったりしてほしいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・その子供が最低限に友だちと遊んだり勉強のできる時間を作れるよう一時的にお世話を代行してもらえるところを用意する。
<ul style="list-style-type: none"> ・お世話するときの費用などを免除したり人を派遣したりなど、金銭的な面だけでなく人手不足などの現実も見てほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・海外ではヤングケアラーである子供たちのためのお祭りやイベントがあると聞いたことがあるので、それを日本でも導入してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・周りが気づいてあげないと気づかないケースが多いと思うので半年に一回などにこのようなアンケートを送る。また答えない子もいると思うのでこのようなアンケートに相談窓口や施設の連絡先を書いておく。
<ul style="list-style-type: none"> ・子供と一人の親だけのところに介護が必要ないかなどを重点的に調べる。
<ul style="list-style-type: none"> ・お世話をしている好きな学校に進学できる制度が必要だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・家族のお世話をしている人で学校に行けない人がいたら、オンライン学習や宿題を届けるなどの処置をしてほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・学習の遅れをサポートしたり、ヤングケアラーの子自身がやりたいことをサポートしてほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠時間が足りないときは保健室で休ませてあげてほしい。宿題の量や叱り方を配慮してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の関係者が調査し、周りの大人はこまめに家に行ってどのような状態なのか確認する。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校などで積極的にヤングケアラーの理解を深めるための授業などをしたほうがいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・その子が安心できるような大人がすぐそばにいてくれば良いと思う。そういう状況ということを含めて担任が知ってあげてほしいと思う。学校で友達などにその子が傷つく言葉を言われないように友達の親が「こういう子もいるんだよ。」と教えてあげれば良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・相談してきた友達は一りで妹のお世話をしていたから、家族（親）や周りの人がその子の大変さに気づいたほうがいいと思うし、学校のカウンセラーも聞くだけで何をやるわけじゃないから考えたほうがいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・周りの人からの気遣い（優しく接することや、そのことについて問い詰めたり、話題にしないことなど）。
<ul style="list-style-type: none"> ・まずは自分の身の回りの人で困っている人がいたら気にかけてあげてほしい（その人が嫌にならない程度で）。そしてその人に「あなたは孤独ではない」とおしえてあげてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラーというものを学校の生徒が理解すること。
<ul style="list-style-type: none"> ・疲れたような顔をしてたらなんとなく話しかけてみる。子供がお世話をしていることを知ったら、少しでも手伝えるように努力する。
<ul style="list-style-type: none"> ・他の大人やその人の友だちが一人にしないように寄りそってあげる。
<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に遊ぶ。話を聞いてあげる。そばにいてあげる。なぐさめる。元気づける。

②経験談、要望・求める支援（お世話をしている家族がいると回答した児童の意見）

<p>・妹に、わがまま言ったらお母さんがつらくなっちゃうから言ったらだめと言っても、妹はわがままを言うのをやめないし、最近僕が学校から帰って来ても、お母さんが布団にくるまって横になってることが多く、学校の話も聞いてくれなくなった。</p>
<p>・弟が言うことを聞かない。送り迎えしてるのに感謝しないし、「お迎えお母さんがよかった」と言ったりするから心が痛い。</p>
<p>・弟がうるさくて勉強に集中できない。</p>
<p>・きょうだいのお世話をして、つい怒鳴ったりしてしんどい。</p>
<p>・妹は小さいので自由に遊べる時間が多いですが、わたしは大きいので、自分のためだとはわかっているけど、妹と比べてしまうことがあります。</p>
<p>・弟が障害をもっていて話しができないし手話もできないから弟の気持ちを考えると切ない。</p>
<p>・親は仕事で忙しくて兄や妹はあまり面倒をしてくれなくて、自分一人で世話をすることが多くなってきた。</p>
<p>・母が日本語は、よくわからないので時々通訳や電話の手伝いをしなくてはならないので、宿題や塾が終わったあとに言われると少し疲れることがある。</p>
<p>・親が妹の相手をしないので代わりにやっていると疲れる。</p>
<p>・お母さんが夜まで働いてるし、お父さんが違う所で働いてるから自分でやることが多いから、学校から帰って来たらお母さんがいてほしい。</p>
<p>・色々、おじいちゃんのお世話をしていると違うんだよそうじゃないんだよとよく怒鳴る。おじいちゃんの病院があるからカバンを持ってついていってあげるときも、色んな人によく怒鳴るから、恥ずかしいし、なんか悲しい。</p>
<p>・してもらいたいことはない。ただ、世話をすると自分の時間がなくなるから、その分自分の時間は夜にとっているので睡眠時間が4時間ぐらいだということ。</p>
<p>・私みたいに大変な思いをしてる人もいます。なにかに楽しみを作ってあげたり、心を思ったり、とにかく人の思いやりの気持ちに感謝して、自分や兄弟などと協力したら助かると思います。</p>
<p>・私は、家族が嬉しくなっていればいいのでお世話することも好きなので、辛いと思ったことは一度もありません。</p>
<p>・僕も家族の役に立ちたいし、家族に褒められたいからです。</p>
<p>・僕は大丈夫ですが、他の子がお世話をしているなら、お世話をするのは良いことだけれど、自分が体調不良にならないようにしてほしいです。</p>
<p>・一人になりたいときにあまり一人になれない。</p>
<p>・自分だけの自由な場所が欲しい。狭くても広くてもいいから誰にも邪魔されない自分だけの自由な場所で羽を伸ばしたい。</p>
<p>・できないことも多いからその点はやってほしい。心や体がつかれたときはちゃんと自由に休んで好きなことをしたい。</p>
<p>・話を聞いていると、限られてる自分の自由な時間が減っていることが気になるが、なかなか切り出せなくて、心が疲れる。</p>
<p>・自分の時間を確保できること。ストレスを溜め込みすぎない環境があることが必要だと思う。</p>

・必要なものは自由の時間だと思います。理由はお世話するばかりではなく、ときには息抜きをしたほうがストレスもたまらない思ったからです。
・心のイライラを発散するための場所がほしい。
・自分自身が壊れていく様な感覚がするから、少しだけでも良いから話を聞いてほしい。
・自分の進路などのことについて相談をしてほしい。
・一人じゃ手に負えないときもあるので助けを求めたときは助けてほしい。
・学校の友達が「今日遊べる？」や「今日一緒にゲームできる？」などを聞いて、帰りが遅くなって弟の保育園の迎えが遅くなったりすることがあるから、それをあまりきかないでほしい。
・お世話をしているのに、注意してくるのをやめてほしい。
・周りの子供、友達から知的障害があることで白い目を向けられたりするので、それをなくすようにする。
・国からの経済的支援をもっと充実させたほうがいい。
・勉強の時間を削っている人がいたら、わからないところをすぐに聞ける教室や先生を近くに置く。

③その他

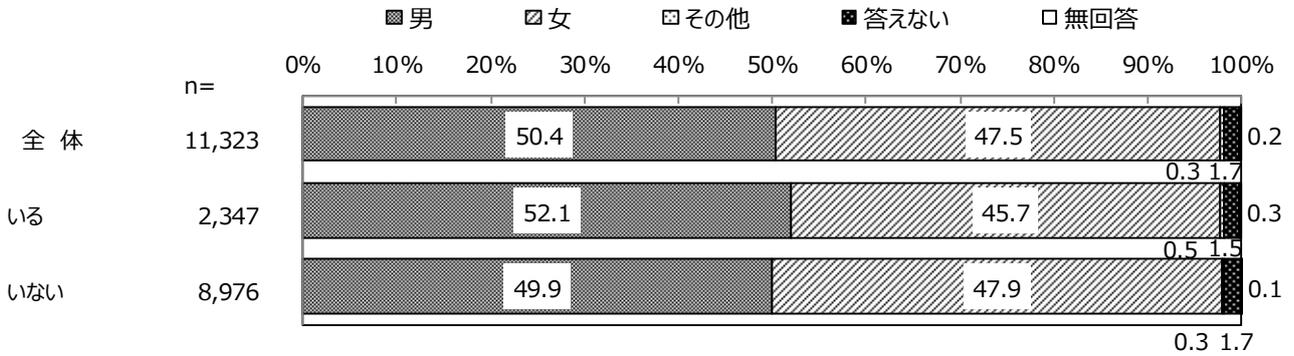
・ヤングケアラーの人を表面化するためにそのような人たちが自分がそういう状況に置かれているということを自覚できるような状態を作っていかなければならないと思います。
・ヤングケアラーは自分自身でヤングケアラーだと気づかないケースが多いようなのでそれを本人に気づかせる事が大事だと思う。また、あまりヤングケアラーということが周りに目立たないよう配慮して相談するなどの優しい対応をしていくべきだと思う。
・まずヤングケアラーについて知っている人が周りにも少ない印象があるので、ヤングケアラーについて知っている人を増やす活動をすべき。
・ヤングケアラーになってしまうことで具体的にどのような負担がかかってしまうかについての説明。
・自分のやりたいこと（進路、将来の夢など）をしっかりとやらせてあげることが大切だと思います。
・子供はちゃんと育ててもらえる権利があると思う。お世話をするのは大人になってからじゃないのかな。
・子供に任せるのではなくどうかしておとなにお世話は担えるようにしたほうが良いと思う。
・自分がしたいことを遠慮なくしてほしいです。
・障害者や高齢者に優しい社会世界を作るとともに、お世話をしている人の負担ができるだけ小さくなる世の中が良いと思う。
・妹や弟のお世話をしている子供のために、親などは早く家に帰るなどすることが必要だと思います。
・高齢の人の介護などを子どもたちが一人で抱え込まないようにすること。
・心配したり、寄り添ってあげてほしい、どんなふうに傷ついているのかはその人にしかわからないから。

8 追加分析

(1) お世話をしている家族の有無別からみた回答者の属性、生活状況等

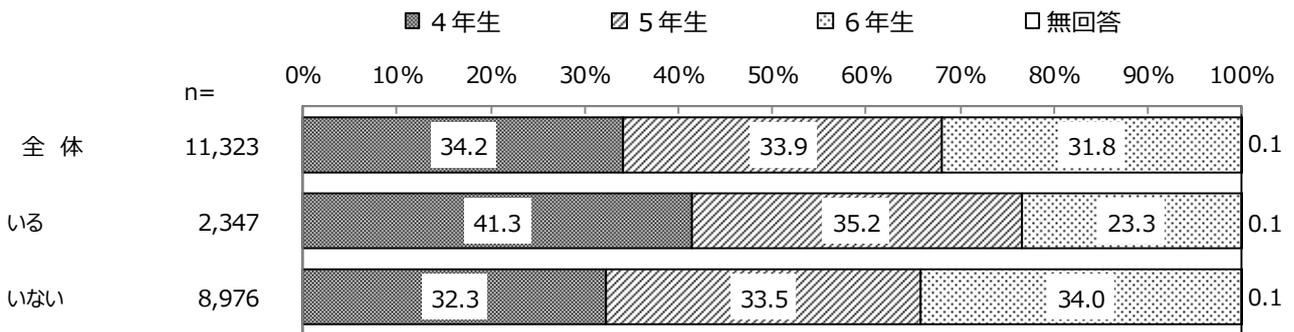
①性別

お世話をしている家族の有無別でみると、お世話をしている家族の有無で大きな差異はみられない。



②学年

お世話をしている家族の有無別でみると、「4年生」はお世話をしている家族が「いる」が「いない」よりも9.0ポイント高くなっている。



③同居家族

お世話をしている家族の有無別でみると、「弟」、「妹」はお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも10.0ポイント以上高くなっている。

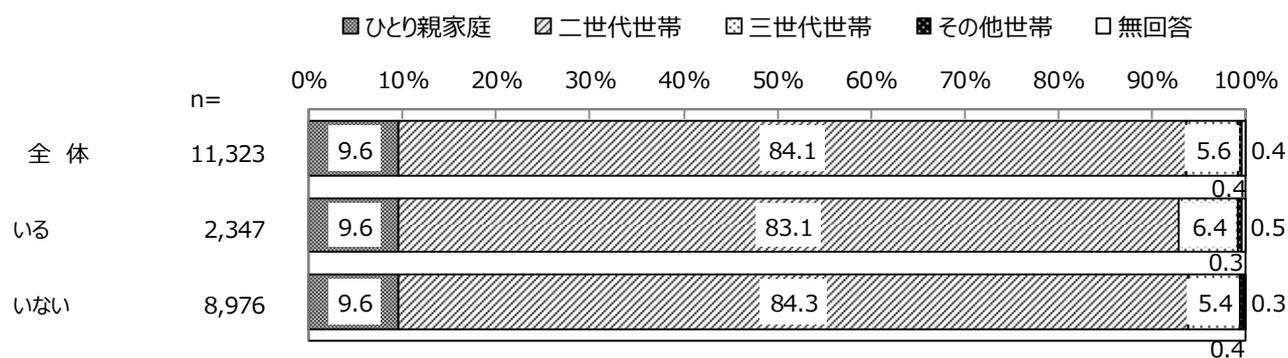
(%)

	調査数 (n)	お母さん	お父さん	弟	妹	お兄さん	お姉さん	おばあさん
全体	11,323	98.1	90.8	24.5	23.7	22.8	22.2	7.2
いる	2,347	97.8	91.0	37.4	36.1	17.9	17.2	8.6
いない	8,976	98.2	90.8	21.2	20.4	24.1	23.5	6.8

	調査数 (n)	おじいさん	その他	無回答
全体	11,323	4.1	1.2	0.4
いる	2,347	4.8	1.5	0.5
いない	8,976	3.9	1.1	0.3

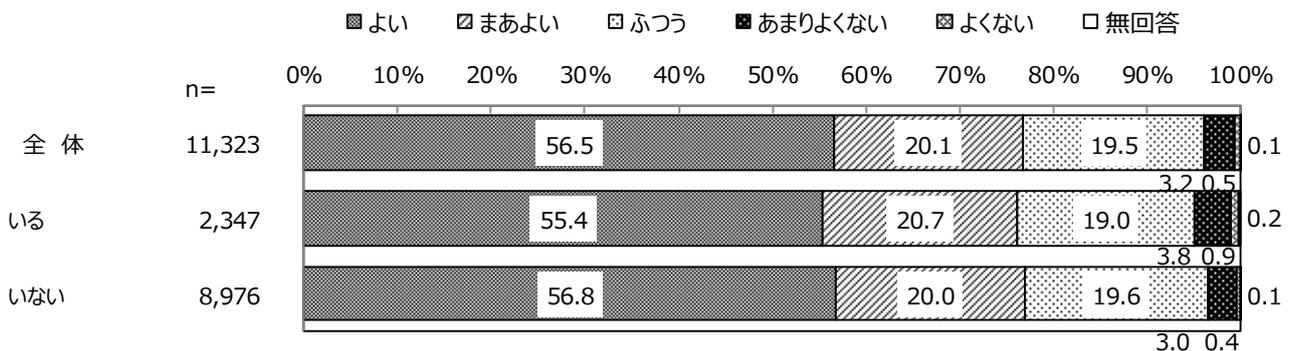
④家族構成

お世話をしている家族の有無別でみると、お世話をしている家族の有無で大きな差異はみられない。



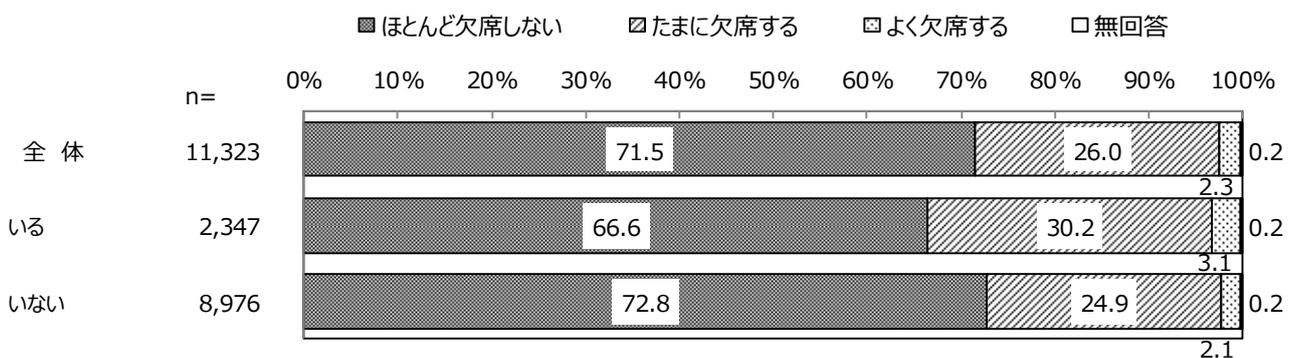
⑤健康状態

お世話をしている家族の有無別でみると、お世話をしている家族の有無で大きな差異はみられない。



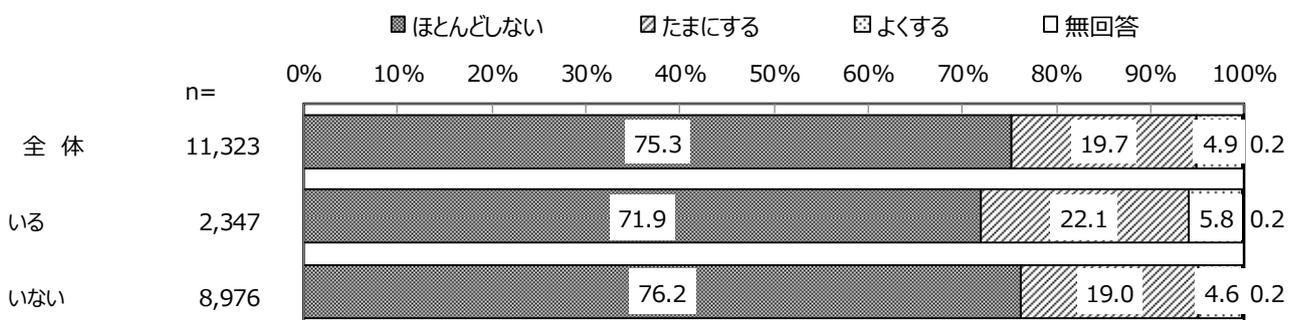
⑥学校への通学状況（出欠状況）

お世話をしている家族の有無別でみると、「たまに欠席する」はお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも5.3ポイント高くなっている。



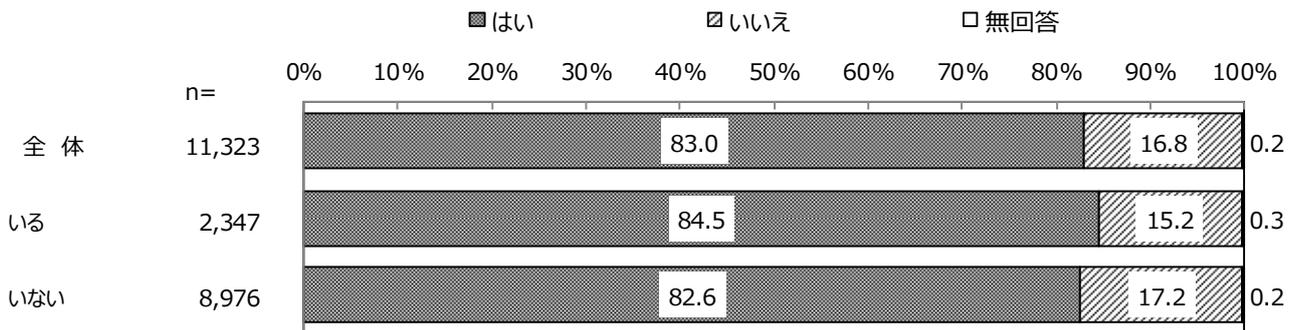
⑦学校への通学状況（遅刻や早退の状況）

お世話をしている家族の有無別でみると、「たまにする」はお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも3.1ポイント高くなっている。



⑧塾や習い事への参加状況

お世話をしている家族の有無別でみると、お世話をしている家族の有無で大きな差異はみられない。



⑨ふだんの学校生活などであてはまること

お世話をしている家族の有無別でみると、「ていしゅつぶつを出すのがおくれることが多い」はお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも 3.5 ポイント高くなっている。一方、「特にない」はお世話をしている家族が“いない”が“いる”よりも 7.6 ポイント高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	多持 い ち 物 の わ す れ 物 が	が 多 い お ゆ れ つ こ と	こ 宿 題 が 多 い き て い ない	り り お す る 時 間 が 少 ない	り お だ ち と 遊 ん だ い	こ 学 校 が 多 い 一 人 で い る	し じ ま う ぎ こ よ う が 多 い ね て	む じ こ ゆ と く が 多 い 事 を 休
全体	11,323	30.0	23.5	15.7	5.1	4.9	4.4	2.0	
いる	2,347	34.0	26.3	17.8	6.3	6.2	4.6	2.6	
いない	8,976	29.0	22.8	15.1	4.8	4.5	4.4	1.9	

	調査数 (n)	欠 席 す る	の し ゆ く が は く 旅 行 事 を ど	が ほ 多 い ん 室 に い る こ と	特 に ない	無 回 答
全体	11,323	1.9	1.3	52.2	2.3	
いる	2,347	3.6	1.8	46.2	2.2	
いない	8,976	1.4	1.2	53.8	2.3	

⑩現在の悩みや困りごと

お世話をしている家族の有無別でみると、「勉強や学校のせいせきのこと」はお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも7.5ポイント高く、「お友だちとのこと」もお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも5.7ポイント高くなっている。一方、「特にない」はお世話をしている家族が“いない”が“いる”よりも13.9ポイント高くなっている。

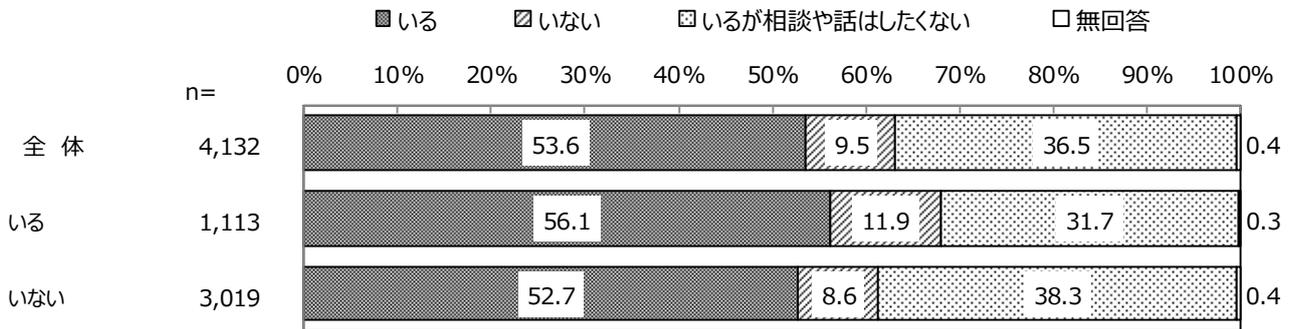
(%)

	調査数 (n)	勉強や学校のせいせき	進路(自分がきた)	お友だちとのこと	家族のこと	自分のために使える時間	生活や学校生活に必要なお金	くじや習い事に行
全体	11,323	16.2	14.9	14.2	6.9	5.5	3.1	1.2
いる	2,347	22.1	18.7	18.7	10.6	8.6	5.1	1.7
いない	8,976	14.6	13.9	13.0	5.9	4.7	2.6	1.0

	調査数 (n)	その他	特にない	無回答
全体	11,323	3.1	61.2	2.3
いる	2,347	3.7	50.2	2.4
いない	8,976	3.0	64.1	2.3

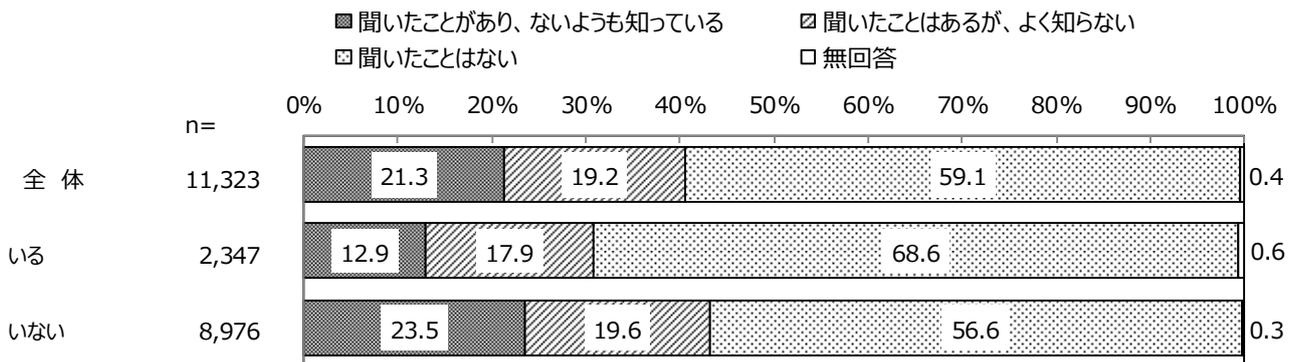
⑪相談相手の有無

お世話をしている家族の有無別でみると、「いる」、「いない」ともお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも3.0ポイント以上高くなっている。



⑫「ヤングケアラー」の認知度

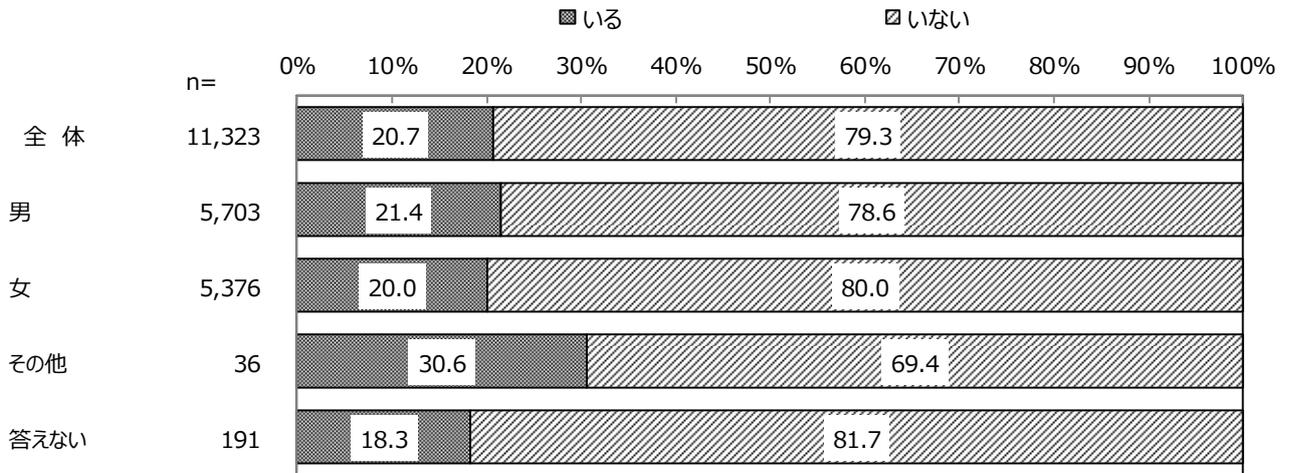
お世話をしている家族の有無別でみると、「聞いたことはない」はお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも12.0ポイント高くなっている。



(2) 性別からみたお世話の状況

①お世話をしている家族の有無

性別でみると、「いる」は男女で大きな差異はみられない。



②お世話を必要としている家族

性別でみると、「お母さん」、「お父さん」は男が女よりも5.0ポイント以上高くなっている。一方、「きょうだい」は女が男よりも5.2ポイント高くなっている。

	調査数 (n)	きょうだい (%)	お母さん (%)	お父さん (%)	答えたくない (%)	おばあさん (%)	おじいさん (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体	2,347	56.0	35.2	23.1	8.7	7.5	4.3	2.2	5.8
男	1,222	54.2	38.0	26.4	7.9	7.5	4.3	1.6	6.6
女	1,073	59.4	32.4	19.5	8.7	7.6	4.1	2.5	4.6
その他	11	45.5	36.4	27.3	18.2	18.2	9.1	9.1	18.2
答えない	35	28.6	28.6	20.0	28.6	2.9	5.7	5.7	8.6

③お世話の内容

性別でみると、「転んだり、あぶないことをしたりしないか見守る」、「こまりごとを聞く、話し相手になる」、「きょうだいのお世話やほいく園への送りむかえ」は女が男よりも5.0ポイント以上高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	家事（食事の用意や後かたづけ、そうじ、せんたく、買い物など）	転んだり、あぶないことを見守る	転がえたり、あぶないことの手伝いなど	着替えやおふろ・トイ	むかえ園への送り話	きょうだいの世話	こまりごとを聞く、話し相手になる	行きどきの手助けをする	病院や買い物、さん	ためたりする	薬を飲んだかたし
全体	2,347	39.6	31.9	23.8	20.5	16.4	12.2	4.9				
男	1,222	38.1	27.5	22.3	17.7	12.8	12.4	4.6				
女	1,073	41.2	37.1	25.9	24.0	20.4	11.8	5.2				
その他	11	54.5	36.4	27.3	27.3	18.2	27.3	18.2				
答えない	35	37.1	25.7	14.3	8.6	17.1	14.3	2.9				

	調査数 (n)	通やく（日本語を通やくしたりするなど）	家のお金のかんりを	その他	答えたくない	無回答
全体	2,347	3.0	2.7	4.0	10.5	6.6
男	1,222	2.5	3.2	4.0	12.4	8.0
女	1,073	3.6	2.1	3.9	7.6	4.9
その他	11	-	-	9.1	-	18.2
答えない	35	-	8.6	2.9	31.4	5.7

④お世話を一緒にしている人

性別でみると、「お母さん」は女が男よりも8.1ポイント高くなっている。

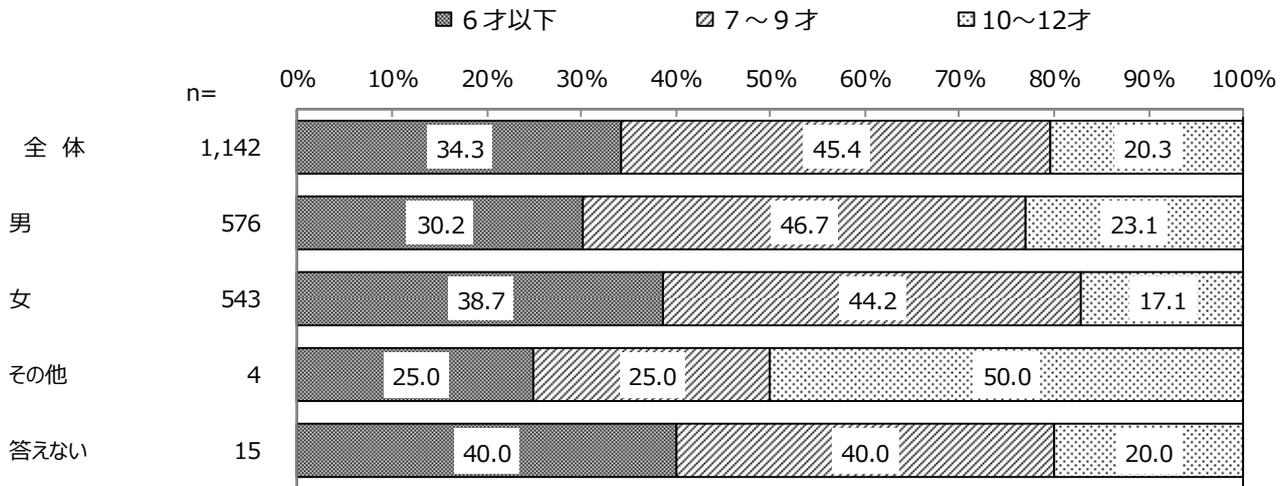
(%)

	調査数 (n)	お母さん	お父さん	きょうだい	自分だけ	おばあさん	おじいさん	親せきの人
全体	2,347	58.1	42.9	22.0	14.0	6.9	3.5	2.0
男	1,222	54.7	42.9	22.4	14.6	5.6	3.2	1.9
女	1,073	62.8	43.7	22.0	13.2	8.0	3.9	2.1
その他	11	45.5	9.1	-	18.2	9.1	-	9.1
答えない	35	40.0	31.4	14.3	14.3	11.4	2.9	-

	調査数 (n)	ふくしのヘルパーさんなど	その他	答えたくない	無回答
全体	2,347	0.8	1.5	10.3	6.5
男	1,222	0.7	1.6	11.2	7.9
女	1,073	0.9	1.5	8.6	4.6
その他	11	-	9.1	-	27.3
答えない	35	-	-	31.4	5.7

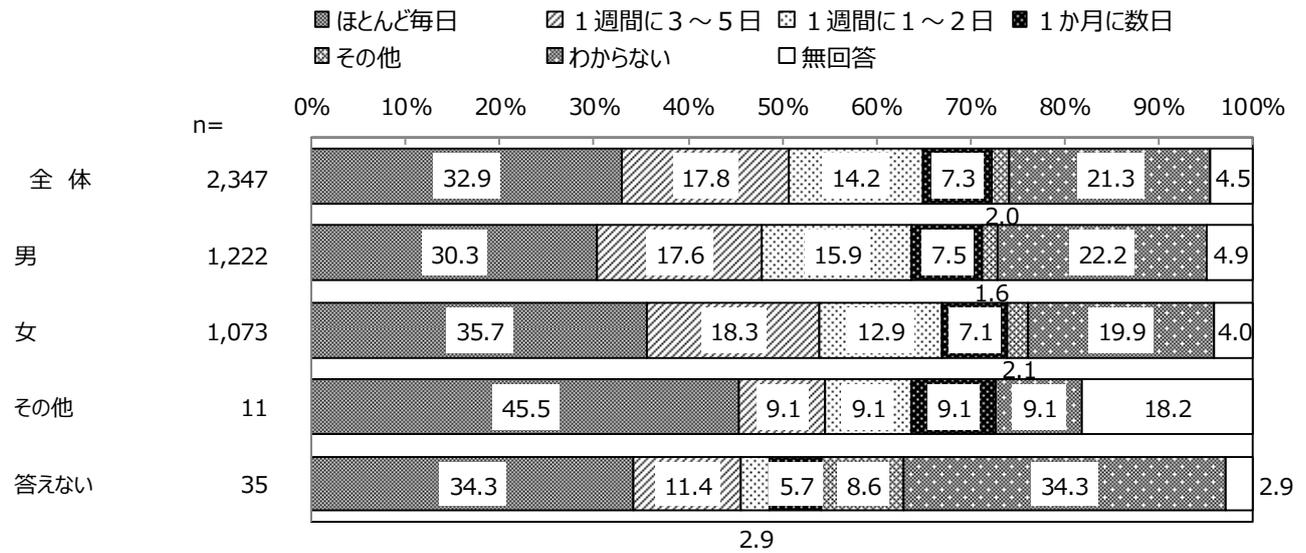
⑤お世話を始めた年齢（3区分）

性別で見ると、「6才以下」は女が男よりも8.5ポイント高くなっている。一方、「10～12才」は男が女よりも6.0ポイント高くなっている。



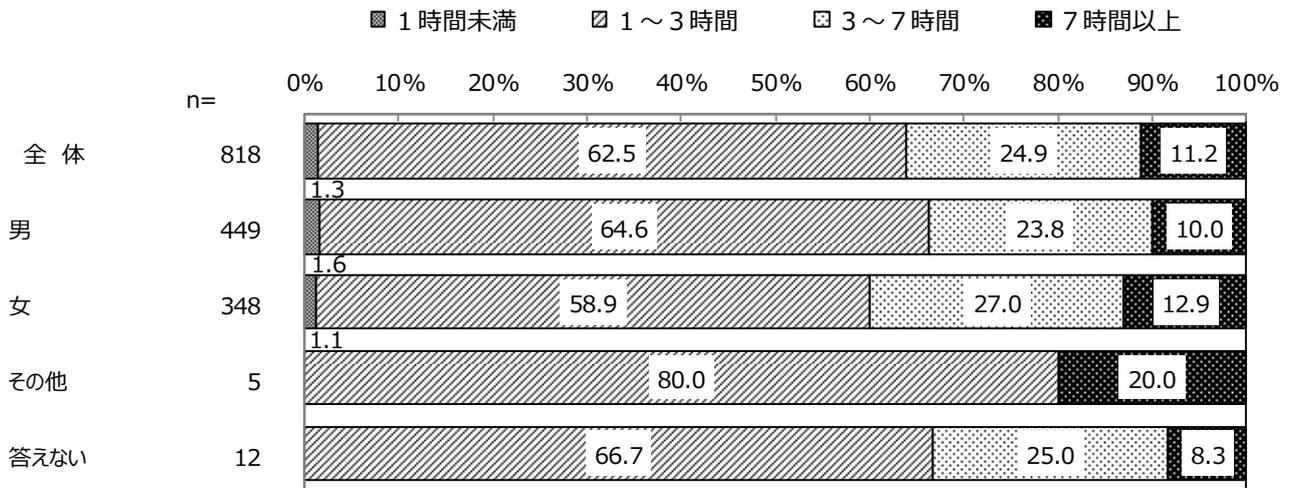
⑥お世話をしている頻度

性別で見ると、「ほとんど毎日」は女が男よりも5.4ポイント高くなっている。



⑦ 1日あたりにお世話に費やす時間

性別でみると、「1～3時間」は男が女よりも5.7ポイント高くなっている。一方、「3～7時間」は女が男よりも3.2ポイント高くなっている。



⑧ お世話による制約

性別でみると、男女で大きな差異はみられない。

	調査数 (n)	自分の時間が取れない	お友達があと遊べない	宿題など勉強する時間がない	ねむる時間がたりない	学校に行けなかつたり、学校にちこくやそうたい、学校にちこくがある	できない	じゆうくや習いごとが思う	行く希望がなくなる	自分が行きたい学校
全体	2,347	9.8	7.6	6.9	6.9	1.9	1.0	1.0	1.0	
男	1,222	9.8	7.4	6.8	6.9	2.2	1.6	1.3	1.3	
女	1,073	9.3	7.5	7.0	6.6	1.5	0.3	0.6	0.6	
その他	11	9.1	-	-	9.1	-	-	-	-	
答えない	35	20.0	20.0	11.4	14.3	2.9	-	5.7	5.7	

	調査数 (n)	その他	特にない	無回答
全体	2,347	0.8	73.3	5.8
男	1,222	0.6	72.7	6.1
女	1,073	0.9	75.3	4.8
その他	11	-	45.5	36.4
答えない	35	5.7	42.9	11.4

⑨お世話をすることについて感じていること

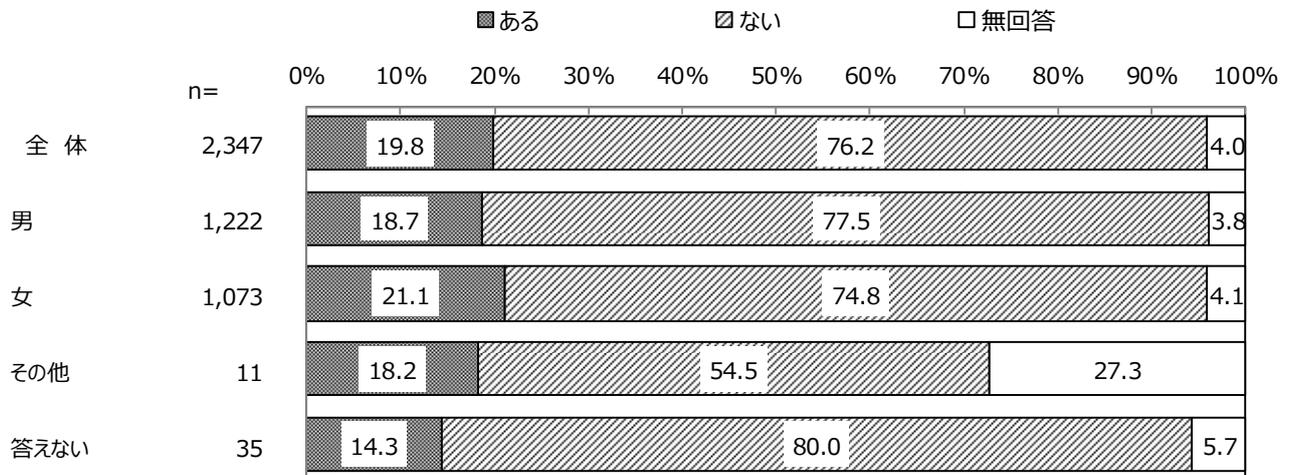
性別でみると、「体がつかれる」は男が女よりも3.6ポイント高くなっている。一方、「特に何も感じていない」は女が男よりも4.8ポイント高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	体がつかれる	ししいたつりとするんだ間りが勉強	心がつかれる	その他	い特に何も感じていな	答えたくない	無回答
全体	2,347	14.6	9.8	7.1	6.1	60.0	8.3	5.4
男	1,222	16.2	9.8	6.5	4.9	58.4	9.1	6.0
女	1,073	12.6	9.1	7.5	7.3	63.2	6.8	4.4
その他	11	9.1	18.2	-	36.4	36.4	-	18.2
答えない	35	20.0	20.0	14.3	-	28.6	28.6	14.3

⑩お世話について相談した経験

性別でみると、男女で大きな差異はみられない。



⑪お世話についての相談相手

性別で見ると、「お友だち」は女が男よりも8.8ポイント高くなっている。一方、「答えたくない」は男が女よりも4.4ポイント高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	家族や親せき	お友だち	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー	学校の先生以外(ほけん室の先生)	ほけん室の先生	近所の人	のや病院(相談員など)さん
全体	464	79.5	35.1	8.8	7.5	1.9	1.9	1.1
男	229	77.7	30.6	7.4	7.9	2.2	0.9	1.3
女	226	81.4	39.4	9.7	6.6	1.8	2.2	0.9
その他	2	100.0	100.0	50.0	50.0	-	50.0	-
答えない	5	80.0	40.0	20.0	-	-	20.0	-

	調査数 (n)	人 SNS で知り合った	役所の人	ふくしサービスの人	その他	答えたくない	無回答
全体	464	1.1	0.9	0.2	0.9	5.6	1.5
男	229	0.4	0.4	-	0.9	7.9	2.2
女	226	1.8	0.9	-	0.9	3.5	0.9
その他	2	-	-	-	-	-	-
答えない	5	-	20.0	20.0	-	-	-

⑫お世話について相談したことがない理由

性別で見ると、「だれかに相談するほど困っていないから」は女が男よりも 11.3 ポイント高く、「他の家族と違うと思われたり、自分をかわいそうと思われたくない」も女が男よりも 3.3 ポイント高くなっている。一方、「答えたくない」は男が女よりも 7.6 ポイント高くなっている。

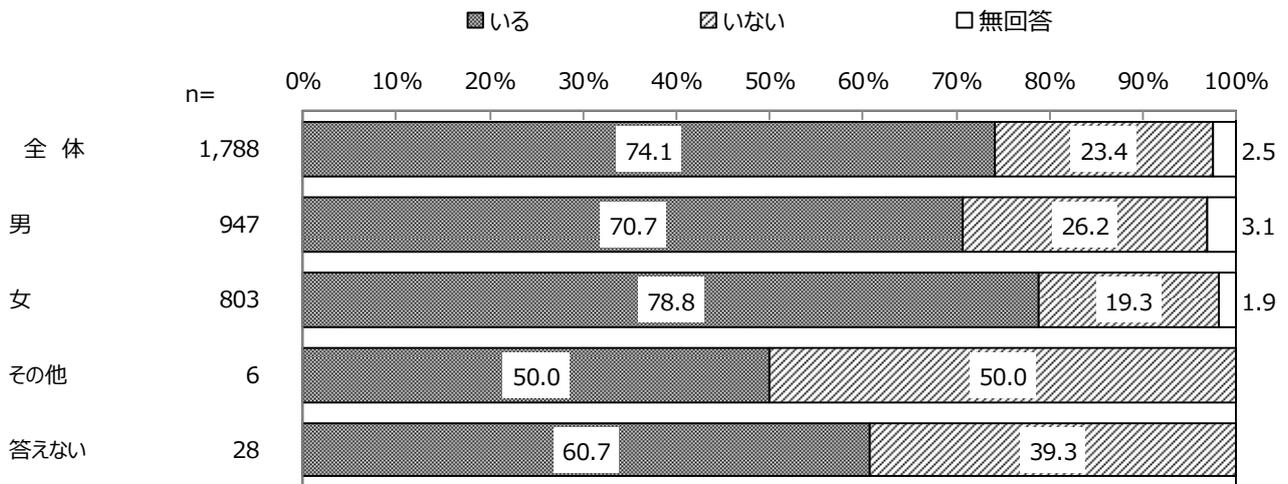
(%)

	調査数 (n)	だれかに相談するから	相談しても何も変わら	家族の話をした	よいか相談しないか	だれに相談するのかわ	他の家族と違うと思われ	相談できる人がいな	その他
全体	1,788	59.6	8.6	5.1	4.0	3.5	2.9	8.7	
男	947	55.0	7.3	4.0	3.5	1.8	2.5	9.1	
女	803	66.3	9.3	6.0	4.6	5.1	3.2	8.3	
その他	6	33.3	-	-	-	-	-	33.3	
答えない	28	35.7	25.0	17.9	7.1	17.9	7.1	3.6	

	調査数 (n)	答えたくない	無回答
全体	1,788	16.9	4.4
男	947	20.1	5.9
女	803	12.5	2.5
その他	6	16.7	16.7
答えない	28	39.3	3.6

⑬お世話について話を聞いてくれる人の有無

性別でみると、「いる」は女が男よりも8.1ポイント高くなっている。



⑭希望する相談方法

性別でみると、「ちよくせつ会って」は女が男よりも3.9ポイント高く、「電子メール」も女が男よりも3.3ポイント高くなっている。一方、「わからない」は男が女よりも4.6ポイント高くなっている。

	調査数 (n)	ちよくせつ会って (%)	電話 (%)	電子メール (%)	SNS (%)	その他 (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体	2,347	56.2	13.0	7.3	3.7	3.3	26.7	5.5
男	1,222	54.8	13.0	5.8	2.9	3.4	28.7	5.9
女	1,073	58.7	12.7	9.1	4.7	2.9	24.1	4.8
その他	11	36.4	18.2	-	-	9.1	27.3	27.3
答えない	35	28.6	20.0	8.6	5.7	11.4	37.1	11.4

⑮学校や大人に助けてほしいこと

性別で見ると、「勉強を教えてほしい」は女が男よりも7.7ポイント高く、「自分のことについて話を聞いてほしい」も女が男よりも5.1ポイント高くなっている。一方、「特にない」は男が女よりも8.5ポイント高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	勉強を教えてほしい	自由に使える時間がほしい	自由に過ごせる場所がほしい	自分のことについて話を聞いてほしい	このようにしてほしい相談にのってほしい	家族のお世話についてほしい	お金の面で助けてほしい
全体	2,347	14.2	13.6	12.1	10.0	7.1	2.5	2.2
男	1,222	10.6	13.1	11.0	7.4	5.3	2.2	2.5
女	1,073	18.3	13.6	12.7	12.5	8.8	2.5	1.6
その他	11	18.2	18.2	18.2	36.4	18.2	9.1	9.1
答えない	35	14.3	25.7	25.7	14.3	14.3	8.6	5.7

	調査数 (n)	自分ができるかわorld	家族の病気や障害、お世話などについてほしい	その他	特にない	わからない	無回答
全体	2,347	1.7	1.2	1.2	57.7	7.2	2.8
男	1,222	1.6	1.3	0.7	62.2	6.9	3.5
女	1,073	1.7	1.1	1.6	53.7	7.3	1.8
その他	11	9.1	9.1	9.1	36.4	9.1	9.1
答えない	35	2.9	-	2.9	37.1	17.1	5.7

(3) 家族構成（4区分）からみたお世話の状況

①お世話を必要としている家族

家族構成別でみると、「きょうだい」は二世帯世帯で6割近くと高くなっている。「お母さん」はひとり親家庭で4割を超えて高くなっている。「おばあさん」は三世帯世帯で3割台半ばと高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	きょうだい	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	その他	答えたくない	無回答
全体	2,347	56.0	35.2	23.1	7.5	4.3	2.2	8.7	5.8
ひとり親家庭	226	42.0	41.6	9.3	15.9	4.9	5.8	13.3	4.0
二世帯世帯	1,951	58.7	34.9	24.9	4.5	3.4	1.8	8.1	6.0
三世帯世帯	151	45.7	31.8	21.2	33.8	13.9	1.3	7.3	6.0
その他世帯	8	50.0	12.5	25.0	25.0	12.5	-	12.5	-

②お世話の内容

家族構成別でみると、「家事（食事の用意や後かたづけ、そうじ、せんたく、買い物など）」は三世代世帯で4割を超え、ひとり親家庭、二世代世帯で4割近くと高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	家事（食事の用意や後かたづけ、そうじ、せんたく、買い物など）	転居の手伝いなど	着替えやお風呂・トイ	洋服の洗い替え	きょうい園のお送り話	話相手になる	こまごまと聞く、	行きたる	病院や買い物、さん	ためたりする	薬を飲む、だかたし
全体	2,347	39.6	31.9	23.8	20.5	16.4	12.2	4.9				
ひとり親家庭	226	38.9	29.2	20.8	14.6	19.9	13.3	6.6				
二世代世帯	1,951	39.8	31.9	24.2	21.2	15.8	11.6	4.4				
三世代世帯	151	41.1	33.1	22.5	20.5	17.9	17.2	9.9				
その他世帯	8	12.5	62.5	25.0	25.0	12.5	12.5	-				

	調査数 (n)	通話（日本語を通やくし）	家の金のかんりを	その他	答えたくない	無回答
全体	2,347	3.0	2.7	4.0	10.5	6.6
ひとり親家庭	226	3.5	3.5	4.4	15.0	6.2
二世代世帯	1,951	2.7	2.7	4.0	9.8	6.6
三世代世帯	151	6.0	2.6	2.6	9.3	7.3
その他世帯	8	12.5	-	-	37.5	-

③お世話を一緒にしている人

家族構成別でみると、「お母さん」は二世帯世帯、三世帯世帯で6割近く、ひとり親家庭で5割近くと高くなっている。「おばあさん」は三世帯世帯で3割を超えて高くなっている。

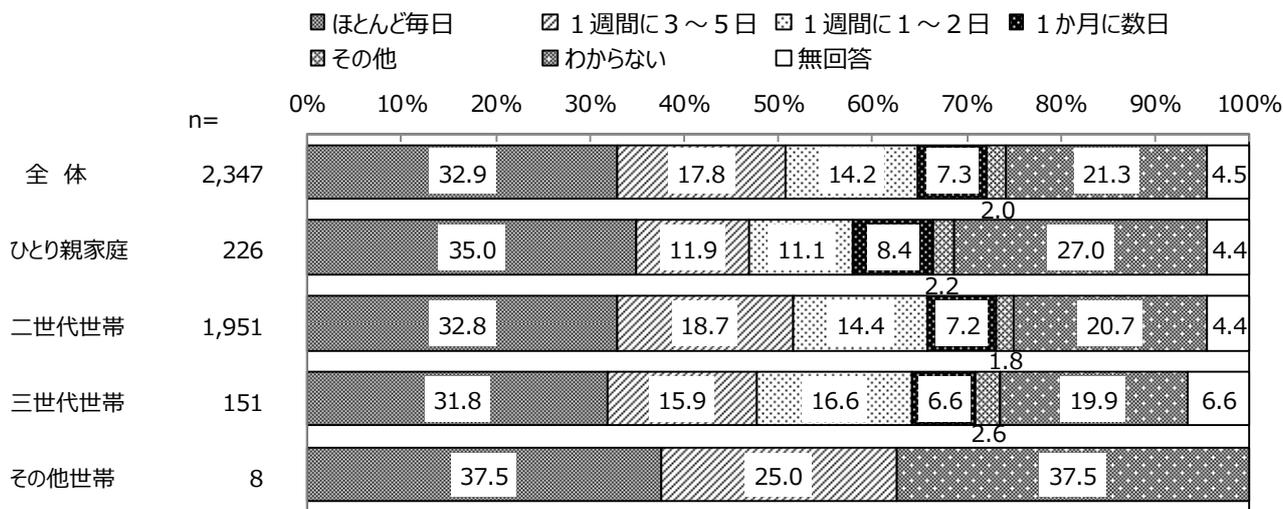
(%)

	調査数 (n)	お母さん	お父さん	きょうだい	自分だけ	おばあさん	おじいさん	親せきの 人
全体	2,347	58.1	42.9	22.0	14.0	6.9	3.5	2.0
ひとり親家庭	226	48.7	12.4	20.8	14.2	11.9	4.4	3.5
二世帯世帯	1,951	59.2	46.4	21.8	14.0	4.3	2.7	1.7
三世帯世帯	151	59.6	43.7	26.5	14.6	31.8	11.3	3.3
その他世帯	8	37.5	50.0	25.0	12.5	25.0	25.0	-

	調査数 (n)	んふく なくし のヘル パー さ	そ の 他	答 え た く な い	無 回 答
全体	2,347	0.8	1.5	10.3	6.5
ひとり親家庭	226	0.9	3.1	15.5	6.6
二世帯世帯	1,951	0.7	1.4	9.6	6.4
三世帯世帯	151	1.3	0.7	9.3	7.3
その他世帯	8	-	-	25.0	-

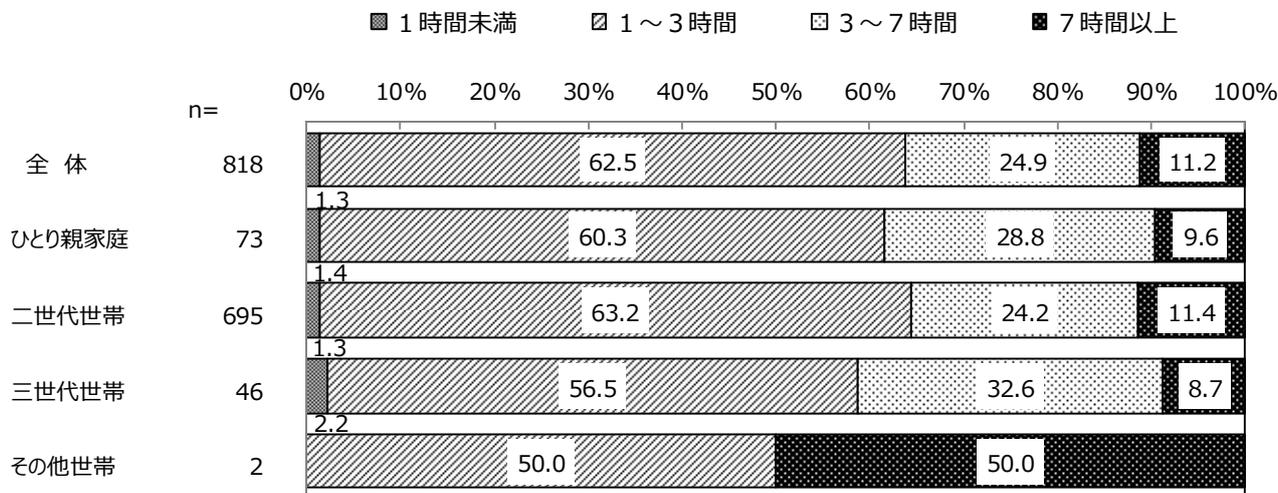
④お世話をしている頻度

家族構成別で見ると、「ほとんど毎日」はひとり親家庭で3割台半ばと高く、二世帯世帯、三世帯世帯で3割を超えて高くなっている。



⑤1日あたりにお世話を費やす時間

家族構成別で見ると、「1～3時間」はどの世帯でも高くなっており、「3～7時間」は三世帯世帯で3割を超え、ひとり親家庭で3割近くとなっている。



⑥お世話による制約

家族構成別でみると、「特にない」はどの世帯でも高くなっているが、具体的な選択肢の中では、「自分の時間が取れない」は三世代世帯で1割、「ねむる時間がたりない」はひとり親家庭で1割となっている。

(%)

	調査数 (n)	自分の時間が取れない	お友だちと遊べない	宿題など勉強する時間がない	ねむる時間がたりない	学校に行けなかつたり、学校にちこくやつたり、学校にちこくやつたり、	じゆうやくい事に思	行く希望がでけない	自分が行きたい学校
全体	2,347	9.8	7.6	6.9	6.9	1.9	1.0	1.0	
ひとり親家庭	226	7.5	9.7	9.3	10.2	1.8	1.8	2.7	
二世帯世帯	1,951	9.9	7.3	6.8	6.4	1.8	0.9	0.8	
三世代世帯	151	10.6	9.3	6.0	7.9	2.6	1.3	2.0	
その他世帯	8	12.5	-	-	12.5	12.5	-	-	

	調査数 (n)	その他	特にない	無回答
全体	2,347	0.8	73.3	5.8
ひとり親家庭	226	0.9	69.9	7.1
二世帯世帯	1,951	0.7	74.1	5.4
三世代世帯	151	0.7	70.2	7.3
その他世帯	8	12.5	50.0	12.5

⑦お世話をすることについて感じていること

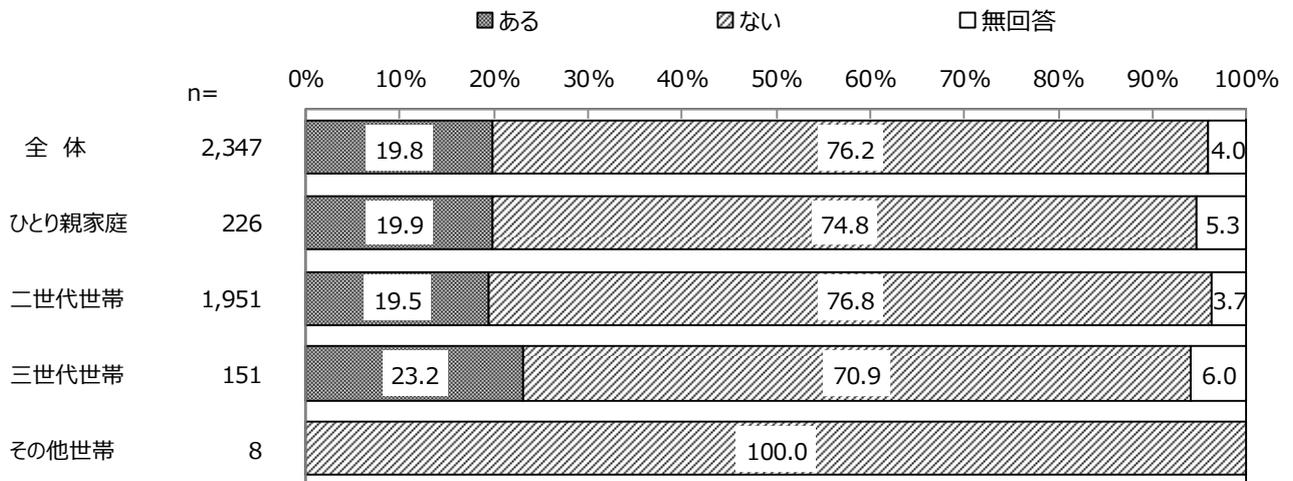
家族構成別でみると、「特に何も感じていない」はひとり親家庭、二世帯世帯、三世帯世帯で5割以上と高くなっているが、具体的な選択肢の中では、「体がつかれる」はひとり親家庭で2割近く、「もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい」もひとり親家庭で1割台半ばとなっている。

(%)

	調査数 (n)	体 が つ か れ る	し し も い た つ と す 遊 る ん だ り が 勉 強	心 が つ か れ る	そ の 他	い 特 に 何 も 感 じ て い な	答 え た く な い	無 回 答
全体	2,347	14.6	9.8	7.1	6.1	60.0	8.3	5.4
ひとり親家庭	226	17.7	13.3	10.6	3.5	54.0	11.1	6.6
二世帯世帯	1,951	13.9	9.4	6.6	6.6	60.7	8.0	5.2
三世帯世帯	151	16.6	9.9	7.9	4.0	64.2	4.6	6.0
その他世帯	8	37.5	12.5	-	-	25.0	37.5	-

⑧お世話について相談した経験

家族構成別で見ると、「ない」はどの世帯でも高くなっている。「ある」は三世代世帯で2割台半ばとなっている。



⑨お世話についての相談相手

家族構成別でみると、「家族や親せき」は二世帯世帯、三世帯世帯で8割以上と高くなっている。「お友だち」はどの世帯でも3割台と高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	家族 や親 せき	お 友 だ ち	シ ヤ ル ワ ー カ ー	ラ ー ヤ ス ク ー ル ソ ー	ス ク ー ル カ ウ ン セ ー	室 学 校 の 先 生 以 外 (ほ け ん	ほ け ん 室 の 先 生	近 所 の 人	の や 病 院 相 談 員 な ど (か ん ご し さ ん
全体	464	79.5	35.1	8.8	7.5	1.9	1.9	1.9	1.1	
ひとり親家庭	45	66.7	35.6	13.3	4.4	4.4	2.2	2.2	2.2	
二世帯世帯	381	80.3	35.2	8.7	8.4	1.8	2.1	1.0	-	
三世帯世帯	35	91.4	31.4	5.7	2.9	-	-	-	-	
その他世帯	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

	調査数 (n)	人 S N S で 知 り 合 っ た	役 所 の 人	ふ く し サ ー ビ ス の 人	そ の 他	答 え た く な い	無 回 答
全体	464	1.1	0.9	0.2	0.9	5.6	1.5
ひとり親家庭	45	2.2	2.2	-	-	11.1	2.2
二世帯世帯	381	1.0	0.8	0.3	1.0	5.0	1.6
三世帯世帯	35	-	-	-	-	2.9	-
その他世帯	-	-	-	-	-	-	-

⑩お世話について相談したことがない理由

家族構成別でみると、「だれかに相談するほど困っていないから」はどの世帯でも高く、三世帯世帯で7割近くと高くなっている。「相談しても何も変わらないと思うから」はひとり親家庭で1割を超えている。また、「答えたくない」はひとり親家庭で2割台半ばとなっている。

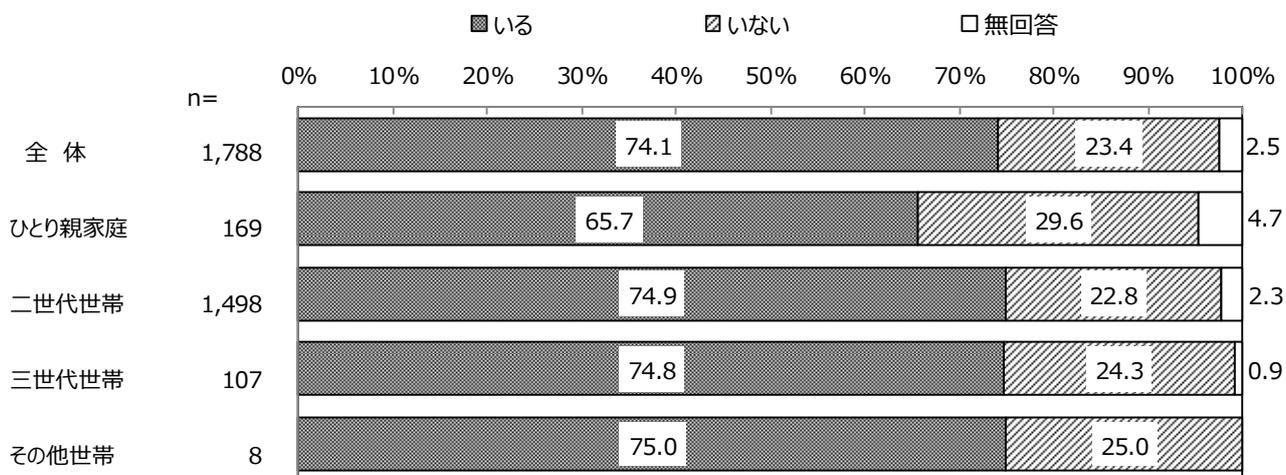
(%)

	調査数 (n)	だれかに相談するから 困っている	相談しても何も変わらない	家族の話を話した くないから	だれかに相談するの がよいかわからない	他の家族と違うと思われ たり、自分とかわいそう と思われたくない	相談できる人がいな いから	その他
全体	1,788	59.6	8.6	5.1	4.0	3.5	2.9	8.7
ひとり親家庭	169	48.5	11.8	7.1	4.7	7.7	3.0	11.2
二世帯世帯	1,498	60.5	8.5	4.9	3.9	3.3	2.9	8.5
三世帯世帯	107	68.2	3.7	3.7	3.7	-	2.8	7.5
その他世帯	8	50.0	12.5	12.5	12.5	-	-	-

	調査数 (n)	答えたくない	無回答
全体	1,788	16.9	4.4
ひとり親家庭	169	24.3	5.9
二世帯世帯	1,498	16.0	4.3
三世帯世帯	107	15.0	2.8
その他世帯	8	50.0	-

⑪お世話について話を聞いてくれる人の有無

家族構成別でみると、「いる」はどの世帯でも高くなっている。「いない」はひとり親家庭で3割近くとなっている。



⑫学校や大人に助けてほしいこと

家族構成別でみると、「特にない」はどの世帯でも5割台と高くなっているが、具体的な選択肢の中では、「勉強を教えてほしい」、「自由に使える時間がほしい」は三世帯世帯で2割近くとなっている。

(%)

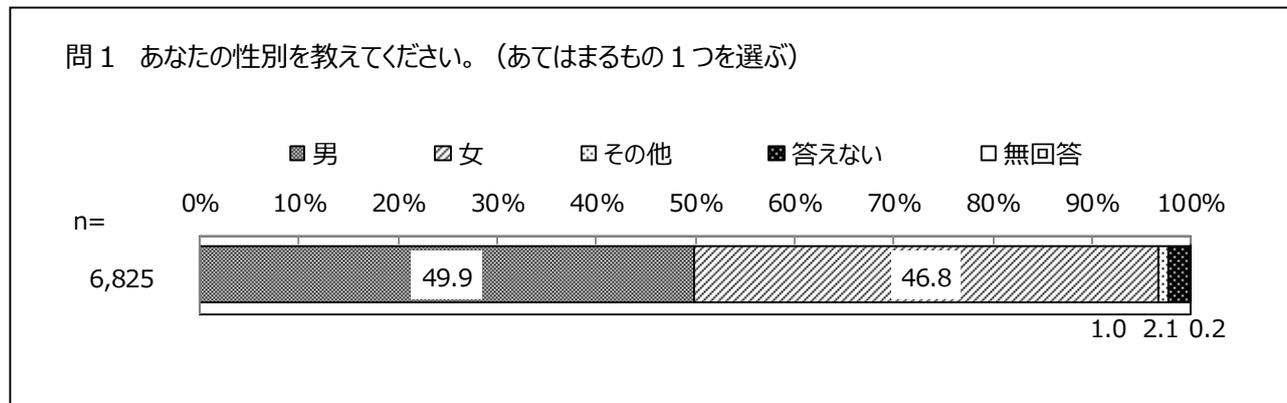
	調査数 (n)	勉強を 教えて ほしい	自由に 使える 時間が ほしい	自由に 過ごす 場所 がほしい	自分の ことに してほしい	自分の 進学の 相談に してほしい	家族の 世帯に ついては ほしい	お金の 面で 助けて ほしい
全体	2,347	14.2	13.6	12.1	10.0	7.1	2.5	2.2
ひとり親家庭	226	12.8	14.2	14.6	13.3	7.5	5.8	3.1
二世帯世帯	1,951	14.2	13.1	11.7	9.7	7.0	2.2	2.1
三世帯世帯	151	17.9	17.9	13.2	9.3	7.9	2.0	1.3
その他世帯	8	-	25.0	12.5	-	-	-	-

	調査数 (n)	自分が 代わっ てほしい	家族の 病気や 障害、 お世話 などにつ いてはほ しい	その他	特 にな い	わ か ら な い	無 回 答
全体	2,347	1.7	1.2	1.2	57.7	7.2	2.8
ひとり親家庭	226	2.7	1.8	1.3	51.3	11.1	2.7
二世帯世帯	1,951	1.6	1.1	1.2	59.0	6.7	2.6
三世帯世帯	151	0.7	2.0	0.7	53.0	7.3	4.0
その他世帯	8	-	-	-	50.0	12.5	12.5

IV 普段の生活についてのアンケート（中学生）調査結果

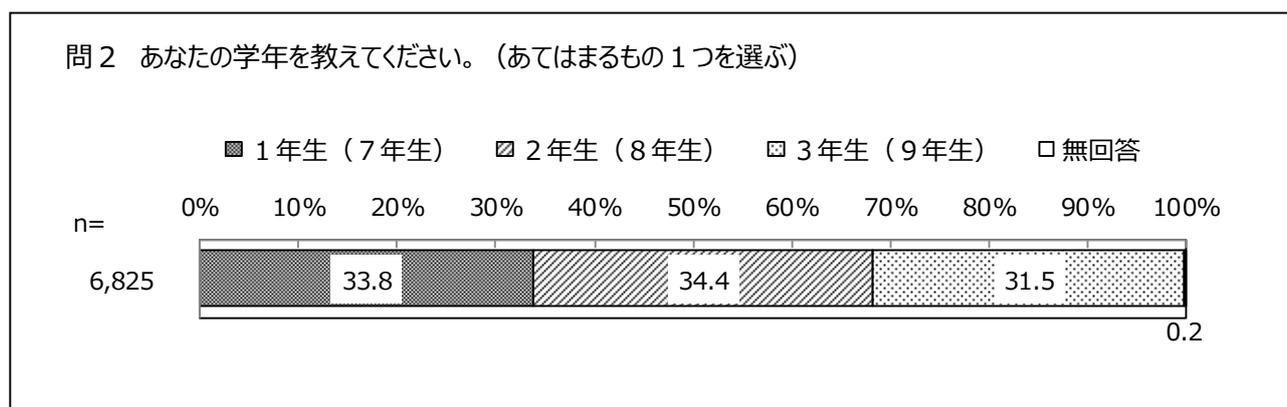
1 基本情報

(1) 性別



性別は、「男」が49.9%、「女」が46.8%となっている。

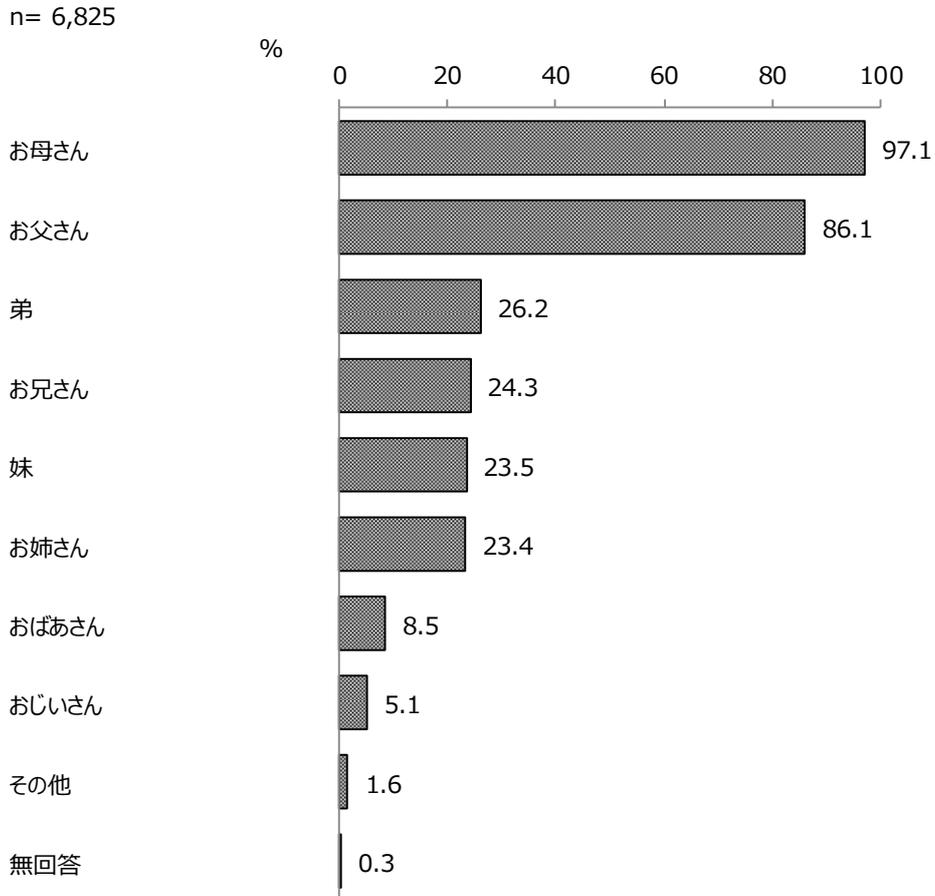
(2) 学年



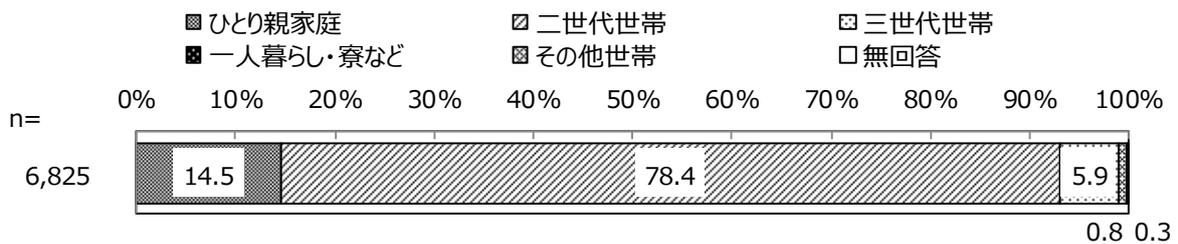
学年は、「1年生（7年生）」が33.8%、「2年生（8年生）」が34.4%、「3年生（9年生）」が31.5%となっている。

(3) 同居家族

問3 あなたが今、一緒に住んでいるのはだれですか。(あてはまるものすべてを選ぶ)



<家族構成 (5 区分) >

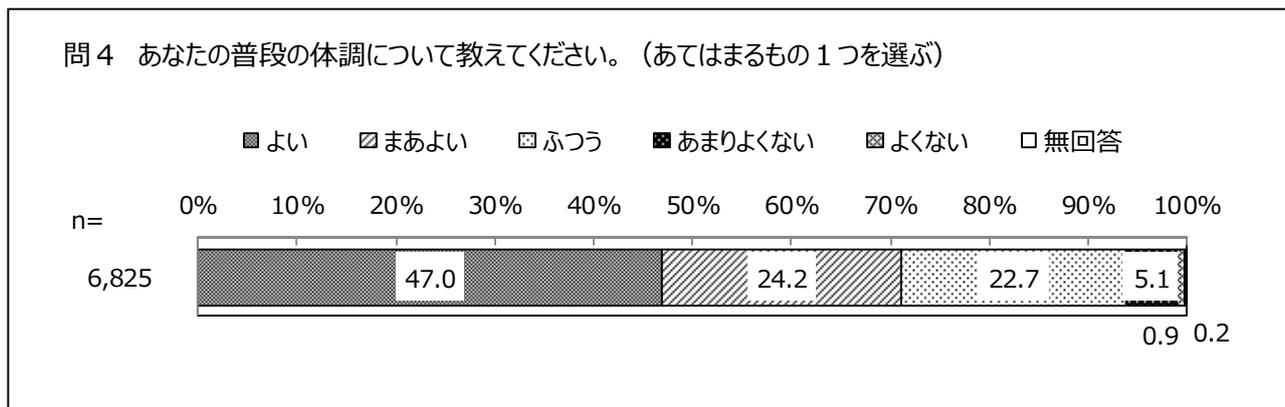


※「一人暮らし・寮など」は0.0%のため比率を表示していないが、2件の回答があった。

同居家族は、「お母さん」が97.1%で最も高く、次いで「お父さん」(86.1%)、「弟」(26.2%)、「お兄さん」(24.3%)となっている。

家族構成(5区分)は、「二世帯世帯」が78.4%で最も高く、次いで「ひとり親家庭」(14.5%)、「三世帯世帯」(5.9%)、「その他世帯」(0.8%)となっている。

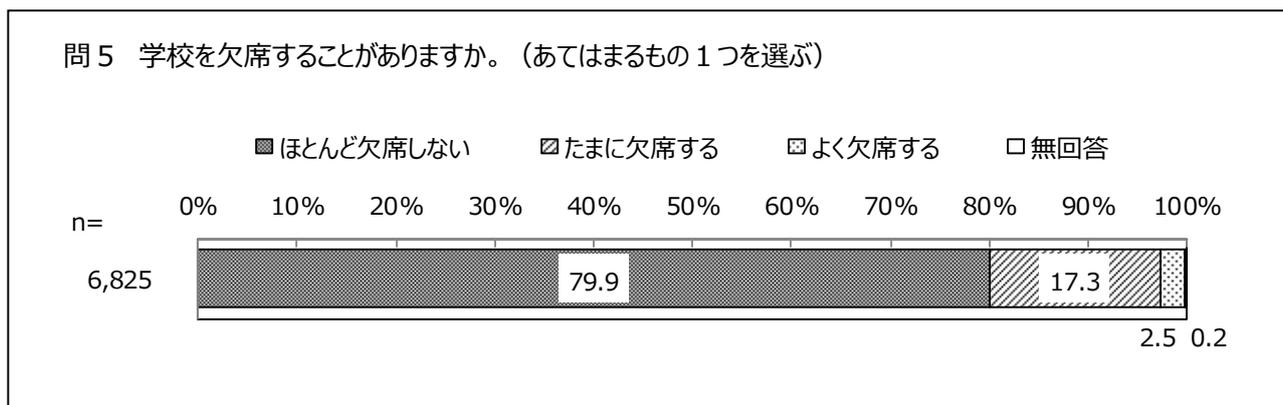
(4) 健康状態



健康状態は、「よい」が47.0%で最も高く、次いで「まあよい」(24.2%)、「ふつう」(22.7%)、「あまりよくない」(5.1%)となっている。

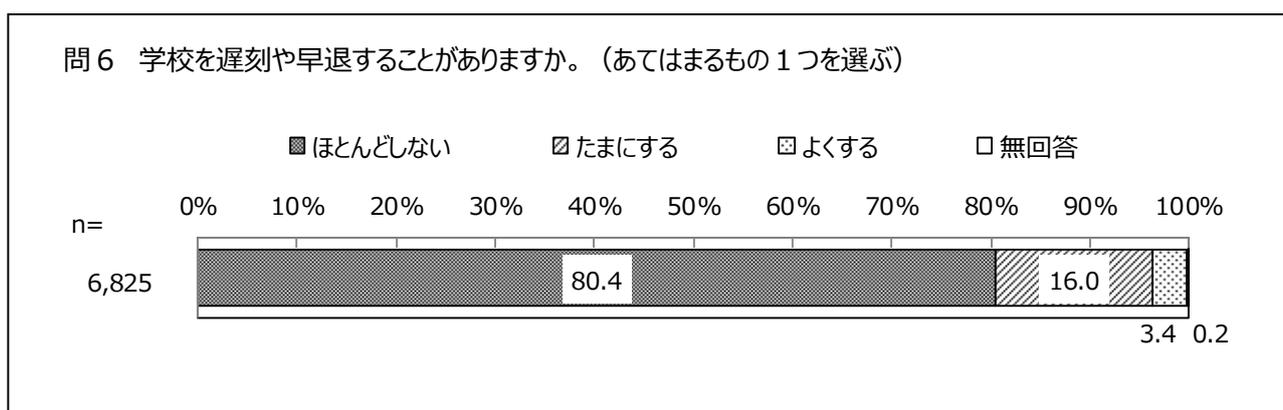
2 普段の生活について

(1) - 1 学校への通学状況 (出欠状況)



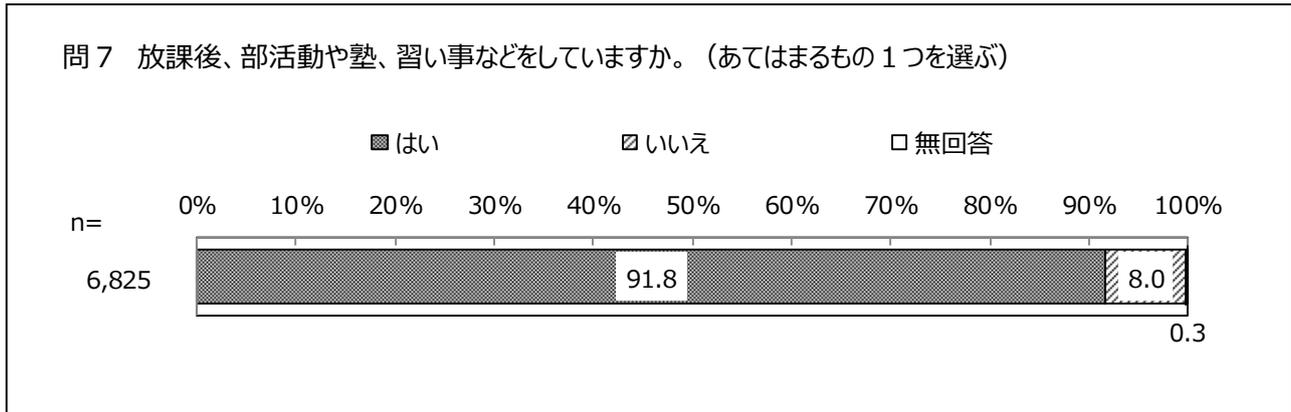
学校への通学状況 (出欠状況) は、「ほとんど欠席しない」が79.9%で最も高く、次いで「たまに欠席する」(17.3%)、「よく欠席する」(2.5%)となっている。

(1) - 2 学校への通学状況 (遅刻や早退の状況)



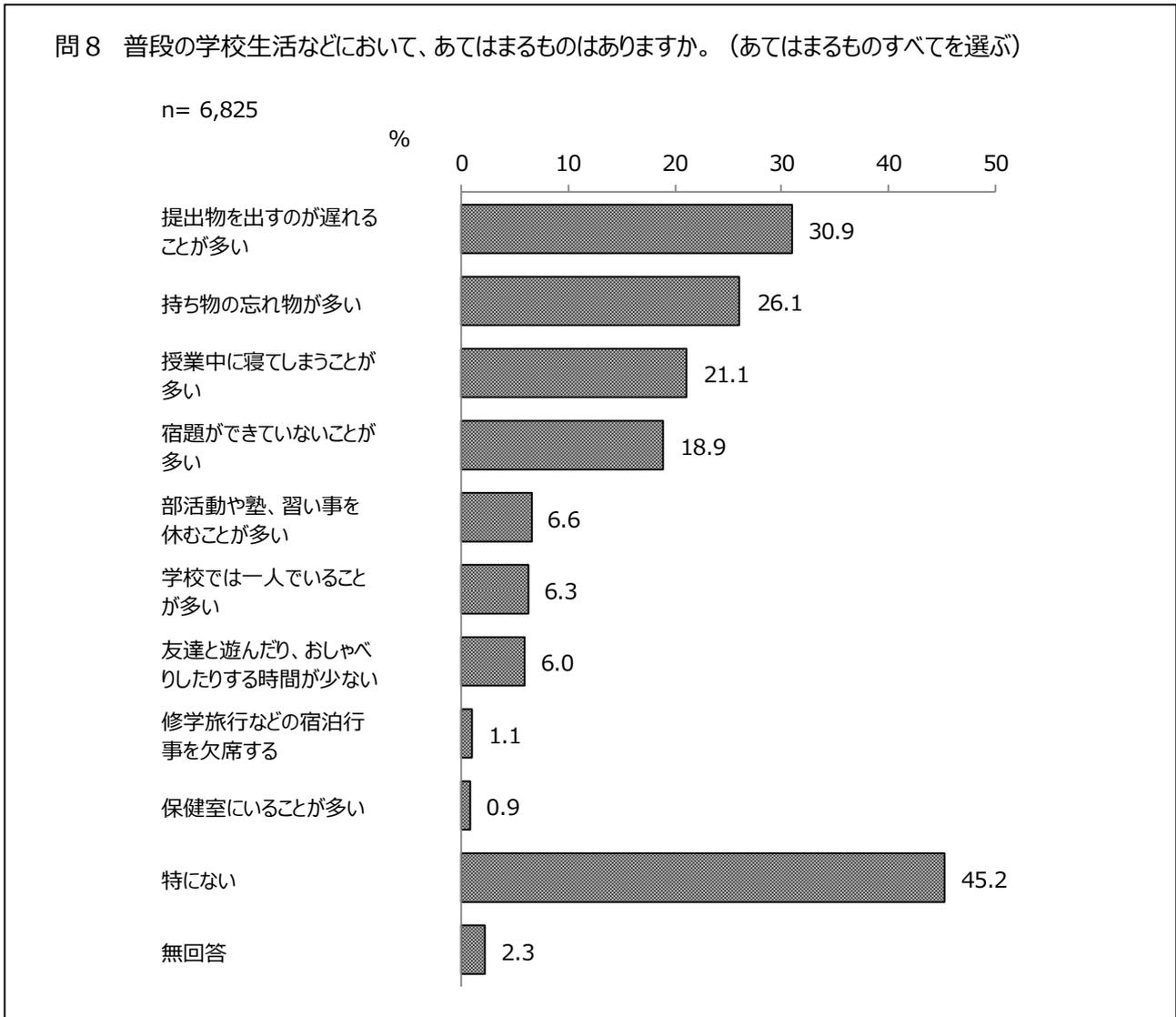
学校への通学状況 (遅刻や早退の状況) は、「ほとんどしない」が80.4%で最も高く、次いで「たまにする」(16.0%)、「よくする」(3.4%)となっている。

(2) 塾や習い事への参加状況



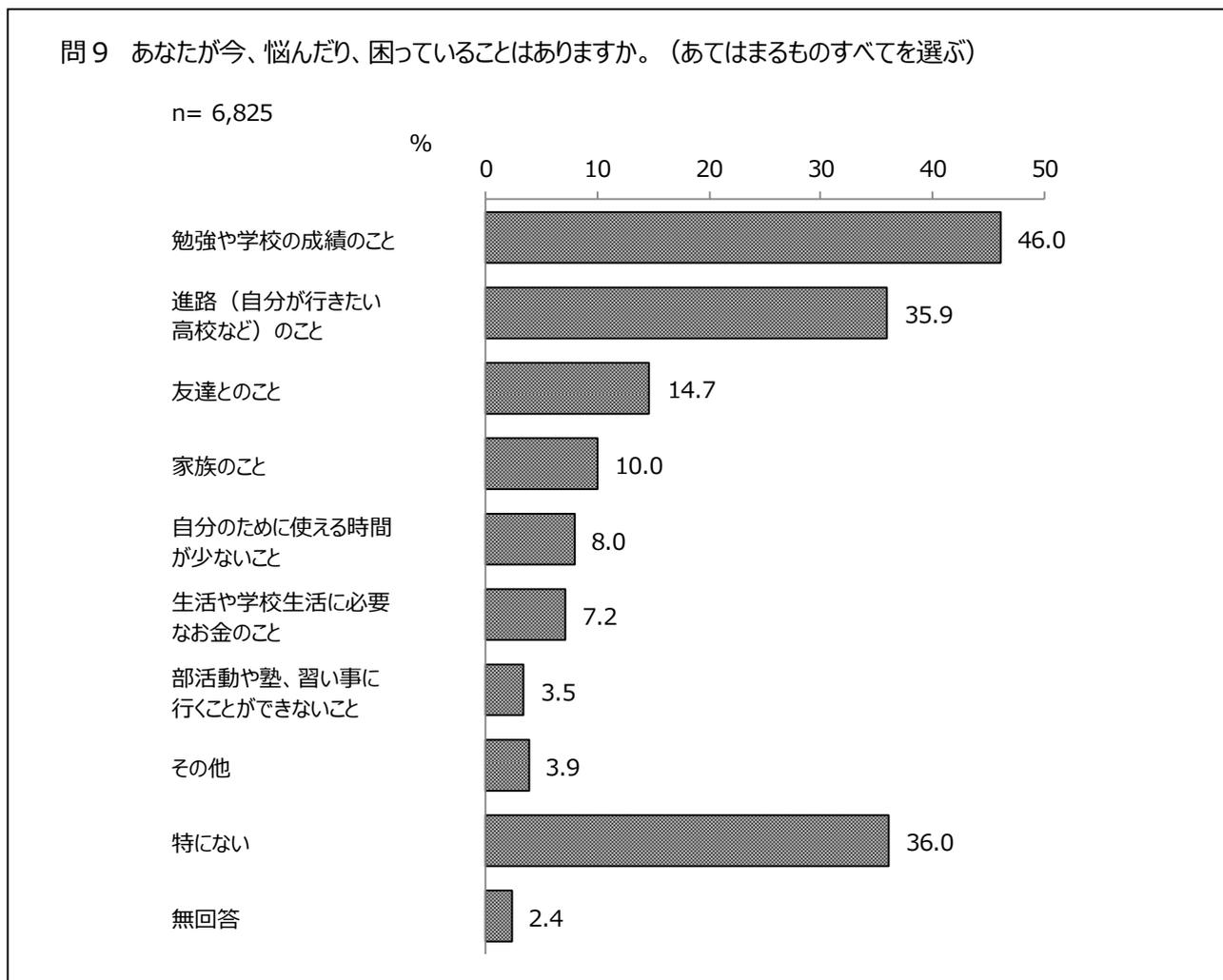
塾や習い事への参加状況は、「はい」が91.8%、「いいえ」が8.0%となっている。

(3) 普段の学校生活などであてはまること



普段の学校生活などであてはまることは、「特にない」が45.2%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「提出物を出すのが遅れることが多い」が30.9%で最も高く、次いで「持ち物の忘れ物が多い」(26.1%)、「授業中に寝てしまうことが多い」(21.1%)、「宿題ができていないことが多い」(18.9%)となっている。

(4) 現在の悩みや困りごと



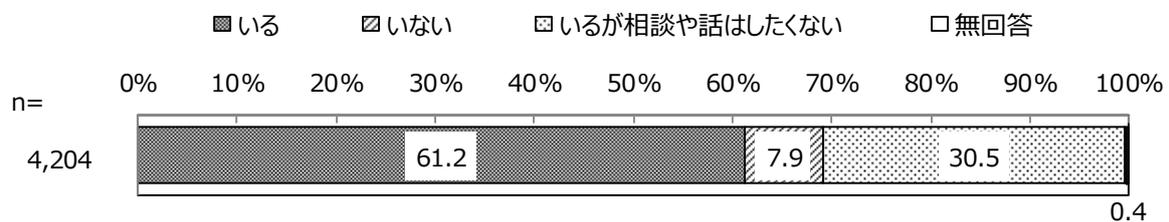
現在の悩みや困りごとは、「勉強や学校の成績のこと」が46.0%で最も高く、次いで「進路(自分が行きたい高校など)のこと」(35.9%)、「友達とのこと」(14.7%)、「家族のこと」(10.0%)となっている。一方、「特にない」は36.0%だった。

(5) 相談相手の有無

(問9で答えた「悩み」や「困っていること」についてお聞きます。)

問10 「悩み」や「困っていること」について、話を聞いてくれる人が近くにいますか。

(あてはまるもの1つを選ぶ)



相談相手の有無は、「いる」が61.2%で最も高く、次いで「いるが相談や話はしたくない」(30.5%)、「いない」(7.9%)となっている。

3 家庭や家族のことについて

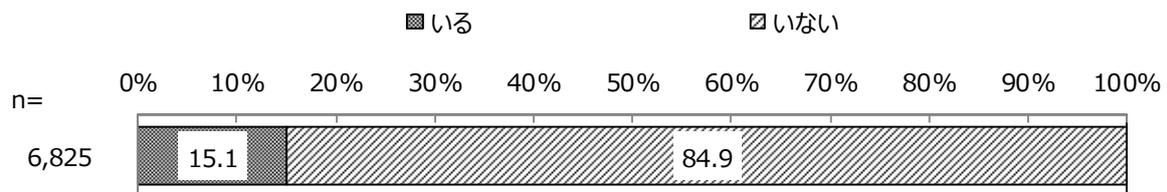
(1) お世話をしている家族の有無

問 11 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

※答えたくない場合は「いない」を選んで、すすんでください。

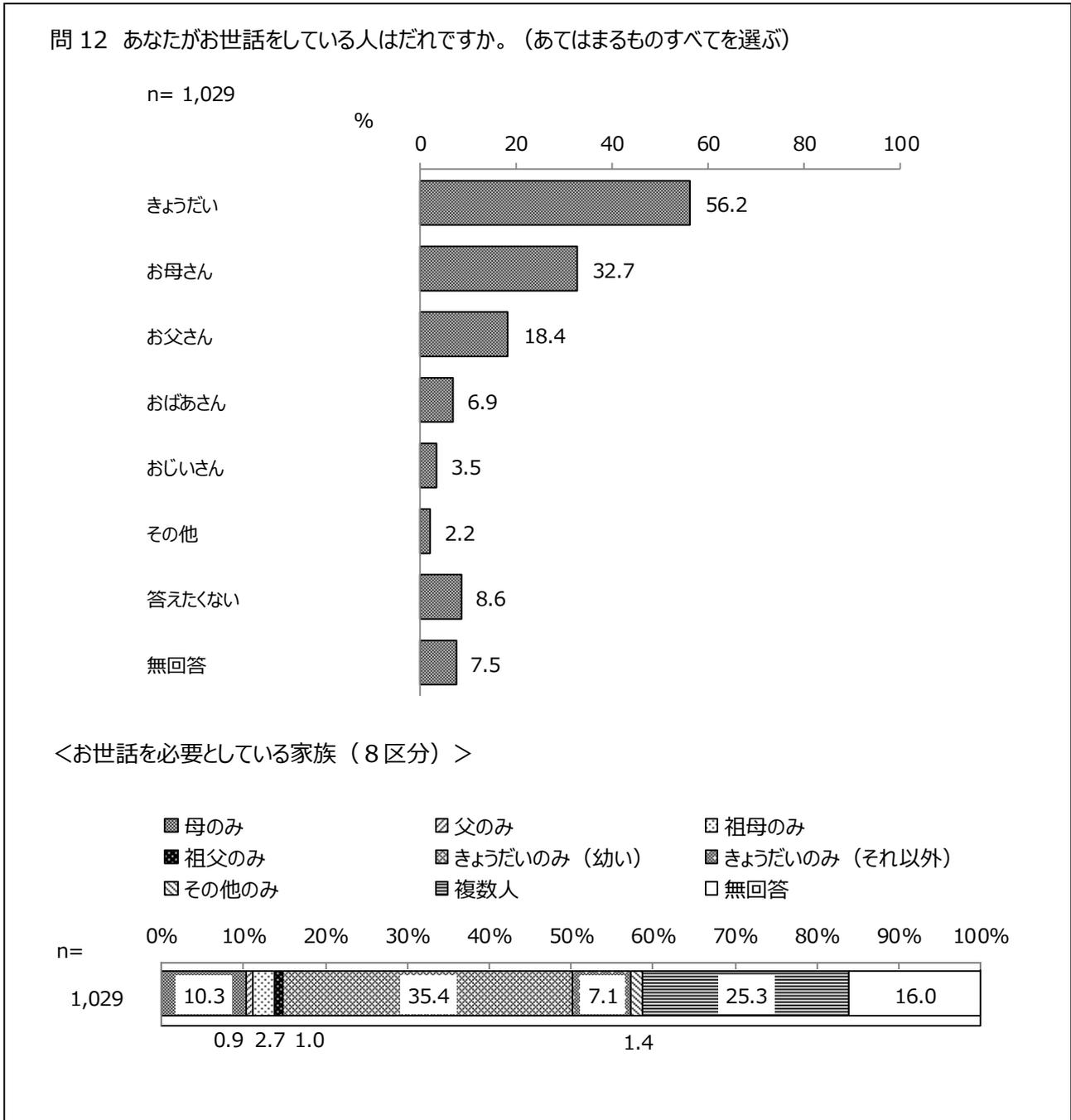
※お世話とは次のようなことです。

- ・家事（食事の用意や後片付け、掃除、洗濯、買い物など）
- ・きょうだいのお世話や保育園への送り迎え
- ・着がえやおふろ・トイレの手伝いなど
- ・病院や買い物、散歩などに一緒に行き、手助けをする
- ・困りごとを聞く、話し相手になる
- ・転んだり、危ないことをしたりしないか見守る
- ・通訳（日本語を通訳したり、手話で通訳したりするなど）
- ・家のお金の管理をする（お金の使い道を考えたり、お金を払ったりする）
- ・薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする



お世話をしている家族の有無は、「いる」が15.1%、「いない」が84.9%となっている。

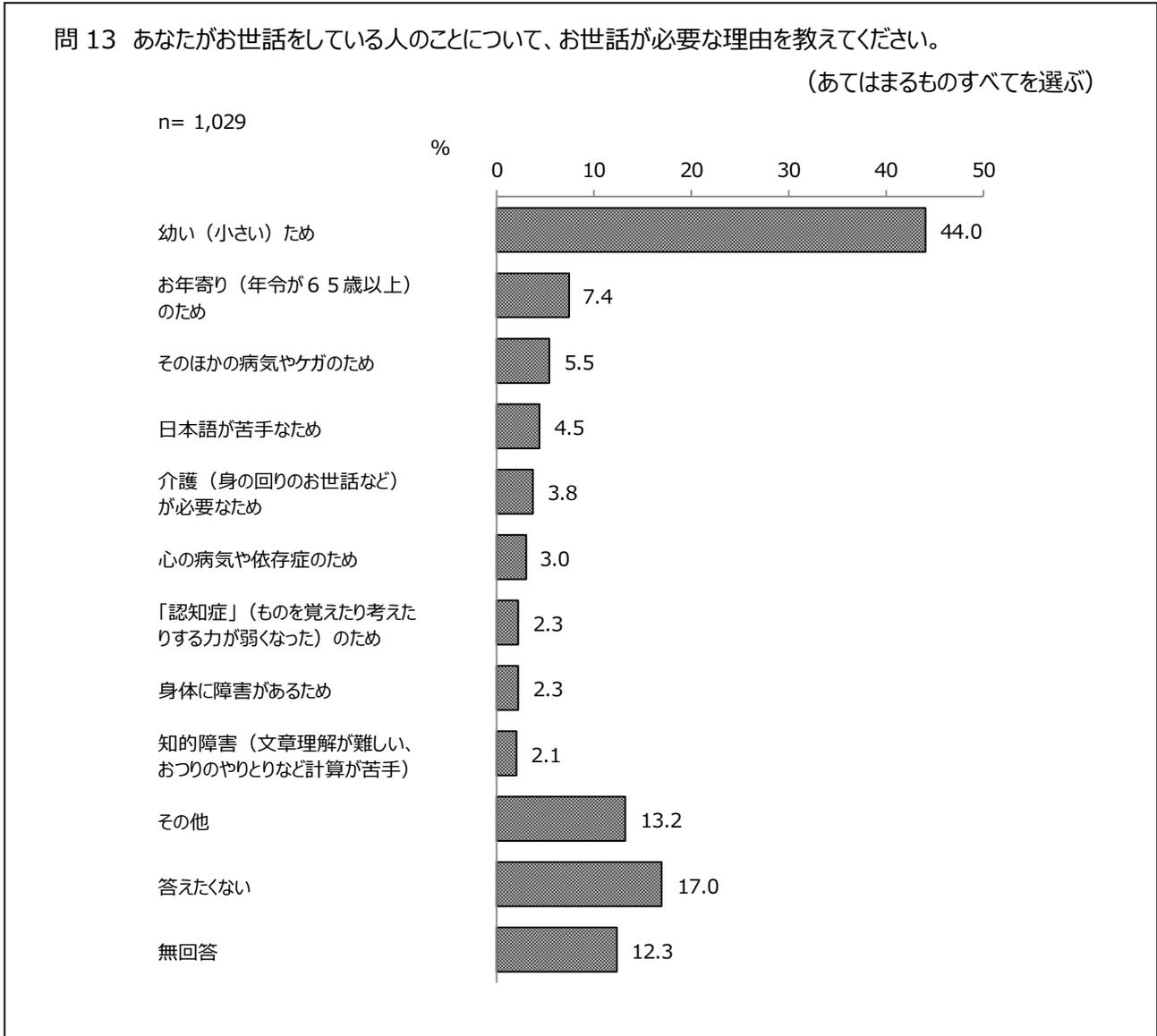
(2) お世話を必要としている家族



お世話を必要としている家族は、「きょうだい」が56.2%で最も高く、次いで「お母さん」(32.7%)、「お父さん」(18.4%)、「おばあさん」(6.9%)となっている。

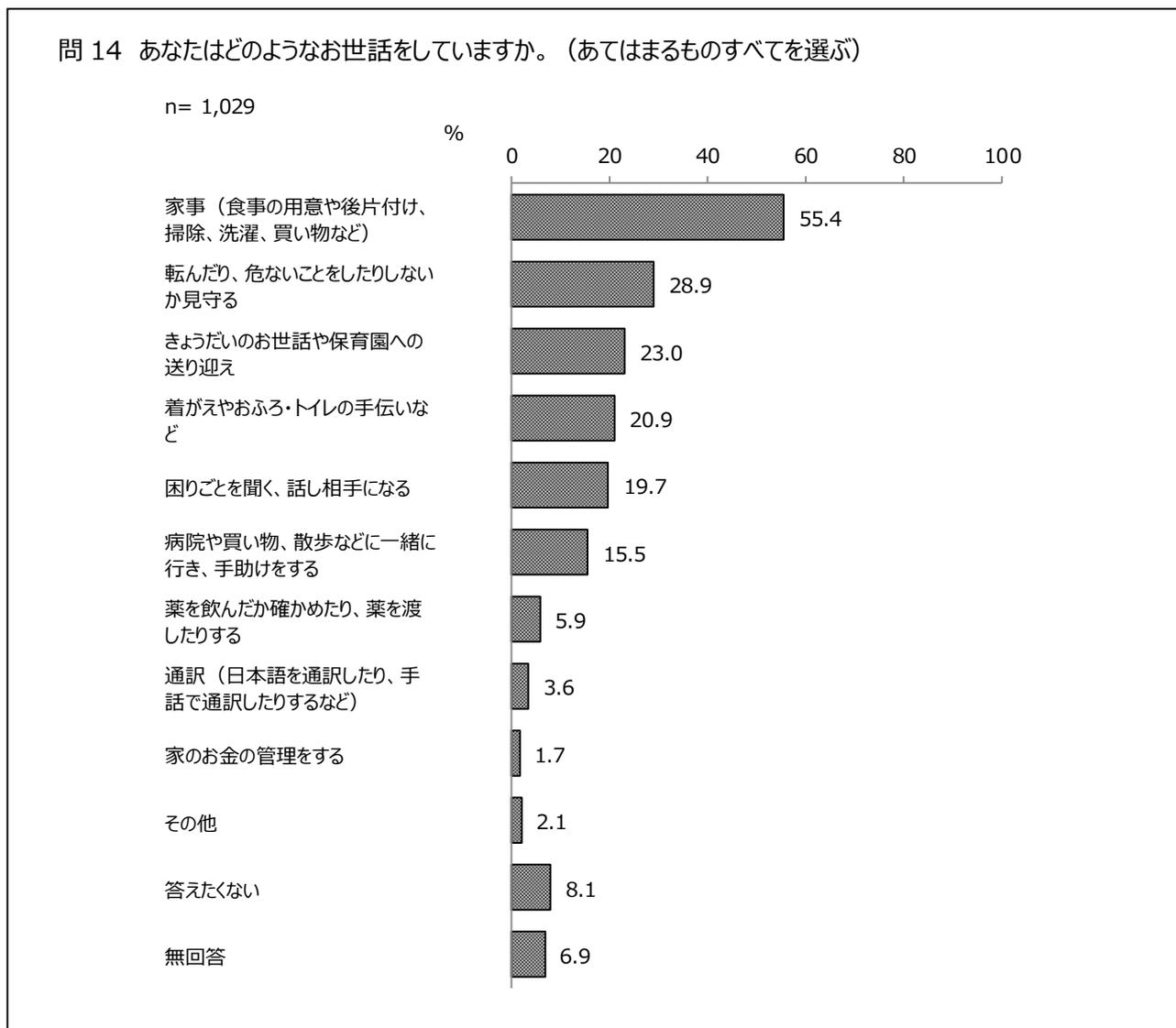
お世話を必要としている家族(8区分)は、「きょうだいのみ(幼い)」が35.4%で最も高く、次いで「複数人」(25.3%)となっている。

(3) お世話が必要な理由



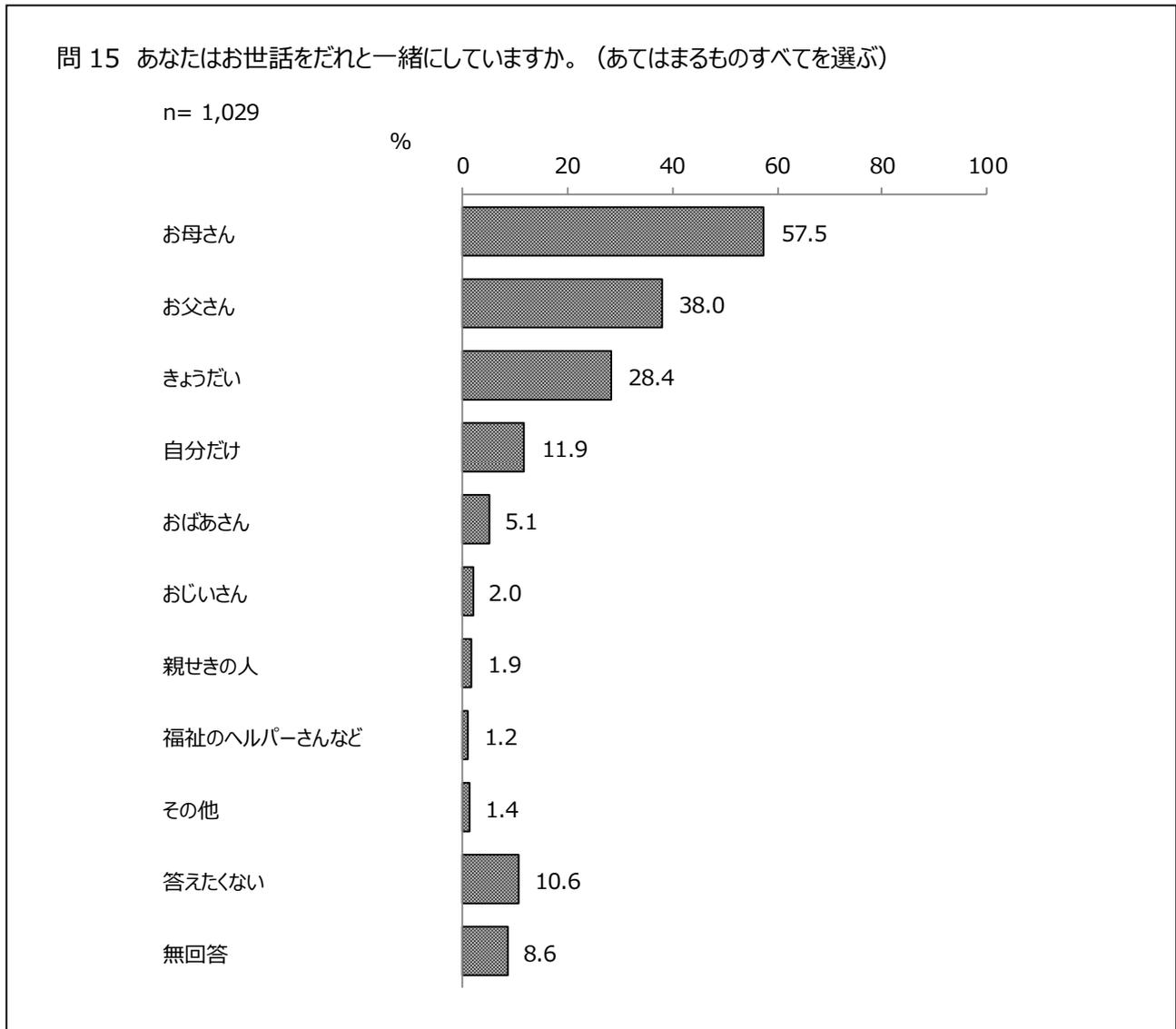
お世話が必要な理由は、「若い (小さい) ため」が 44.0%で最も高く、次いで「お年寄り (年齢が65歳以上) のため」(7.4%)、「そのほかの病気やケガのため」(5.5%)となっている。「その他」は 13.2%、「答えたくない」は 17.0%だった。また、「その他」の内容には、「親が仕事などで忙しいため」、「家族で役割分担をしているため」などがあつた。

(4) お世話の内容



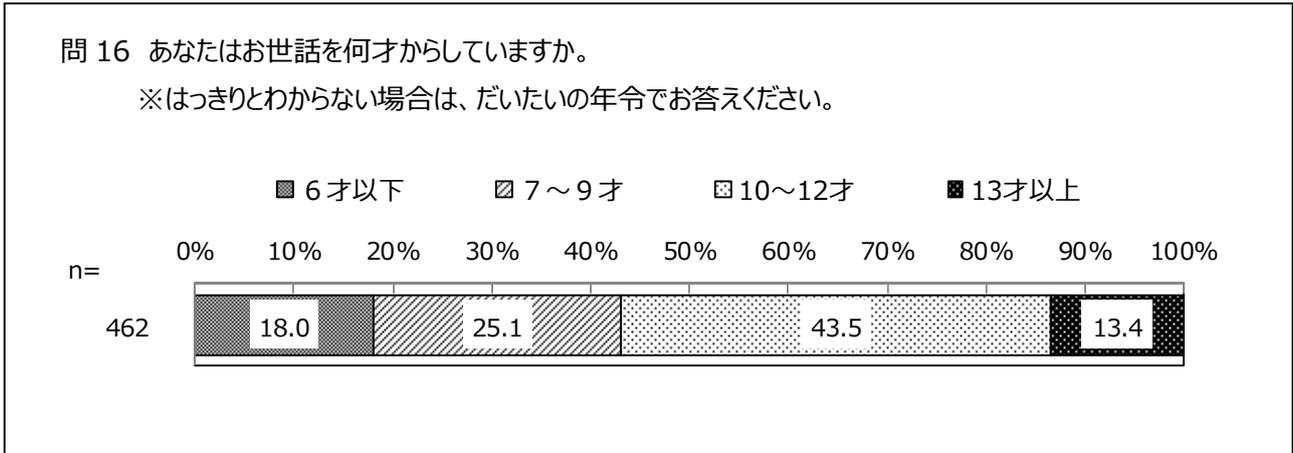
お世話の内容は「家事（食事の用意や後片付け、掃除、洗濯、買い物など）」が 55.4%で最も高く、次いで「転んだり、危ないことをしたりしないか見守る」（28.9%）、「きょうだいのお世話や保育園への送り迎え」（23.0%）、「着がえやおふろ・トイレの手伝いなど」（20.9%）となっている。

(5) お世話を一緒にしている人



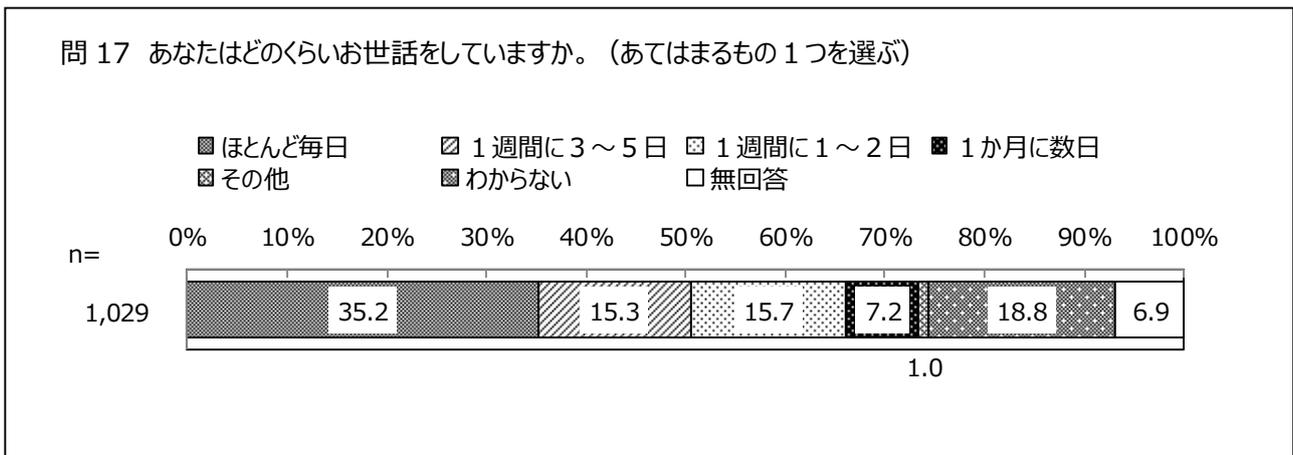
お世話を一緒にしている人は、「お母さん」が 57.5%で最も高く、次いで「お父さん」(38.0%)、「きょうだい」(28.4%)となっている。

(6) お世話を始めた年齢



お世話を始めた年齢は、「10~12才」が43.5%で最も高く、次いで「7~9才」(25.1%)、「6才以下」(18.0%)、「13才以上」(13.4%)となっている。

(7) お世話をしている頻度

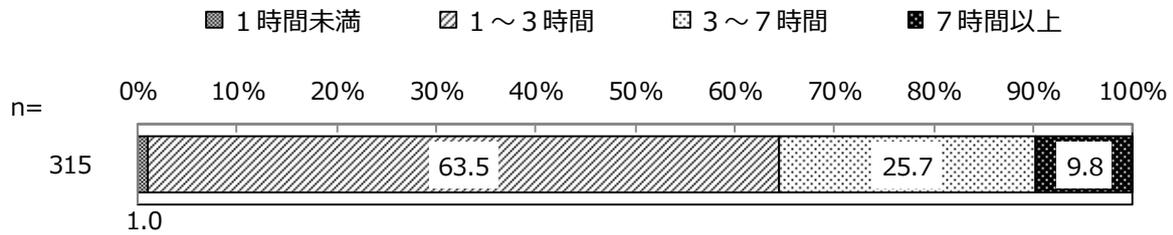


お世話をしている頻度は、「ほとんど毎日」が35.2%で最も高く、次いで「1週間に1~2日」(15.7%)、「1週間に3~5日」(15.3%)となっている。「わからない」は18.8%だった。

(8) 1日あたりにお世話を費やす時間

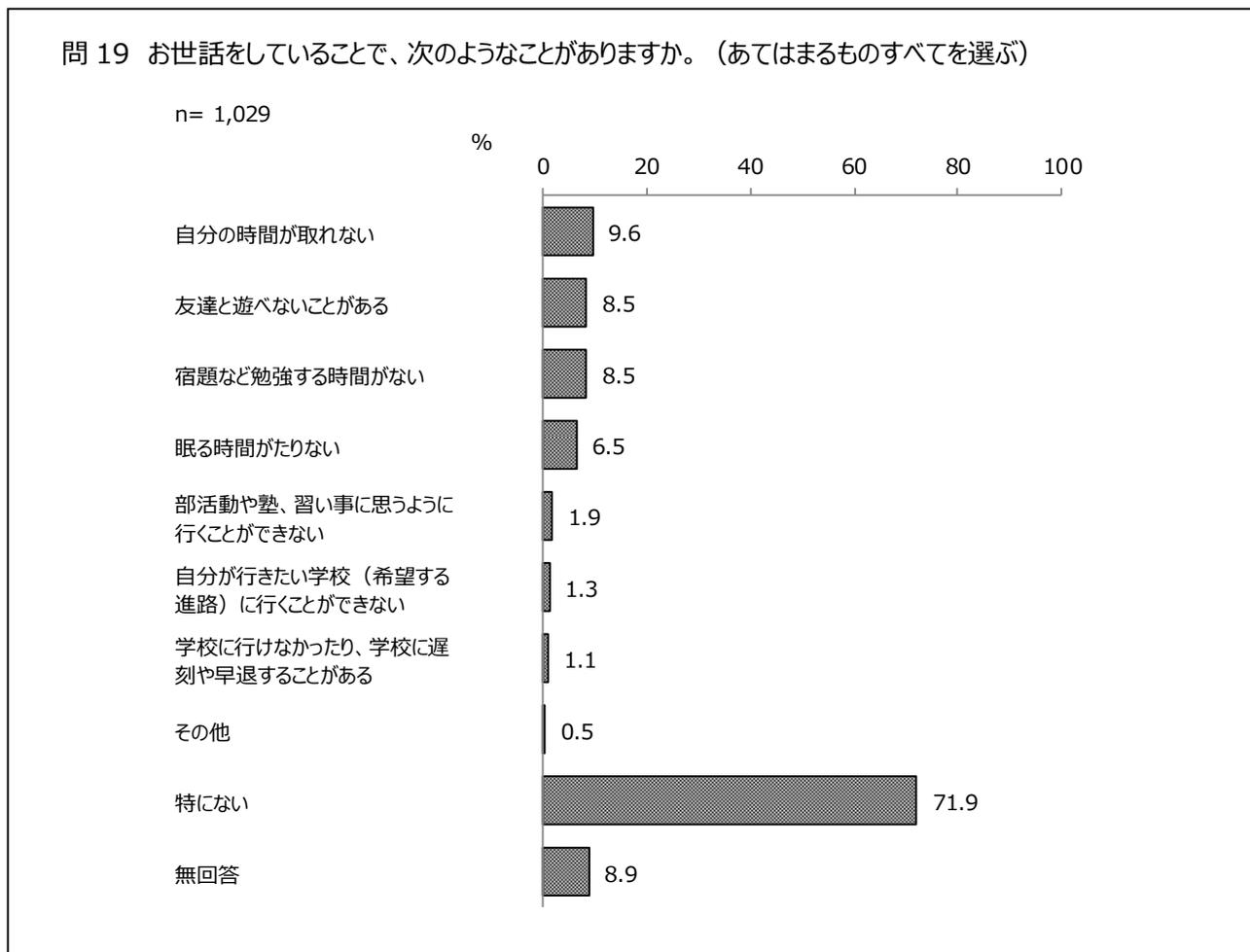
問 18 あなたは1日何時間くらいお世話をしていますか。

※日によって違う場合は、この1か月で一番長かった日の時間を教えてください。



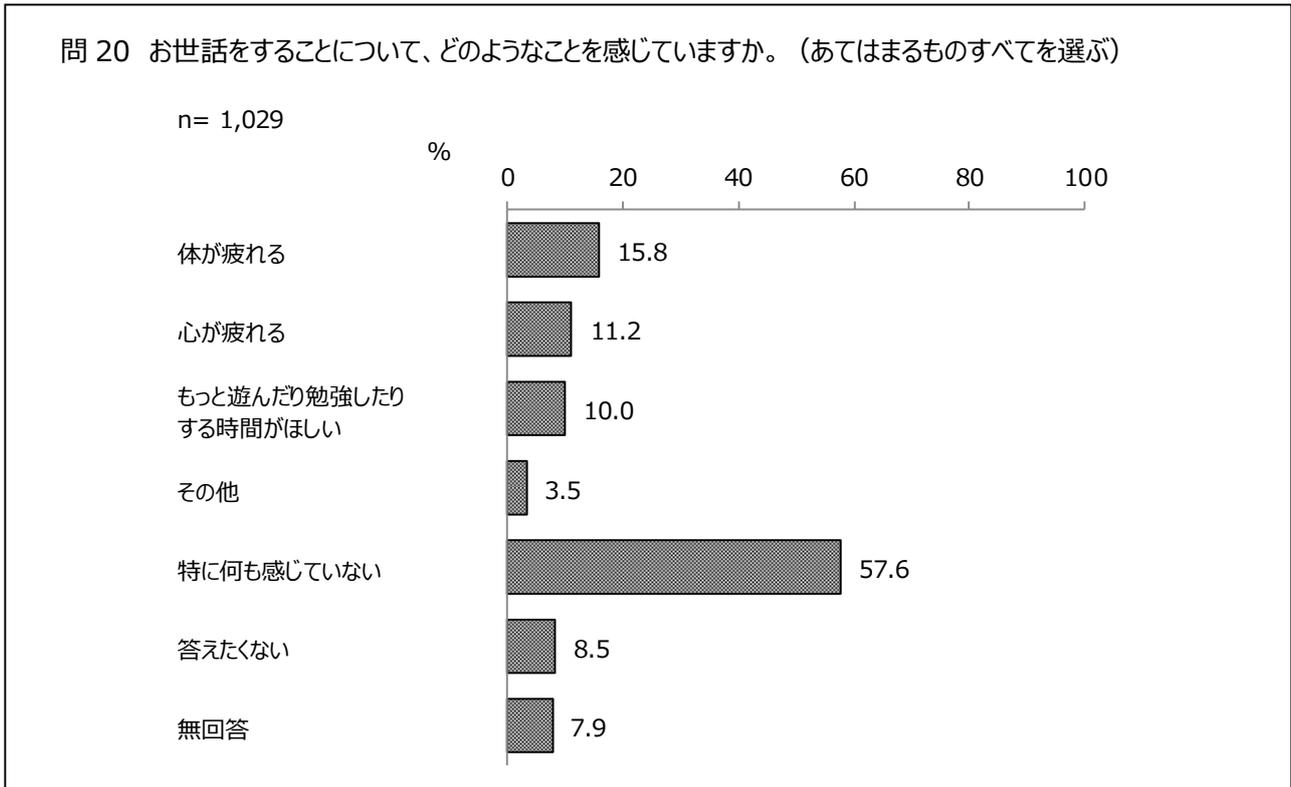
1日あたりにお世話を費やす時間は、「1～3時間」が63.5%で最も高く、次いで「3～7時間」(25.7%)、「7時間以上」(9.8%)となっている。

(9) お世話による制約



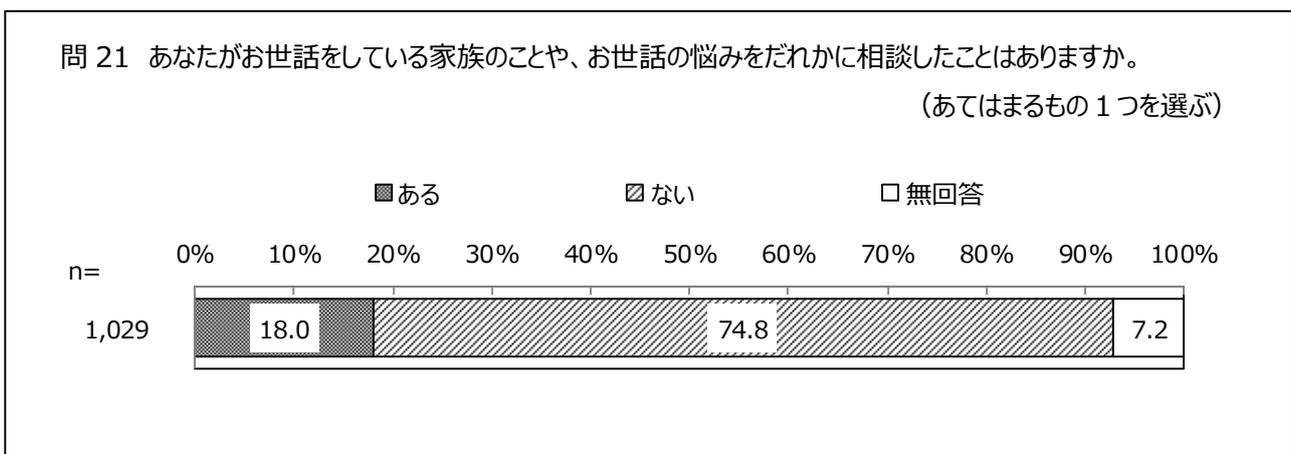
お世話による制約は、「特になし」が71.9%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「自分の時間が取れない」が9.6%で最も高く、次いで「友達と遊べないことがある」(8.5%)、「宿題など勉強する時間がない」(8.5%)、「眠る時間がたりない」(6.5%)となっている。

(10) お世話をすることについて感じていること



お世話をすることについて感じていることは、「特に何も感じていない」が57.6%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「体が疲れる」が15.8%で最も高く、次いで「心が疲れる」(11.2%)、「もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい」(10.0%)となっている。

(11) お世話について相談した経験

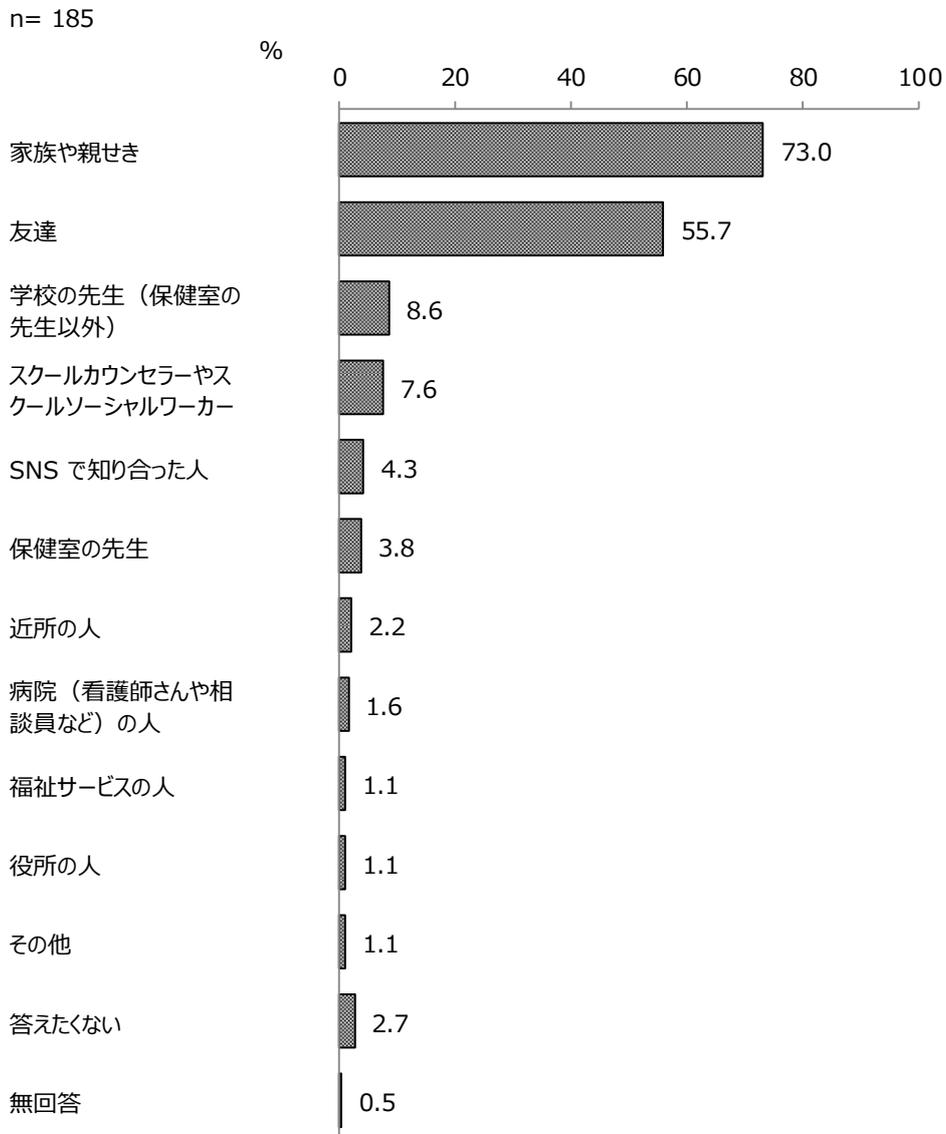


お世話について相談した経験は、「あり」が18.0%、「ない」が74.8%となっている。

(12) お世話についての相談相手

(問 21 で「ある」と答えた人にお聞きします。)

問 22 それはだれですか。(あてはまるものすべてを選ぶ)



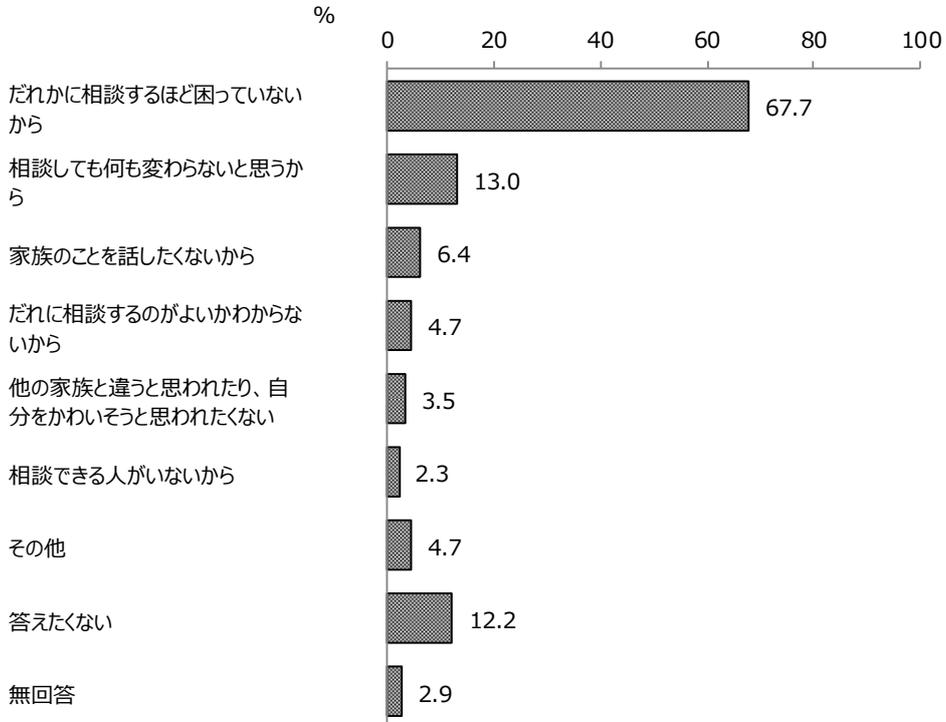
お世話についての相談相手は、「家族や親せき」が73.0%で最も高く、次いで「友達」(55.7%)、「学校の先生（保健室の先生以外）」(8.6%)、「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー」(7.6%)となっている。

(13) お世話について相談したことがない理由

(問 21 で「ない」と答えた人にお聞きます。)

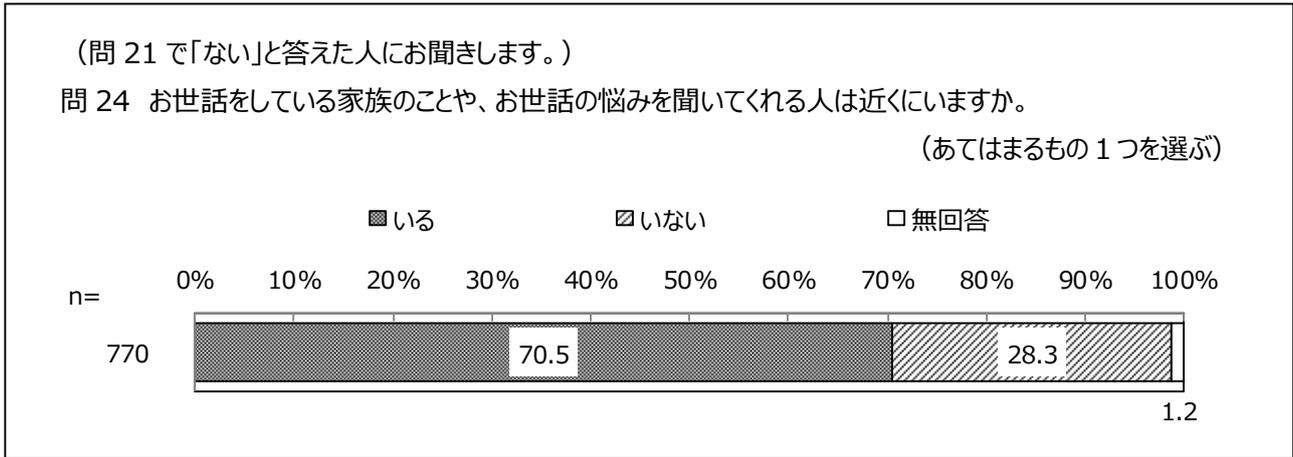
問 23 相談していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてを選ぶ)

n = 770



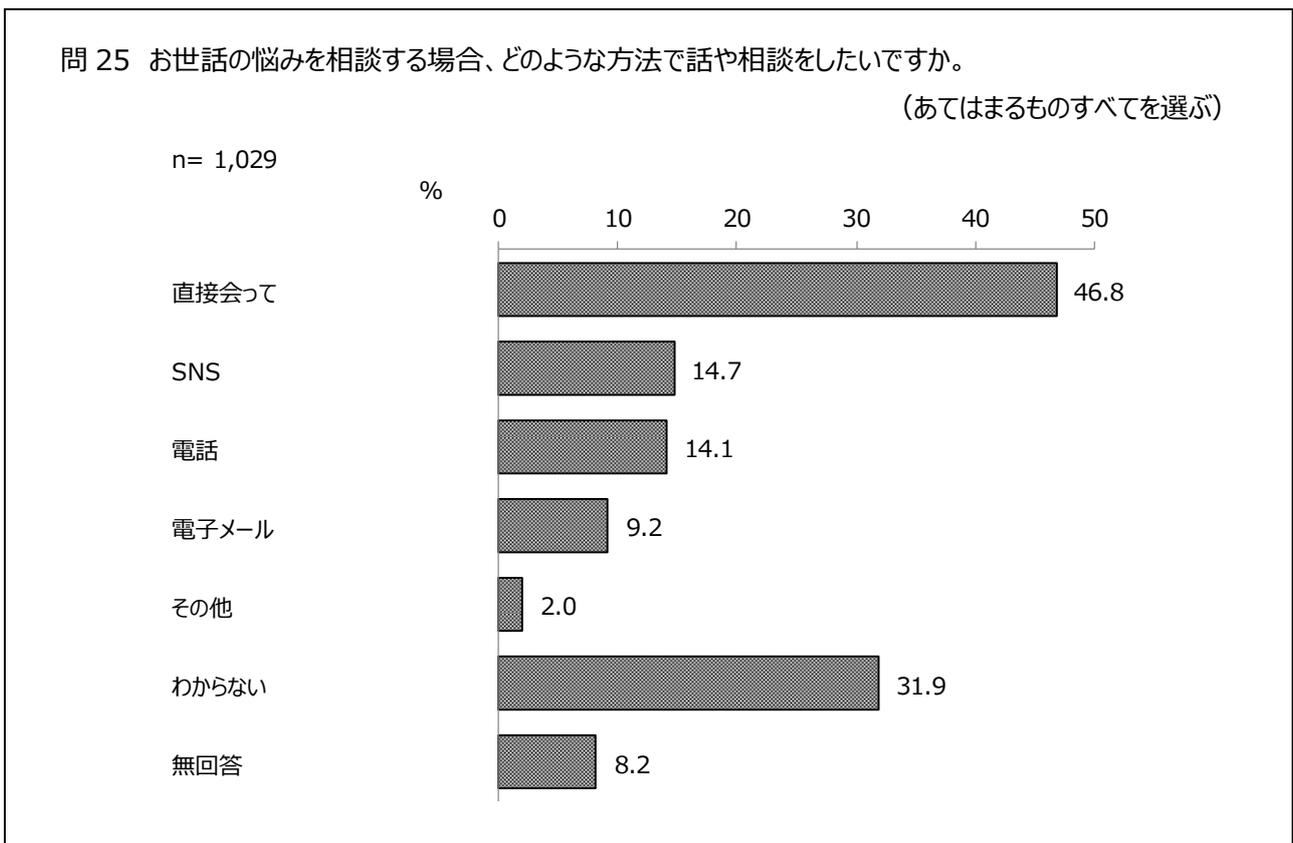
お世話について相談したことがない理由は、「だれかに相談するほど困っていないから」が67.7%で最も高く、次いで「相談しても何も変わらないと思うから」(13.0%)、「家族のことを話したくないから」(6.4%)、「だれに相談するのがよいかわからないから」(4.7%)となっている。「答えたくない」は12.2%だった。

(14) お世話について話を聞いてくれる人の有無



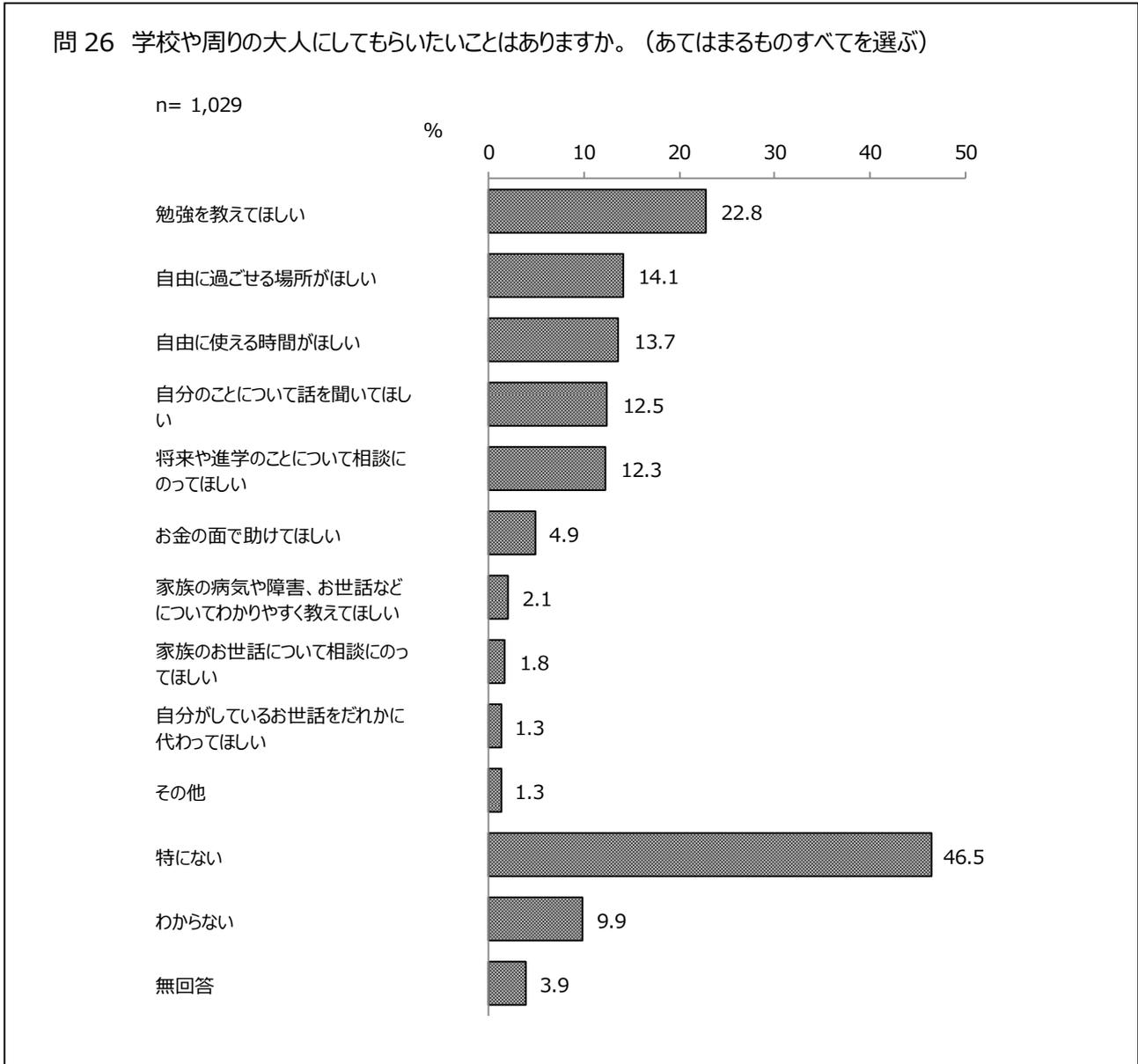
お世話について話を聞いてくれる人の有無は、「いる」が 70.5%、「いない」が 28.3%となっている。

(15) 希望する相談方法



希望する相談方法は、「直接会って」が 46.8%で最も高く、次いで「SNS」(14.7%)、「電話」(14.1%)、「電子メール」(9.2%)となっている。「わからない」は 31.9%だった。

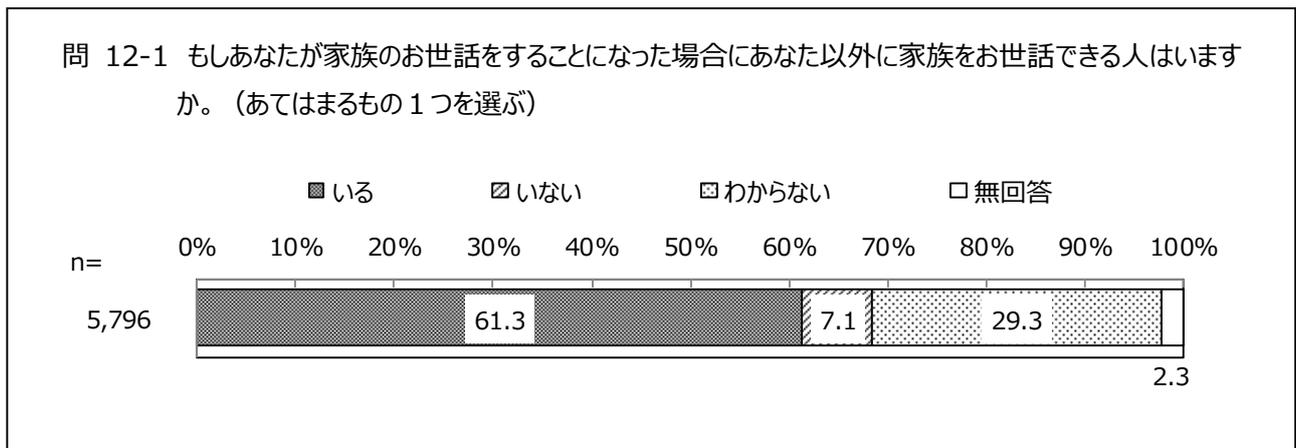
(16) 学校や大人にしてもらいたいこと



学校や大人にしてもらいたいことは、「特にない」が46.5%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「勉強を教えてください」が22.8%で最も高く、次いで「自由に過ごせる場所がほしい」(14.1%)、「自由に使える時間がほしい」(13.7%)となっている。

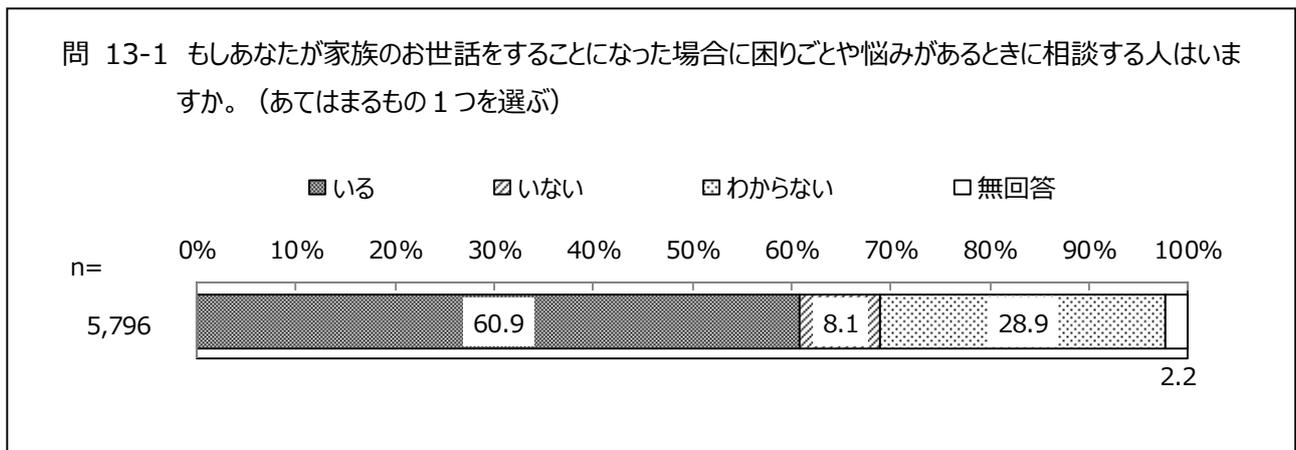
4 もし自分が家族のお世話をすることになったら

(1) 家族のお世話をすることになった場合に自分以外にお世話ができる人



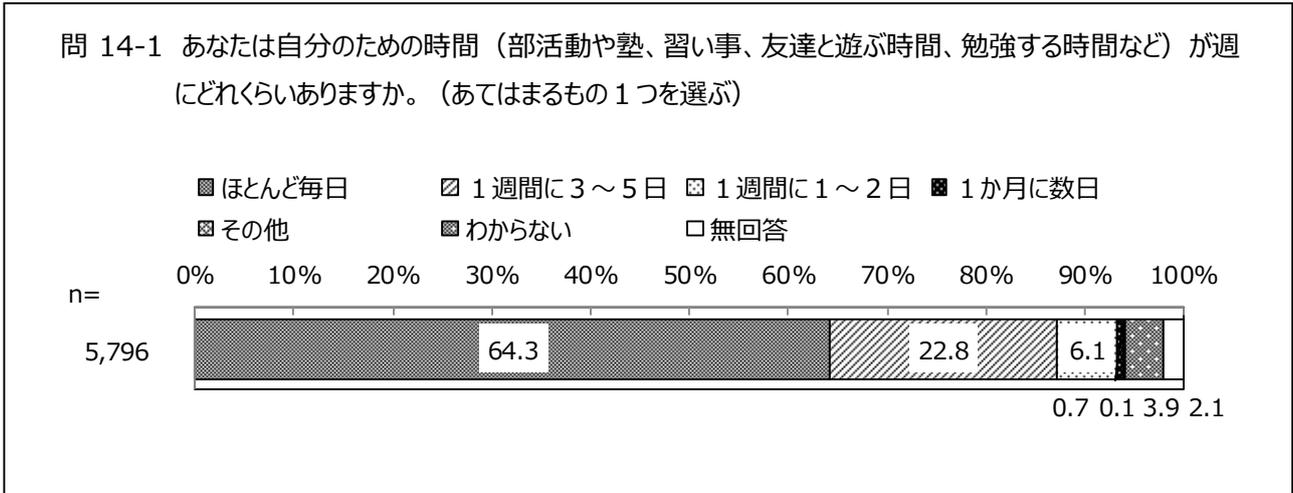
家族のお世話をすることになった場合に自分以外にお世話ができる人は、「いる」が61.3%、「いない」が7.1%、「わからない」が29.3%となっている。

(2) 家族のお世話をすることになった場合に困りごとや悩みを相談できる人



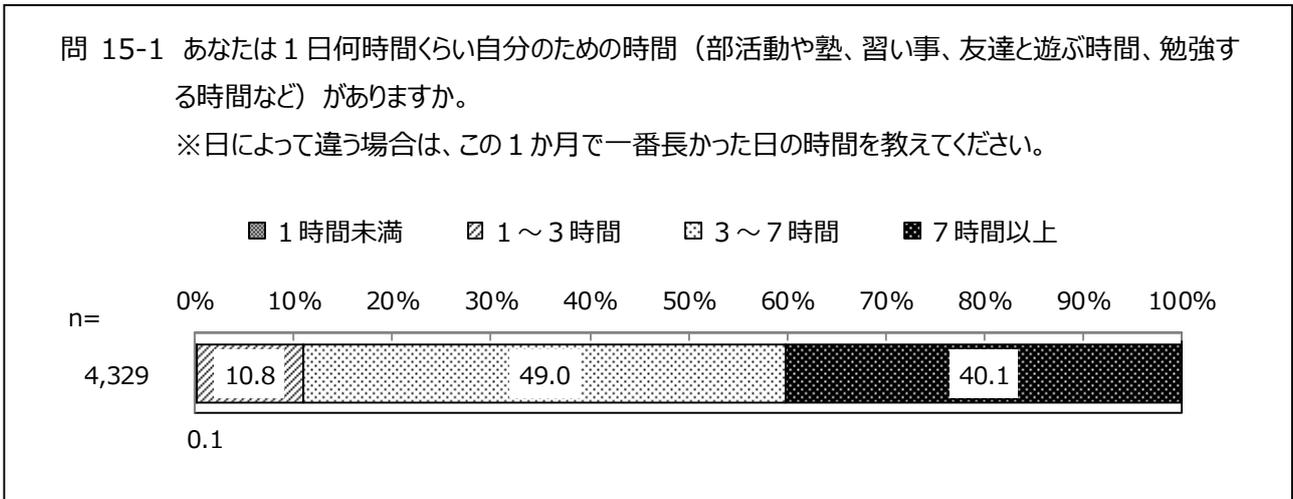
家族のお世話をすることになった場合に困りごとや悩みを相談できる人は、「いる」が60.9%、「いない」が8.1%、「わからない」が28.9%となっている。

(3) 1週間あたりの自分のために使える時間



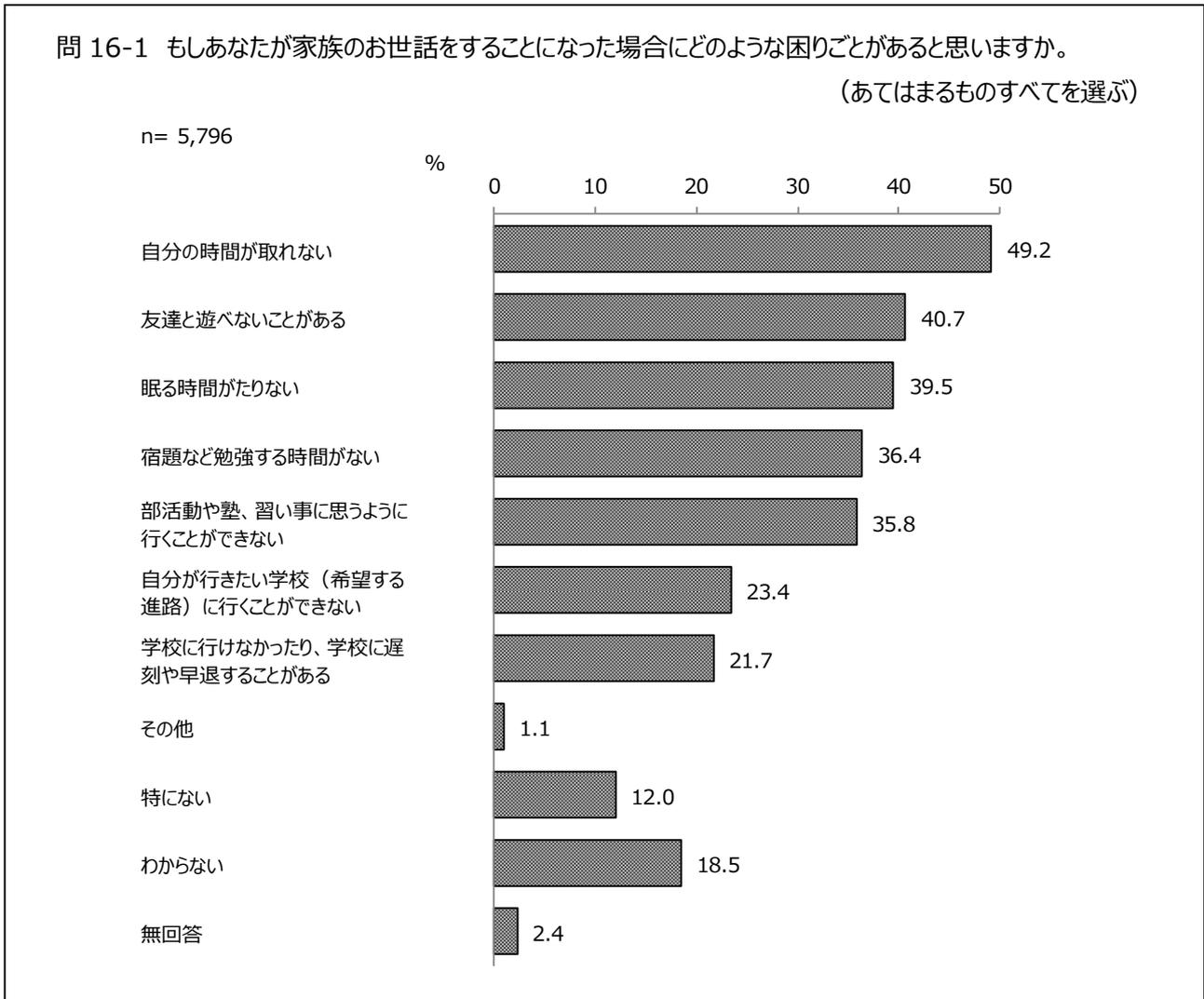
1週間あたりの自分のために使える時間は、「ほとんど毎日」が64.3%で最も高く、次いで「1週間に3～5日」(22.8%)、「1週間に1～2日」(6.1%)となっている。

(4) 1日あたりの自分のために使える時間



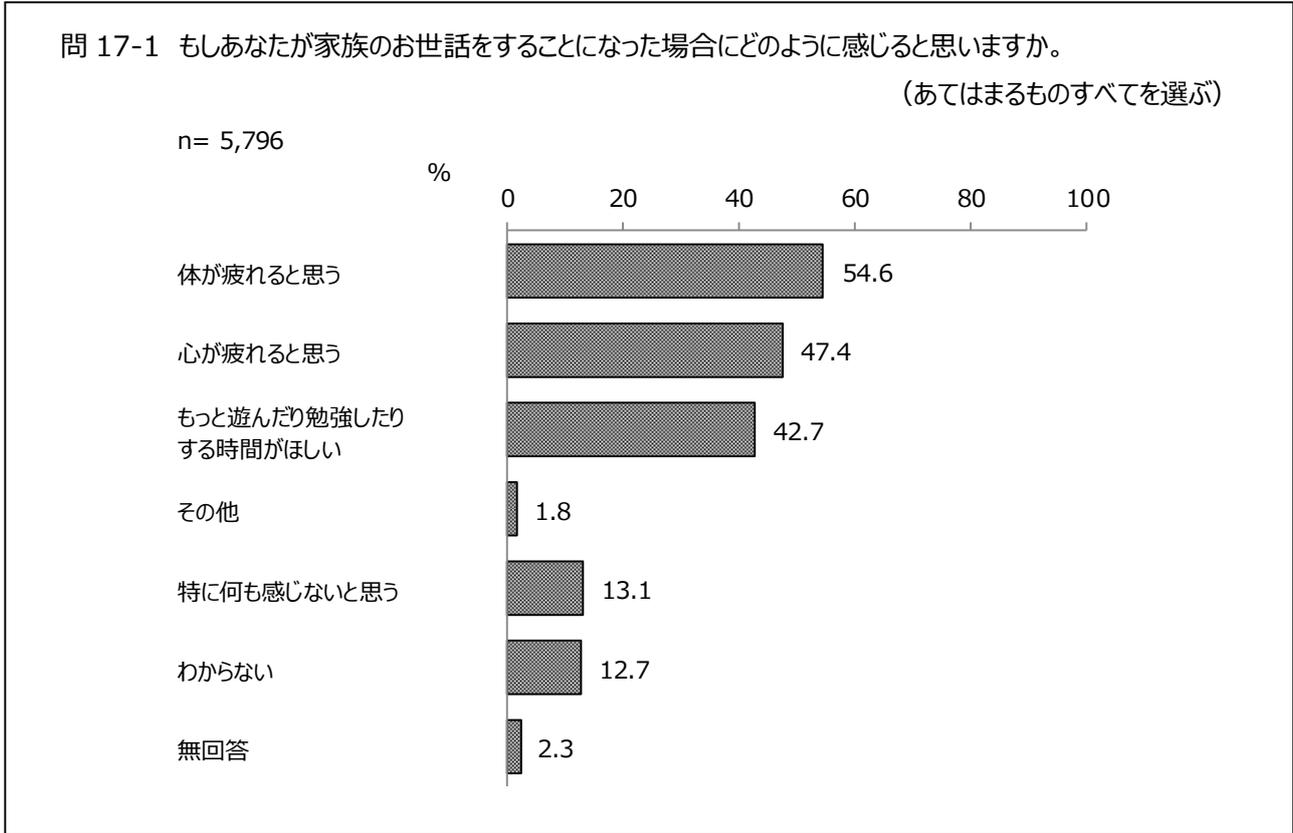
1日あたりの自分のために使える時間は、「3～7時間」が49.0%で最も高く、次いで「7時間以上」(40.1%)、「1～3時間」(10.8%)となっている。

(5) 家族のお世話をすることになった場合に想定できる困りごと



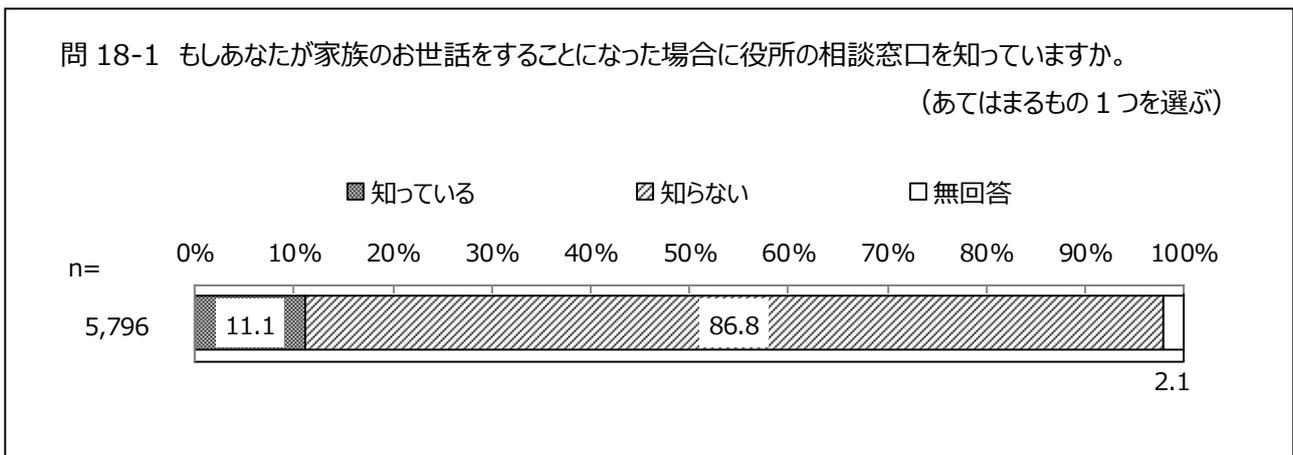
家族のお世話をすることになった場合に想定できる困りごとは、「自分の時間が取れない」が49.2%で最も高く、次いで「友達と遊べないことがある」(40.7%)、「眠る時間がたりない」(39.5%)、「宿題など勉強する時間がない」(36.4%)となっている。

(6) 家族のお世話をすることになった場合に想定できる大変さ



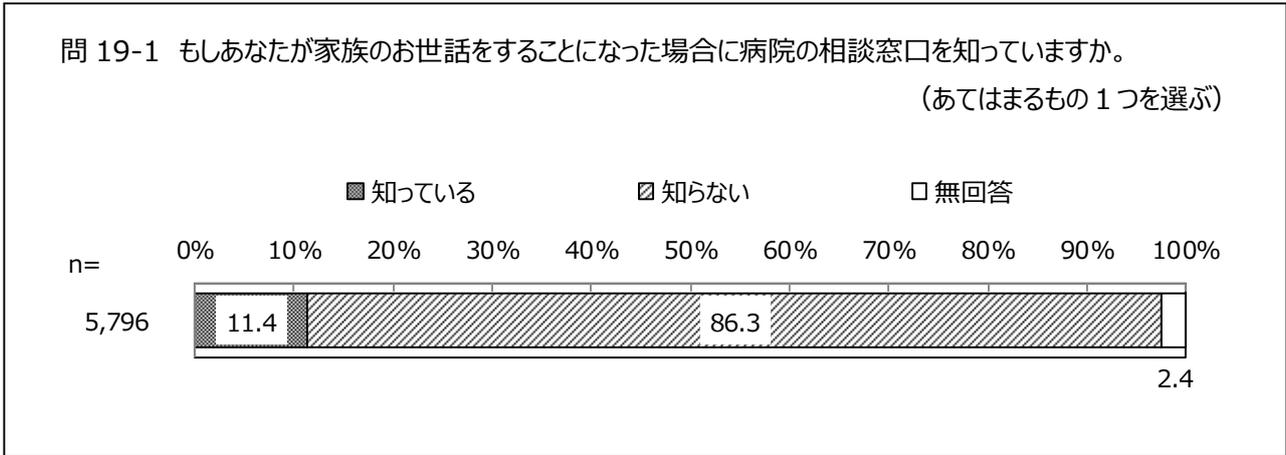
家族のお世話をすることになった場合に想定できる大変さは、「体が疲れると思う」が 54.6%で最も高く、次いで「心が疲れると思う」(47.4%)、「もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい」(42.7%)となっている。一方、「特に何も感じないと思う」は 13.1%だった。

(7) 役所の相談窓口の認知度



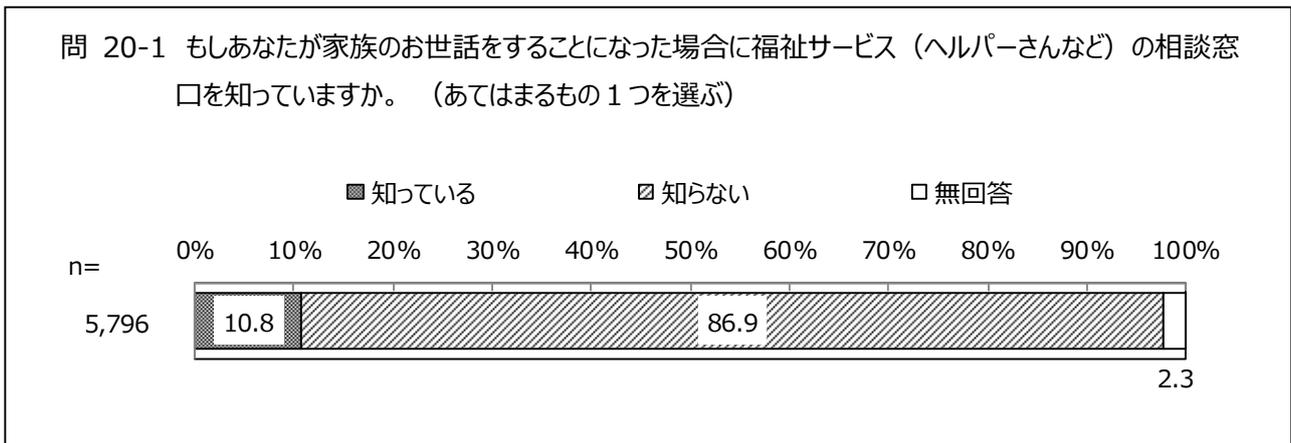
役所の相談窓口の認知度は、「知っている」が 11.1%、「知らない」が 86.8%となっている。

(8) 病院の相談窓口の認知度



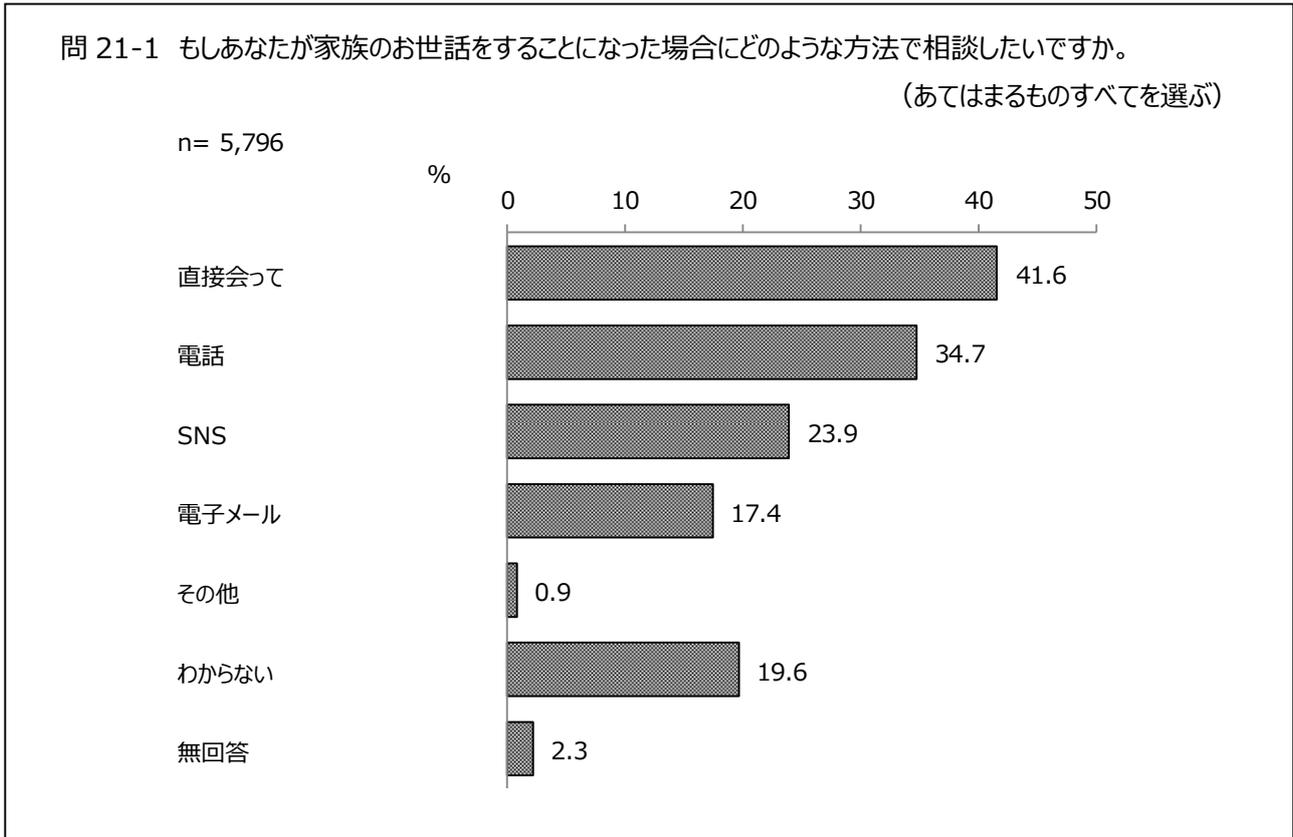
病院の相談窓口の認知度は、「知っている」が11.4%、「知らない」が86.3%となっている。

(9) 福祉サービスの相談窓口の認知度



福祉サービスの相談窓口の認知度は、「知っている」が10.8%、「知らない」が86.9%となっている。

(10) 家族のお世話をすることになった場合に希望する相談方法

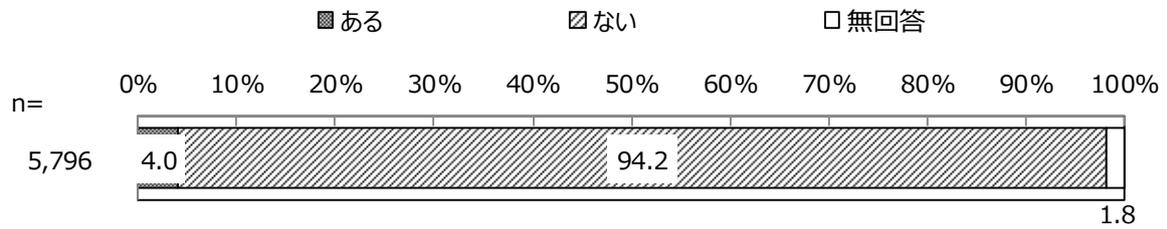


家族のお世話をすることになった場合に希望する相談方法は、「直接会って」が41.6%で最も高く、次いで「電話」(34.7%)、「SNS」(23.9%)、「電子メール」(17.4%)となっている。「わからない」は19.6%だった。

5 家族のお世話をしている友人について

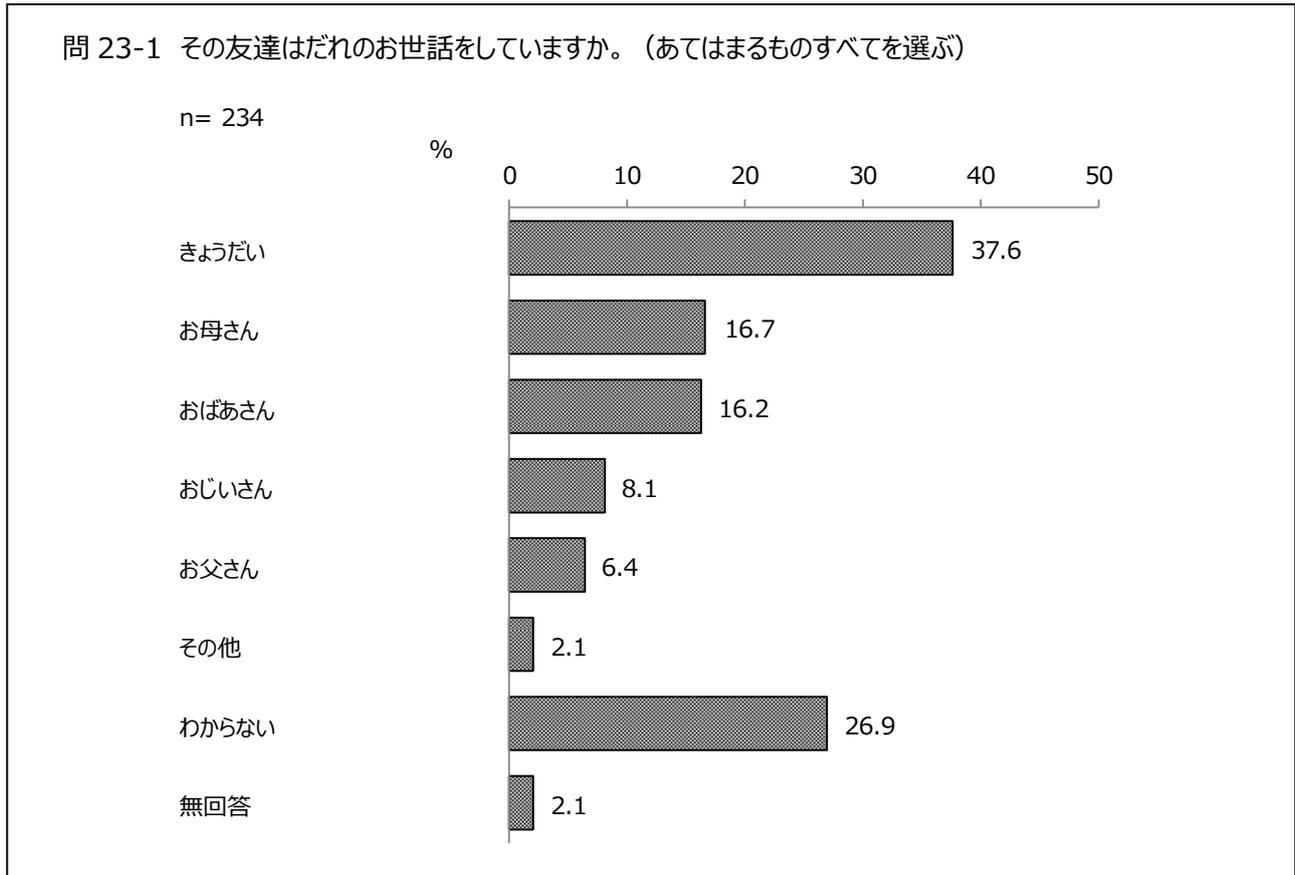
(1) 友人からのお世話についての相談の有無

問 22-1 あなたは友達が家族などのお世話をしている話を聞いたことやお世話について相談を受けたことがありますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)



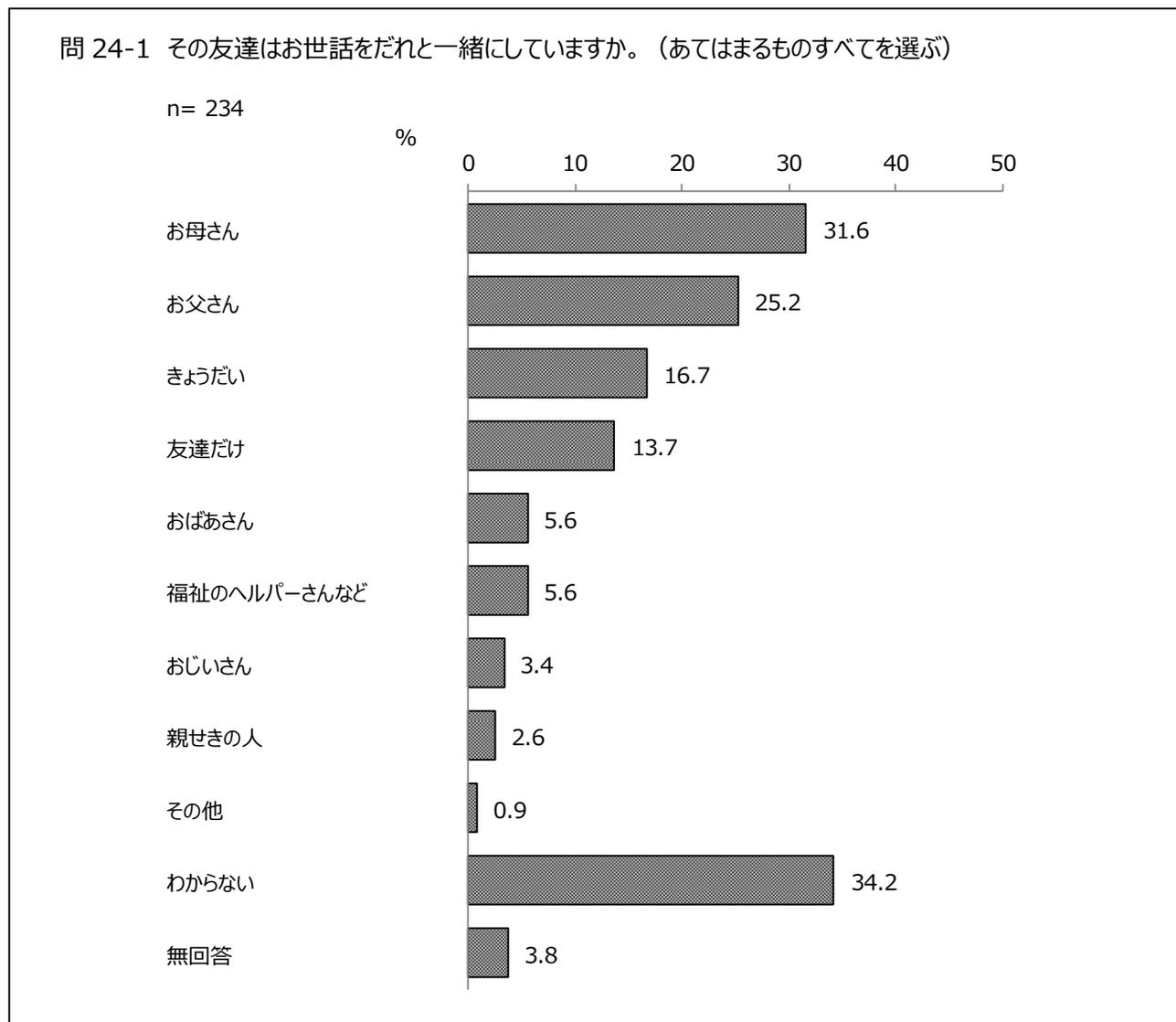
友人からのお世話についての相談の有無は、「ある」が4.0%、「ない」が94.2%となっている。

(2) お世話をしている友人のお世話をしている人



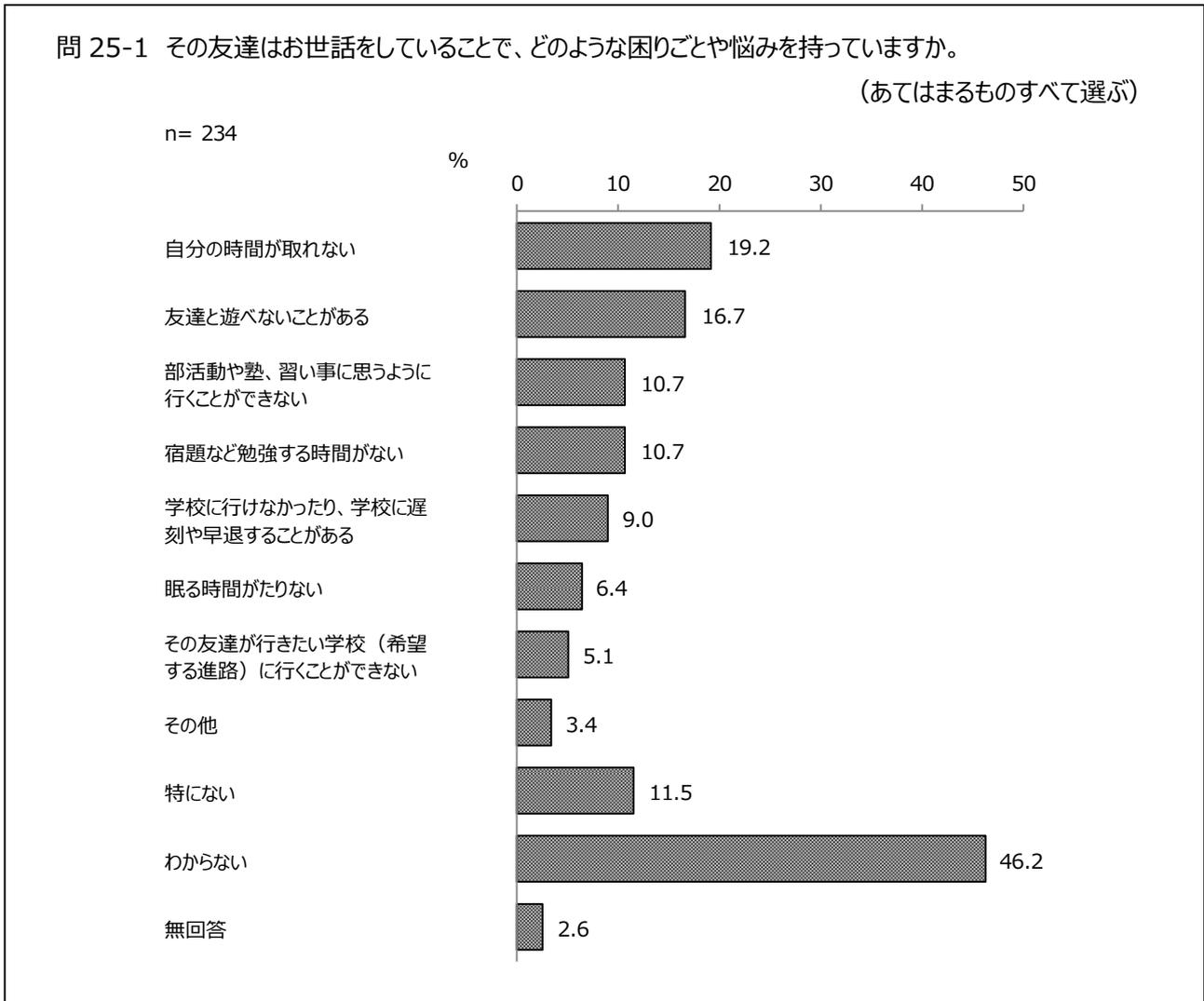
お世話をしている友人のお世話をしている人は、「きょうだい」が37.6%で最も高く、次いで「お母さん」(16.7%)、「おばあさん」(16.2%)、「おじいさん」(8.1%)となっている。「わからない」は26.9%だった。

(3) お世話をしている友人と一緒に世話をしている人



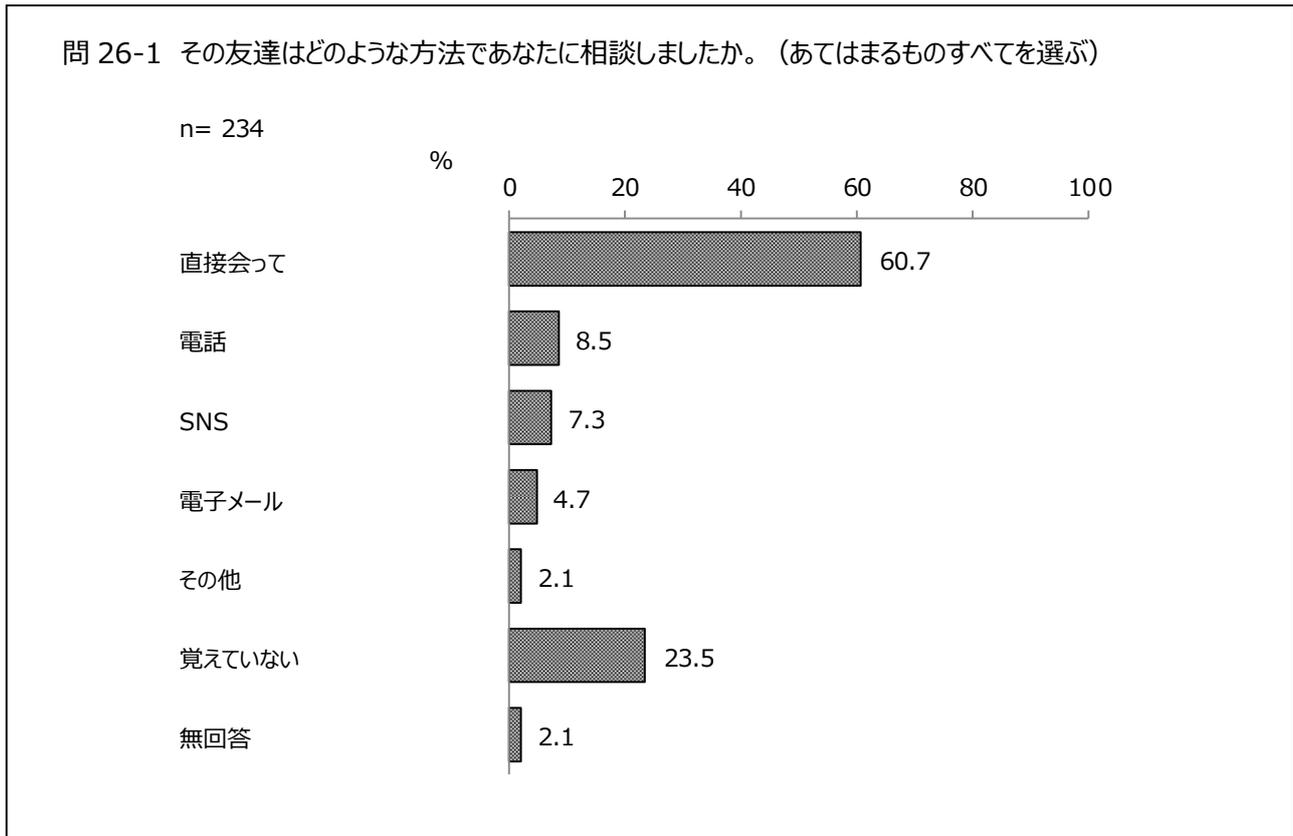
お世話をしている友人と一緒に世話をしている人は、「わからない」が34.2%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「お母さん」が31.6%で最も高く、次いで「お父さん」(25.2%)、「きょうだい」(16.7%)、「友達だけ」(13.7%)となっている。

(4) お世話をしている友人のお世話についての困りごとや悩み



お世話をしている友人のお世話についての困りごとや悩みは、「わからない」が 46.2%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「自分の時間が取れない」が 19.2%で最も高く、次いで「友達と遊べないことがある」(16.7%)となっている。

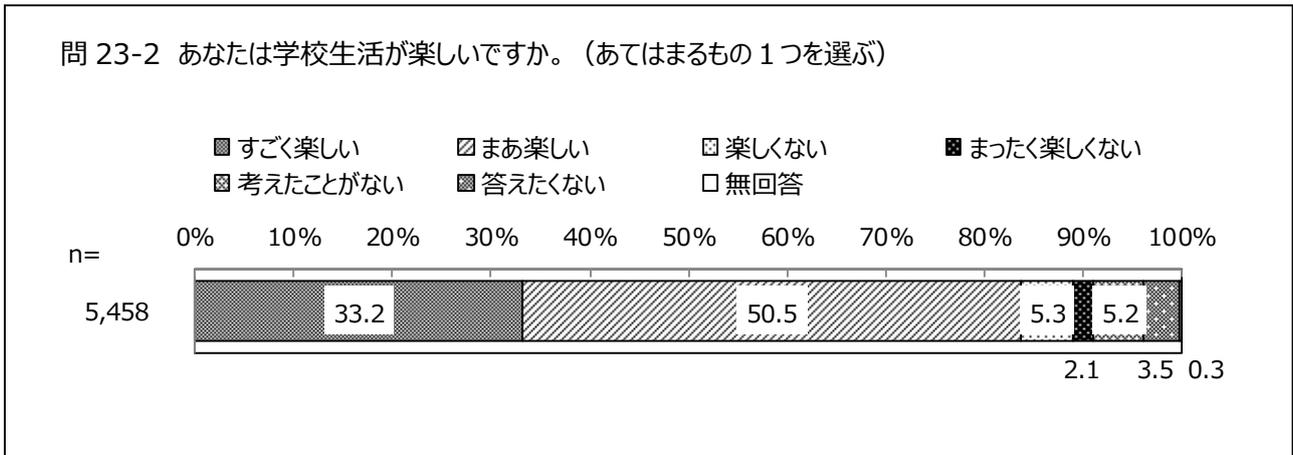
(5) お世話をしている友人からの相談方法



お世話をしている友人からの相談方法は、「直接会って」が 60.7%で最も高く、次いで「電話」(8.5%)、「SNS」(7.3%)、「電子メール」(4.7%)となっている。「覚えていない」は 23.5%だった。

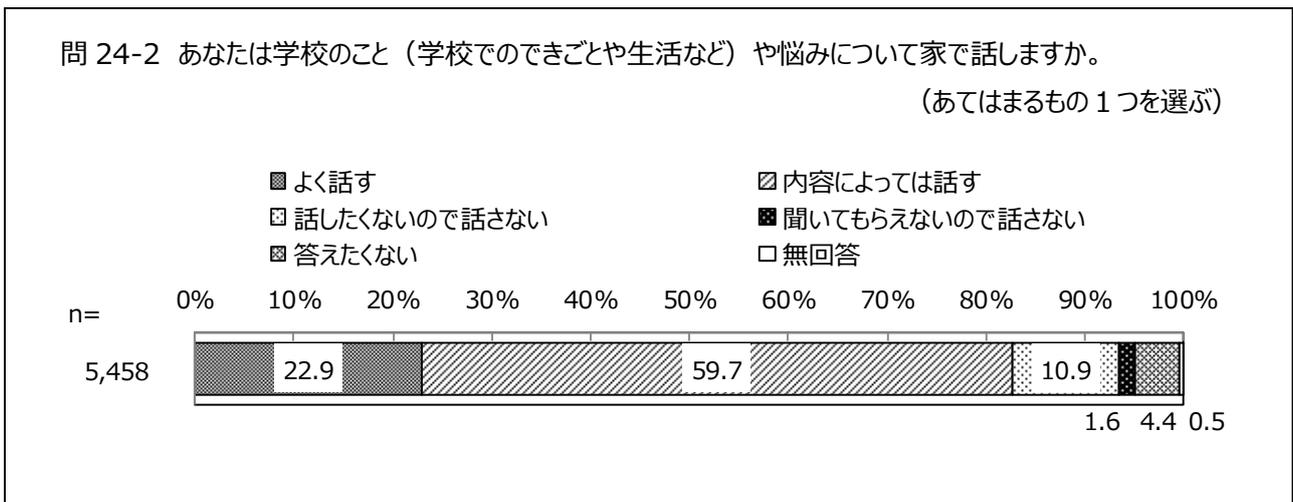
6 日常生活について

(1) 学校生活の満足度



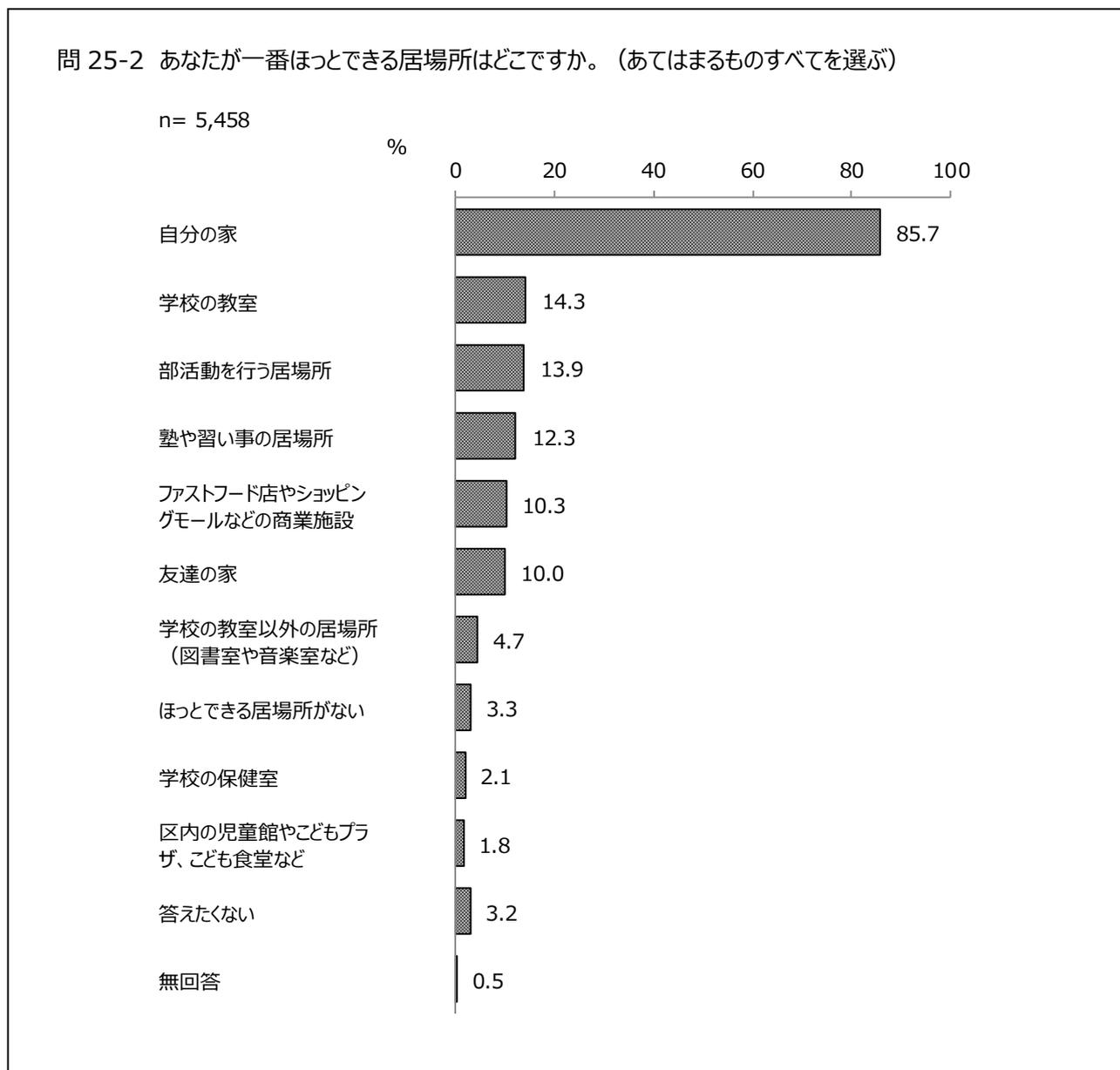
学校生活の満足度は、「まあ楽しい」が50.5%で最も高く、次いで「すごく楽しい」(33.2%)、「楽しくない」(5.3%)となっている。

(2) 学校生活での悩みを家庭で話すか



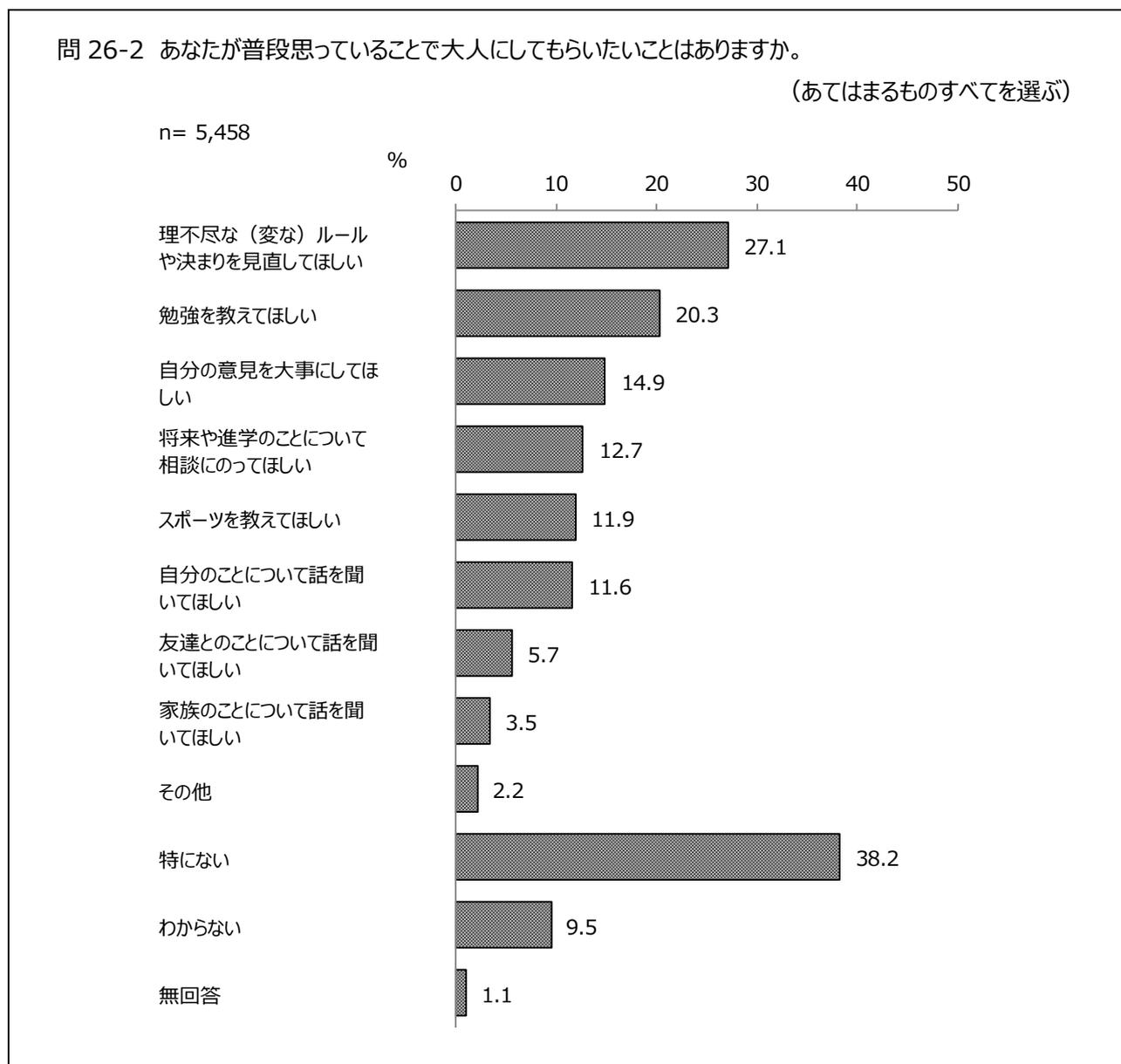
学校生活での悩みを家庭で話すかは、「内容によっては話す」が59.7%で最も高く、次いで「よく話す」(22.9%)、「話したくないので話さない」(10.9%)となっている。

(3) 一番ほっとできる居場所



一番ほっとできる居場所は、「自分の家」が 85.7%で最も高く、次いで「学校の教室」(14.3%)、「部活動を行う居場所」(13.9%)、「塾や習い事の居場所」(12.3%)となっている。

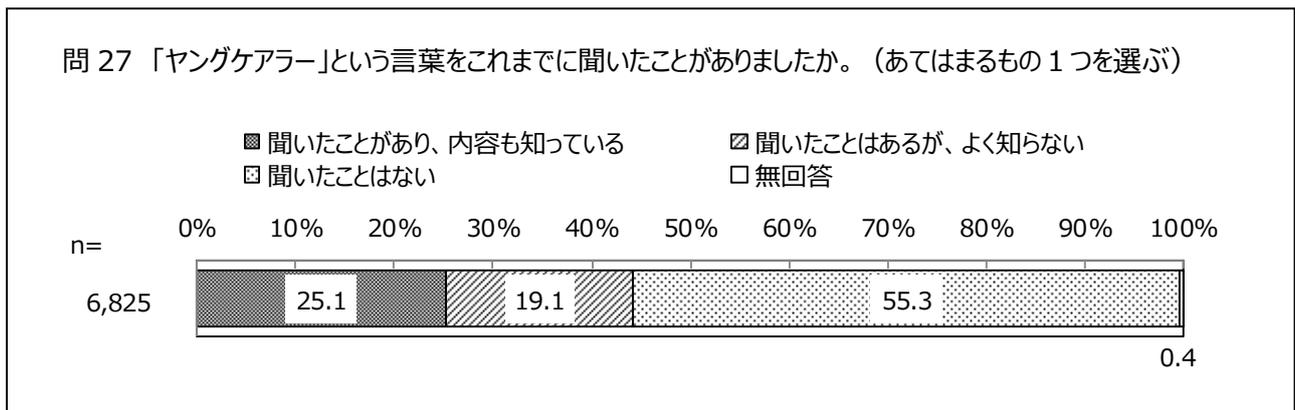
(4) 普段思っていることについて大人にしてもらいたいこと



普段思っていることについて大人にしてもらいたいことは、「特にない」が38.2%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「理不尽な(変な)ルールや決まりを見直してほしい」が27.1%で最も高く、次いで「勉強を教えてください」(20.3%)、「自分の意見を大事にしてほしい」(14.9%)となっている。

7 ヤングケアラーについて

(1) ヤングケアラーの認知度



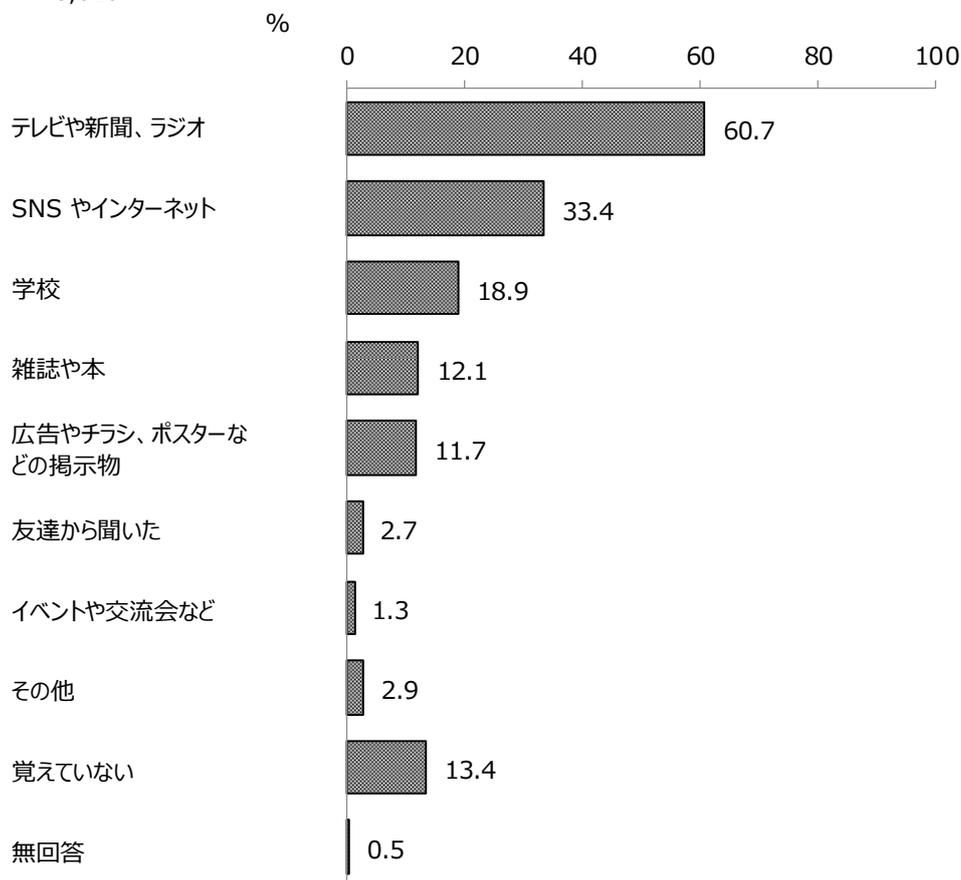
ヤングケアラーの認知度は、「聞いたことはない」が55.3%で最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」(25.1%)、「聞いたことはあるが、よく知らない」(19.1%)となっている。

(2) ヤングケアラーについて知ったきっかけ

(問 27 で「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた人にお聞きします。)

問 28 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

n= 3,018



ヤングケアラーについて知ったきっかけは、「テレビや新聞、ラジオ」が60.7%で最も高く、次いで「SNS やインターネット」(33.4%)、「学校」(18.9%)となっている。「覚えていない」は13.4%だった。

(3) お世話をしている子どものために必要だと思うこと

問 29 家族のお世話をしている子どものために必要だと思うことや学校や周りの大人にしてもらいたいこと、あなたがお世話をしていることで困っていることなどを自由に書いてください。
(みなさんの名前や家族の名前、住所、学校の名前は書かないでください。)

以下、原文掲載を基本としつつ、一部編集・抜粋の上掲載。

①家族のお世話をしている子どもにとって、必要だと思うこと

- ・家族の世話をしている人でも自分の時間は必要だと思う。少しでも自分と向き合うことは大切だと思う。
- ・家族のお世話を任されていたとしても、自分の人生は自分のものだから、自分の好きなことに熱中できる時間が必要だと思う。
- ・子供の時間を奪い過ぎないように、支援してほしいと思う。
- ・お世話している子どもたちがゆっくりと過ごせる場所だったり、時間を作るべき。
- ・子供が苦しいと思ったなら逃げられる環境にする。
- ・ずっとお世話をしているのは、辛いと思う。だから休ませてあげたい。
- ・一人で疲れや悩みを抱え込まないようにさせることが必要だと思う。
- ・お世話をしている子どものメンタルケア。
- ・身近な人に相談する、電話で相談したり、一人で抱え込まない。
- ・気軽に相談できるようにもっと身近なところに相談窓口などを開設すると思う。
- ・その子ども自身が一人で追い詰められないようにいろんな所に相談できるということをもっと広めてほしい。
- ・たぶんヤングケアラーの人はまず親には相談できないので、相談するなら先生か近所の知り合いの大人の人になると思います。だけど先生にも聞きづらいと思います。だからこっちから聞いてあげることが必要だと思います。
- ・一人でお世話をするのはすごく大変なことだから、そのような子がいたら相談窓口の大人がお話を聞いてしっかりと協力すること、地域の人が気づいてあげることが大切だと思う。
- ・一度、塾の先生に家族のことを相談して、親に報告したことで、怒られた事があるので、大人に相談しにくい。友達がいるなら、友達との時間が大切だと思う。相談は、友達にしてから大人に相談するか、判断する。
- ・言い出せない子が多いと思うので、その子達が相談しやすい環境づくり、周りからのケアが必要だと思う。
- ・子供一人だけに任せきるのではなくて、支援をする団体や福祉のサービスを紹介してほしい。
- ・介護施設や、病院などに入れるような手配や、人によっては金銭面での支援。辛い心を和らげる場所や機会。勉強や部活が出来る状態にするための臨時のお世話係などの手配や人によっては金銭面での支援。
- ・ヘルパーさんや介護施設などにかかる料金の負担を軽くする。また、家族のお世話のための負担も軽くする。

<ul style="list-style-type: none"> ・親などの介護をする人が学生しかいない場合は老人ホームなどのサービスが半額になるなどの金銭的負担を減らしてくれる制度が必要だと考えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・もっと介護施設とそこに通わせてあげるための補助金が必要だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・講習会のようなものを開いて相談窓口等の存在を認識してもらったり、学校側からヘルパーさんを紹介するなど自主的に行動することができない生徒の事も考えた取り組みをして欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・家族の世話をしている子供の為に、国が無料で支援をするような制度を作り、少しでもそのような子供の負担を減らせばいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・もっと自分たちの時間を作るためにベビーシッターや介護士などをより安く頼めるようにできる世の中になってほしいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・家族のお世話をしている人に対しての福祉や対応をもう一度見直ししてみる事。
<ul style="list-style-type: none"> ・すべての負担が子供にかからないように周りの人が手伝うことが必要だと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・周りの大人が家族のお世話をしている子供に気づいて、支えてあげる事。
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアみたいな人が家族のお世話を子供の代わりにやってくれること。
<ul style="list-style-type: none"> ・お世話をしていることを配慮して放課後勉強を教えるなどのサポートをしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・在宅授業ができると多少はヤングケアラーの負担を減らせるかもしれないと思いました。
<ul style="list-style-type: none"> ・世話をしている子がまだ義務教育を受けている年齢であれば家族の世話をしなければならない子どもたち用の学校を作り、学習できる環境を作れば良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校などでアンケートや、スクールカウンセラーの方との個別相談を定期的に行ってほしいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・家族のお世話をしている子供がいることを授業でしっかりと学び、そのような子供たちに対する偏見をなくす。
<ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラーの子が所属している学校や習い事場でヤングケアラーの理解を深める必要があると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・もっとヤングケアラーについて周りの人が知る必要があると思った。
<ul style="list-style-type: none"> ・家族の間でどんな事が起こっているのかを学校や、周りが理解すること。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域間の繋がりが強くなればもっと楽に世話できると思うので、そういうイベントがあったほうが周りの人に助けてもらうきっかけになると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・その子（ヤングケアラー）に寄り添ってその状況から抜け出す方法を一緒に考えてあげたり今まで頑張ったねとか優しい言葉をかけてあげたりするのが必要だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・話したり聞いてあげたりして少しでも重みというか緊張感だったりとかを軽くしてあげられたらいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・勉強で分からないところを教えたり、悩み事を聞く。
<ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラーのかたは自分から困っているとは言えないと思うので、少しでも異変に気づいて声をかけてくれたらその子もホッとすると思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・相談されたとしても本人が納得する答えがある可能性は少なくむしろ本人の気持ちが重くなってしまふかもしれないからあまり触れないで明るい時間を過ごさせてあげる。また相談されたらその場に合わせて親身に聞いてあげる。

②経験談、要望・求める支援（お世話をしている家族がいると回答した生徒の意見）

・お世話をすることで、自分がやらなければならない課題などができないことがある。
・妹のお世話が大変で心や体が疲れることがある。
・手伝ってほしいのは分かるが子どもにあまり手伝わせないでほしい。
・手伝ってほしい。手伝うことが当たり前だと思ってほしくない。
・なるべく大人がするべきで子供はしたい子だけでいいと思う。
・頑張ってお世話をしている子供への感謝の気持ちを忘れないでほしい。
・自分は学校に帰ってから、母が仕事に出発したりするときがありますが、そのとき家にいる妹の世話をしていることがあります。それで勉強ができないこともあります。今の所特に困っていることはなく、妹にとっても家にいることは必要だと思うので、このままで良いと思います。
・家の家事をすることで、自分の時間は消えるが、その分、将来役に立つと思いつながらやっています。
・お世話をしていることが嫌じゃないが自分が一人でいられる時間がほしい。
・特に困ってるほどではないが、もう少し自分の時間がほしい。
・お世話をすると体が疲れるから、ゆっくり休む時間がほしい。
・家族のために介護は必要なことだと分かってはいますが、自分の時間が取れなかつたりするのは大変です。あまり友達には心配をかけたくないですが、たまに相談にのってくれる人がいると嬉しいです。
・私は特に精神的ストレスが溜まるので、そういうときのためのみんなに知られないような手軽な相談相手がほしいです。また、できれば同性がいいです。
・話は聞いてほしいが、複雑な気持ちなので楽に話を聞いたり、会話したりしてほしい。
・祖母が老人ホームに入居するための料金を負担してもらいたい。
・勉強ができてなかつたり言われたことが直ぐにできなかつたりしても責めすぎないでほしい。
・日頃の学習時間など、自分のやりたいことをする時間が十分に取れるように相談に乗ったり、その日学習したことをノートなどを見せて教えてくれるといいと思う。
・自分の時間が取れず、勉強する時間などが取れにくい。宿題やテスト前などは誰かにお世話を変わってほしい。金銭的援助やヘルパーさんなどのお手伝いをする人を無償で派遣するなどがお世話をしている子供に必要なことだと思う。

③その他

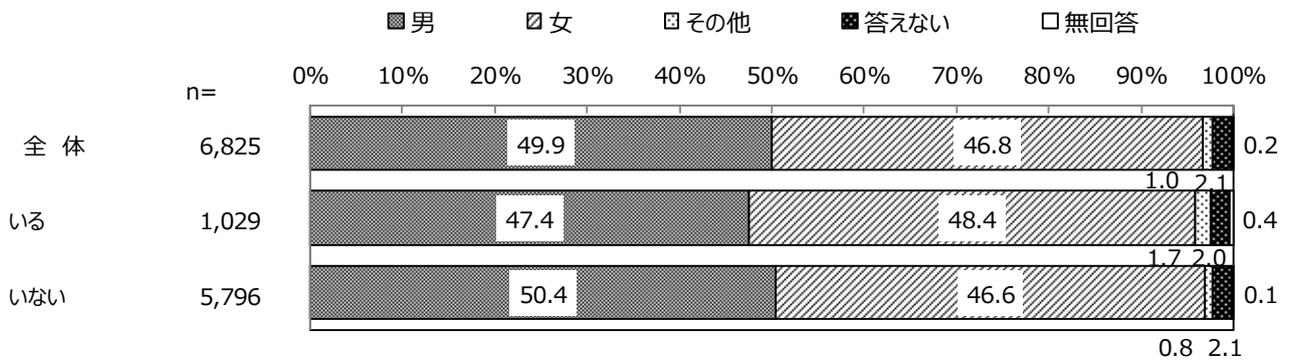
<p>・子供に任せないこと。たとえできていてもそれは子供にとって大きな負担になっていると思う。</p>
<p>・本人が世話をどうしてもしたくないような状況があるならば、預かってくれる施設が必要だと考えています。私にはヤングケアラーの知り合いがありますが、ヤングケアラーであることを理由に部活動や委員会に所属できず、家にまっすぐ帰ることを強いられることや、学校にいても家にいてもずっと身内のことを心配しほっと出来る環境がないことはおかしなことだと思います。</p>
<p>・若いからとか家族だからってその子にお世話を全部押し付けず、家族全員で役割を分担して家族のお世話をすることが必要だと思う。</p>
<p>・周りの人がその人自身よりも考えてあげなければいけないと思う。本人は「あたり前」だと思っているのならその認識は違うと教えなければいけないと思うし、一人で抱えきれないのであればその重さを分かち合って助けるべきだと思う。</p>
<p>・家族のお世話をしている人には、その自覚が持てるような機会が必要になると思う。自分は本来、自由に進路を選べて、自分のための時間が持てるということを自覚できれば、相談に行くことも増えると思う。</p>
<p>・気軽に相談できる場所を確保してほしい。また、自分がヤングケアラーであることに気がついていない場合もあるため、このようなアンケートなどで自覚してもらうのも解決の一步だと思う。</p>
<p>・偏見などの格差はあってはならないと思う。またお世話をしていたとしても、その人の権利は大切にしたいと思う。</p>
<p>・「ヤングケアラー」を知らない人は一定数いると思うので、言葉と内容を多くの人に知ってもらう活動（授業や配布物？）が大切だと思う。わたしはポスターで存在を知ったので、ポスターでの広報を活発にするのもいいと思う。</p>
<p>・同じヤングケアラー同士で集まって交流会を開いて、同じ想いを共有して、「自分だけじゃないんだ」とほっとできるような場所をつくるのが大切だと思います。</p>

8 追加分析

(1) お世話をしている家族の有無別からみた回答者の属性、生活状況等

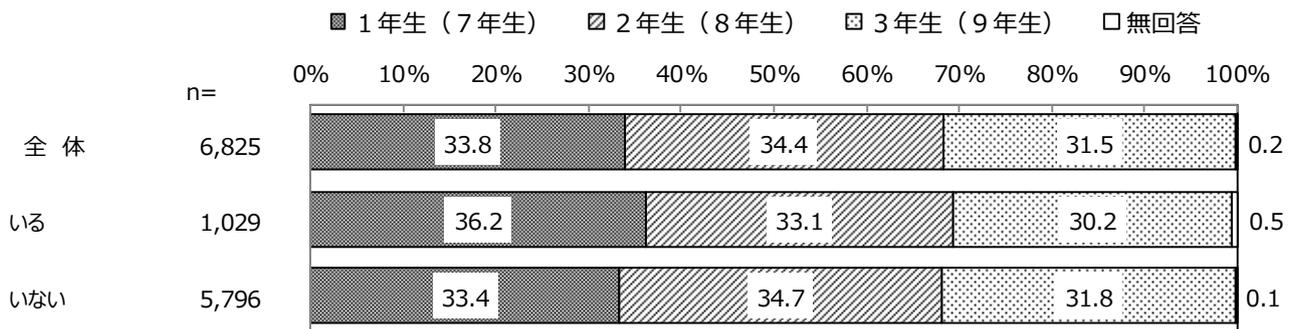
①性別

お世話をしている家族の有無別でみると、「男」はお世話をしている家族が“いない”が“いる”よりも3.0ポイント高くなっている。



②学年

お世話をしている家族の有無別でみると、お世話をしている家族の有無で大きな差異はみられない。



③同居家族

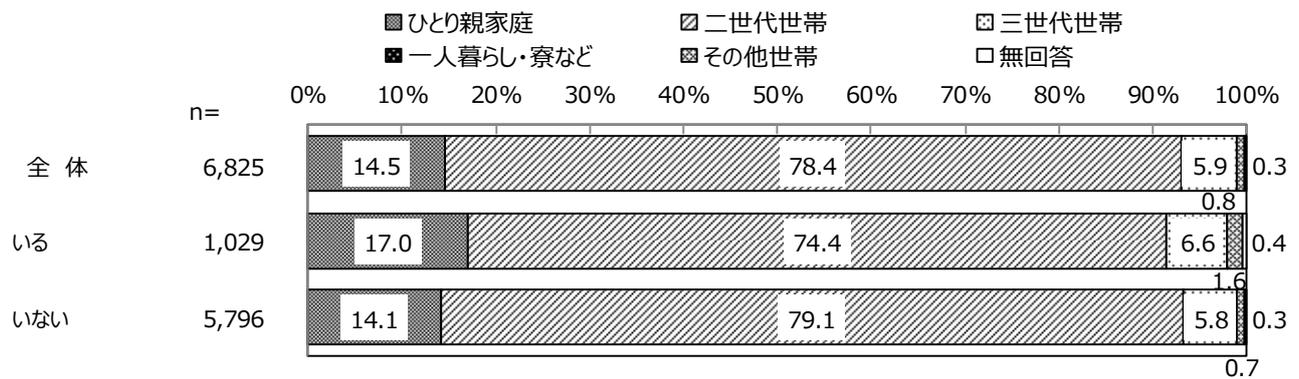
お世話をしている家族の有無別でみると、「弟」、「妹」はお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも10.0ポイント以上高くなっている。

	調査数 (n)	お母さん	お父さん	弟	お兄さん	妹	お姉さん	おばあさん	(%)
全体	6,825	97.1	86.1	26.2	24.3	23.5	23.4	8.5	
いる	1,029	96.3	82.8	39.3	21.4	34.9	22.0	9.8	
いない	5,796	97.2	86.7	23.9	24.9	21.5	23.7	8.2	

	調査数 (n)	おじいさん	その他	無回答
全体	6,825	5.1	1.6	0.3
いる	1,029	5.2	2.3	0.4
いない	5,796	5.1	1.4	0.3

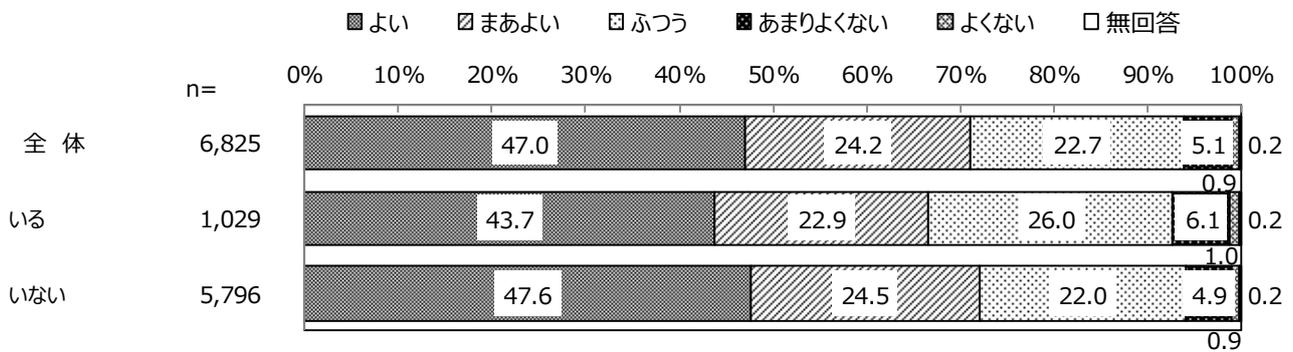
④家族構成

お世話をしている家族の有無別でみると、「二世帯世帯」はお世話をしている家族が“いない”が“いる”よりも4.7ポイント高くなっている。



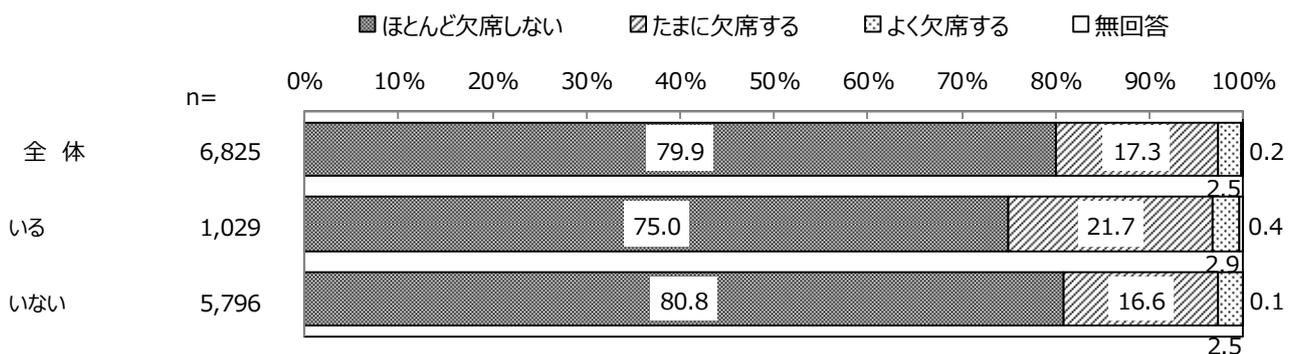
⑤健康状態

お世話をしている家族の有無別でみると、「ふつう」はお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも4.0ポイント高くなっている。一方、「よい」はお世話をしている家族が“いない”が“いる”よりも3.9ポイント高くなっている。



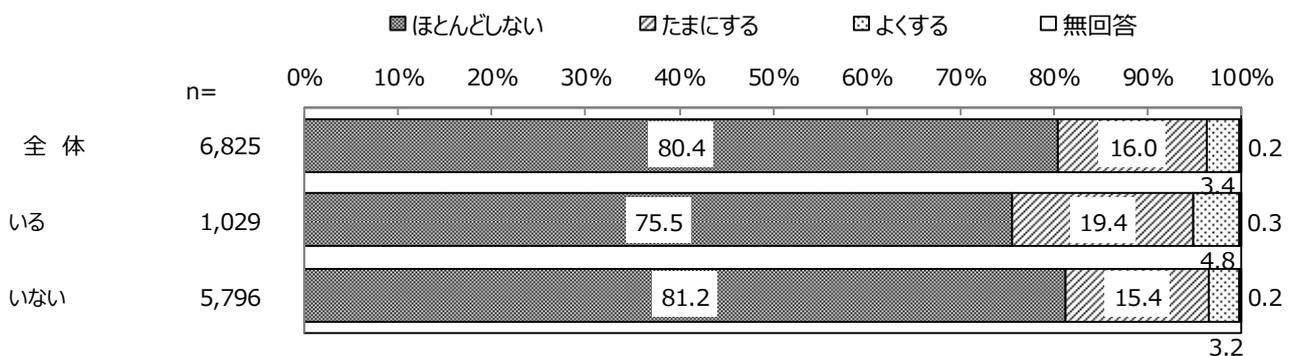
⑥学校への通学状況（出欠状況）

お世話をしている家族の有無別でみると、「ほとんど欠席しない」はお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも5.8ポイント低くなっている。



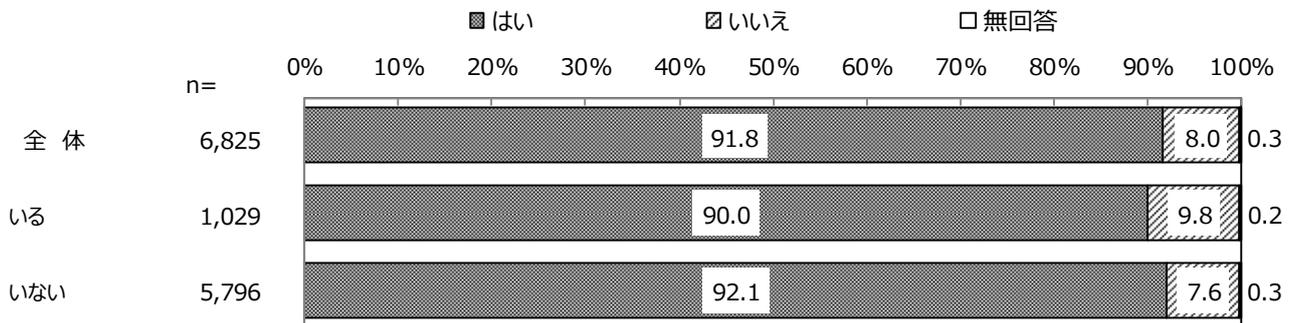
⑦学校への通学状況（遅刻や早退の状況）

お世話をしている家族の有無別でみると、「ほとんどしない」はお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも5.7ポイント低くなっている。



⑧塾や習い事への参加状況

お世話をしている家族の有無別でみると、お世話をしている家族の有無で大きな差異はみられない。



⑨普段の学校生活などであてはまること

お世話をしている家族の有無別でみると、普段の学校生活などであてはまることは、いずれもお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも高く、特に「宿題ができていないことが多い」、「提出物を出すのが遅れることが多い」は7.0ポイント以上高くなっている。一方、「特にない」はお世話をしている家族が“いない”が“いる”よりも7.8ポイント高くなっている。

	調査数 (n)	提出物を出すのが遅れることが多い (%)	持ち物の忘れ物が多い (%)	授業中に寝てしまうことが多い (%)	宿題ができていないことが多い (%)	部活動や塾、習い事を休むことが多い (%)	学校で一人であることが多い (%)	友達と遊んだりする時間が少ない (%)
全体	6,825	30.9	26.1	21.1	18.9	6.6	6.3	6.0
いる	1,029	37.4	31.5	25.0	25.6	8.8	7.4	7.3
いない	5,796	29.7	25.2	20.4	17.7	6.2	6.1	5.8

	調査数 (n)	修学旅行などの宿泊行事を欠席する (%)	保健室にいたることが多い (%)	特にない (%)	無回答 (%)
全体	6,825	1.1	0.9	45.2	2.3
いる	1,029	1.4	1.5	38.6	1.9
いない	5,796	1.0	0.8	46.4	2.3

⑩現在の悩みや困りごと

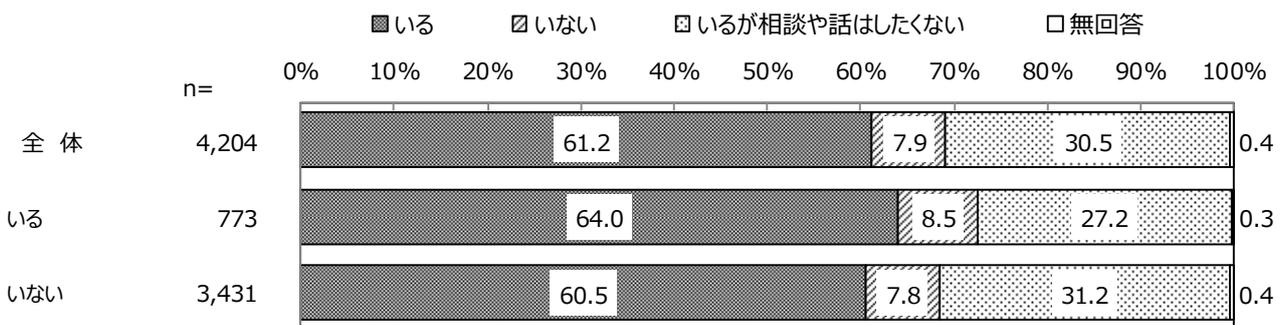
お世話をしている家族の有無別でみると、現在の悩みや困りごとは、いずれもお世話をしている家族が“いる”が“いない”より高く、特に「勉強や学校の成績のこと」は13.4ポイント高くなっている。一方、「特にない」はお世話をしている家族が“いない”が“いる”よりも14.6ポイント高くなっている。

	調査数 (n)	勉強や学校の成績のこと	進路(高校など)が行きた	友達のこと	家族のこと	自分のために使	生活や学校生活に必	その他	無回答
全体	6,825	46.0	35.9	14.7	10.0	8.0	7.2	3.5	
いる	1,029	57.3	42.4	19.1	15.3	9.5	11.4	4.9	
いない	5,796	43.9	34.8	13.9	9.0	7.7	6.4	3.3	

	調査数 (n)	勉強や学校の成績のこと	進路(高校など)が行きた	友達のこと	家族のこと	自分のために使	生活や学校生活に必	その他	無回答
全体	6,825	46.0	35.9	14.7	10.0	8.0	7.2	3.9	2.4
いる	1,029	57.3	42.4	19.1	15.3	9.5	11.4	4.4	1.3
いない	5,796	43.9	34.8	13.9	9.0	7.7	6.4	3.8	2.6

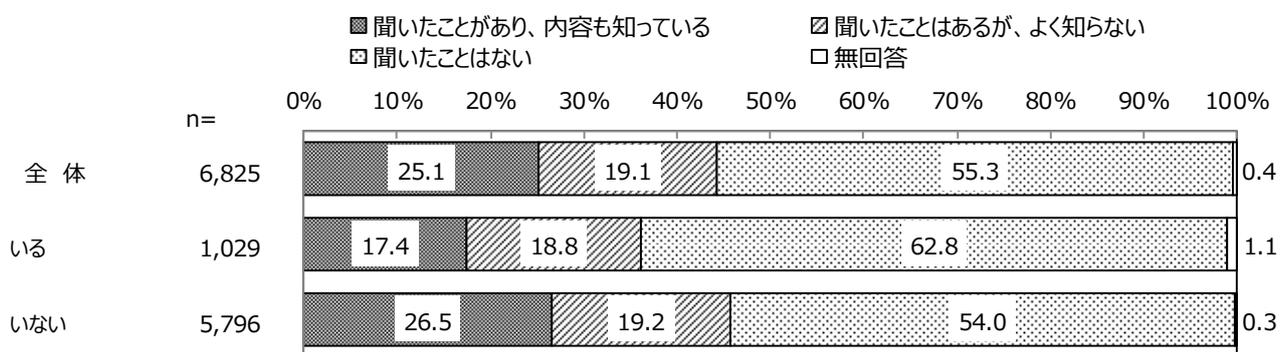
⑪相談相手の有無

お世話をしている家族の有無別でみると、「いる」はお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも3.5ポイント高くなっている。一方、「いるが相談や話はしたくない」はお世話をしている家族が“いない”が“いる”よりも4.0ポイント高くなっている。



⑫ 「ヤングケアラー」の認知度

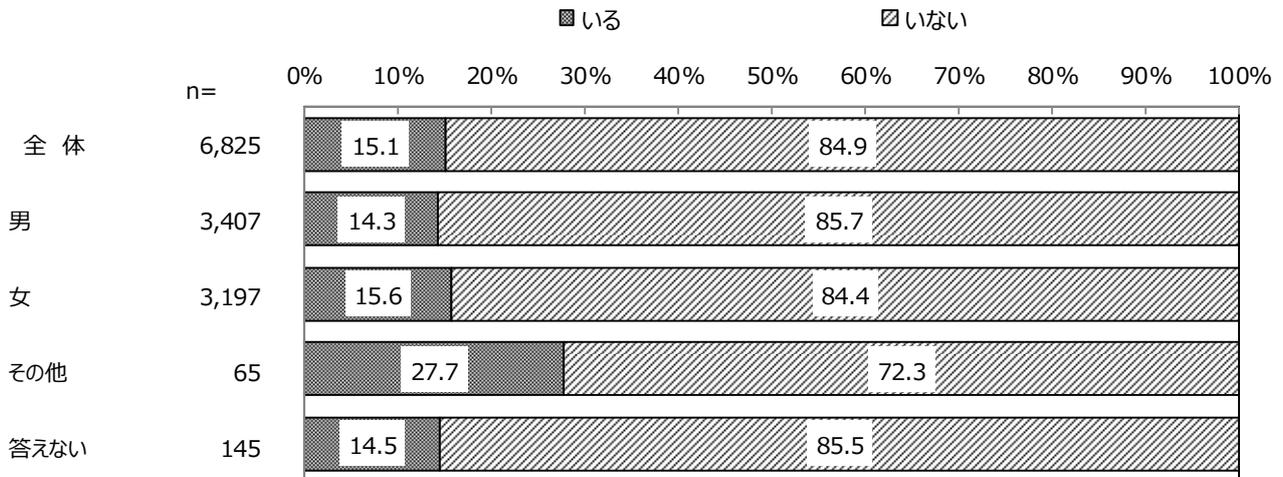
お世話をしている家族の有無別でみると、「聞いたことはない」はお世話をしている家族が“いる”は“いない”よりも8.8ポイント高くなっている。



(2) 性別からみたお世話の状況

①お世話をしている家族の有無

性別でみると、男女で大きな差異はみられない。



②お世話を必要としている家族

性別でみると、「きょうだい」は女が男よりも18.4ポイント高くなっている。一方、「お母さん」は男が女よりも9.8ポイント、「お父さん」も男が女よりも8.6ポイント高くなっている。

	調査数 (n)	きょうだい (%)	お母さん (%)	お父さん (%)	おばあさん (%)	おじいさん (%)	その他 (%)	答えたくない (%)	無回答 (%)
全体	1,029	56.2	32.7	18.4	6.9	3.5	2.2	8.6	7.5
男	488	46.9	37.3	22.1	7.8	3.7	2.3	10.2	9.8
女	498	65.3	27.5	13.5	6.0	3.4	2.0	6.0	5.8
その他	18	72.2	38.9	33.3	11.1	-	-	11.1	-
答えない	21	38.1	38.1	33.3	4.8	4.8	9.5	23.8	-

③お世話の内容

性別でみると、「困りごとを聞く、話し相手になる」、「きょうだいのお世話や保育園への送り迎え」、「転んだり、危ないことをしたりしないか見守る」は女が男よりも10.0ポイント以上高くなっている。一方、「答えたくない」は男が女よりも4.8ポイント高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	家事(掃除、洗濯、買い物など)	見守る、危ないか	転んだり、危ないか	えやき保育園への送り迎え	衣着レがのえ手伝いなど・ト	し困りごとを聞く、話し相手になる	手な病院すたり薬	すた薬を飲む、飲んだか確かめ
全体	1,029	55.4	28.9	23.0	20.9	19.7	15.5	5.9	
男	488	53.1	23.2	16.4	18.2	11.1	13.9	4.3	
女	498	57.6	34.1	30.3	22.7	27.5	16.3	6.4	
その他	18	55.6	38.9	22.2	27.8	27.8	33.3	16.7	
答えない	21	52.4	28.6	9.5	38.1	33.3	23.8	23.8	

	調査数 (n)	通訳(日本語を) 通訳	家の金の管理を する	その他	答えたくない	無回答
全体	1,029	3.6	1.7	2.1	8.1	6.9
男	488	3.1	1.4	2.3	9.8	10.2
女	498	3.2	1.6	1.8	5.0	4.2
その他	18	16.7	11.1	5.6	16.7	-
答えない	21	14.3	-	4.8	33.3	-

④お世話を一緒にしている人

性別で見ると、「お母さん」は女が男よりも13.1ポイント高く、「お父さん」も女が男よりも5.7ポイント高くなっている。一方、「答えたくない」は男が女よりも5.9ポイント高くなっている。

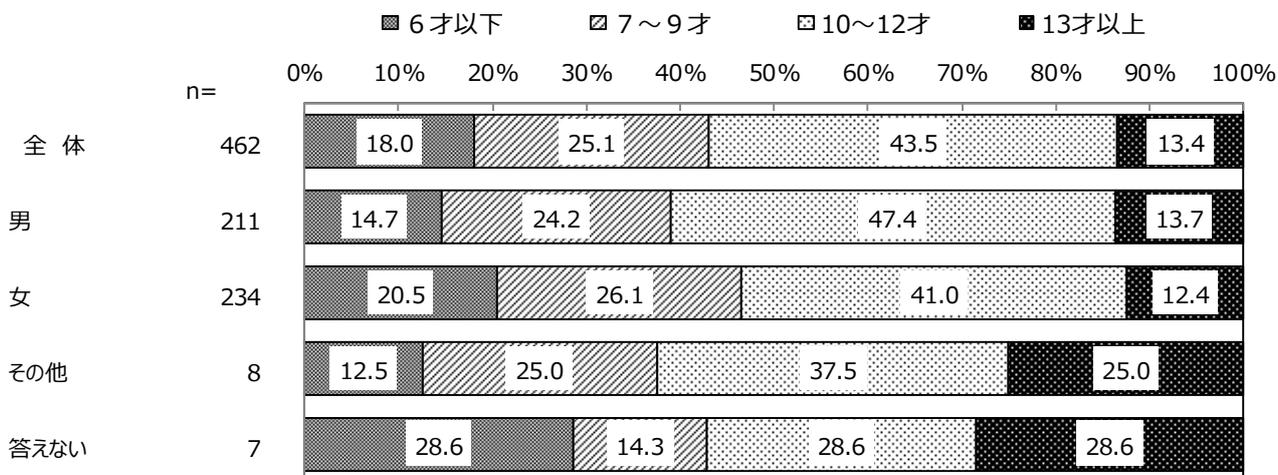
(%)

	調査数 (n)	お母さん	お父さん	きょうだい	自分だけ	おばあさん	おじいさん	親せきの 人
全体	1,029	57.5	38.0	28.4	11.9	5.1	2.0	1.9
男	488	51.2	35.7	27.5	11.7	4.5	2.0	1.4
女	498	64.3	41.4	30.1	12.0	5.8	2.2	2.6
その他	18	61.1	38.9	27.8	5.6	5.6	-	-
答えない	21	38.1	14.3	9.5	14.3	-	-	-

	調査数 (n)	な 福 ど 社 の ヘル パー さん	そ の 他	答 え た く な い	無 回 答
全体	1,029	1.2	1.4	10.6	8.6
男	488	0.6	1.4	12.9	12.5
女	498	1.4	0.8	7.0	5.4
その他	18	-	5.6	22.2	-
答えない	21	9.5	9.5	33.3	-

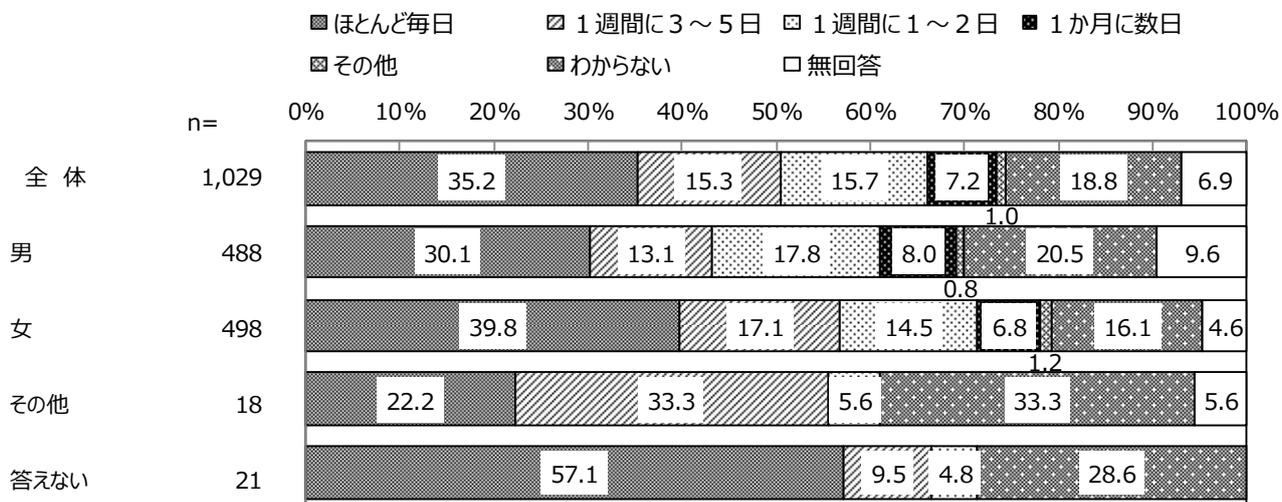
⑤お世話を始めた年齢（4区分）

性別で見ると、「10～12才」は男が女よりも6.4ポイント高くなっている。一方、「6才以下」は女が男よりも5.8ポイント高くなっている。



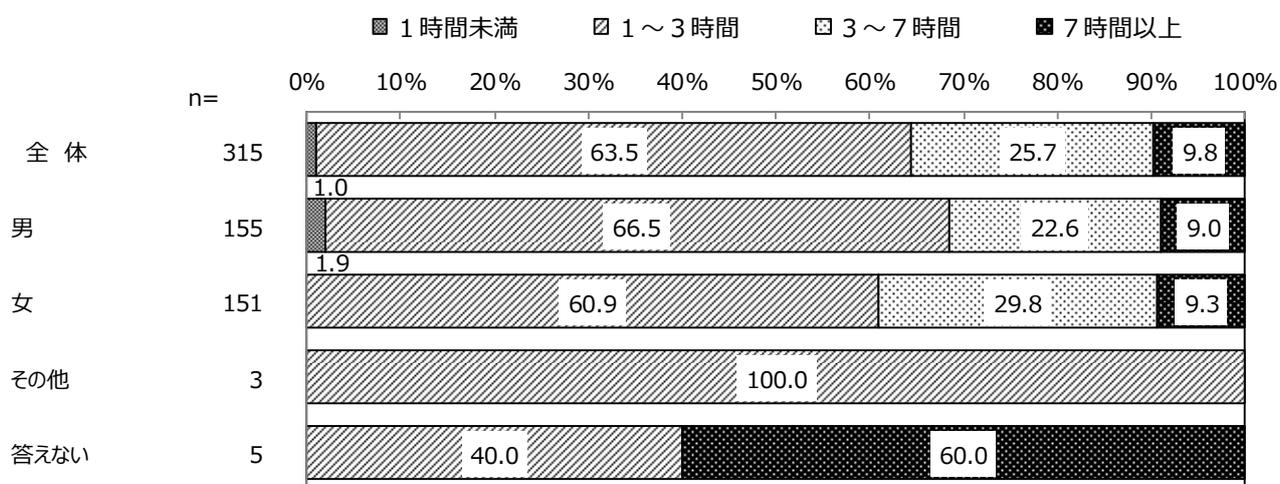
⑥お世話をしている頻度

性別で見ると、「ほとんど毎日」は女が男よりも9.7ポイント高く、「1週間に3～5日」も女が男よりも4.0ポイント高くなっている。一方、「わからない」は男が女よりも4.4ポイント高くなっている。



⑦ 1日あたりにお世話に費やす時間

性別で見ると、「1～3時間」は男が女よりも5.6ポイント高くなっている。一方、「3～7時間」は女が男よりも7.2ポイント高くなっている。



⑧お世話による制約

性別で見ると、「宿題など勉強する時間がない」は女が男よりも6.3ポイント高く、「自分の時間が取れない」も女が男よりも4.2ポイント高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	自分の時間が取れない	友達と遊べないこと	宿題など勉強する時間がない	眠る時間がたりない	部活動や塾、習いごと	行く希望がすすむ(進路)	退学、学校に行けない
全体	1,029	9.6	8.5	8.5	6.5	1.9	1.3	1.1
男	488	7.2	7.6	4.9	5.1	1.4	0.4	0.4
女	498	11.4	9.0	11.2	7.2	2.0	1.6	1.2
その他	18	11.1	5.6	-	-	-	-	-
答えない	21	23.8	19.0	33.3	28.6	14.3	14.3	14.3

	調査数 (n)	その他	特にない	無回答
全体	1,029	0.5	71.9	8.9
男	488	0.8	71.7	11.9
女	498	0.2	72.5	6.6
その他	18	-	77.8	5.6
答えない	21	-	52.4	-

⑨お世話をすることについて感じていること

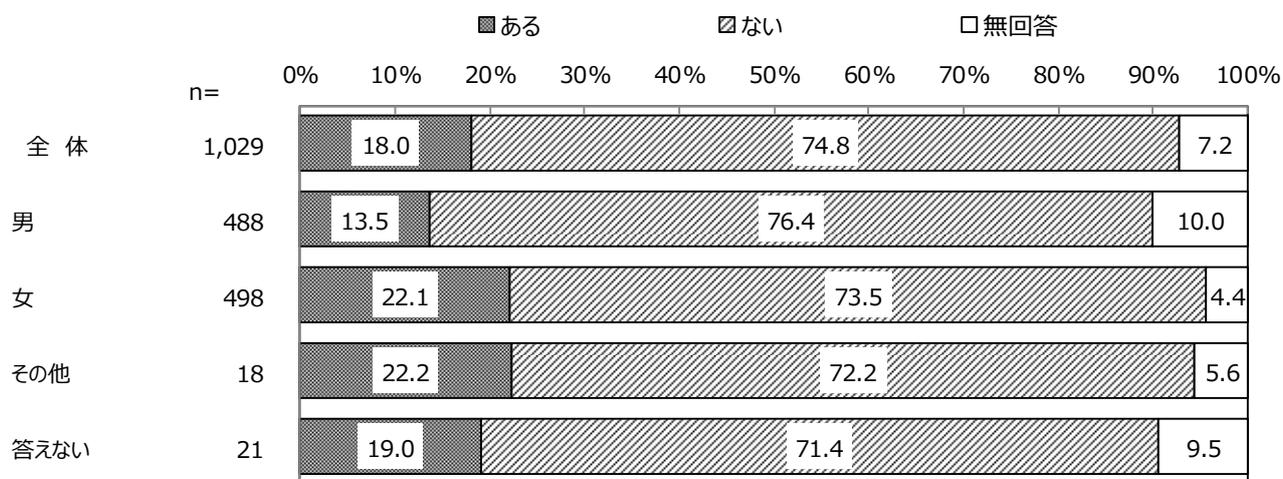
性別で見ると、「心が疲れる」は女が男よりも5.5ポイント高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	体が 疲れる	心が 疲れる	し い た り と す 遊 る ん だ 間 り が 勉 強	そ の 他	い 特 に 何 も 感 じ て い な	答 え た く な い	無 回 答
全体	1,029	15.8	11.2	10.0	3.5	57.6	8.5	7.9
男	488	16.4	8.2	8.6	2.3	57.2	9.0	10.7
女	498	14.9	13.7	11.2	4.6	59.8	6.4	5.4
その他	18	11.1	11.1	-	-	50.0	27.8	5.6
答えない	21	28.6	23.8	23.8	4.8	23.8	28.6	4.8

⑩お世話について相談した経験

性別で見ると、「ある」は女が男よりも8.6ポイント高くなっている。



⑪お世話についての相談相手

性別で見ると、「友達」は女が男よりも13.9ポイント高く、「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー」も女が男よりも4.6ポイント高くなっている。一方、「答えたくない」は男が女よりも5.2ポイント高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	家族や親せき	友達	学校の先生以外 (保健室の先生)	スクールカウンセラー やスクールソーシャルワーカー	SNSで知り合った人	保健室の先生	近所の人
全体	185	73.0	55.7	8.6	7.6	4.3	3.8	2.2
男	66	74.2	47.0	7.6	4.5	3.0	3.0	3.0
女	110	73.6	60.9	8.2	9.1	3.6	3.6	1.8
その他	4	25.0	100.0	25.0	-	25.0	-	-
答えない	4	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-

	調査数 (n)	病院（看護師さんや 相談員など）の人	福祉サービスの人	役所の人	その他	答えたくない	無回答
全体	185	1.6	1.1	1.1	1.1	2.7	0.5
男	66	1.5	3.0	1.5	1.5	6.1	1.5
女	110	0.9	-	-	0.9	0.9	-
その他	4	-	-	-	-	-	-
答えない	4	25.0	-	25.0	-	-	-

⑫お世話について相談したことがない理由

性別で見ると、「だれかに相談するほど困っていないから」は女が男よりも 10.5 ポイント高く、「相談しても何も変わらないと思うから」も女が男よりも 8.9 ポイント高くなっている。一方、「答えたくない」は男が女よりも 10.9 ポイント高くなっている。

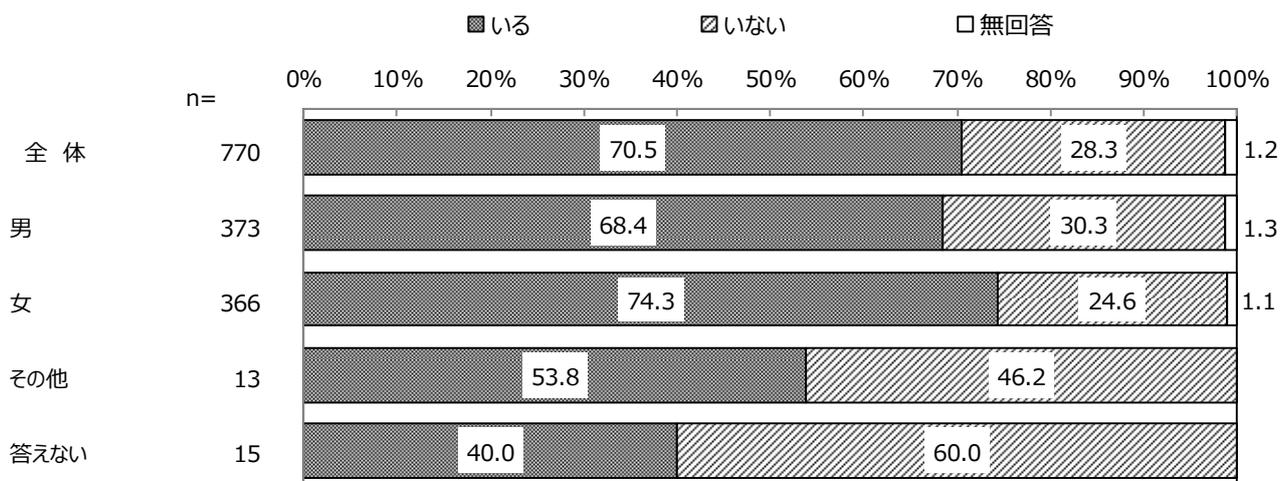
(%)

	調査数 (n)	だれかに相談するほど困っていないから	相談しても何も変わらないから	家族の話を話したくないから	よいかかわらないか	だれに相談するのかわからない	他の家族と違うと思われる	相談できる人がいないから	その他
全体	770	67.7	13.0	6.4	4.7	3.5	2.3	4.7	
男	373	63.5	7.8	2.7	4.6	1.1	1.6	6.2	
女	366	74.0	16.7	9.6	4.4	6.0	2.2	3.6	
その他	13	38.5	23.1	7.7	15.4	-	7.7	-	
答えない	15	33.3	46.7	20.0	6.7	6.7	20.0	-	

	調査数 (n)	答えたくない	無回答
全体	770	12.2	2.9
男	373	16.6	3.5
女	366	5.7	2.5
その他	13	46.2	-
答えない	15	33.3	-

⑬お世話について話を聞いてくれる人の有無

性別で見ると、「いる」は女が男よりも5.9ポイント高くなっている。



⑭希望する相談方法

性別で見ると、「直接会って」は女が男よりも10.4ポイント高く、「SNS」も女が男よりも7.6ポイント高くなっている。一方、「わからない」は男が女よりも6.7ポイント高くなっている。

		(%)						
	調査数 (n)	直接会って	SNS	電話	電子メール	その他	わからない	無回答
全体	1,029	46.8	14.7	14.1	9.2	2.0	31.9	8.2
男	488	42.2	10.5	14.8	7.8	2.0	34.6	11.5
女	498	52.6	18.1	13.9	10.0	2.0	27.9	5.4
その他	18	27.8	16.7	5.6	5.6	-	61.1	-
答えない	21	28.6	28.6	14.3	23.8	4.8	38.1	4.8

⑮学校や大人にしてもらいたいこと

性別で見ると、学校や大人にしてもらいたいことはいずれも女が男よりも高く、特に「勉強を教えてください」は女が男よりも 13.9 ポイント高くなっている。一方、「特にない」は男が女よりも 11.7 ポイント高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	勉強を 教えて ほしい	が自由 に過ご せる場 所	ほ自由 に使用 する時 間が	話を分 聞い てほし いて	ほつ将 しい来 いてや 相談進 の学の こと つとに	しお金 の面 で助 けてほ	す話家 く族 教などの えて病 てつ気 ほいや して障 い害 わ、 かり お や世
全体	1,029	22.8	14.1	13.7	12.5	12.3	4.9	2.1
男	488	16.0	9.0	9.6	8.4	8.4	4.3	1.8
女	498	29.9	17.9	17.3	16.5	16.3	5.2	2.2
その他	18	11.1	27.8	11.1	5.6	11.1	-	5.6
答えない	21	28.6	28.6	23.8	23.8	14.3	9.5	4.8

	調査数 (n)	いて家 相族 談の にお の世 つ話 てに ほつ しい	て話を 分だ しが いれ かて に 代る わお つ世	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	1,029	1.8	1.3	1.3	46.5	9.9	3.9
男	488	1.2	0.8	1.4	53.3	10.2	5.5
女	498	2.2	1.8	1.2	41.6	8.0	2.6
その他	18	-	-	-	27.8	27.8	-
答えない	21	9.5	-	-	19.0	28.6	-

(3) 家族構成（4区分）からみたお世話の状況

①お世話を必要としている家族

家族構成別でみると、「きょうだい」は二世帯世帯で6割と高くなっている。「お母さん」はひとり親家庭で4割近くと高くなっている。「おばあさん」は三世帯世帯で4割近くと高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	きょうだい	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	その他	答えたくない	無回答
全体	1,029	56.2	32.7	18.4	6.9	3.5	2.2	8.6	7.5
ひとり親家庭	175	49.7	39.4	5.1	8.6	5.1	2.3	5.1	6.3
二世帯世帯	766	60.3	32.8	22.6	3.0	1.8	2.0	8.7	7.8
三世帯世帯	68	36.8	20.6	7.4	39.7	14.7	2.9	8.8	7.4
その他世帯	16	25.0	6.3	6.3	37.5	18.8	12.5	25.0	-

②お世話の内容

家族構成別でみると、「家事（食事の用意や後片付け、掃除、洗濯、買い物など）」はひとり親家庭で6割台半ばと高くなっている。「転んだり、危ないことをしたりしないか見守る」は三世帯世帯で4割を超えて高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	洗濯、後片付け、買い物など	見守る、転んだり、危ないか	えやき、保育園への送り迎え	イ着、レがのえ手やおふろ・ト	し困、相り、手ごとなを聞く、話	手な病、助にや一緒に物、行き、歩	すた薬、るり、飲、薬をだか、し、確、た、か、り、め
全体	1,029	55.4	28.9	23.0	20.9	19.7	15.5	5.9
ひとり親家庭	175	63.4	26.3	17.1	14.3	17.1	14.3	6.3
二世帯世帯	766	54.4	28.6	25.5	22.6	20.4	15.7	5.0
三世帯世帯	68	50.0	41.2	14.7	17.6	23.5	22.1	16.2
その他世帯	16	43.8	25.0	12.5	31.3	6.3	-	6.3

	調査数 (n)	しした、通、たり、り、す、る、手、話、を、通、訊、す	る家の、お金の管理をす	その他	答え、た、く、な、い	無回答
全体	1,029	3.6	1.7	2.1	8.1	6.9
ひとり親家庭	175	5.1	1.7	2.3	8.0	4.6
二世帯世帯	766	3.4	1.6	2.1	7.7	7.3
三世帯世帯	68	1.5	1.5	2.9	5.9	7.4
その他世帯	16	6.3	6.3	-	25.0	6.3

③お世話を一緒にしている人

家族構成別でみると、「お母さん」はひとり親家庭、二世帯世帯、三世帯世帯で5割以上と高くなっている。「お父さん」は二世帯世帯で4割台半ば、三世帯世帯で3割台半ばと高くなっている。

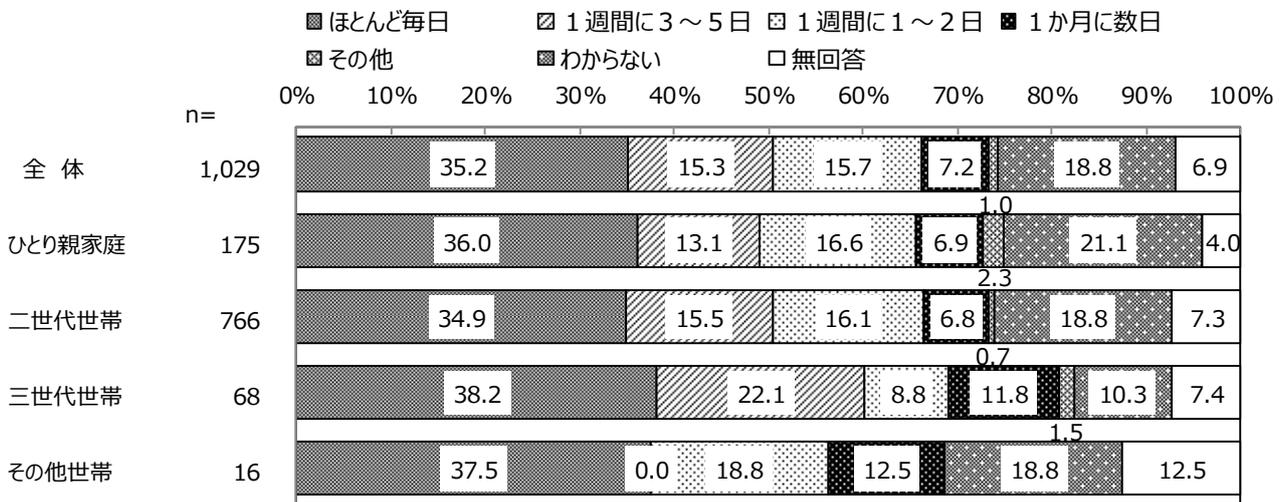
(%)

	調査数 (n)	お母さん	お父さん	きょうだい	自分だけ	おばあさん	おじいさん	親せきの人
全体	1,029	57.5	38.0	28.4	11.9	5.1	2.0	1.9
ひとり親家庭	175	52.6	10.3	25.1	13.7	5.1	2.9	1.7
二世帯世帯	766	59.5	45.4	29.4	11.2	4.3	2.0	1.7
三世帯世帯	68	60.3	33.8	30.9	10.3	14.7	1.5	4.4
その他世帯	16	18.8	12.5	12.5	25.0	-	-	6.3

	調査数 (n)	な 福 ど 社 の ヘル パー さん	そ の 他	答 え た く な い	無 回 答
全体	1,029	1.2	1.4	10.6	8.6
ひとり親家庭	175	1.7	3.4	9.7	5.7
二世帯世帯	766	0.8	0.8	10.4	9.0
三世帯世帯	68	4.4	1.5	8.8	10.3
その他世帯	16	-	6.3	25.0	6.3

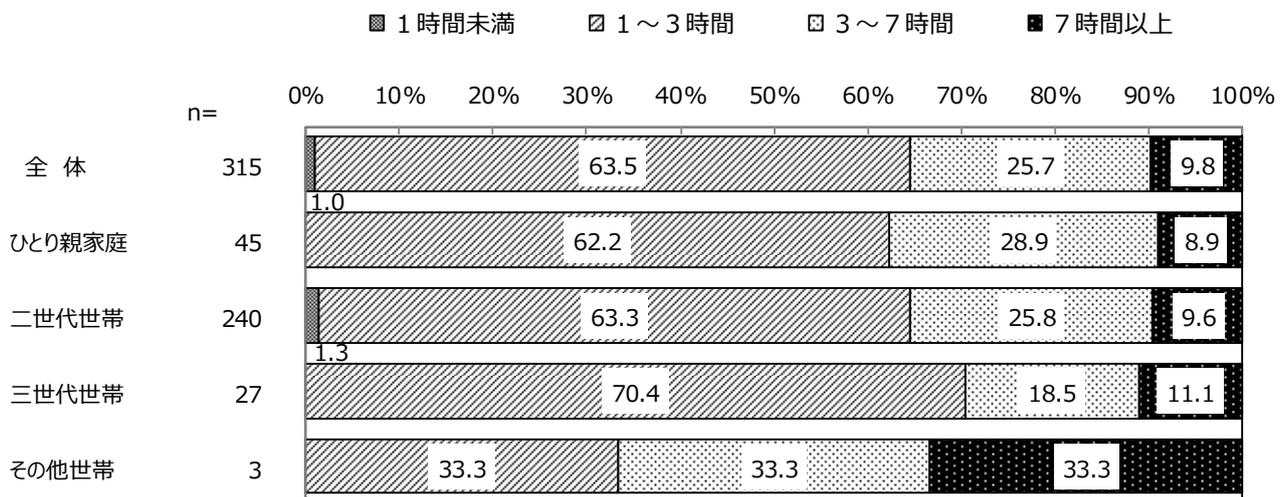
④お世話をしている頻度

家族構成別でみると、「ほとんど毎日」はひとり親家庭、二世代会世帯、三世代会世帯で3割台と高くなっている。「1週間に3～5日」は三世代会世帯で2割を超え、「1週間に1～2日」はひとり親家庭、二世代会世帯で1割台半ばとなっている。また、「わからない」はひとり親家庭で2割を超えている。



⑤1日あたりにお世話を費やす時間（4区分）

家族構成別でみると、「1～3時間」は三世代会世帯で7割と高くなっている。「3～7時間」はひとり親家庭で3割近くと高くなっている。



⑥お世話による制約

家族構成別でみると、「特にない」はどの世帯でも6割以上と高くなっているが、具体的な選択肢の中では、「友達と遊べないことがある」は三世代世帯で1割となっている。

(%)

	調査数 (n)	自分の 時間が 取れな い	友達と 遊べな いこと	宿題な ど勉強 する時 間	眠る時 間がた りない	部活動 や塾、 習い事 に行き ない	行く希 望がな い	自分の 行き先 がたい 学校	学校に 行けな い
全体	1,029	9.6	8.5	8.5	6.5	1.9	1.3	1.1	
ひとり親家庭	175	9.7	8.0	8.0	6.3	0.6	2.3	-	
二世帯世帯	766	9.8	8.1	8.6	6.3	2.1	0.8	1.2	
三世代世帯	68	8.8	10.3	7.4	8.8	1.5	1.5	-	
その他世帯	16	6.3	18.8	12.5	12.5	6.3	12.5	12.5	

	調査数 (n)	その他	特にな い	無回 答
全体	1,029	0.5	71.9	8.9
ひとり親家庭	175	0.6	73.1	6.9
二世帯世帯	766	0.4	72.3	9.1
三世代世帯	68	1.5	64.7	11.8
その他世帯	16	-	68.8	12.5

⑦お世話をすることについて感じていること

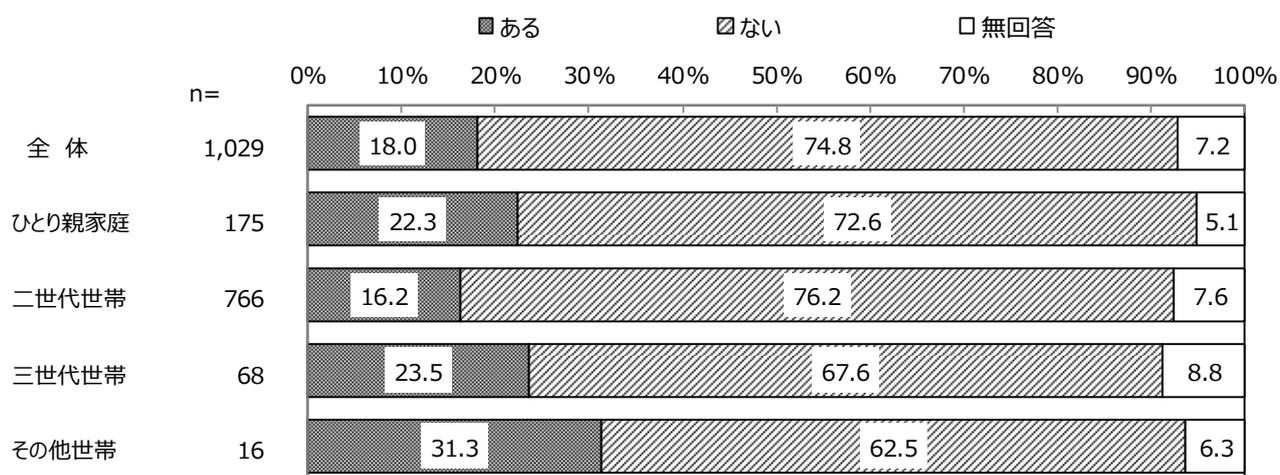
家族構成別でみると、「特に何も感じていない」はひとり親家庭、二世帯世帯、三世帯世帯で5割台と高くなっているが、具体的な選択肢の中では、「体が疲れる」は三世帯世帯で2割台半ば、ひとり親家庭で2割となっている。

(%)

	調査数 (n)	体が 疲れる	心が 疲れる	ししも いたつ りと す遊 るん 時だ 間り が勉 ほ強	そ の 他	い特 に何 も感 じて いな	答 えた く ない	無 回 答
全体	1,029	15.8	11.2	10.0	3.5	57.6	8.5	7.9
ひとり親家庭	175	20.0	13.7	12.0	2.9	50.9	10.3	5.7
二世帯世帯	766	14.4	10.2	9.5	3.7	59.5	8.2	8.4
三世帯世帯	68	23.5	13.2	7.4	2.9	54.4	4.4	8.8
その他世帯	16	12.5	18.8	18.8	6.3	62.5	6.3	6.3

⑧お世話について相談した経験

家族構成別でみると、「ない」はどの世帯でも6割以上と高くなっている。一方、「ある」はひとり親家庭、三世帯世帯で2割台となっている。



⑨お世話についての相談相手

家族構成別でみると、調査数が少ないため参考値となるが、「家族や親せき」は三世代世帯で8割を超えて高く、「友達」は二世帯世帯で6割近くと高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	家族 や 親 せ き	友 達	学 校 の 先 生 以 外 (保 健 室)	シ ャ ー ル ワ ー カ ー ソ ー	ス ク ー ル カ ウ ン セ ー	人 S N S で 知 り 合 っ た	保 健 室 の 先 生	近 所 の 人
全体	185	73.0	55.7	8.6	7.6	4.3	3.8	2.2	
ひとり親家庭	39	79.5	46.2	7.7	12.8	5.1	7.7	-	
二世帯世帯	124	71.0	58.9	9.7	6.5	4.8	3.2	3.2	
三世代世帯	16	81.3	43.8	6.3	-	-	-	-	
その他世帯	5	40.0	100.0	-	20.0	-	-	-	

	調査数 (n)	相 談 員 (看 護 師 さ ん や の 人)	病 院 サ ー ビ ス の 人	福 祉 サ ー ビ ス の 人	役 所 の 人	そ の 他	答 え た く な い	無 回 答
全体	185	1.6	1.1	1.1	1.1	2.7	0.5	
ひとり親家庭	39	2.6	-	-	2.6	2.6	-	
二世帯世帯	124	1.6	0.8	1.6	0.8	3.2	0.8	
三世代世帯	16	-	6.3	-	-	-	-	
その他世帯	5	-	-	-	-	-	-	

⑩お世話について相談したことがない理由

家族構成別でみると、「だれかに相談するほど困っていないから」はひとり親家庭、二世帯世帯、三世帯世帯で7割近くと高くなっている。「相談しても何も変わらないと思うから」は二世帯世帯、三世帯世帯で1割台半ばとなっている。

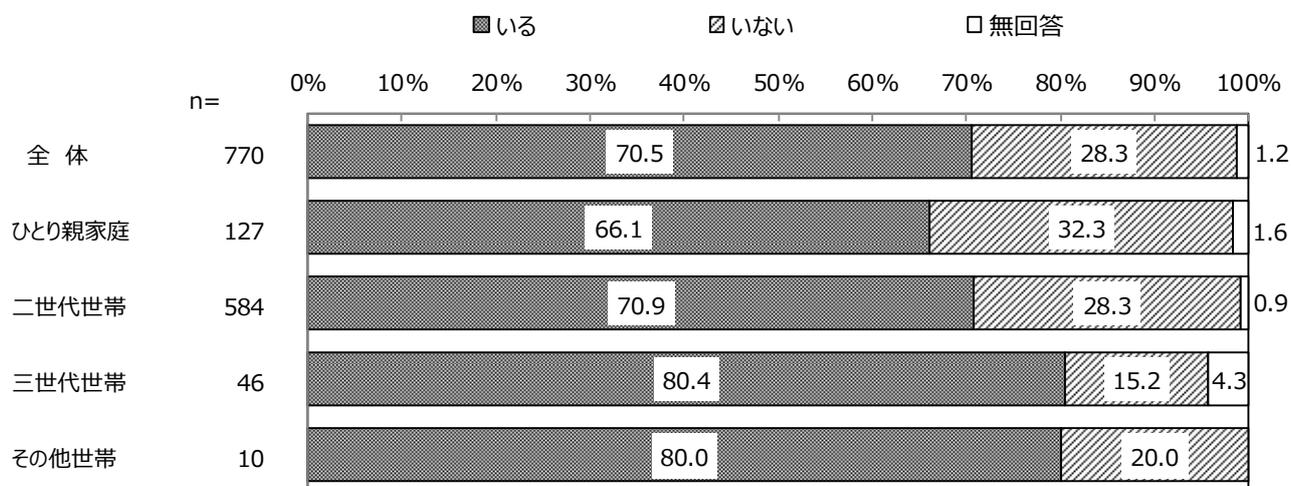
(%)

	調査数 (n)	だれかに相談するから ど困つていないから	相談しても何も変わらない	家族の話をした くないから	だれかに相談するの よいか	他の家族と違うと思われ たり、自分かかわいそう と思われたくない	相談できる人がいな いから	その他
全体	770	67.7	13.0	6.4	4.7	3.5	2.3	4.7
ひとり親家庭	127	68.5	11.8	10.2	4.7	6.3	0.8	3.9
二世帯世帯	584	68.0	13.2	5.5	4.1	2.9	2.7	4.5
三世帯世帯	46	67.4	13.0	4.3	10.9	2.2	2.2	10.9
その他世帯	10	60.0	10.0	10.0	10.0	-	-	-

	調査数 (n)	答えたくない	無回答
全体	770	12.2	2.9
ひとり親家庭	127	9.4	2.4
二世帯世帯	584	12.5	2.7
三世帯世帯	46	6.5	6.5
その他世帯	10	40.0	-

⑪お世話について話を聞いてくれる人の有無

家族構成別でみると、「いる」は三世代世帯で8割と高くなっている。一方、「いない」はひとり親家庭で3割を超えて高くなっている。



⑫学校や大人にしてもらいたいこと

家族構成別でみると、「特にない」はひとり親家庭、二世帯世帯、三世帯世帯で4割台と高くなっているが、具体的な選択肢の中では、「勉強を教えてほしい」はひとり親家庭、二世帯世帯、三世帯世帯で2割台となっている。

(%)

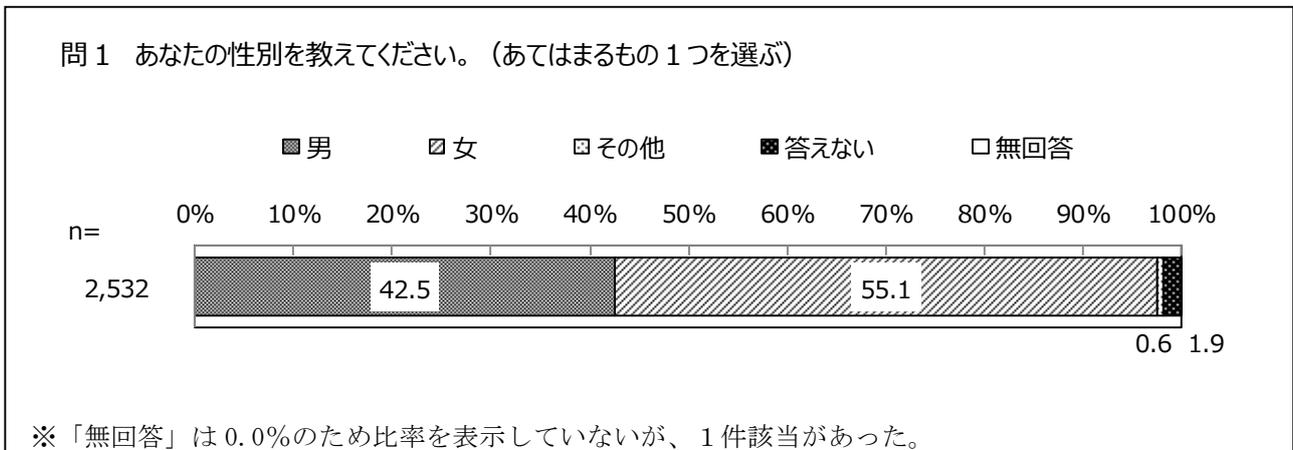
	調査数 (n)	勉強を 教えて ほしい	が自由 ほしに い過 ごせ る場 所	ほ自由 しに い使 える 時 間 が	話を 自分 のこ とほ し い て	ほつ しい い 相 談 に の こ つ て	しお 金の 面 で 助 け て ほ	す話家 くな族 教どの えに病 てつ気 ほいや しい障 いわ害 かり、 お世
全体	1,029	22.8	14.1	13.7	12.5	12.3	4.9	2.1
ひとり親家庭	175	23.4	14.9	14.3	12.6	14.3	8.0	2.3
二世帯世帯	766	23.1	14.5	13.7	12.8	12.3	4.0	2.0
三世帯世帯	68	22.1	8.8	11.8	10.3	8.8	5.9	4.4
その他世帯	16	12.5	6.3	12.5	12.5	12.5	6.3	-

	調査数 (n)	いて家 相族 談の にお の世 つ話 てに ほつ しい	て話を 自分 がし だか てに いる 代わ お世	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	1,029	1.8	1.3	1.3	46.5	9.9	3.9
ひとり親家庭	175	2.3	2.9	1.1	45.7	12.0	4.0
二世帯世帯	766	1.7	0.8	1.2	46.7	8.9	3.8
三世帯世帯	68	2.9	2.9	2.9	45.6	13.2	4.4
その他世帯	16	-	-	-	50.0	12.5	6.3

V ヤングケアラーに関するアンケート（高校生等世代）調査結果

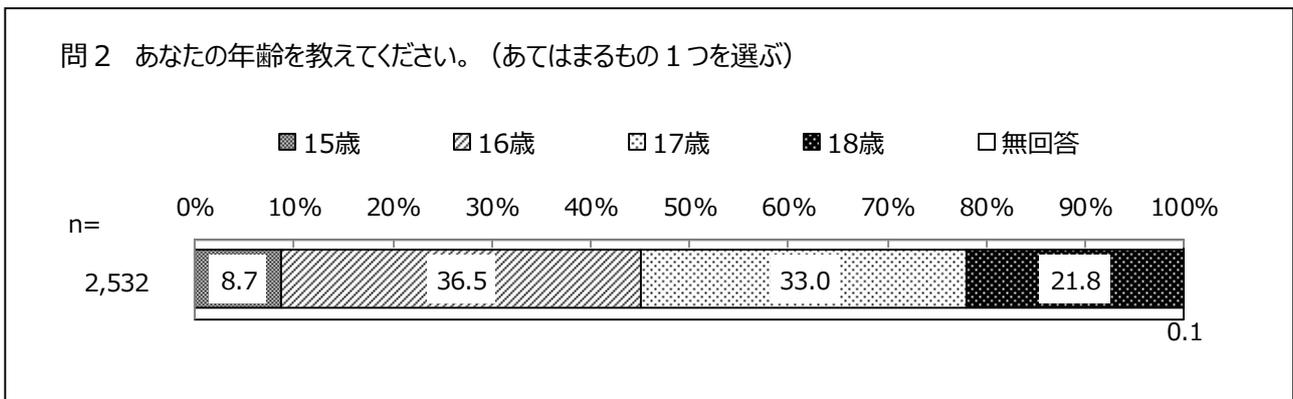
1 基本情報

(1) 性別



性別は、「男性」が42.5%、「女性」が55.1%となっている。

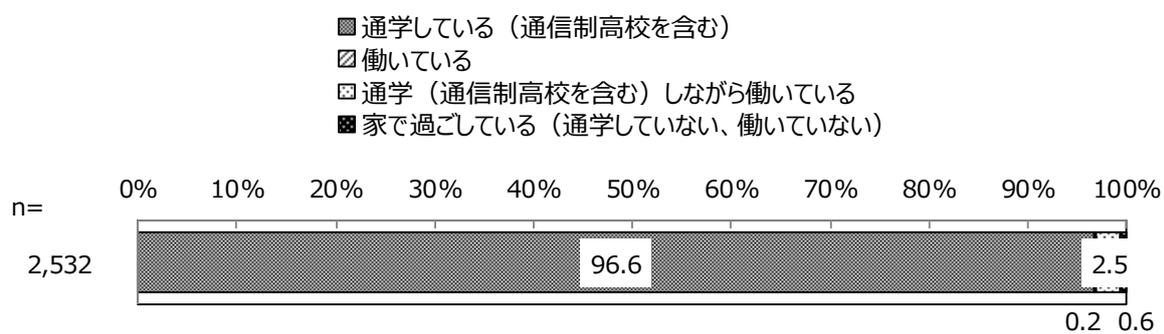
(2) 年齢



年齢は、「15歳」が8.7%、「16歳」が36.5%、「17歳」が33.0%、「18歳」が21.8%となっている。

(3) 通学・勤労の状況

問3 あなたの状況について教えてください。(あてはまるもの1つを選ぶ)

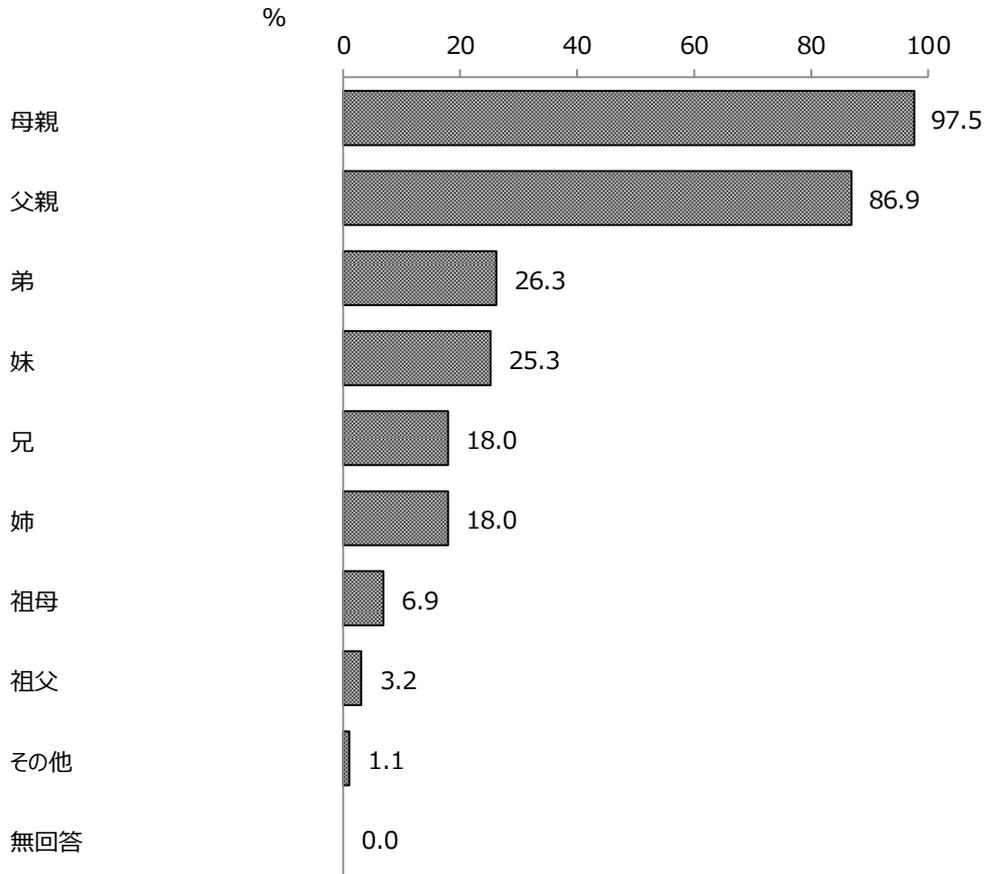


通学・勤労の状況は、「通学している (通信制高校を含む)」が96.6%で最も高く、次いで「通学 (通信制高校を含む) しながら働いている」(2.5%)、「家で過ごしている (通学していない、働いていない)」(0.6%)、「働いている」(0.2%)となっている。

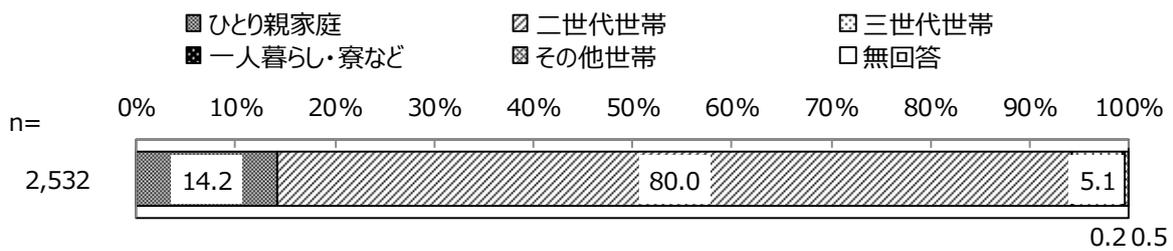
(4) 同居家族

問4 あなたが今、一緒に住んでいるのはだれですか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

n= 2,532



<家族構成 (5区分)>



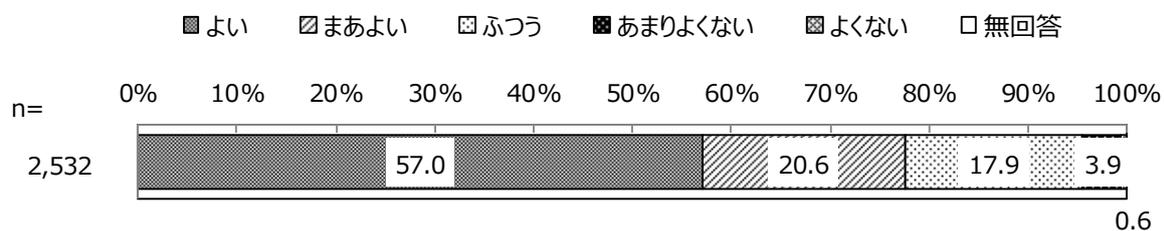
※「無回答」は0.0%のため比率を表示していないが、1件該当があった。

同居家族は、「母親」が97.5%で最も高く、次いで「父親」(86.9%)、「弟」(26.3%)、「妹」(25.3%)となっている。

家族構成(5区分)は、「二世帯世帯」が80.0%で最も高く、次いで「ひとり親家庭」(14.2%)、「三世帯世帯」(5.1%)となっている。

(5) 健康状態

問5 あなたの普段の体調について教えてください。(あてはまるもの1つを選ぶ)

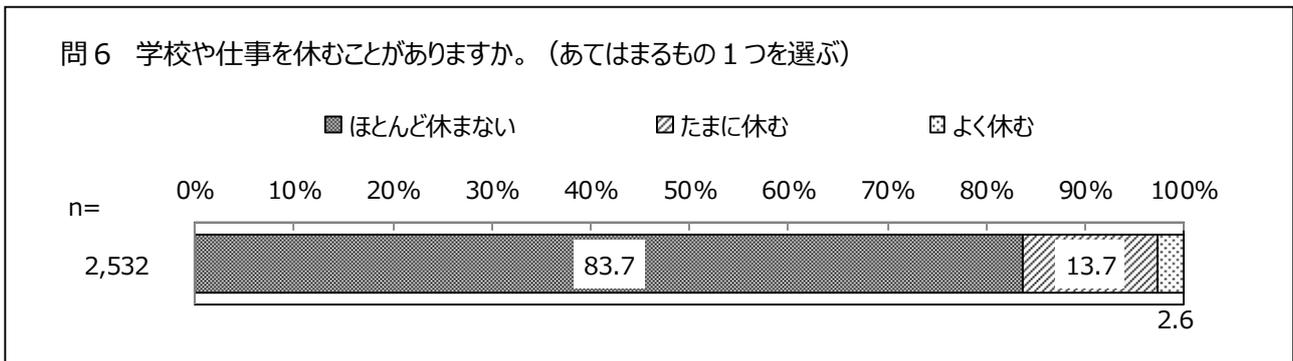


※「無回答」は0.0%のため比率を表示していないが、1件該当があった。

健康状態は、「よい」が57.0%で最も高く、次いで「まあよい」(20.6%)、「ふつう」(17.9%)、「あまりよくない」(3.9%)となっている。

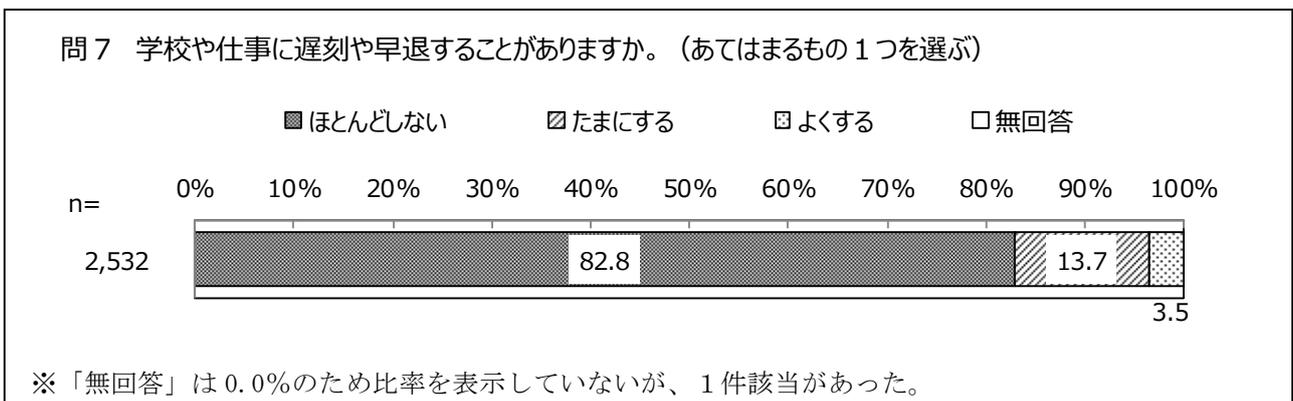
2 普段の生活について

(1) -1 学校や仕事への出欠状況



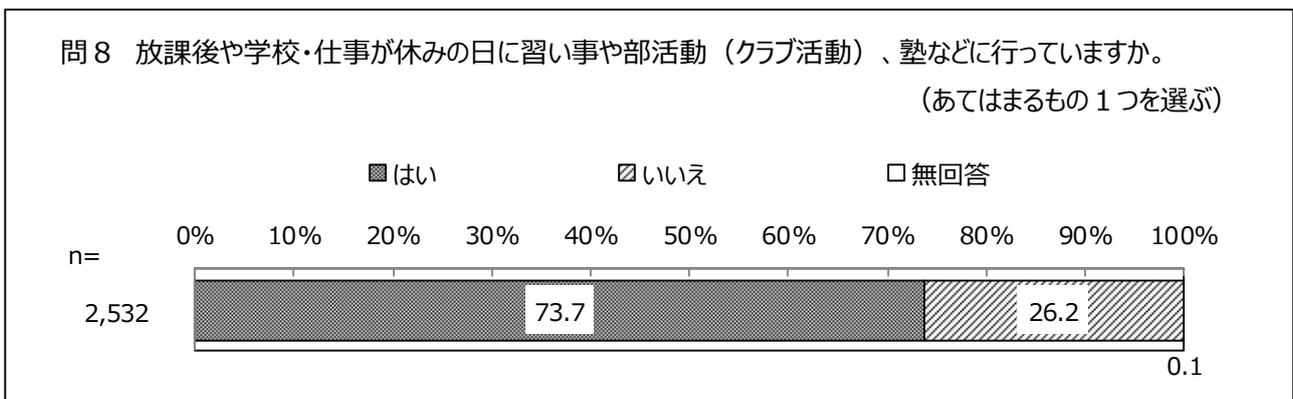
学校や仕事への出欠状況は、「ほとんど休まない」が83.7%で最も高く、次いで「たまに休む」(13.7%)、「よく休む」(2.6%)となっている。

(1) -2 学校や仕事への遅刻・早退の状況



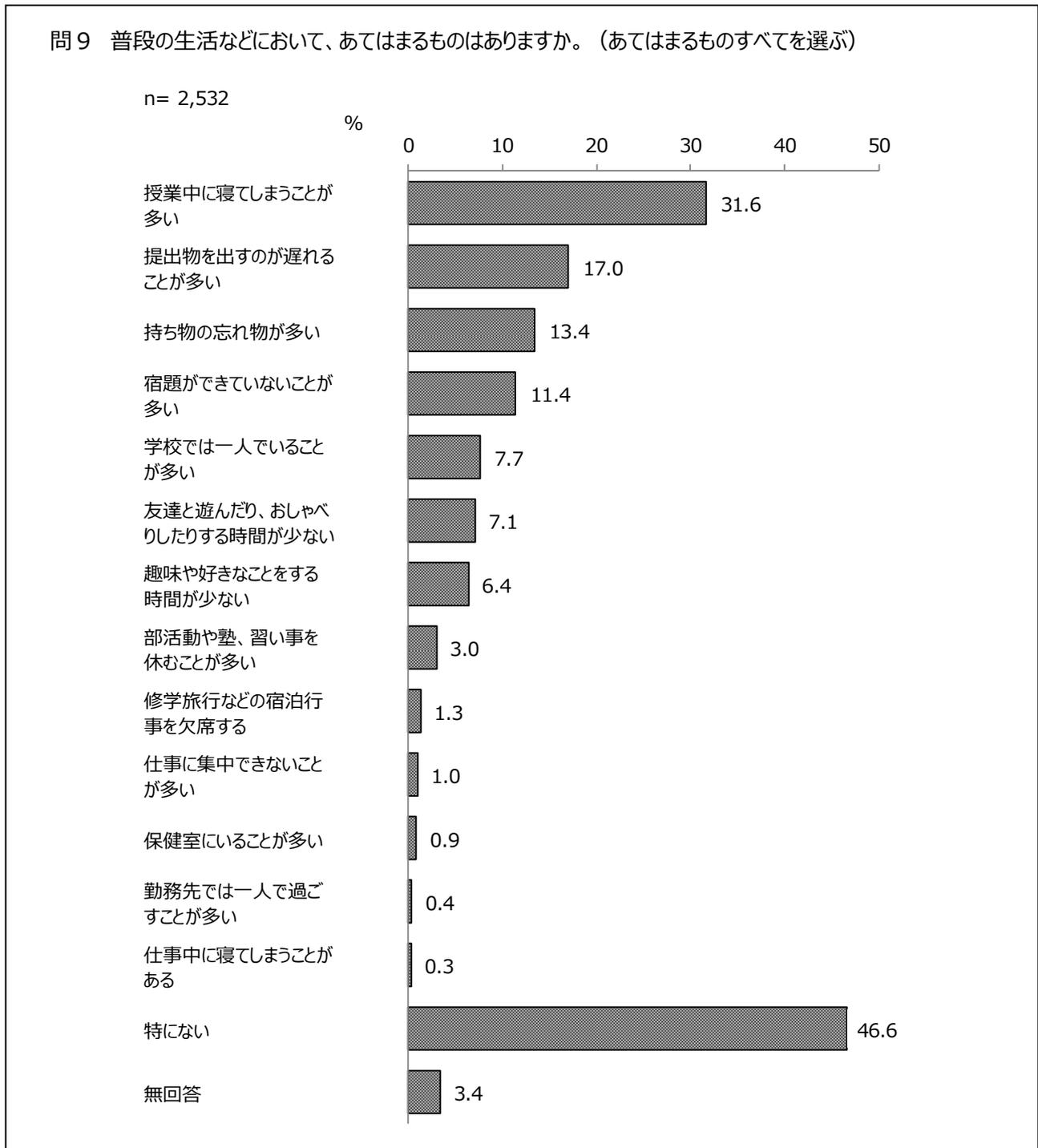
学校や仕事への遅刻・早退の状況は、「ほとんどしない」が82.8%で最も高く、次いで「たまにする」(13.7%)、「よくする」(3.5%)となっている。

(2) 習い事やクラブ活動への参加状況



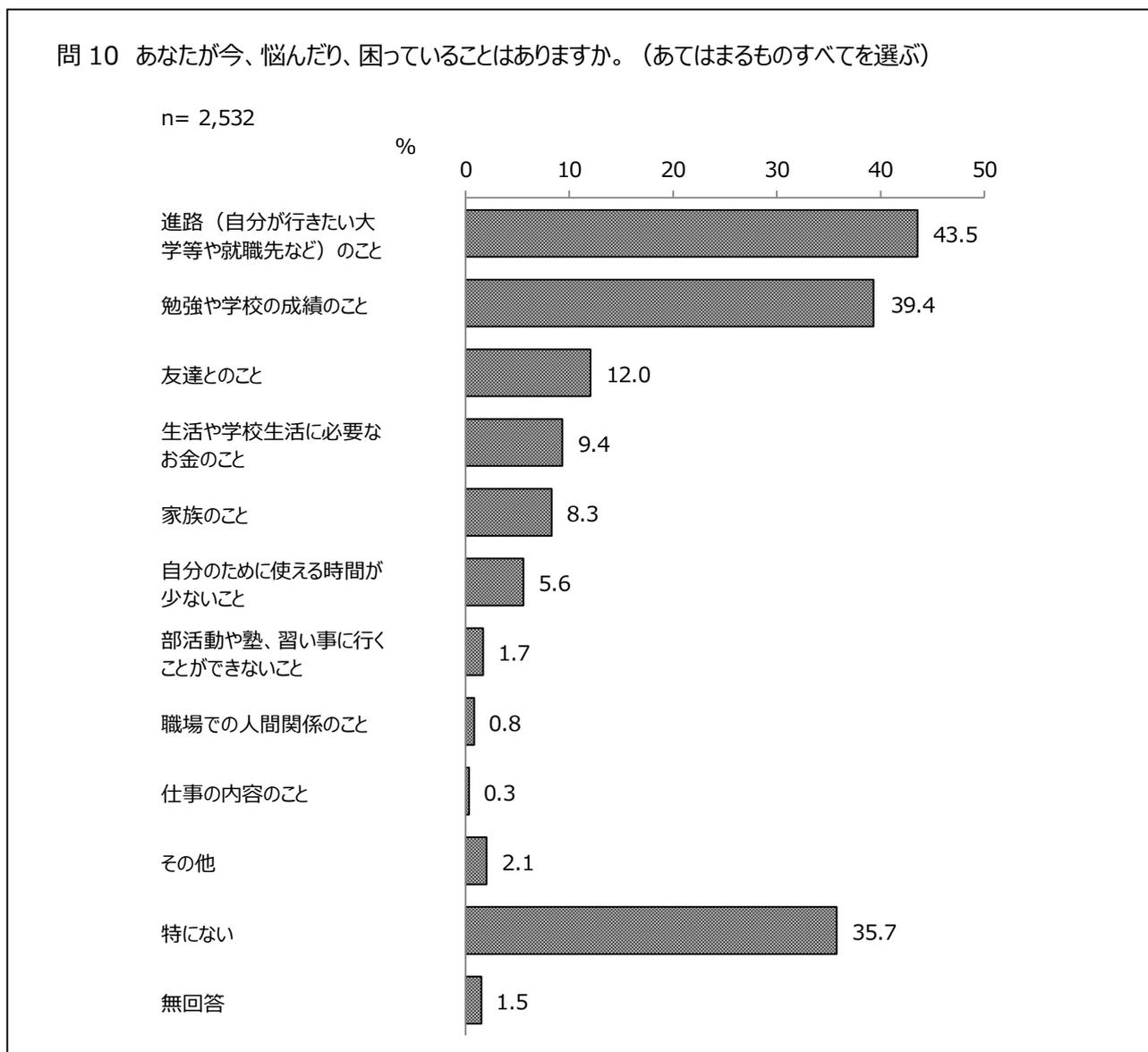
習い事やクラブ活動への参加状況は、「はい」が73.7%、「いいえ」が26.2%となっている。

(3) 普段の生活についてあてはまること



普段の生活についてあてはまることは、「特にない」が46.6%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「授業中に寝てしまうことが多い」が31.6%で最も高く、次いで「提出物を出すのが遅れることが多い」(17.0%)、「持ち物の忘れ物が多い」(13.4%)、「宿題ができていないことが多い」(11.4%)となっている。

(4) 現在の悩みや困りごと



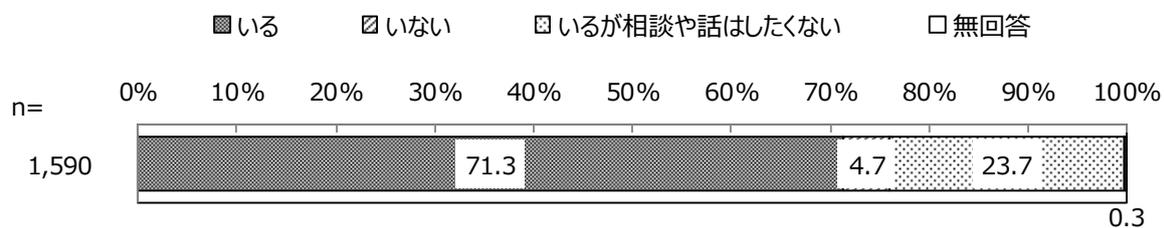
現在の悩みや困りごとは、「進路 (自分が行きたい大学等や就職先など) のこと」が 43.5%で最も高く、次いで「勉強や学校の成績のこと」(39.4%)、「友達とのこと」(12.0%)、「生活や学校生活に必要なお金のこと」(9.4%)となっている。一方、「特にない」は 35.7%だった。

(5) 相談相手の有無

(問 10 で答えた「悩み」や「困っていること」についてお聞きします。)

問 11 「悩み」や「困っていること」について、話を聞いてくれる人が近くにいますか。

(あてはまるもの 1 つを選ぶ)



相談相手の有無は、「いる」が 71.3% で最も高く、次いで「いるが相談や話はしたくない」(23.7%)、「いない」(4.7%) となっている。

3 家庭や家族のことについて

(1) お世話をしている家族の有無

問 12 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

※お世話とは次のようなことです。

ヤングケアラーとは



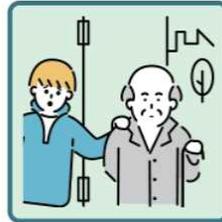
障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている

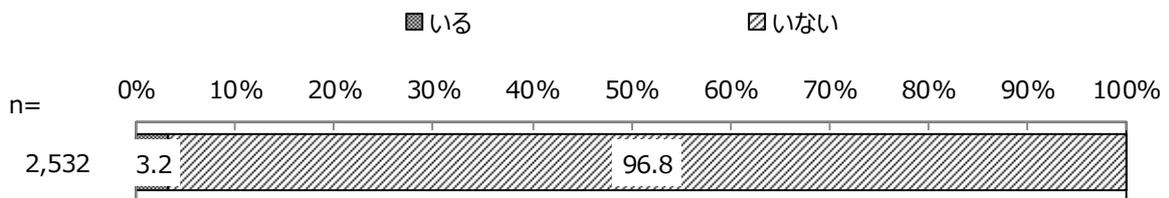


障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



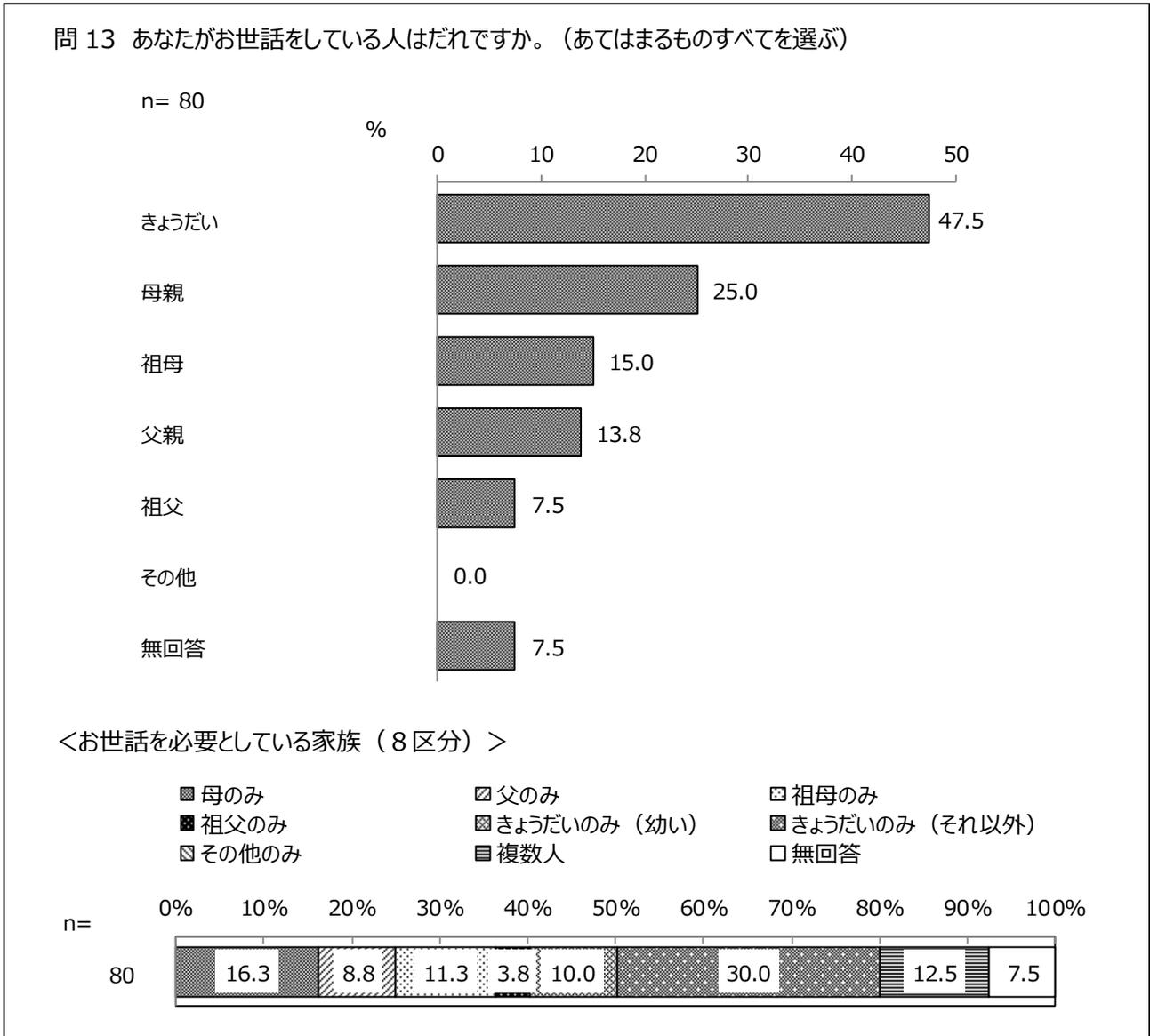
障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

【出典：厚生労働省 HP】



お世話をしている家族の有無は、「いる」が3.2%、「いない」が96.8%となっている。

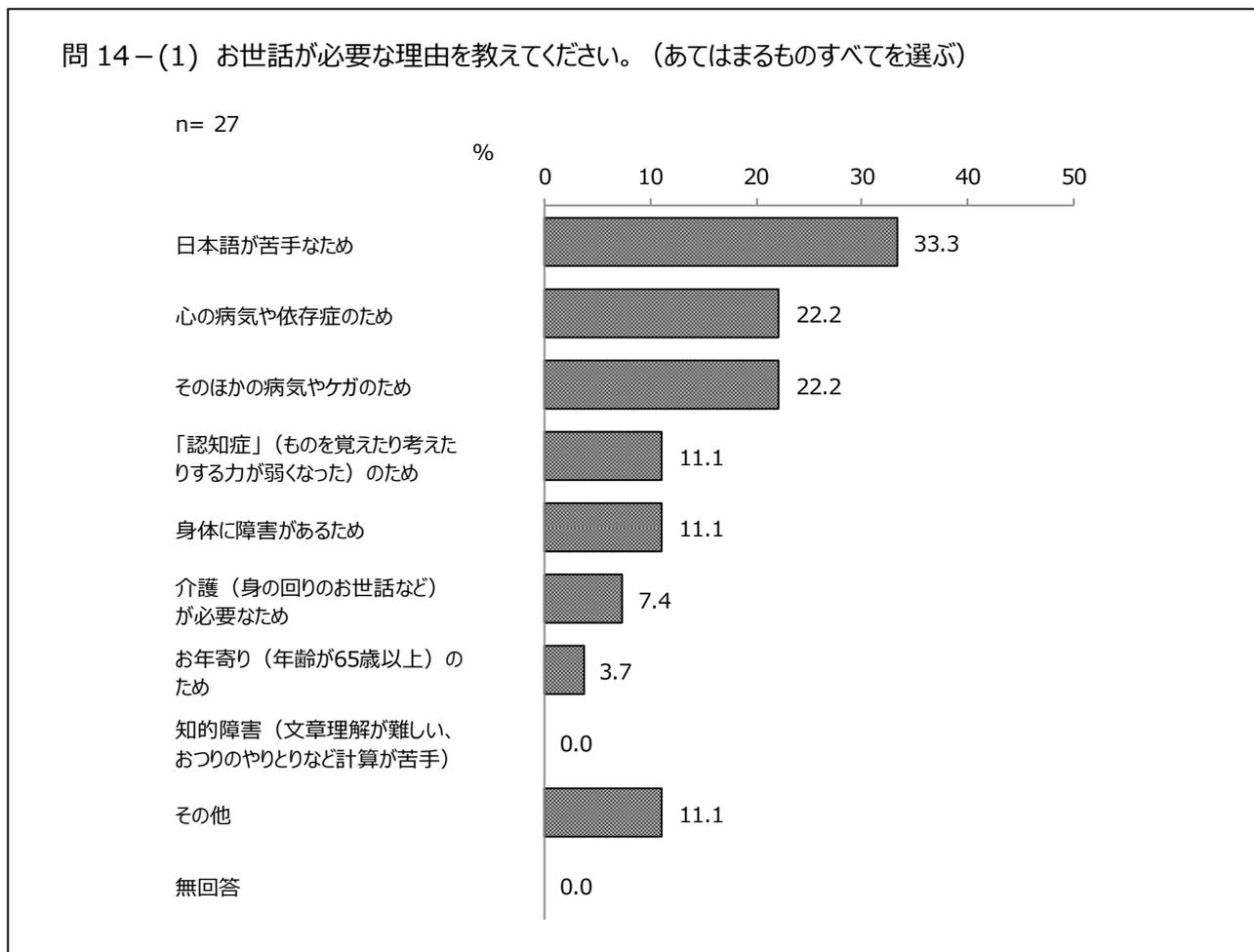
(2) お世話を必要としている家族



お世話を必要としている家族は、「きょうだい」が 47.5%で最も高く、次いで、「母親」(25.0%)、「祖母」(15.0%)、「父親」(13.8%)となっている。

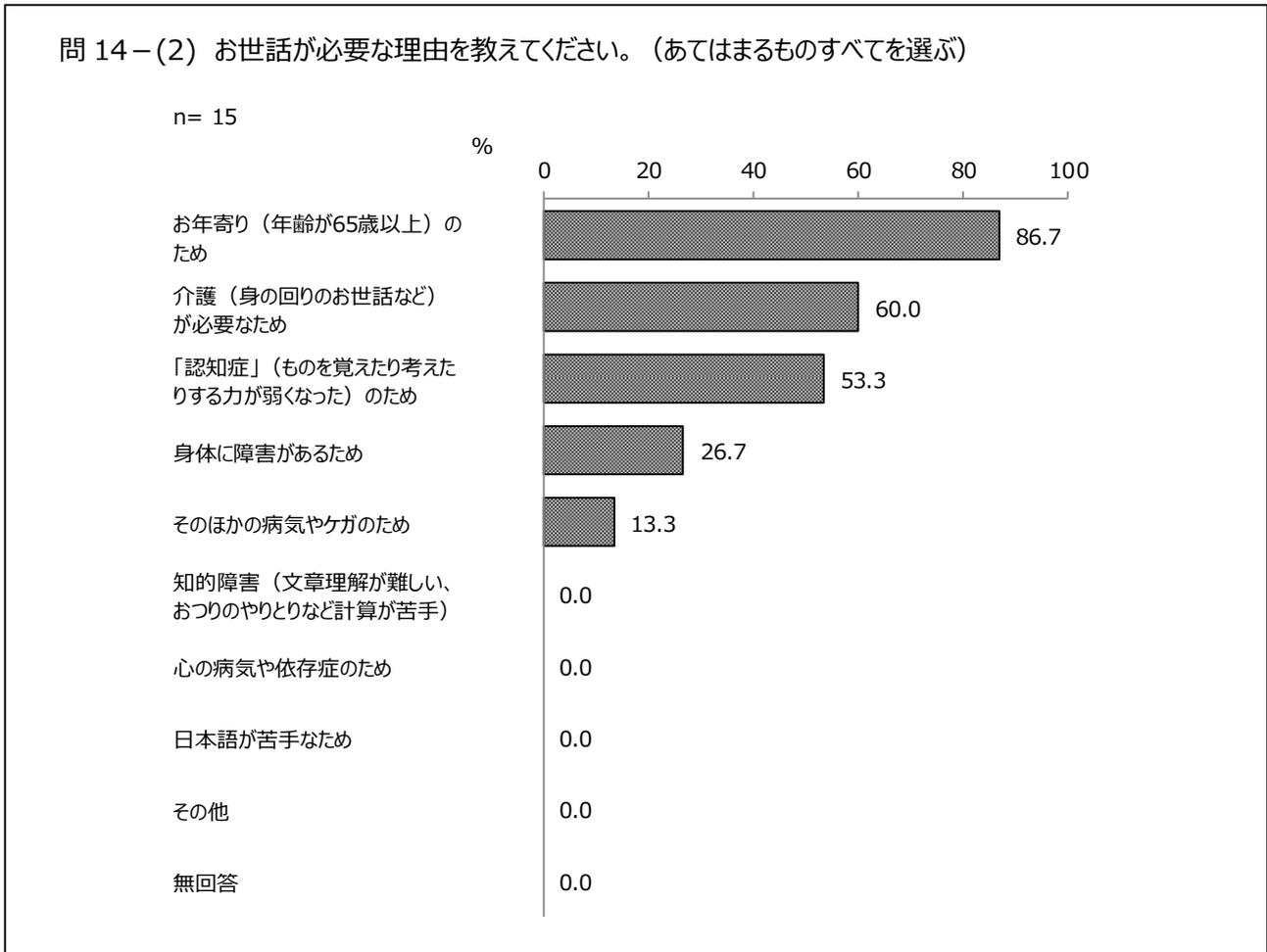
お世話を必要としている家族 (8区分) は、「きょうだいのみ (それ以外)」が 30.0%で最も高くなっている。

(3) - 1 お世話が必要な理由 (父母)



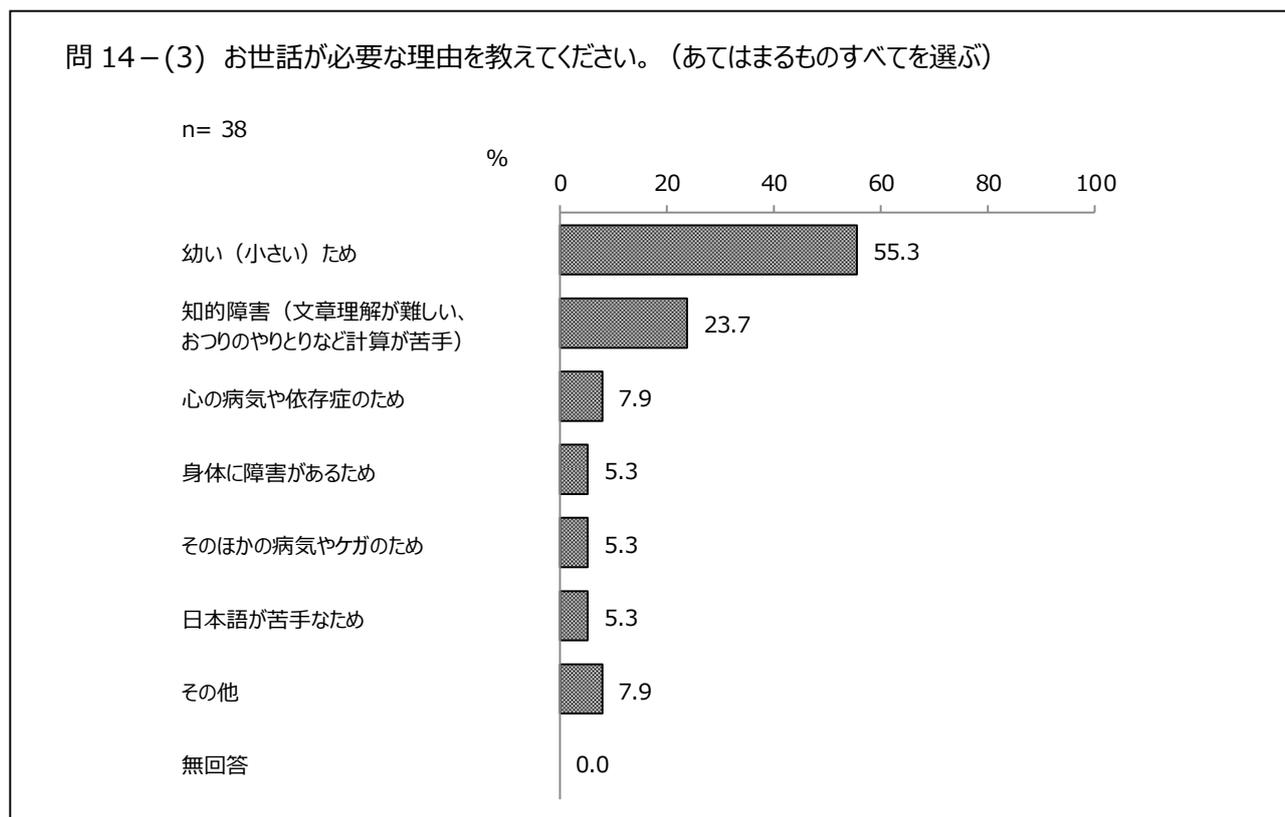
お世話が必要な理由(父母)は、「日本語が苦手なため」が33.3%で最も高く、次いで「心の病気や依存症のため」(22.2%)、「そのほかの病気やケガのため」(22.2%)となっている。

(3) - 2 お世話が必要な理由 (祖父母)



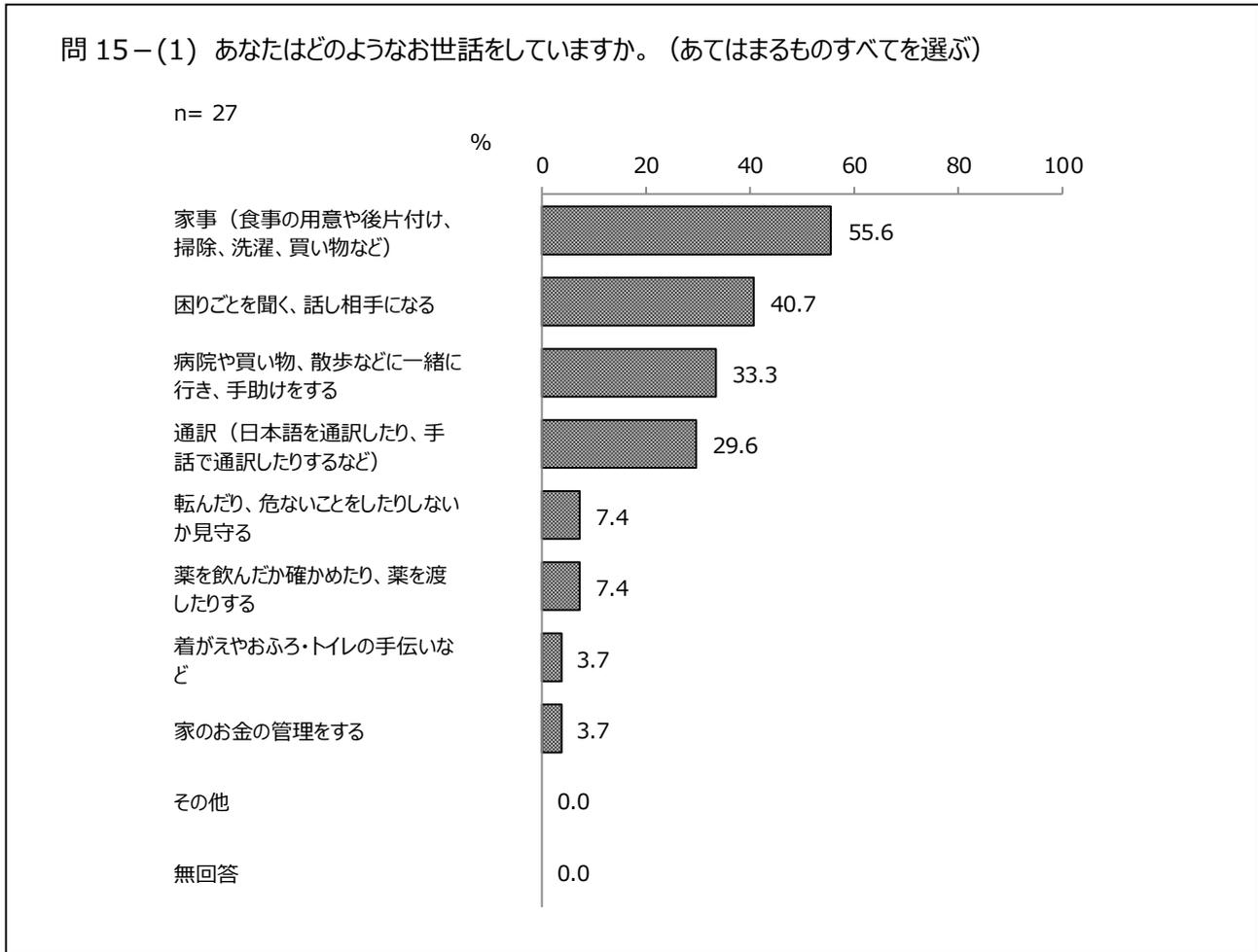
お世話が必要な理由 (祖父母) は、「お年寄り (年齢が 65 歳以上) のため」が 86.7%で最も高く、次いで「介護 (身の回りのお世話など) が必要なため」(60.0%)、「「認知症」 (ものを覚えたり考えたりする力が弱くなった) のため」(53.3%)、「身体に障害があるため」(26.7%)となっている。

(3) - 3 お世話が必要な理由 (きょうだい)



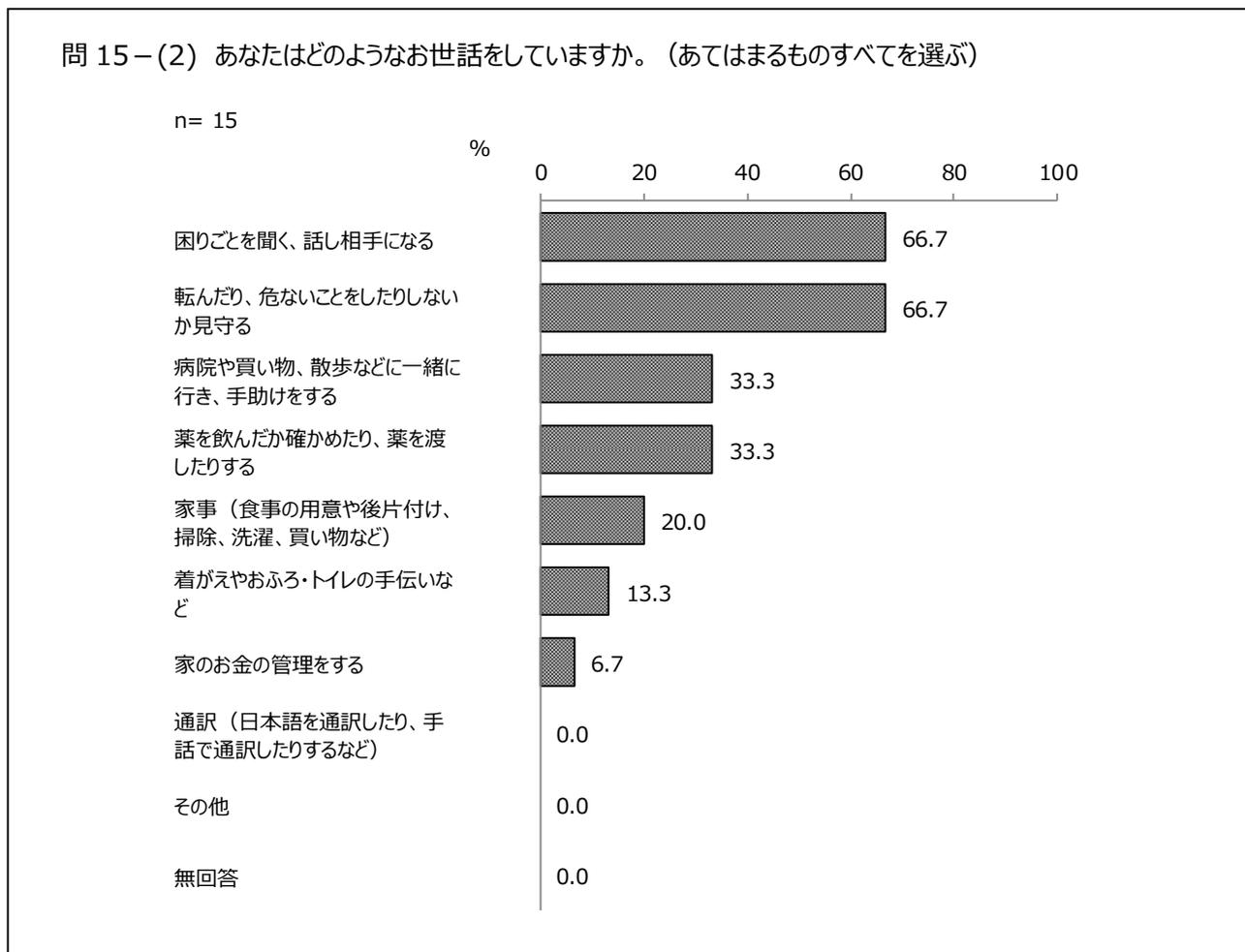
お世話が必要な理由 (きょうだい) は、「幼い (小さい) ため」が 55.3% で最も高く、次いで「知的障害 (文章理解が難しい、おつりのやりとりなど計算が苦手)」(23.7%)、「心の病気や依存症のため」(7.9%)、「その他」(7.9%) となっている。

(4) - 1 お世話の内容 (父母)



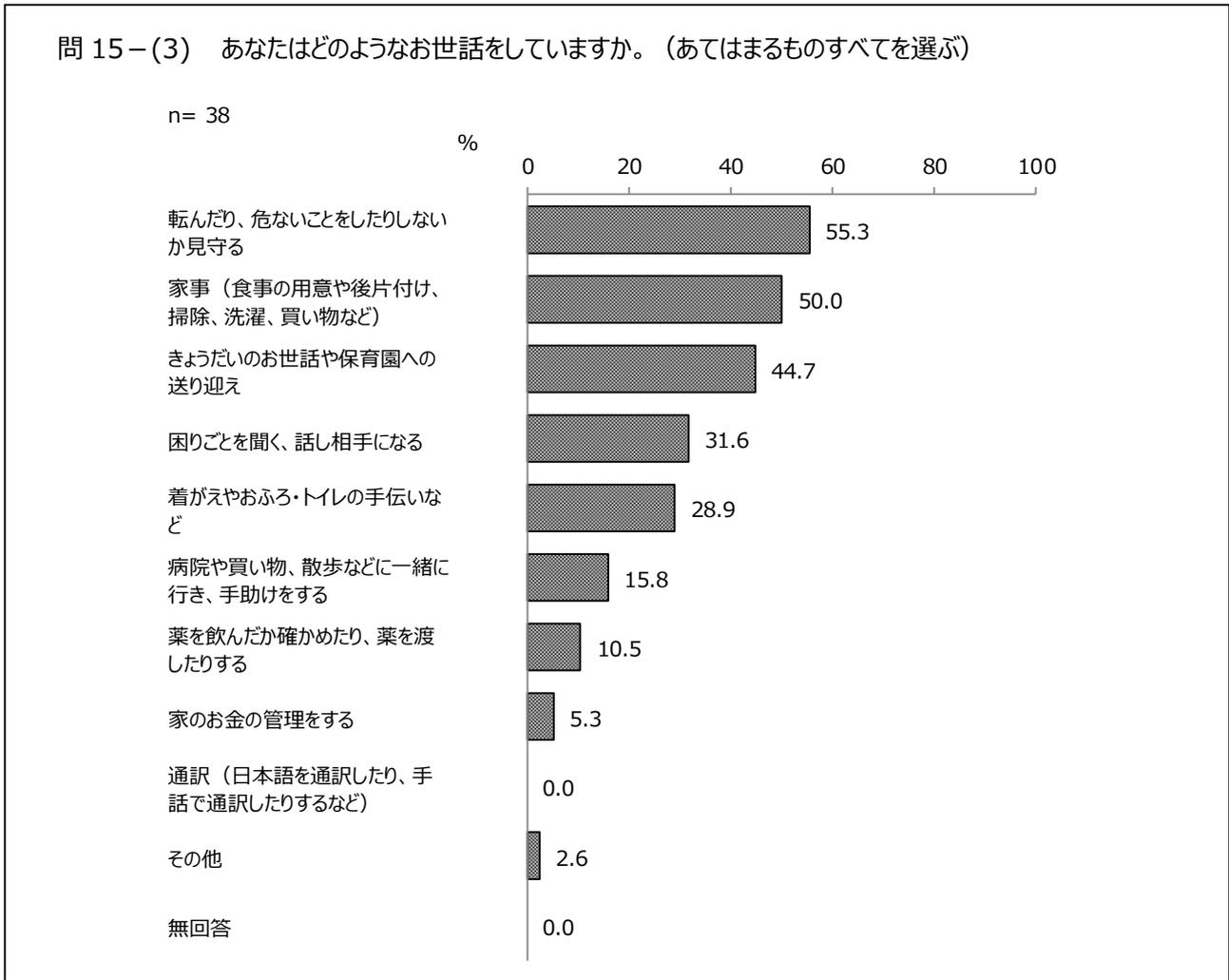
お世話の内容 (父母) は、「家事 (食事の用意や後片付け、掃除、洗濯、買い物など)」が 55.6%で最も高く、次いで「困りごとを聞く、話し相手になる」(40.7%)、「病院や買い物、散歩などと一緒に行き、手助けをする」(33.3%)、「通訳 (日本語を通訳したり、手話で通訳したりするなど)」(29.6%)となっている。

(4) - 2 お世話の内容 (祖父母)



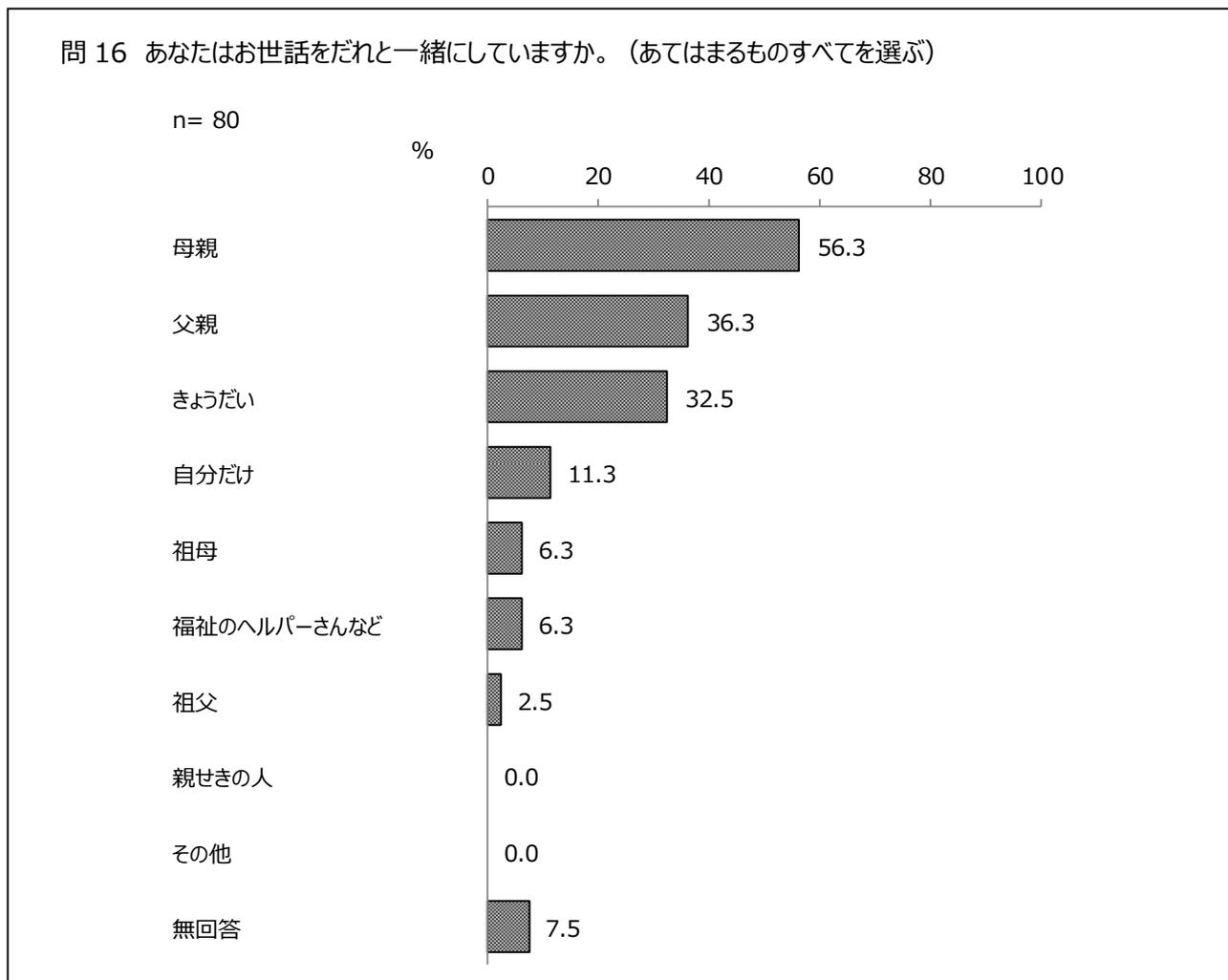
お世話の内容 (祖父母) は、調査数が少ないため参考値となるが、「困りごとを聞く、話し相手になる」、「転んだり、危ないことをしたりしないか見守る」がともに 66.7% と最も高く、次いで「病院や買い物、散歩などに一緒に行き、手助けをする」(33.3%)、「薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする」(33.3%)、「家事 (食事の用意や後片付け、掃除、洗濯、買い物など)」(20.0%)となっている。

(4) - 3 お世話の内容 (きょうだい)



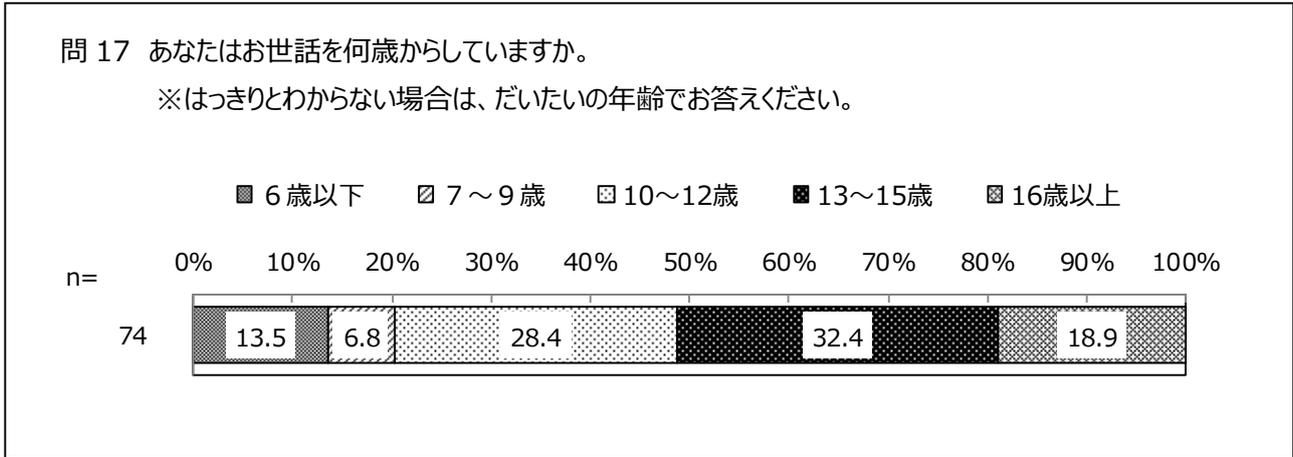
お世話の内容 (きょうだい) は、「転んだり、危ないことをしたりしないか見守る」が 55.3%で最も高く、次いで「家事 (食事の用意や後片付け、掃除、洗濯、買い物など)」(50.0%)、「きょうだいのお世話や保育園への送り迎え」(44.7%)、「困りごとを聞く、話し相手になる」(31.6%)となっている。

(5) お世話を一緒にしている人



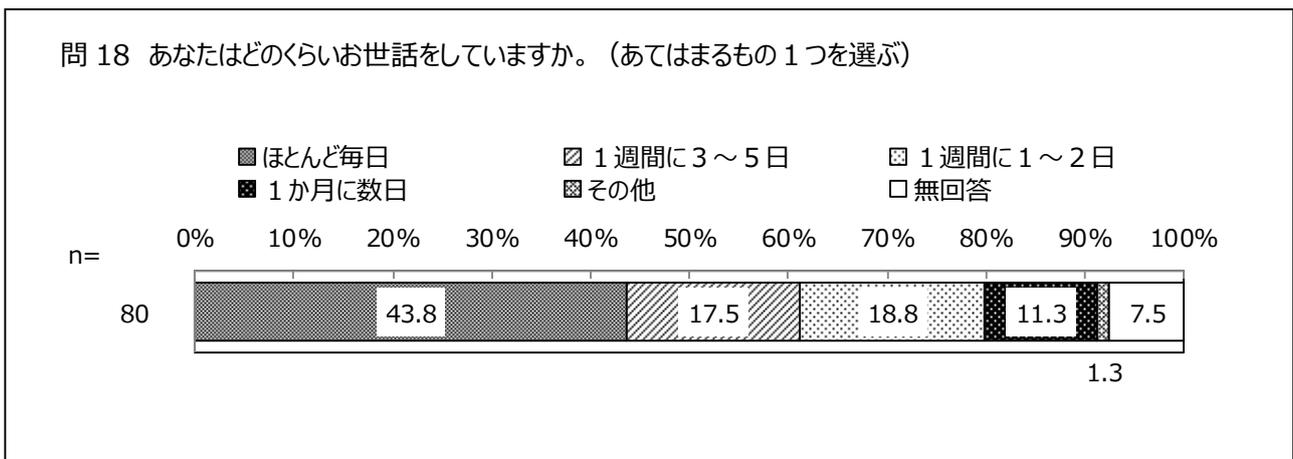
お世話を一緒にしている人は、「母親」が56.3%で最も高く、次いで「父親」(36.3%)、「きょうだい」(32.5%)となっている。

(6) お世話を始めた年齢



お世話を始めた年齢は、「13～15歳」が32.4%で最も高く、次いで「10～12歳」(28.4%)、「16歳以上」(18.9%)、「6歳以下」(13.5%)となっている。

(7) お世話をしている頻度



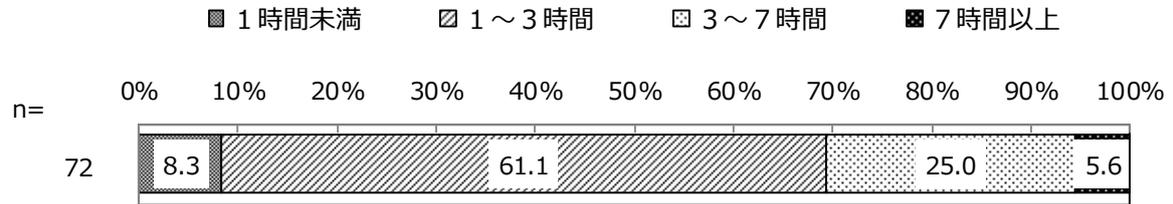
お世話をしている頻度は、「ほとんど毎日」が43.8%で最も高く、次いで「1週間に1～2日」(18.8%)、「1週間に3～5日」(17.5%)、「1か月に数日」(11.3%)となっている。

(8) 1日あたりにお世話を費やす時間

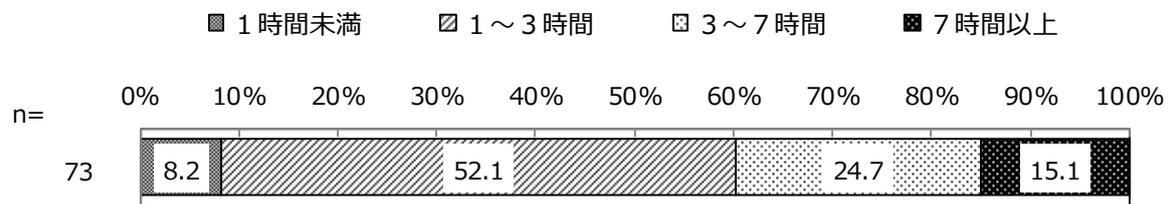
問 19 あなたは平日と休日にそれぞれ何時間くらいお世話をしていますか。

※日によって違う場合は、この1か月で一番長かった日の時間を教えてください。

<平日>



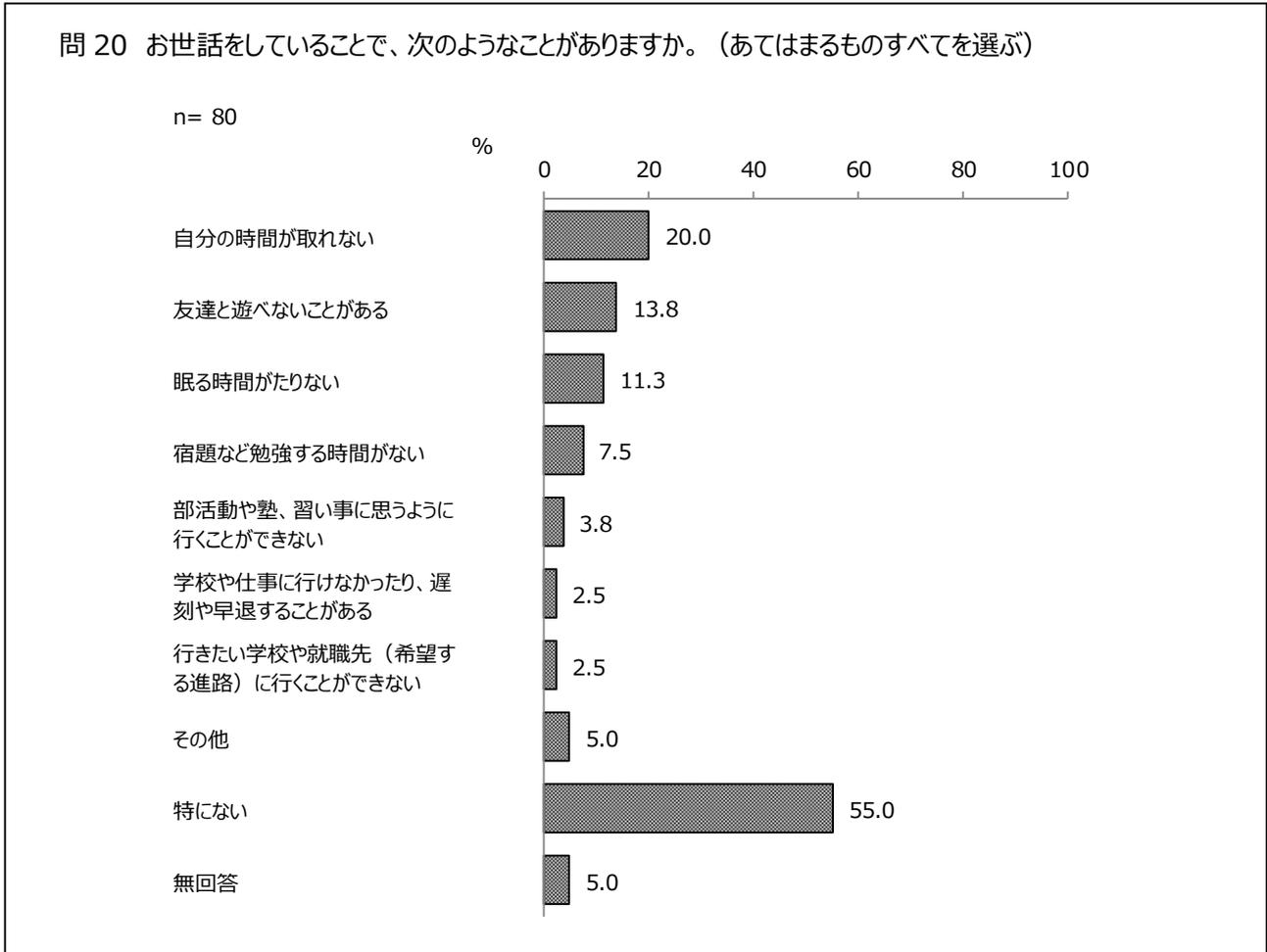
<休日>



平日1日あたりにお世話を費やす時間は、「1～3時間」が61.1%で最も高く、次いで「3～7時間」(25.0%)、「1時間未満」(8.3%)となっている。

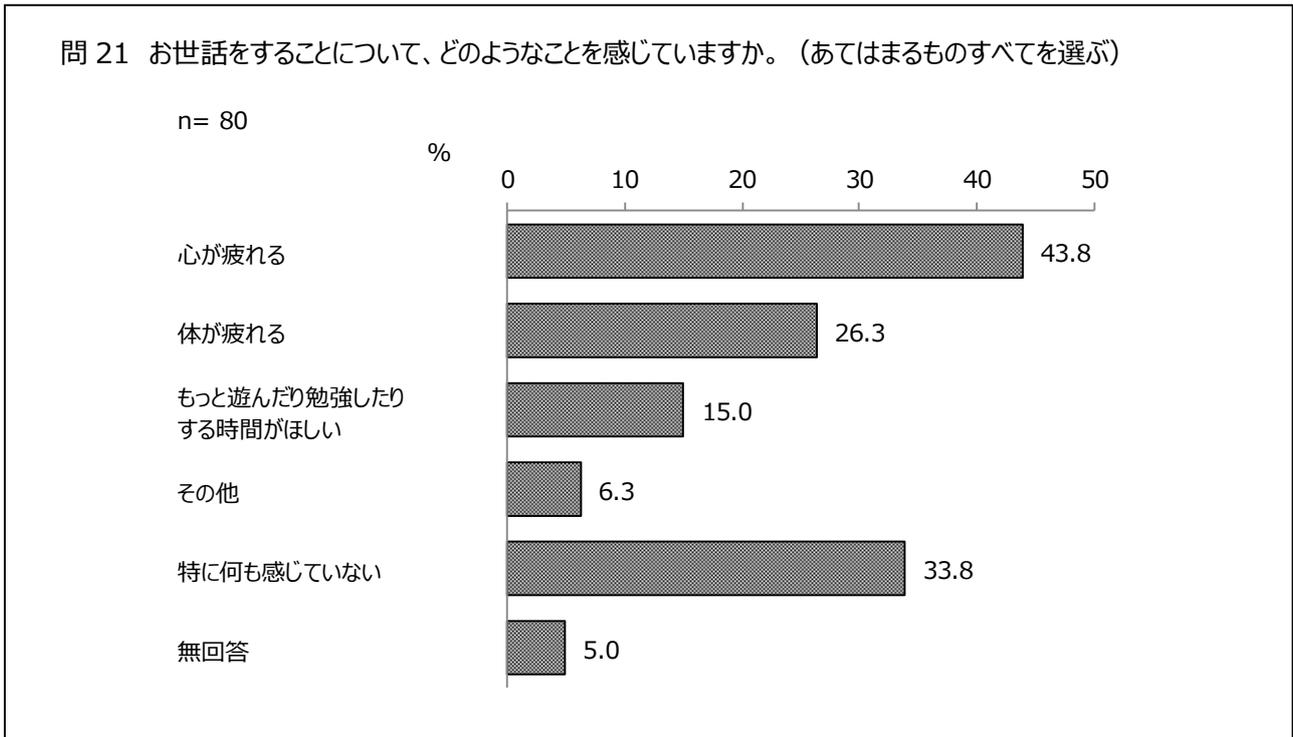
休日1日あたりにお世話を費やす時間は、「1～3時間」が52.1%で最も高く、次いで「3～7時間」(24.7%)、「7時間以上」(15.1%)となっている。

(9) お世話による制約



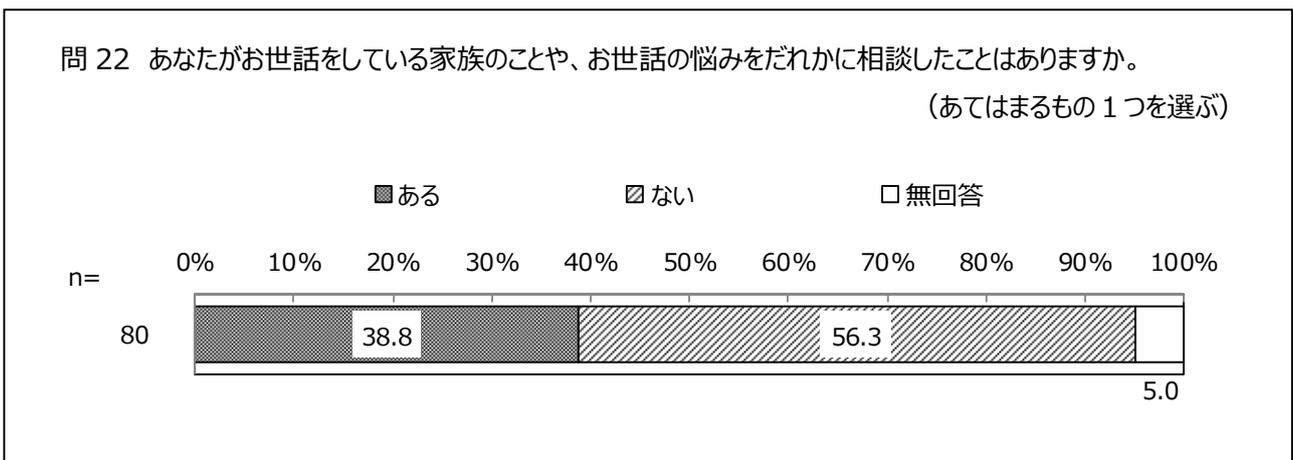
お世話による制約は、「特にない」が55.0%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「自分の時間が取れない」が20.0%で最も高く、次いで「友達と遊べないことがある」(13.8%)、「眠る時間がたりない」(11.3%)、「宿題など勉強する時間がない」(7.5%)となっている。

(10) お世話をすることについて感じていること



お世話をすることについて感じていることは、「心が疲れる」が43.8%で最も高く、次いで「体が疲れる」(26.3%)、「もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい」(15.0%)となっている。一方、「特に何も感じていない」は33.8%だった。

(11) お世話について相談した経験

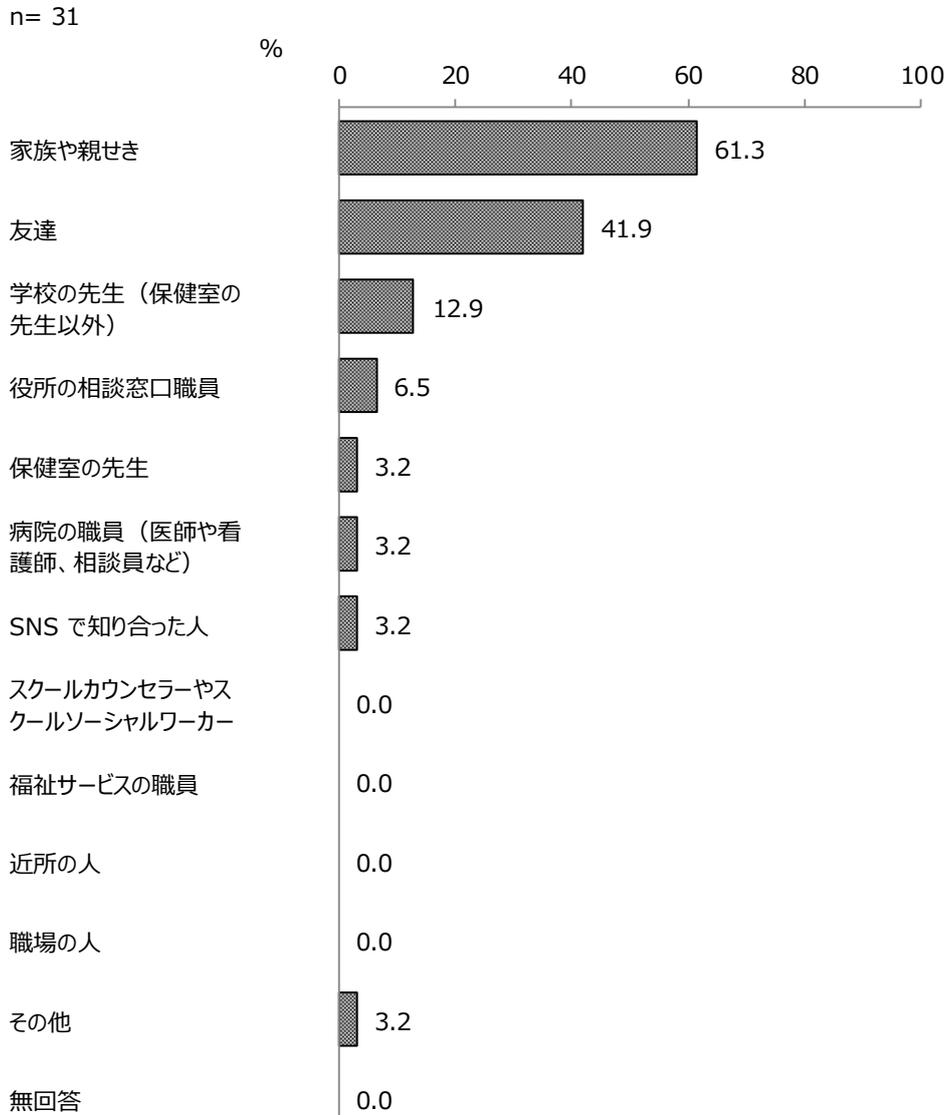


お世話について相談した経験は、「ある」が38.8%、「ない」が56.3%となっている。

(12) お世話についての相談相手

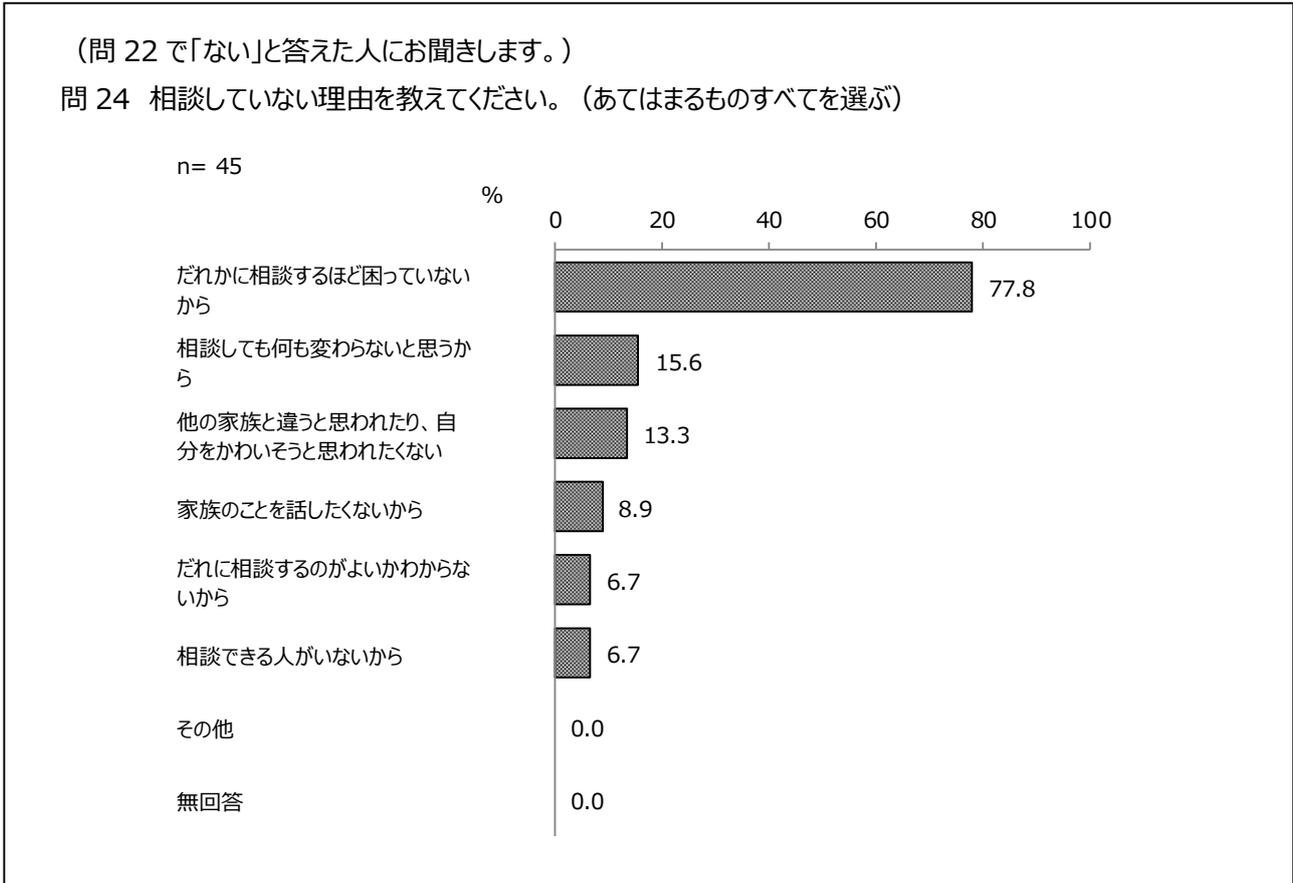
(問 22 で「ある」と答えた人にお聞きます。)

問 23 それはだれですか。(あてはまるものすべてを選ぶ)



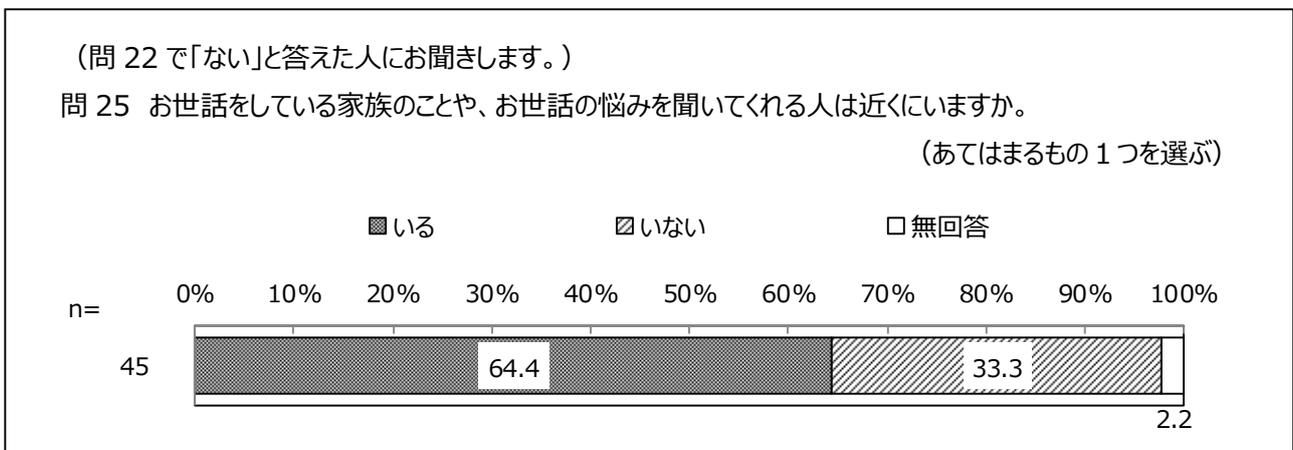
お世話についての相談相手は、「家族や親せき」が61.3%で最も高く、次いで「友達」(41.9%)、「学校の先生 (保健室の先生以外)」(12.9%)、「役所の相談窓口職員」(6.5%)となっている。

(13) 相談していない理由



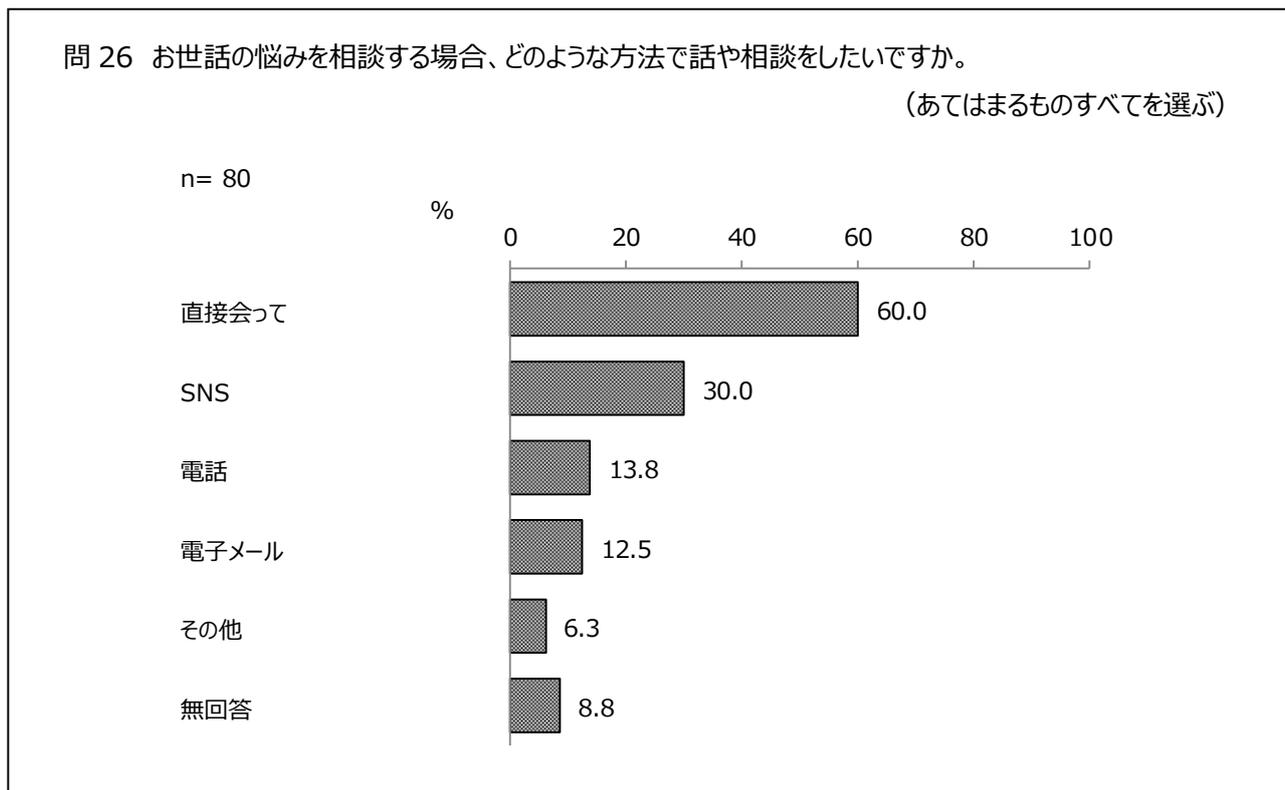
相談していない理由は、「だれかに相談するほど困っていないから」が 77.8%で最も高く、次いで「相談しても何も変わらないと思うから」(15.6%)、「他の家族と違うと思われたり、自分をかわいそうと思われたくない」(13.3%)、「家族のことを話したくないから」(8.9%)となっている。

(14) お世話について話を聞いてくれる人の有無



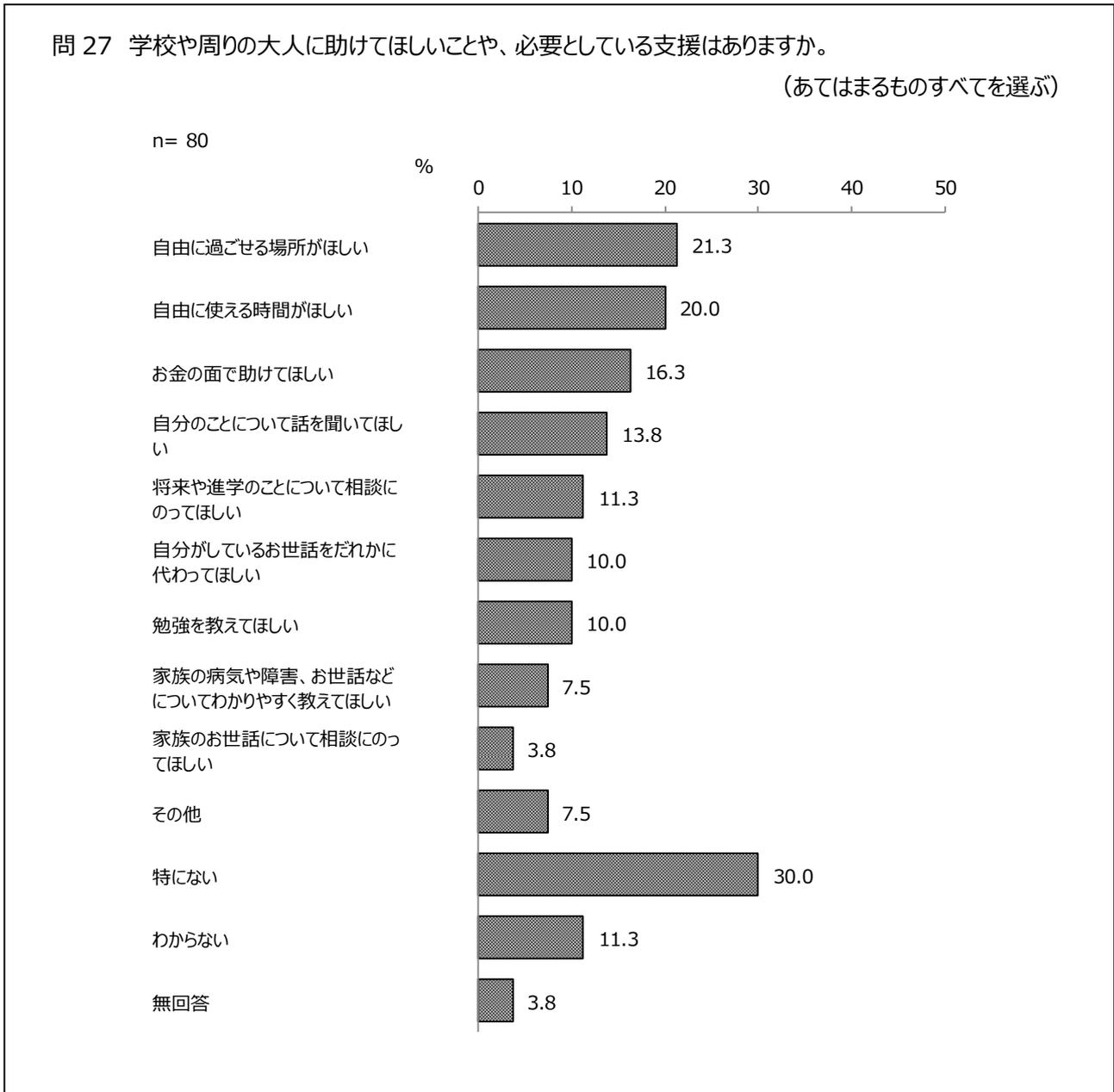
お世話について話を聞いてくれる人の有無は、「いる」が 64.4%、「いない」が 33.3%となっている。

(15) 希望する相談方法



希望する相談方法は、「直接会って」が 60.0%で最も高く、次いで「SNS」(30.0%)、「電話」(13.8%)、「電子メール」(12.5%)となっている。

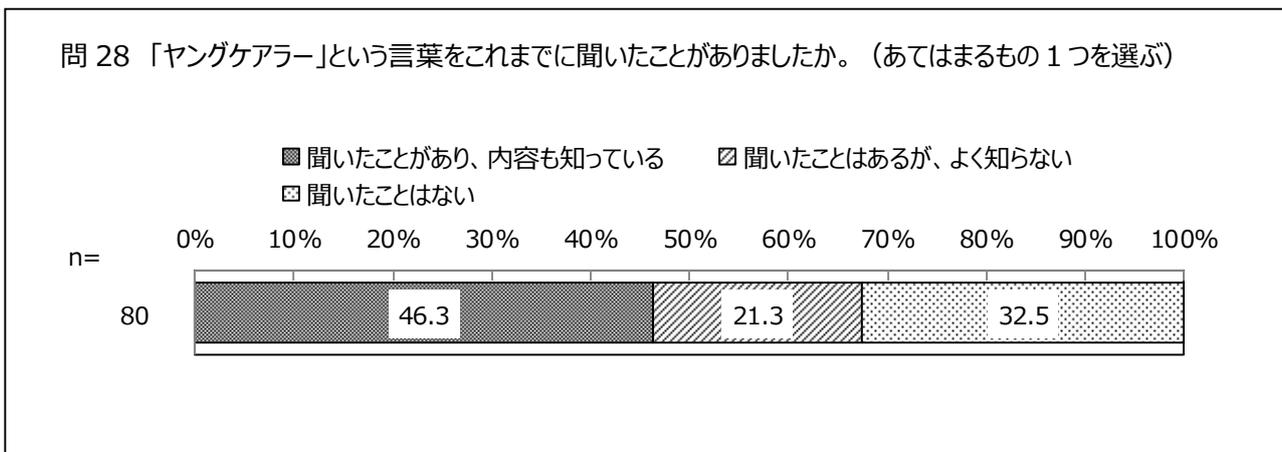
(16) 学校や大人にしてもらいたいこと



学校や大人にしてもらいたいことは、「特にない」が30.0%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「自由に過ごせる場所がほしい」が21.3%で最も高く、次いで「自由に使える時間がほしい」(20.0%)、「お金の面で助けてほしい」(16.3%)となっている。

4 ヤングケアラーについて

(1) ヤングケアラーの認知度

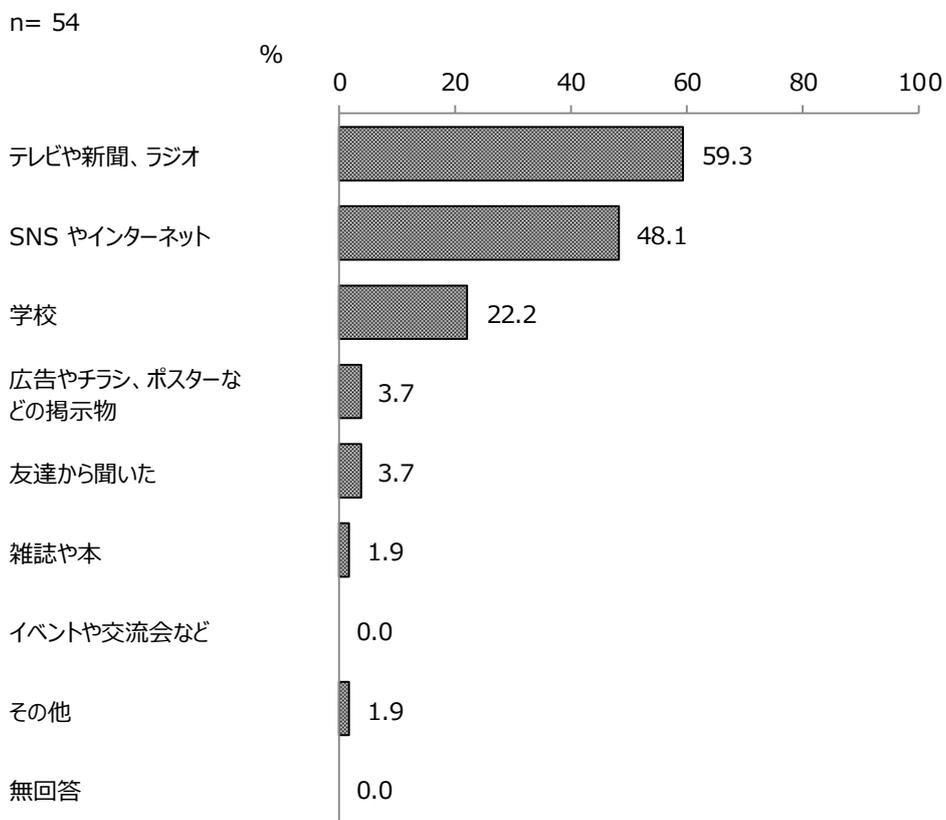


ヤングケアラーの認知度は、「聞いたことがあり、内容も知っている」が46.3%で最も高く、次いで「聞いたことはない」(32.5%)、「聞いたことはあるが、よく知らない」(21.3%)となっている。

(2) 「ヤングケアラー」について知ったきっかけ

(問 28 で「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた人にお聞きします。)

問 29 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまるものすべてを選ぶ)



「ヤングケアラー」について知ったきっかけは、「テレビや新聞、ラジオ」が 59.3%で最も高く、次いで「SNS やインターネット」(48.1%)、「学校」(22.2%)となっている。

(3) お世話をしている子どものために必要だと思うこと

問 30 家族のお世話をしている子どものために必要だと思うことや学校や周りの大人にしてもらいたいこと、あなたがお世話をしていることで困っていることなどを自由に書いてください。
(みなさんの名前や家族の名前、住所、学校、会社の名前は書かないでください。)

以下、原文掲載を基本としつつ、一部編集・抜粋の上掲載。

①経験談、悩んでいること

- ・5年前に祖母の脳出血で倒れ手術し長い間入院、色々な病気で入退院を繰り返し、7年前に母が両股関節が悪く歩けなくなり、4年前に手術するまでの3年間は、小学低学年の弟と料理やトイレやお風呂の掃除、洗濯、掃除機がけ、買い物など全ての家事を手分けして行ってきた。叔母も同じ時期に手術や入院をしていて頼るところがなかった。
- ・1番下の妹は歳が離れているのでお世話しました。真ん中の妹は2年前に妹は摂食障害になり体が回復した後も心の病気は残ったままです。前に比べたら良くなりました。私は今は一年間留学しているので離れていますが、話を聞いてあげたりしています。投げ出したいほど苦痛だとは思いませんが、周りと比べて苦勞している部分もあります。勉強の時間を取られてしまったり、私自身も学校を休みがちになったり。でも、私自身も家族として病気と向き合う大切さも感じていますし、家族は大好きです。両親はもっと苦勞していると思います。姉という立場だからこそ妹が話しやすかったりもするので、誰かにかわれる立場じゃないし、相談してあげたいとも思います。ただ、その病気に対する家族としての接し方は模索するものですし、特に摂食障害患者の家族は本当に大変だと思います。自分の病気ではないので友達や先生に話すものでもないし、それでも時間と体力は奪われるので相談するのにもどのように相談していいかわからないものです。相談するべきものなのかすら悩みます。いい精神科の先生がついているので、まだ楽ですが。患者の家族は患者ではないから困ってる人って認識されにくいけど、苦勞するし大変なんだっていう認識が広まるといいです。ヤングケアラーを知って、私も当てはまるかもなあと思う反面、全くもって妹も家族も悪くなくて、悪いのは病気であって、だからヤングケアラーを名乗るのには抵抗があります。苦しんでる妹に、お姉ちゃんが私のせいで苦しんでるのも思ってほしくないです。もっと辛いのはもちろん患者ほんにん。家族だからケアするのは当たり前だし。よくなってほしいし。難しいです。
- ・介護はかなり身体的・精神的な負担があり、家族内でもギスギスしてしまうのが悩みです。また、介護施設に預けたり、ヘルパーの方を呼ぶのも金銭的な負担が大きく、裕福な家庭ではないのでそういった面でも厳しいです。家で家族(祖母)の面倒を見れないときに介護施設に自由に預けられるような環境、そして施設使用料の援助があると助かります。
- ・ヤングケアラーをしてる子供達は自分の時間が極端に少なくなると思うのでそこら辺の考慮が必要だと思う。自分は生活に充実していて、特にこれとってやって欲しいことなどはないが、以前に比べると時間が減った。大学進学等をしたい子供達などはかなり精神的に厳しいと思う。
- ・母子家庭や父子家庭でも十分な支援を。面倒を見なくてはいけないうのはわかるけど、そのせいで今の時間を失いたくない。今しかできないことがあるのにそれができないのが嫌だ。
- ・自分は双子で、まだ学生なので、一度にかかるお金はとても多いです。それに父の介護が加わり、母の収入で暮らしていくのはとても厳しいです。助けてください。金銭面での要介護者のいる家庭の支援をもっと充実させて下さい。

②要望・求める支援

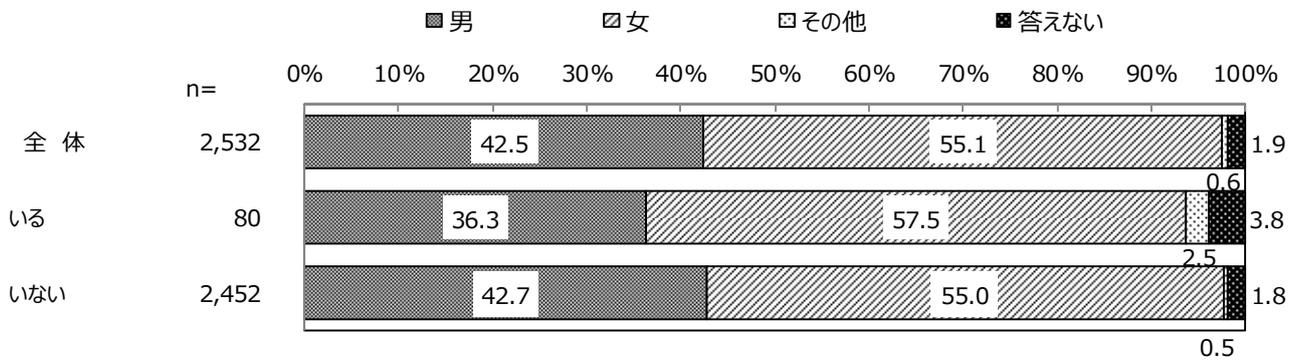
<ul style="list-style-type: none">・周囲の人の理解が必要です。
<ul style="list-style-type: none">・もっとデイサービスを増やすべき。
<ul style="list-style-type: none">・当事者ではないとしても、全ての子供が学校などで、ヤングケアラーについて知れる環境を作るべきだと思う。また、子どもが気軽に相談することができる体制を区役所がつくるべき。
<ul style="list-style-type: none">・困っている子供がいたらとにかく話を聞き、ヘルパーなどの具体的な解決策を提案してくれるような信頼して相談出来る人が一人でもいれば、ヤングケアラーが日々負っている負担を和らげることが出来ると思う。
<ul style="list-style-type: none">・自治体と学校が情報を共有し、ヤングケアラーの条件に該当する家庭を把握し（自立支援公費所持家庭、ひとり親など）該当する生徒を注意深く観察し、少しでもおかしいと感じたら自治体に連絡できる体制にする。本人はヤングケアラーだと気づいていない（これが当たり前だと思ってるかも）ため学校でヤングケアラーについて取り扱っても良いと思う。
<ul style="list-style-type: none">・お金の面で補助が欲しいと思う。
<ul style="list-style-type: none">・ヤングケアラーの登録をすることで、無料又は後払いの子育て、介護代行サービスを使えるようにする。
<ul style="list-style-type: none">・障害者手帳が無くても家事代行や、病院の送り迎え・付き添いを代わりにしてくれる人が欲しい。障害者手帳が無くても病院代・タクシー代を免除してくれる。子供の学費の免除。
<ul style="list-style-type: none">・若年期にあたる子どもに与えられている時間は勉強や友達と過ごす、様々な体験活動を行う、趣味を満喫する時間などに充てるべきでありどのような事情であれ子どもが世話をすることは避けなければならない問題であることには違いないだろう。そのためにも福祉施設の増設はもちろん誰もが使いやすい制度の整備、またはヘルパーさんの費用を公的な機関が援助するなどの環境づくりが必要であると感じている。是非江東区教育委員会の方々にはヤングケアラーの問題の解消に邁進して頂きたい。

5 追加分析

(1) お世話をしている家族の有無別からみた回答者の属性、生活状況等

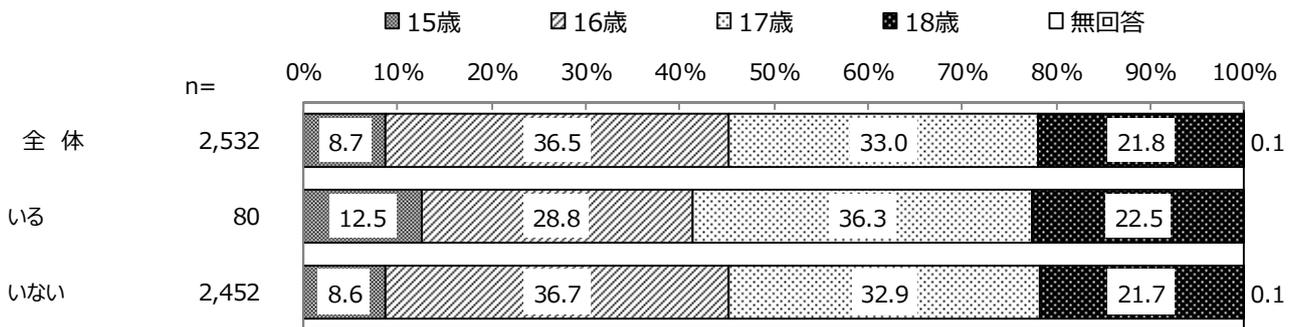
①性別

お世話をしている家族の有無別でみると、「男」はお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも6.4ポイント低くなっている。



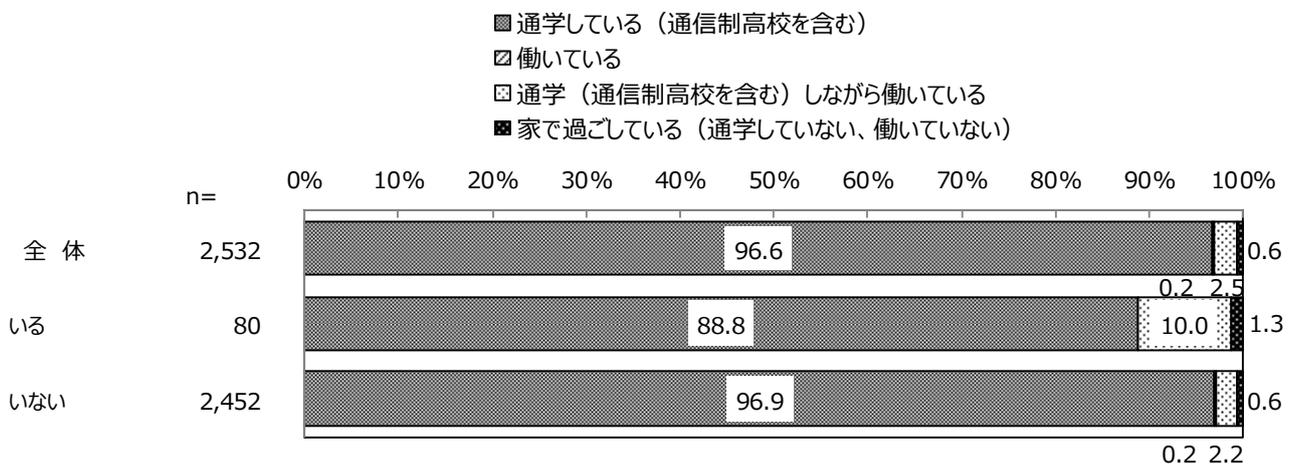
②年齢

お世話をしている家族の有無別でみると、「16歳」はお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも7.9ポイント低くなっている。



③通学・勤労の状況

お世話をしている家族の有無別でみると、「通学している（通信制高校を含む）」はお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも8.1ポイント低くなっている。



④同居家族

お世話をしている家族の有無別でみると、「父親」はお世話をしている家族が“いない”が“いる”よりも12.3ポイント高くなっている。一方、「弟」はお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも11.5ポイント高く、「祖母」もお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも9.7ポイント高くなっている。

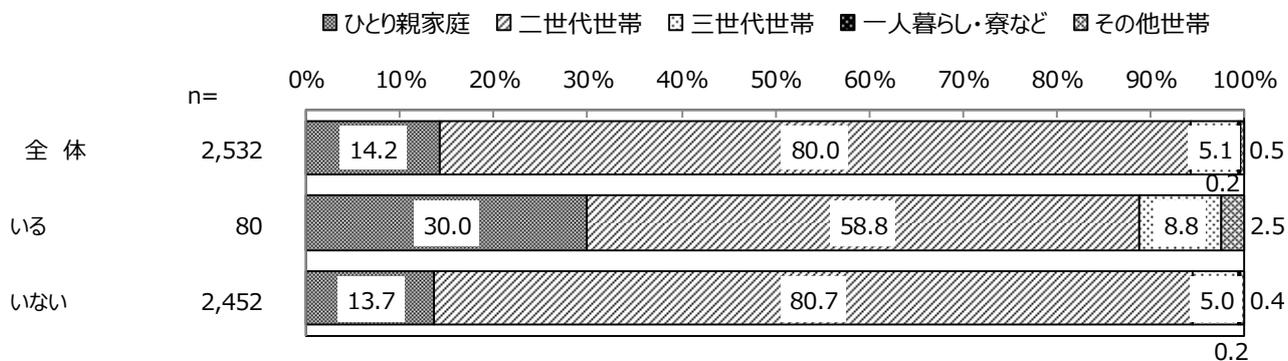
(%)

	調査数 (n)	母親	父親	弟	妹	兄	姉	祖母
全体	2,532	97.5	86.9	26.3	25.3	18.0	18.0	6.9
いる	80	90.0	75.0	37.5	32.5	17.5	13.8	16.3
いない	2,452	97.7	87.3	26.0	25.1	18.0	18.1	6.6

	調査数 (n)	祖父	その他	無回答
全体	2,532	3.2	1.1	0.0
いる	80	10.0	-	-
いない	2,452	2.9	1.1	0.0

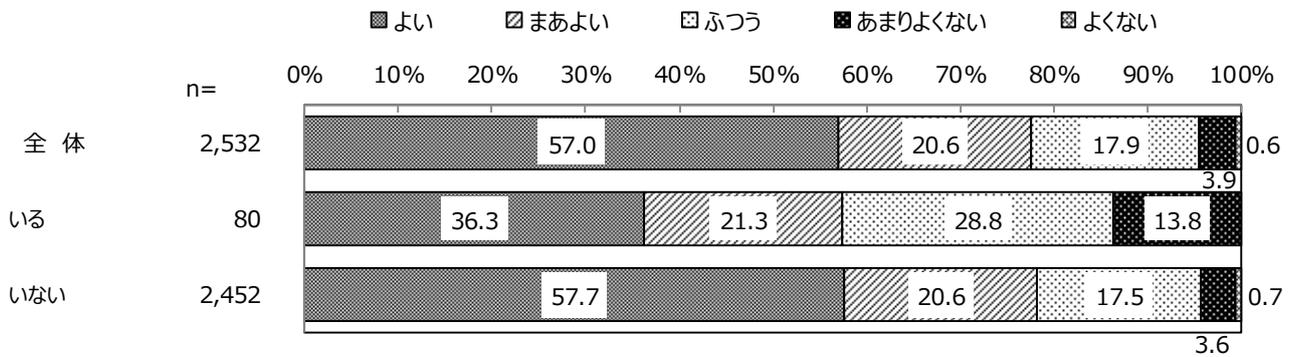
⑤家族構成

お世話をしている家族の有無別でみると、「二世帯世帯」はお世話をしている家族が“いない”が“いる”よりも21.9ポイント高くなっている。一方、「ひとり親家庭」はお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも16.3ポイント高くなっている。



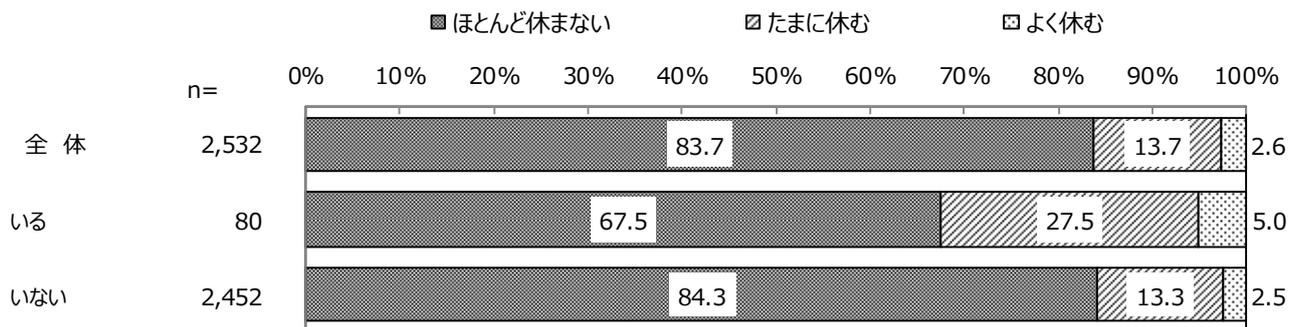
⑥健康状態

お世話をしている家族の有無別でみると、「よい」はお世話をしている家族が「いない」が「いる」よりも21.4ポイント高くなっている。一方、「ふつう」はお世話をしている家族が「いる」が「いない」よりも11.3ポイント高く、「あまりよくない」もお世話をしている家族が「いる」が「いない」よりも10.2ポイント高くなっている。



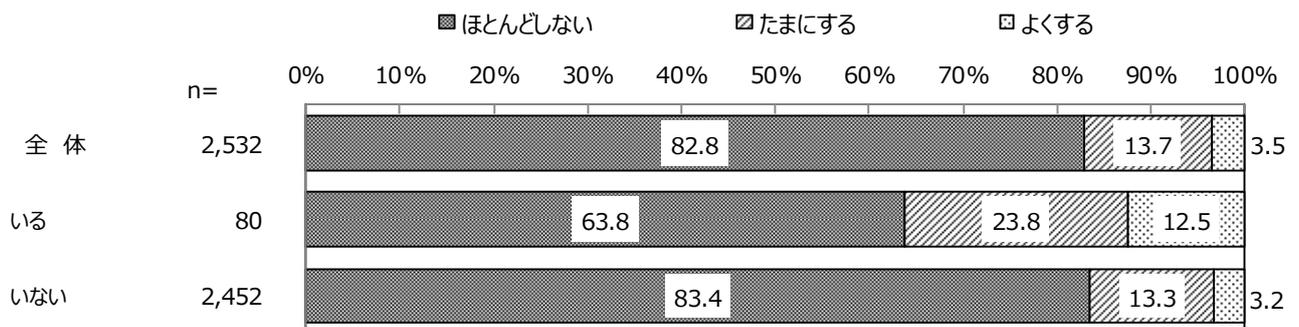
⑦学校や仕事への出欠状況

お世話をしている家族の有無別でみると、「ほとんど休まない」はお世話をしている家族が「いる」が「いない」よりも16.8ポイント低くなっている。



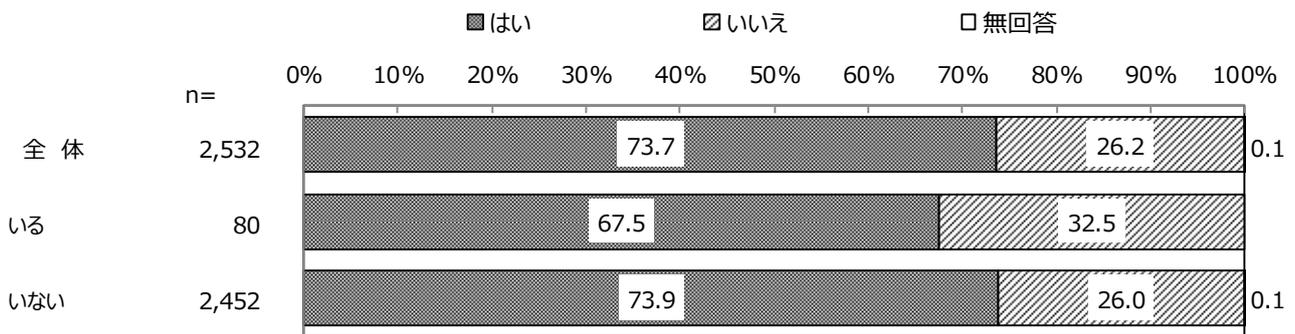
⑧学校や仕事への遅刻・早退の状況

お世話をしている家族の有無別でみると、「ほとんどしない」はお世話をしている家族が「いる」が「いない」よりも19.6ポイント低くなっている。



⑨塾や習い事への参加状況

お世話をしている家族の有無別でみると、「いいえ」はお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも6.5ポイント高くなっている。



⑩普段の学校生活などであてはまること

お世話をしている家族の有無別でみると、普段の生活についてあてはまることは、お世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも高く、特に「授業中に寝てしまうことが多い」は13.8ポイント高くなっている。一方、「特にない」はお世話をしている家族が“いない”が“いる”よりも17.1ポイント高くなっている。

		(%)								
	調査数 (n)	授業中に寝てしまうことが多い	提出物を出さないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	宿題が多い	学校で一人であることが多い	時間がかからない	友達と遊んだりする暇が少ない	趣味や好きなことをする暇が少ない	部活動や塾、習い事
全体	2,532	31.6	17.0	13.4	11.4	7.7	7.1	6.4	3.0	
いる	80	45.0	20.0	17.5	15.0	11.3	10.0	15.0	3.8	
いない	2,452	31.2	16.9	13.3	11.3	7.6	7.0	6.1	3.0	

	調査数 (n)	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	仕事に集中できない	保健室にいることが多い	勤務先で一人であることが多い	仕事があるのに寝てしまう	特にない	無回答
全体	2,532	1.3	1.0	0.9	0.4	0.3	46.6	3.4
いる	80	-	6.3	5.0	2.5	1.3	30.0	5.0
いない	2,452	1.4	0.9	0.7	0.4	0.3	47.1	3.3

⑪現在の悩みや困りごと

お世話をしている家族の有無別でみると、「家族のこと」はお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも25.0ポイント高く、「生活や学校生活に必要なお金のこと」もお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも22.6ポイント高くなっている。一方、「特にない」はお世話をしている家族が“いない”が“いる”よりも11.1ポイント高くなっている。

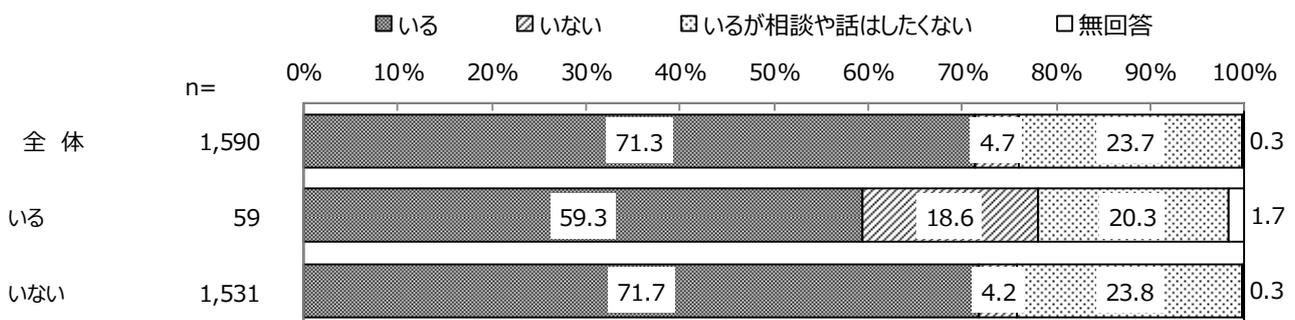
(%)

	調査数 (n)	進路 (大学・専門学校・就職先など)	勉強や学校の成績のこと	友達のこと	生活や学校生活に必要なお金のこと	家族のこと	自分のためか他人のためか	部活動や塾、習い事
全体	2,532	43.5	39.4	12.0	9.4	8.3	5.6	1.7
いる	80	50.0	41.3	11.3	31.3	32.5	13.8	6.3
いない	2,452	43.3	39.3	12.0	8.7	7.5	5.4	1.6

	調査数 (n)	職場での人間関係のこと	仕事の内容のこと	その他	特にない	無回答
全体	2,532	0.8	0.3	2.1	35.7	1.5
いる	80	3.8	2.5	1.3	25.0	1.3
いない	2,452	0.7	0.2	2.1	36.1	1.5

⑫相談相手の有無

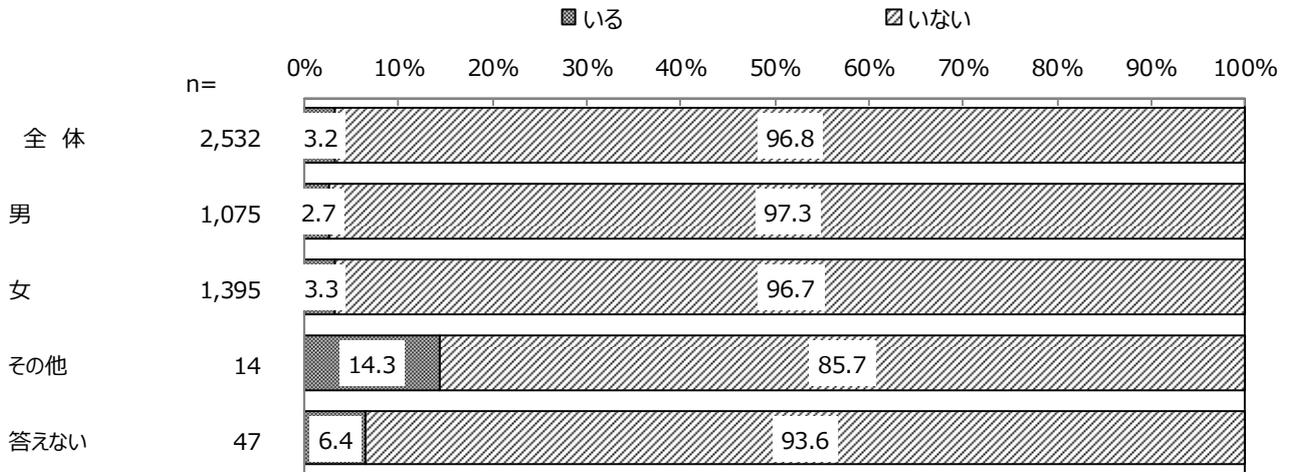
お世話をしている家族の有無別でみると、「いない」はお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも14.4ポイント高くなっている。



(2) 性別からみたお世話の状況

①お世話をしている家族の有無

性別で見ると、お世話をしている家族の有無で大きな差異はみられない。



②お世話を必要としている家族

性別で見ると、「母親」は男が女よりも11.4ポイント高くなっている。一方、「祖母」は女が男よりも9.3ポイント高くなっている。

	調査数 (n)	きょうだい						(%)	
			母親	祖母	父親	祖父	その他	無回答	
全体	80	47.5	25.0	15.0	13.8	7.5	-	7.5	
男	29	48.3	31.0	10.3	13.8	6.9	-	13.8	
女	46	41.3	19.6	19.6	15.2	8.7	-	4.3	
その他	2	100.0	100.0	-	-	-	-	-	
答えない	3	100.0	-	-	-	-	-	-	

③お世話の内容（父母）

性別でみると、父母のお世話の内容は、調査数が少ないため参考値として図示するに留めることとする。

(%)

	調査数 (n)	濯後家事、 買い物、 洗い物、 掃除、 洗濯	し困り 相り 手ご に を 聞 く、 話	手な病 助ど院 けにや を一買 す緒い るに物 行、 き、 散 歩	しし通 たたり りり す、日 す手本 る話語 なでを ど通通 し訳訳	見と転 守をん るしだ たり、 し危 ない いこ	すた薬 るり、 飲 薬 を だ か 確 た か り め	イ着 レが のえ 手や 伝お いふ なる ど・ ト
全体	27	55.6	40.7	33.3	29.6	7.4	7.4	3.7
男	10	50.0	40.0	40.0	30.0	-	10.0	10.0
女	15	60.0	33.3	33.3	33.3	13.3	6.7	-
その他	2	50.0	100.0	-	-	-	-	-
答えない	-	-	-	-	-	-	-	-

	調査数 (n)	る家 の お 金 の 管 理 を す	そ の 他	無 回 答
全体	27	3.7	-	-
男	10	-	-	-
女	15	6.7	-	-
その他	2	-	-	-
答えない	-	-	-	-

④お世話の内容（祖父母）

性別で見ると、祖父母のお世話の内容は、調査数が少ないため参考値として図示するに留めることとする。

(%)

	調査数（n）	し困 相り 手ご とを なる 聞く、 話	見と 守を るし たり、 し危 ない かこ	転 をん だり、 危 ない かこ	手 助に けを す緒 に行 き、 散 歩	病 院に や買 い物 、散 歩	すた るり 、飲 薬を んだ か確 たり め	濯、 後片 、事 買付 け食 物、 掃除 、洗 や	イ着 レが のえ 手や 伝お いふ なる ど・ ト	る家 のお 金の 管理 をす
全体	15	66.7	66.7	33.3	33.3	20.0	13.3	6.7		
男	4	50.0	100.0	-	25.0	-	-	-		
女	11	72.7	54.5	45.5	36.4	27.3	18.2	9.1		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-		
答えない	-	-	-	-	-	-	-	-		

	調査数（n）	しし通 たり す、 日本 語を 通 通 訳	そ の 他	無 回 答
全体	15	-	-	-
男	4	-	-	-
女	11	-	-	-
その他	-	-	-	-
答えない	-	-	-	-

⑤お世話の内容（きょうだい）

性別で見ると、きょうだいのお世話の内容は、調査数が少ないため参考値として図示するに留めることとする。

(%)

	調査数（n）	見守る たり、危 ないか	転をんだり、 し危ない か	洗濯、買い物 など）	家事（食事の 用意や	えやき 保うだ いの送 り世 迎話	し困 相りと 手ご を聞 く、 話	イ着 レが のえ 手お いふ ろ・ ト	手な 助に けを す緒 に行 き、 歩	すた るり 、飲 薬を だか し確 たり め
全体	38	55.3	50.0	44.7	31.6	28.9	15.8	10.5		
男	14	42.9	50.0	35.7	21.4	14.3	21.4	14.3		
女	19	57.9	52.6	47.4	42.1	36.8	10.5	5.3		
その他	2	100.0	100.0	100.0	-	50.0	50.0	-		
答えない	3	66.7	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3		

	調査数（n）	家の お金 の管 理を す	しした たり する など）	通訳 （日 本語 を 通 訳	そ の 他	無 回 答
全体	38	5.3	-	2.6	-	
男	14	7.1	-	7.1	-	
女	19	5.3	-	-	-	
その他	2	-	-	-	-	
答えない	3	-	-	-	-	

⑥お世話を一緒にしている人

性別で見ると、「祖母」、「福祉のヘルパーさんなど」は男が女よりも11.6ポイント高く、「きょうだい」も男が女よりも7.5ポイント高くなっている。一方、「父親」は女が男よりも8.1ポイント高くなっている。

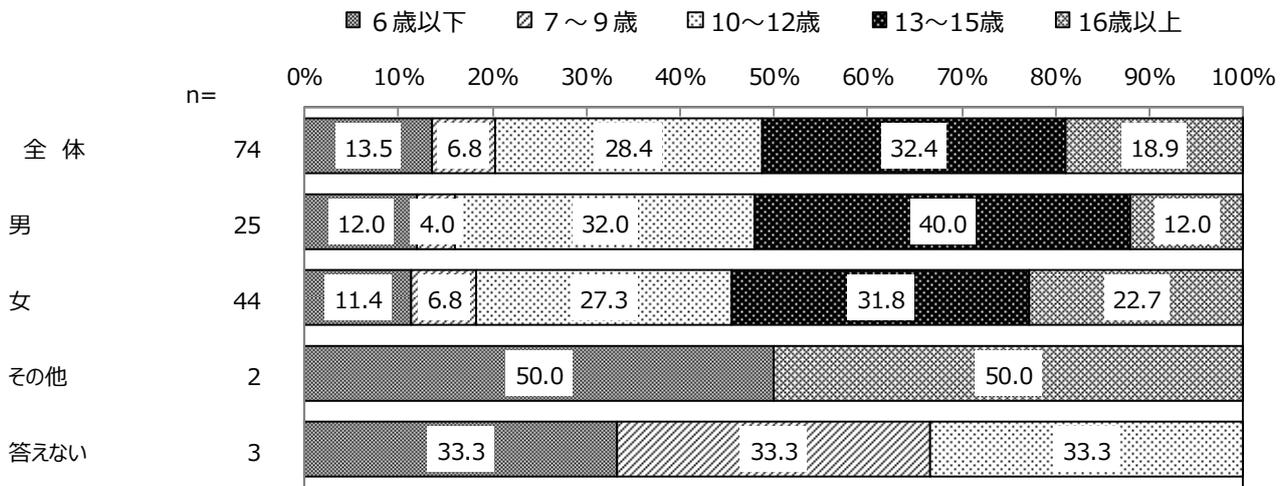
(%)

	調査数 (n)	母親	父親	きょうだい	自分だけ	祖母	福祉のヘルパーさん など	祖父
全体	80	56.3	36.3	32.5	11.3	6.3	6.3	2.5
男	29	58.6	31.0	37.9	6.9	13.8	13.8	3.4
女	46	56.5	39.1	30.4	13.0	2.2	2.2	2.2
その他	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-
答えない	3	66.7	33.3	-	33.3	-	-	-

	調査数 (n)	親せきの人	その他	無回答
全体	80	-	-	7.5
男	29	-	-	13.8
女	46	-	-	4.3
その他	2	-	-	-
答えない	3	-	-	-

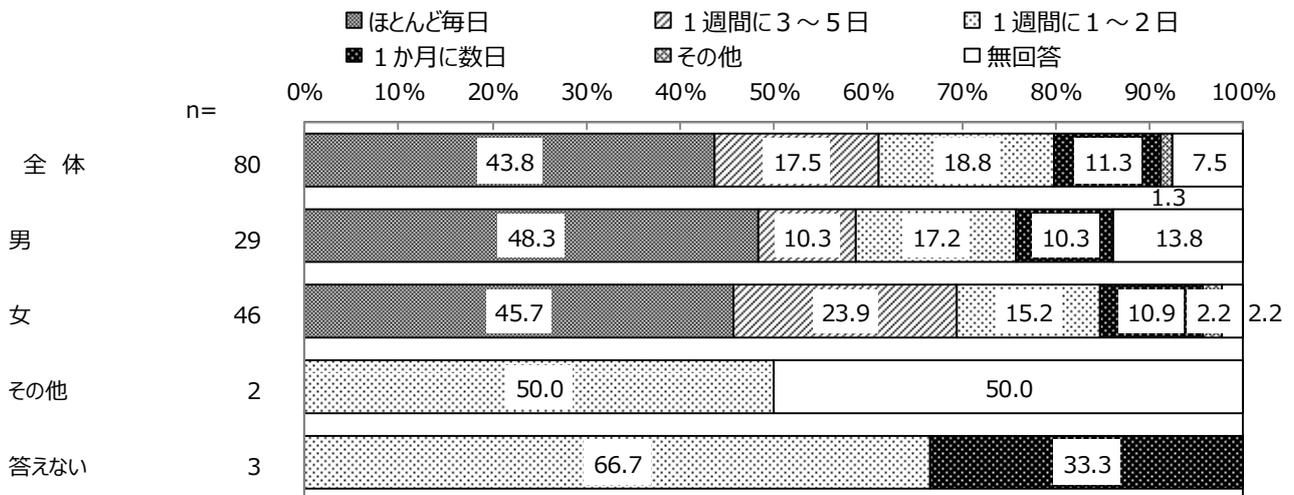
⑦お世話を始めた年齢（5区分）

性別で見ると、「16歳以上」は女が男よりも10.7ポイント高くなっている。一方、「13～15歳」は男が女よりも8.2ポイント高くなっている。



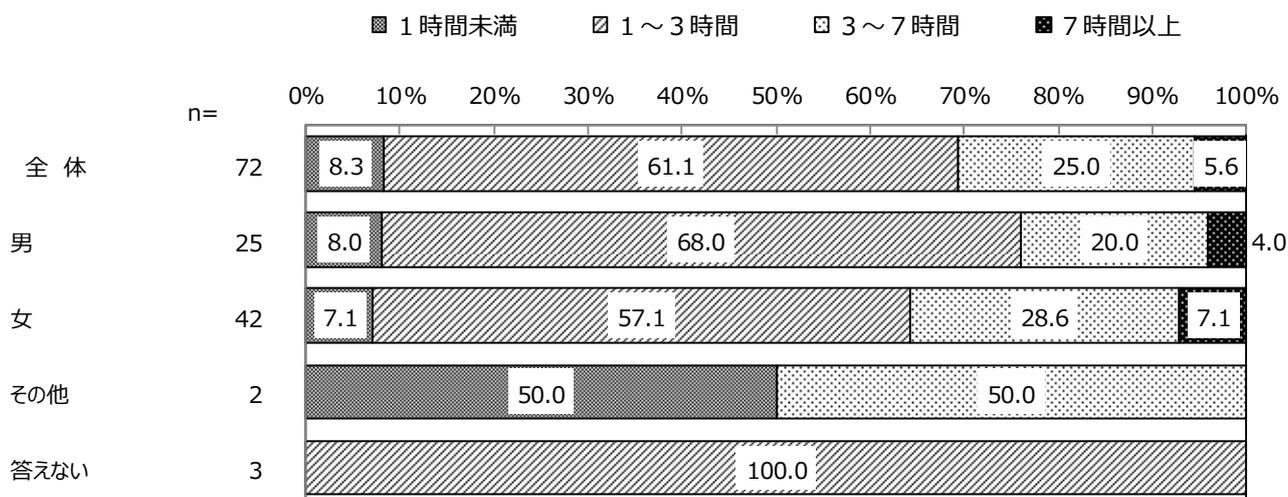
⑧お世話をしている頻度

性別で見ると、「1週間に3～5日」は女が男よりも13.6ポイント高くなっている。



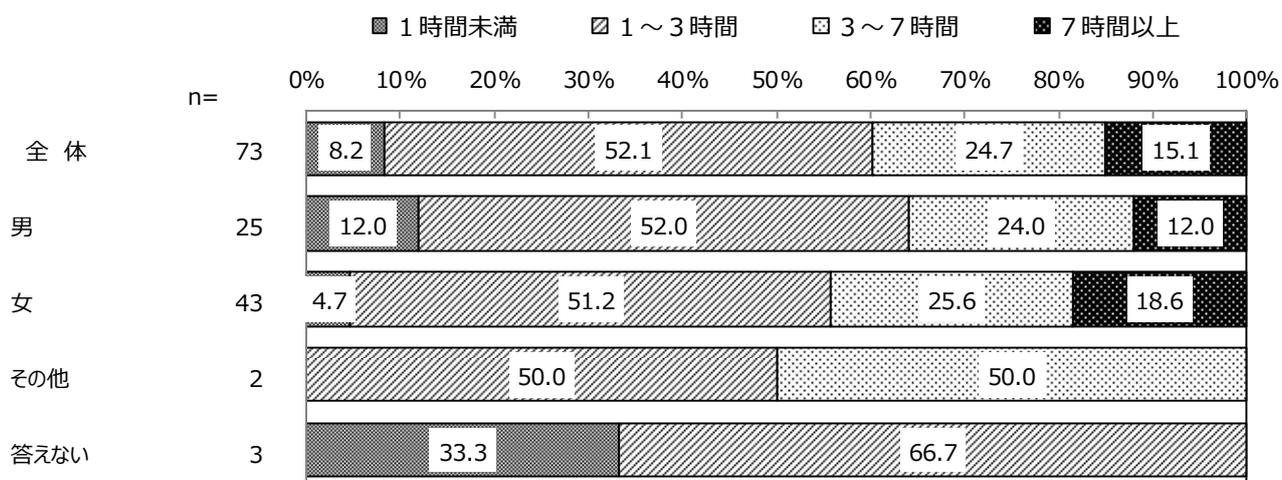
⑨平日 1日あたりにお世話に費やす時間

性別で見ると、「1～3時間」は男が女よりも 10.9 ポイント高くなっている。一方、「3～7時間」は女が男よりも 8.6 ポイント高くなっている。



⑩休日 1日あたりにお世話に費やす時間

性別で見ると、「1時間未満」は男が女よりも 7.3 ポイント高くなっている。一方、「7時間以上」は女が男よりも 6.6 ポイント高くなっている。



⑪お世話による制約

性別で見ると、「友達と遊べないことがある」は女が男よりも12.7ポイント高く、「宿題など勉強する時間がない」も女が男よりも7.5ポイント高くなっている。一方、「特にない」は男が女よりも12.1ポイント高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	自分の 時間が 取れな い	友達と 遊べな いこと がある	眠る 時間 がた りない	宿題 など 勉強 する 時 間 が な い	部 活 や 塾 、 習 い こ 事 に 思 う よ う に 行 く こ と が で き な い	退 か す る こ と が あ る	学 校 や 仕 事 に 行 け な い	行 き た い 学 校 や 就 職 先 に 行 く こ と が で き な い
全体	80	20.0	13.8	11.3	7.5	3.8	2.5	2.5	
男	29	17.2	6.9	10.3	3.4	3.4	-	3.4	
女	46	23.9	19.6	13.0	10.9	2.2	4.3	2.2	
その他	2	-	-	-	-	50.0	-	-	
答えない	3	-	-	-	-	-	-	-	

	調査数 (n)	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体	80	5.0	55.0	5.0
男	29	3.4	62.1	10.3
女	46	4.3	50.0	2.2
その他	2	-	50.0	-
答えない	3	33.3	66.7	-

⑫お世話をすることについて感じていること

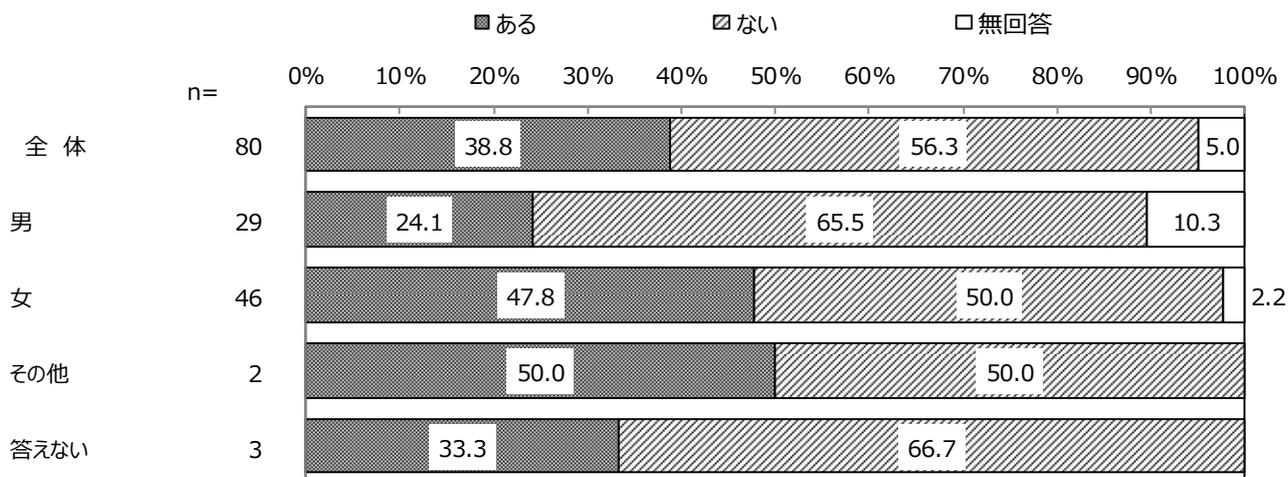
性別で見ると、いずれも女が男よりも高く、特に「体が疲れる」は7.6ポイント高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	心が 疲れる	体が 疲れる	し い た り と す 遊 る ん だ 間 が 勉 強	そ の 他	い 特 に 何 も 感 じ て い な	無 回 答
全体	80	43.8	26.3	15.0	6.3	33.8	5.0
男	29	41.4	20.7	13.8	3.4	31.0	13.8
女	46	45.7	28.3	17.4	8.7	34.8	-
その他	2	50.0	50.0	-	-	-	-
答えない	3	33.3	33.3	-	-	66.7	-

⑬お世話について相談した経験

性別で見ると、「ある」は女が男よりも23.7ポイント高くなっている。



⑭お世話についての相談相手

性別で見ると、お世話についての相談相手は、調査数が少ないため参考値として図示するに留めることとする。

(%)

	調査数 (n)	家族 や親せき	友達	学校の先生 (先生以外) (保健室)	役所の 相談窓口 職員	保健室の 先生	ど 看護師、 病院長の 職員(医師 や相談員な ど)	人 S N S で知り 合った
全体	31	61.3	41.9	12.9	6.5	3.2	3.2	3.2
男	7	57.1	42.9	-	-	-	-	-
女	22	63.6	45.5	18.2	4.5	4.5	4.5	4.5
その他	1	-	-	-	100.0	-	-	-
答えない	1	100.0	-	-	-	-	-	-

	調査数 (n)	スクール カウンセ ラー やスクール カウンセ ラー	福祉サ ービスの 職員	近所 の人	職 場の 人	そ の 他	無 回 答
全体	31	-	-	-	-	3.2	-
男	7	-	-	-	-	-	-
女	22	-	-	-	-	4.5	-
その他	1	-	-	-	-	-	-
答えない	1	-	-	-	-	-	-

⑮相談していない理由

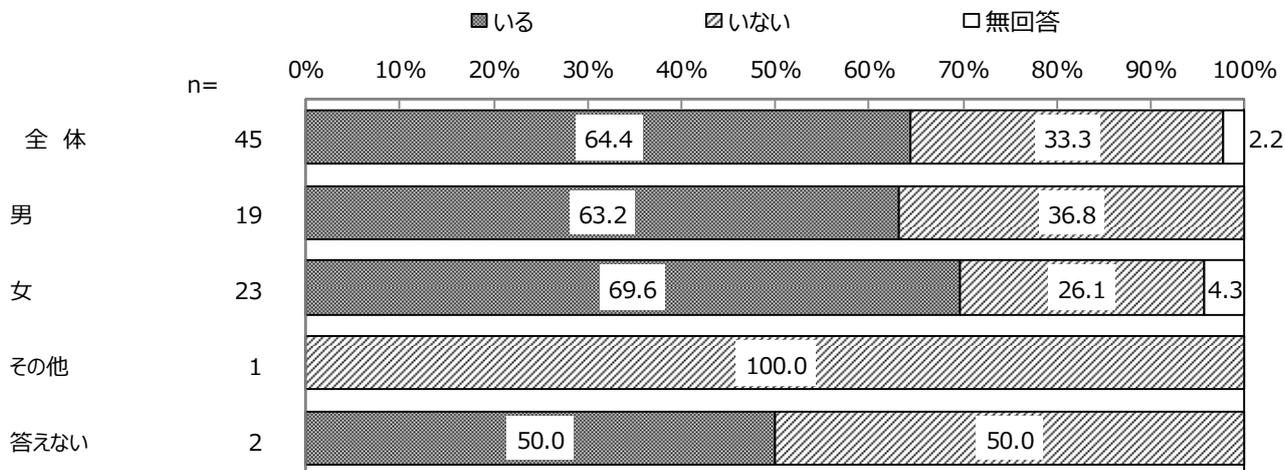
性別でみると、相談していない理由は、調査数が少ないため参考値として図示するに留めることとする。

(%)

	調査数 (n)	どだ 困れ つか てに い相 ない から ほ	ら相 ない し も 何 も 変 わ	とた 思わ れ た か く い そ う れ	他の 家族 と違 う と 思 わ れ	く家 族の こと を 話 し た	らよ だ い れ か わ か ら な い の か が	い相 談で きる 人 が い な	そ の 他	無 回 答
全体	45	77.8	15.6	13.3	8.9	6.7	6.7	-	-	
男	19	73.7	10.5	10.5	10.5	15.8	5.3	-	-	
女	23	78.3	17.4	13.0	8.7	-	8.7	-	-	
その他	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
答えない	2	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	

⑯お世話について話を聞いてくれる人の有無

性別でみると、お世話について話を聞いてくれる人の有無は、調査数が少ないため参考値として図示するに留めることとする。



⑰希望する相談方法

性別で見ると、「SNS」は女が男よりも14.1ポイント高く、「電話」も女が男よりも7.1ポイント高くなっている。一方、「電子メール」は男が女よりも8.5ポイント高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	直接 会 つ て	S N S	電 話	電 子 メ ー ル	そ の 他	無 回 答
全体	80	60.0	30.0	13.8	12.5	6.3	8.8
男	29	62.1	20.7	10.3	17.2	6.9	13.8
女	46	60.9	34.8	17.4	8.7	4.3	6.5
その他	2	50.0	50.0	-	50.0	-	-
答えない	3	33.3	33.3	-	-	33.3	-

⑩学校や大人にしてもらいたいこと

性別でみると、「家族の病気や障害、お世話などについてわかりやすく教えてほしい」は男が女よりも15.0ポイント高くなっている。一方、「自由に過ごせる場所がほしい」は女が男よりも14.5ポイント高く、「お金の面で助けてほしい」も女が男よりも11.4ポイント高くなっている。また、「特にない」は男が女よりも15.3ポイント高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	が自由 ほしに い過 ごせ る場 所	ほ自由 しに い使 える 時 間 が	しお い金 の 面 で 助 け て ほ	話自 を分 聞の いこ とと ほに しつ い い て	ほつ しい 来 い て や 相 進 談 の こ と に	て話自 ほを分 しだ いれ か に 代 わ お 世	勉 強 を 教 え て ほ し い
全体	80	21.3	20.0	16.3	13.8	11.3	10.0	10.0
男	29	13.8	20.7	10.3	13.8	6.9	13.8	10.3
女	46	28.3	19.6	21.7	13.0	15.2	8.7	10.9
その他	2	-	50.0	-	-	-	-	-
答えない	3	-	-	-	33.3	-	-	-

	調査数 (n)	す話家 くなど 教の えに てつ ほ し い わ か り や 世	いて家 相族 談の にお の世 つ話 てに ほつ し い	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	80	7.5	3.8	7.5	30.0	11.3	3.8
男	29	17.2	3.4	3.4	41.4	10.3	3.4
女	46	2.2	4.3	8.7	26.1	8.7	4.3
その他	2	-	-	-	-	50.0	-
答えない	3	-	-	33.3	-	33.3	-

(3) 家族構成（4区分）からみたお世話の状況

①お世話を必要としている家族

家族構成別でみると、「きょうだい」は二世帯世帯が5割台半ばと高くなっている。「母親」はひとり親家庭で3割近く、「祖母」も1割台半ばとなっている。

(%)

	調査数 (n)	きょうだい	母親	祖母	父親	祖父	その他	無回答
全体	80	47.5	25.0	15.0	13.8	7.5	-	7.5
ひとり親家庭	24	45.8	29.2	16.7	4.2	4.2	-	8.3
二世帯世帯	47	53.2	23.4	8.5	17.0	4.3	-	8.5
三世帯世帯	7	28.6	28.6	42.9	28.6	28.6	-	-
その他世帯	2	-	-	50.0	-	50.0	-	-

②お世話の内容（父母）

家族構成別でみると、父母のお世話の内容は、調査数が少ないため参考値として図示するに留めることとする。

(%)

	調査数 (n)	洗濯、買い物など	家事（食事、掃除、洗濯）	後片付け、掃除、洗濯	家事（食事、掃除、洗濯）	買い物、掃除、洗濯	困りごとを聞く、話し相手になる	手助けをする、行き、歩	病院や買い物、散歩	したたり、日本語で通訳	通訳（日本語で通訳）	見守る	とんたり、危ないか	転んだり、危ないか	すたり、薬を渡したか	薬を飲んだか	着レのえ手伝いなど・ト
全体	27	55.6	40.7	33.3	29.6	7.4	7.4	3.7									
ひとり親家庭	8	37.5	50.0	12.5	50.0	-	-	-									
二世帯世帯	17	64.7	35.3	47.1	23.5	11.8	11.8	5.9									
三世帯世帯	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-									
その他世帯	-	-	-	-	-	-	-	-									

	調査数 (n)	家の金の管理をする	その他	無回答
全体	27	3.7	-	-
ひとり親家庭	8	-	-	-
二世帯世帯	17	5.9	-	-
三世帯世帯	2	-	-	-
その他世帯	-	-	-	-

③お世話の内容（祖父母）

家族構成別でみると、祖父母のお世話の内容は、調査数が少ないため参考値として図示するに留めることとする。

(%)

	調査数（n）	し困相り手ごとなる聞く、話	見と転守をんだたり、危ないか	手な病助ど院にや買い物、散	すた薬るり、飲薬をだか確たりめ	濯後家事、片付（食の掃除、洗	イ着レがのえ手やおふなど・ト	る家の金の管理をす
全体	15	66.7	66.7	33.3	33.3	20.0	13.3	6.7
ひとり親家庭	5	20.0	60.0	-	60.0	40.0	20.0	-
二世帯世帯	4	100.0	50.0	75.0	-	25.0	-	25.0
三世帯世帯	4	75.0	75.0	50.0	25.0	-	25.0	-
その他世帯	2	100.0	100.0	-	50.0	-	-	-

	調査数（n）	ししたたりするなど）	通た訳り（日本語を通訳	その他	無回答
全体	15	-	-	-	-
ひとり親家庭	5	-	-	-	-
二世帯世帯	4	-	-	-	-
三世帯世帯	4	-	-	-	-
その他世帯	2	-	-	-	-

④お世話の内容（きょうだい）

家族構成別でみると、きょうだいのお世話の内容は、調査数が少ないため参考値として図示するに留めることとする。

(%)

	調査数（n）	見守る	とをんだり、危ないか	転んだり、危ないか	洗濯、買い物など	後片付け、掃除、洗濯	家事（食事の用意や	えやき保育園への送り迎え	し困りごとを聞く、話し	イ着レがのえやおふろ・ト	手な病す	助院にや買物、散歩	するり、飲んだか確かめ
全体	38	55.3	50.0	44.7	31.6	28.9	15.8	10.5					
ひとり親家庭	11	54.5	63.6	45.5	-	27.3	-	9.1					
二世帯世帯	25	52.0	44.0	48.0	48.0	32.0	24.0	8.0					
三世帯世帯	2	100.0	50.0	-	-	-	-	50.0					
その他世帯	-	-	-	-	-	-	-	-					

	調査数（n）	家の金の管理をする	ししたりするなど	したりするなど	通訳（日本語を通訳	その他	無回答
	38	5.3	-	2.6	-	-	-
ひとり親家庭	11	18.2	-	-	-	-	-
二世帯世帯	25	-	-	4.0	-	-	-
三世帯世帯	2	-	-	-	-	-	-
その他世帯	-	-	-	-	-	-	-

⑤お世話を一緒にしている人

家族構成別でみると、「母親」は二世帯世帯で6割近く、「父親」も二世帯世帯で5割近く、「きょうだい」も二世帯世帯で3割台半ばと高くなっている。「自分だけ」はひとり親家庭で2割となっている。

(%)

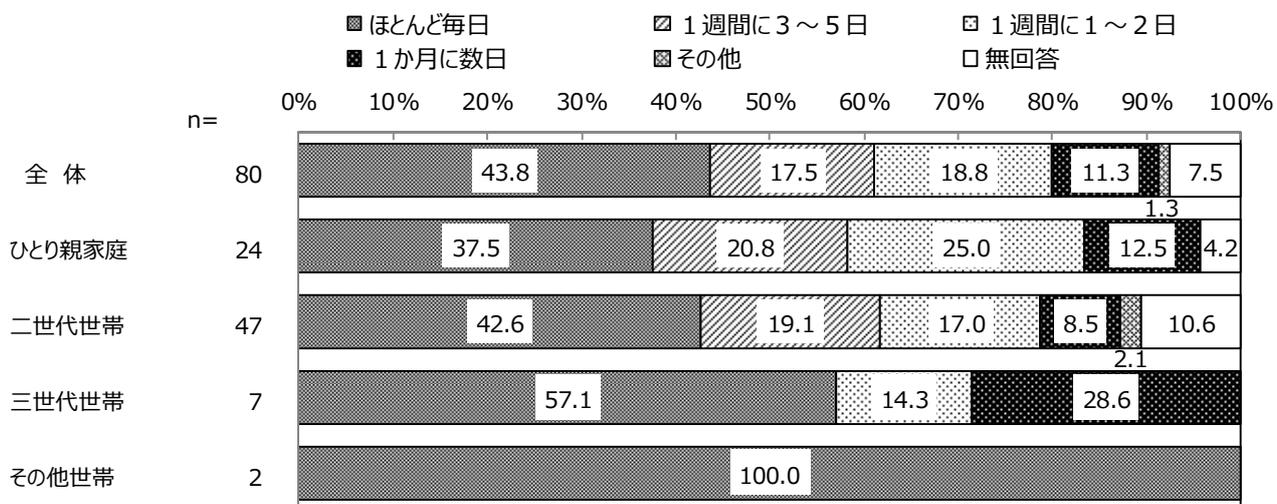
	調査数 (n)	母親	父親	きょうだい	自分だけ	祖母	福祉のヘルパーさん	祖父
全体	80	56.3	36.3	32.5	11.3	6.3	6.3	2.5
ひとり親家庭	24	41.7	4.2	25.0	20.8	8.3	8.3	4.2
二世帯世帯	47	57.4	48.9	36.2	8.5	2.1	4.3	2.1
三世帯世帯	7	100.0	57.1	28.6	-	14.3	-	-
その他世帯	2	50.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-

	調査数 (n)	親せきの人	その他	無回答
全体	80	-	-	7.5
ひとり親家庭	24	-	-	8.3
二世帯世帯	47	-	-	8.5
三世帯世帯	7	-	-	-
その他世帯	2	-	-	-

⑥お世話をしている頻度

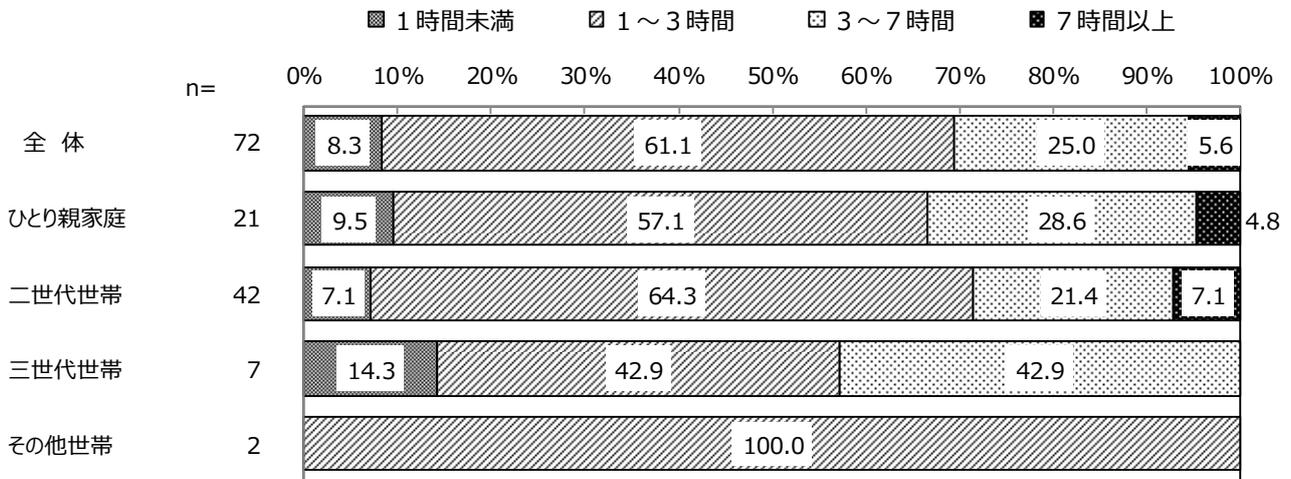
家族構成別でみると、「ほとんど毎日」はひとり親家庭、二世帯世帯で4割前後と高くなっている。

「1週間に1～2日」はひとり親家庭で2割台半ばとなっている。



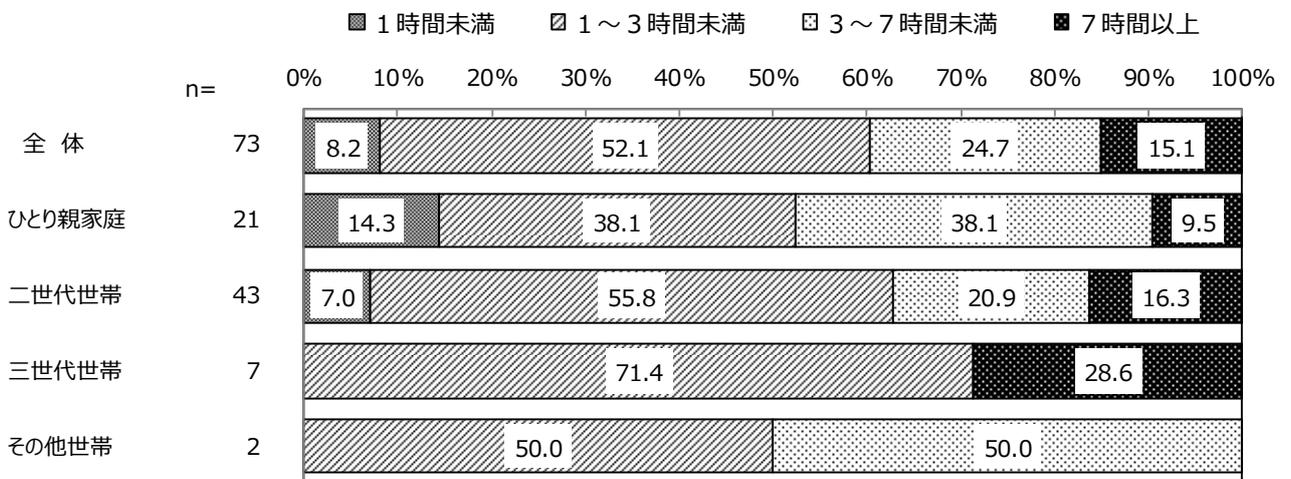
⑦平日 1日あたりにお世話に費やす時間

家族構成別で見ると、「1～3時間」は二世帯世帯で6割台半ばと高くなっている。「3～7時間」はひとり親家庭で3割近くとなっている。



⑧休日 1日あたりにお世話に費やす時間

家族構成別で見ると、「1～3時間」は二世帯世帯で5割台半ばと高くなっている。「3～7時間」はひとり親家庭で4割近くと高くなっている。



⑨お世話による制約

家族構成別でみると、「特にない」は二世帯世帯で6割近く、ひとり親家庭で4割台半ばと高くなっているが、具体的な選択肢の中では、「自分の時間が取れない」はひとり親家庭、二世帯世帯で2割以上、「眠る時間がたりない」はひとり親家庭で2割となっている。

(%)

	調査数 (n)	自分の時間が取れない	友達と遊べないこと	眠る時間がたりない	宿題など勉強する時間がない	部活動や塾、習い事などができない	退学したり、遅刻や早退することがある	学校や仕事に行けな	行きたい学校や就職先(希望する進路)に行くことができない
全体	80	20.0	13.8	11.3	7.5	3.8	2.5	2.5	
ひとり親家庭	24	20.8	12.5	20.8	8.3	4.2	4.2	4.2	
二世帯世帯	47	21.3	12.8	8.5	8.5	2.1	2.1	2.1	
三世帯世帯	7	14.3	28.6	-	-	14.3	-	-	
その他世帯	2	-	-	-	-	-	-	-	

	調査数 (n)	その他	特にない	無回答
全体	80	5.0	55.0	5.0
ひとり親家庭	24	8.3	45.8	8.3
二世帯世帯	47	2.1	59.6	4.3
三世帯世帯	7	14.3	42.9	-
その他世帯	2	-	100.0	-

⑩お世話をすることについて感じていること

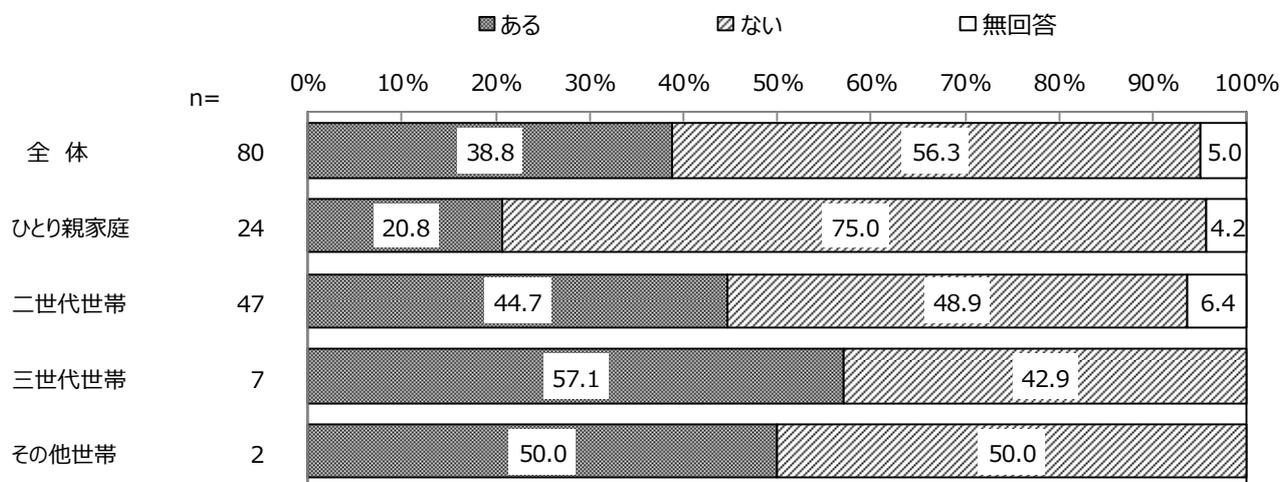
家族構成別でみると、「心が疲れる」はひとり親家庭で5割と高くなっている。一方、「特に何も感じていない」は二世帯世帯で4割と高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	心が 疲れる	体が 疲れる	ししも いたつ りと遊 るんだ 間りが 勉強	その 他	い特 に何 も感 じて いな	無 回 答
全体	80	43.8	26.3	15.0	6.3	33.8	5.0
ひとり親家庭	24	50.0	29.2	16.7	8.3	29.2	4.2
二世帯世帯	47	36.2	27.7	17.0	4.3	40.4	6.4
三世帯世帯	7	57.1	14.3	-	14.3	14.3	-
その他世帯	2	100.0	-	-	-	-	-

⑪お世話について相談した経験

家族構成別でみると、「ない」はひとり親家庭で7割台半ばと高くなっている。



⑫お世話についての相談相手

家族構成別でみると、お世話についての相談相手は、調査数が少ないため参考値として図示するに留めることとする。

(%)

	調査数 (n)	家族 や親せき	友達	学校の先生 (先生以外) 保健室	役所の 相談窓口 職員	保健室の 先生	ど 看護師、 病院長の 職員(医師 や相談員な ど)	人 S N S で知り 合った
全体	31	61.3	41.9	12.9	6.5	3.2	3.2	3.2
ひとり親家庭	5	60.0	20.0	40.0	-	-	-	-
二世帯世帯	21	52.4	52.4	9.5	9.5	4.8	4.8	4.8
三世帯世帯	4	100.0	25.0	-	-	-	-	-
その他世帯	1	100.0	-	-	-	-	-	-

	調査数 (n)	シ ヤ ル ワ ー カ ー ソ ー	ラ ス ク ー ル カ ウ ン セ ー	福 祉 サ ー ビ ス の 職 員	近 所 の 人	職 場 の 人	そ の 他	無 回 答
全体	31	-	-	-	-	-	3.2	-
ひとり親家庭	5	-	-	-	-	-	-	-
二世帯世帯	21	-	-	-	-	-	4.8	-
三世帯世帯	4	-	-	-	-	-	-	-
その他世帯	1	-	-	-	-	-	-	-

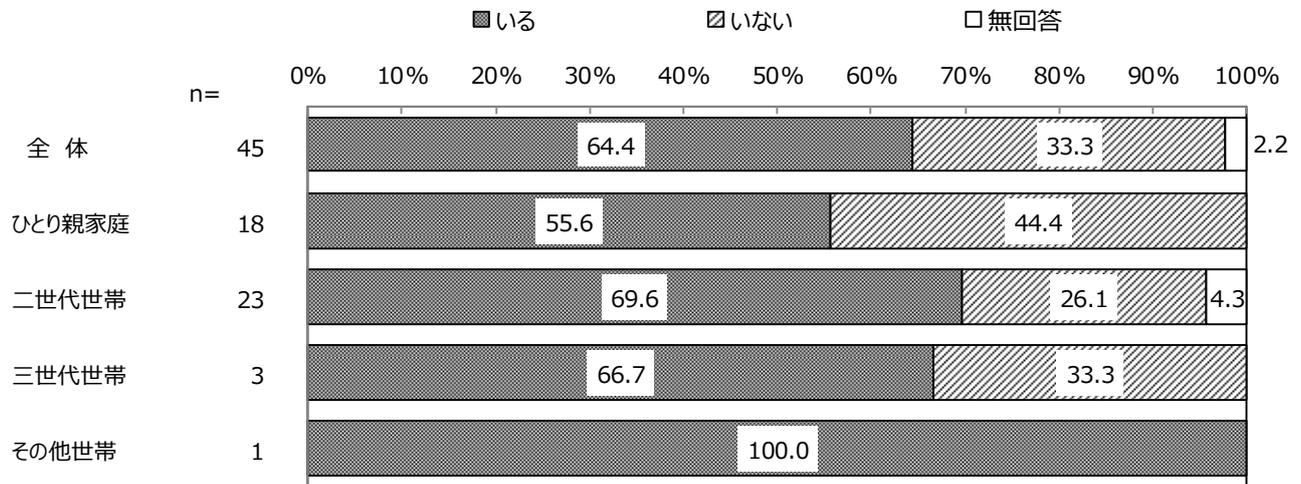
⑬相談していない理由

家族構成別でみると、相談していない理由は、調査数が少ないため参考値として図示するに留めることとする。

	調査数 (n)	ど だ 困 れ つ か て い 相 談 す か ら ほ	ら 相 談 し て も 何 も 変 わ	と 思 わ れ た く な い	た り、 自 分 を か わ い そ う れ	他 の 家 族 と 違 う と 思 わ れ	く 家 族 の こ と を 話 し た	ら よ い れ か わ か ら な い の か が	い 相 談 で き る 人 が い な	そ の 他	無 回 答
全体	45	77.8	15.6	13.3	8.9	6.7	6.7	-	-	-	-
ひとり親家庭	18	61.1	22.2	16.7	16.7	11.1	11.1	-	-	-	-
二世代会世帯	23	91.3	13.0	13.0	4.3	-	4.3	-	-	-	-
三世代会世帯	3	66.7	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-
その他世帯	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

⑭お世話について話を聞いてくれる人の有無

家族構成別でみると、お世話について話を聞いてくれる人の有無は、調査数が少ないため参考値として図示するに留めることとする。



⑮学校や大人にしてもらいたいこと

家族構成別でみると、「お金の面で助けてほしい」はひとり親家庭で4割近くと高く、「自由に使える時間がほしい」もひとり親家庭で3割近く、「自由に過ごせる場所がほしい」もひとり親家庭で2割台半ばとなっている。一方、「特にない」は二世帯世帯で3割を超えて高くなっている。

(%)

	調査数 (n)	自由に 過ごせる 場所	自由に 使える 時間が	お金の 面で 助けて ほ	自分の 間こと ほに しい て	将来 や相 談の こと つと てに	自分の だれか に代 わって	勉強 を教 えて ほし い
全体	80	21.3	20.0	16.3	13.8	11.3	10.0	10.0
ひとり親家庭	24	25.0	29.2	37.5	8.3	12.5	16.7	8.3
二世帯世帯	47	21.3	19.1	8.5	17.0	10.6	6.4	12.8
三世帯世帯	7	14.3	-	-	14.3	14.3	14.3	-
その他世帯	2	-	-	-	-	-	-	-

	調査数 (n)	家族の 病気や 障害、 お世話	家族の お世話 について ほしい	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	80	7.5	3.8	7.5	30.0	11.3	3.8
ひとり親家庭	24	4.2	4.2	4.2	20.8	12.5	8.3
二世帯世帯	47	8.5	4.3	8.5	31.9	10.6	2.1
三世帯世帯	7	-	-	14.3	42.9	14.3	-
その他世帯	2	50.0	-	-	50.0	-	-

I ふだんの生活についてのアンケート（小学生）調査項目

ふだんの生活についてのアンケート(小学生)

- ・このアンケートでは、みなさんのふだんの生活についてお聞きします。
- ・このアンケートの答えにせいかいやまちがいはありません。思ったとおりに答えてください。
- ・このアンケートはそれが答えたかばわからないようになっていきます。
- ・家族やお家のことについてのしつもんも答えたくないと思ったら、わからないや答えたくないを選んでください。
- ・わからないことがあった場合はまわりのお友だちに聞かず、次のしつもんにすすんでください。

① あなたのせいについて教えてください

問1 あなたのせいについて教えてください。(あてはまるもの1つを選び)

1. 男 2. 女 3. その他 4. 答えはない

問2 あなたの学年を教えてください。(あてはまるもの1つを選び)

1. 4年生 2. 5年生 3. 6年生

問3 あなたが今、いつよに住んでいるのはどれですか。(あてはまるものすべてを選び)

1. お母さん 3. おおあさん 5. おおさん()人 7. 弟()人 9. その他()人
2. お父さん 4. おおいさん 6. おおさん()人 8. 妹()人

問4 あなたのふだんの体調について教えてください。(あてはまるもの1つを選び)

1. よい 2. まあよい 3. ふつう 4. あまりよくない 5. よくない

② ふだんの生活について教えてください

問5 学校を欠席することがありますか。(あてはまるもの1つを選び)

1. ほとんど欠席しない 2. たまに欠席する 3. よく欠席する

問6 学校をちこちやそうたいすることがありますか。(あてはまるもの1つを選び)

1. ほとんどしない 2. たまにする 3. よくする

問7 放課後、じゅくや習い事などをしていますか。(あてはまるもの1つを選び)

1. はい 2. いいえ

問8 ふだんの学校生活などにおいて、あてはまるものはありますか。

- (あてはまるものすべてを選び)
1. じゅぎょう中にねてしまうことが多い 7. ほかの室にすることが多い
2. 宿題ができていないことが多い 8. 学校でま一人であることが多い
3. 持ち物のわすれ物が多い 9. お友だちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
4. じゅくや習い事を休むことが多い 10. 特にない
5. ていしゅつがつつを出すのがおくれることが多い
6. しゅうがく旅行などのしゅくはくはく行事を欠席する

- 問9 あなたが今、なやんだり、こまっていることはありますか。(あてはまるものすべてを選び)
1. お友だちのこと 6. 生活や学校生活に必要なお金のこと
2. 勉強や学校のせいせきのこと 7. 自分のために使える時間が少ないこと
3. じゅくや習い事に行くことができないこと 8. その他()
4. 進路(自分が行きたい中学校など)のこと 9. 特にない(問11へ)
5. 家族のこと

問10 問9で答えた「なやみやめい」や「こまっていること」について、話を聞いてくれる人が近くいますか。
(あてはまるもの1つを選び)

1. いる 2. いない 3. いるが相談や話しはたくない

③ 家族やお家のことについて教えてください

問11 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(あてはまるもの1つを選び)

※答えない場合は2. いないを選んで、すすんでください。[説明分岐①]

※お世話は次のようなことです。

- ・家事(食事の用意や洗ったづけ、そうじ、せんたく、買い物など)
- ・きょうだいのお世話やほいく園への送りわけ
- ・着がえやお風呂・トイレの手洗いなど
- ・病院や買い物、さんぽなどについてしよに行き、手助けをする
- ・こまごまを聞く、話し相手になる
- ・運転したり、あぶないことをしたりしないか見守る
- ・遅やく(日本語を通やくしたり、手紙で通やくしたりするなど)
- ・家のお金のかんりをする(お金の使い道を考えたり、お金をはらったりする)
- ・薬を飲んだかた(かめ)たり、薬をわたしたりする

問12 問11で「いる」や「答えた人にお聞きします。あなたが世話をしている人はどれですか。
(あてはまるものすべてを選び)

1. お母さん 3. おおあさん 5. きょうだい 7. 答えたくない
2. お父さん 4. おおいさん 6. その他()

問13 あなたがお世話をしている人について、お世話が必要な理由を教えてください。
(あてはまるものすべてを選び)

1. お年より(年が65才以上)のため
2. かいこ(身の回りのお世話など)が必要のため
3. おさな(小さい)ため
4. 「にんちしよ」(ものを覚えたり考えたりする力が弱くなって、今までどおりに生活できなくなっている)のため
5. 手や足が自由に動かない、目が見えにくい、耳がきこえないなど身体にしょうがいがあるため
6. 文章を讀んでりかひすることがむずかしかったり、おつりのやりとりなど計算が苦手だったりするなどの知識のしょうがいがあるため
7. 心の病氣やいぜんしよ(気持ちが落ちこんでいてすつとねている、すぐにおこったり、ないたりする、1日中すつとお涙をのんでいるなど)のため
8. そのほかの病氣やつかののため
9. 日本語が苦手なため
10. その他()
11. 答えたくない

問14 あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 家事(食器の用意や後かたづけ、そうじ、せんたく、買い物など)
2. さよくだいのお世話やまいく園への送りむかえ
3. 着かえやお風呂・トイレの手伝いなど
4. 病院や買い物、さんぼなどにいっしょに行き、手助けをする
5. こまごことを聞く、話し相手になる
6. 転んだり、あがなないことをしたりしないか見守る
7. 通やく(日本語を通やくしたり、手話で通やくしたりするなど)
8. 家のお金をかたりをする(お金の使い道を考えたり、お金をはらったりする)
9. 薬を飲んだかたかめたり、薬をわたりたりする
10. その他()
11. 答えたくない

問15 あなたはお世話をだれといっしょにしていますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. お母さん
2. お父さん
3. おばあさん
4. おじいさん
5. きょうだい
6. 親せきの人
7. ふくしのヘルパーさんなど
8. 自分だけ
9. その他()
10. 答えたくない

問16 あなたはお世話を何才からしていますか。

※はつきりとわからない場合は、だいたいの年令でお答えください。

1. ()才
2. 覚えていない

問17 あなたはどのくらいお世話をしていますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. ほとんど毎日
2. 1週間に3～5日
3. 1週間に1～2日
4. 1か月に数日
5. その他()
6. わからない

問18 あなたは1日何時間くらいお世話をしていますか。

※日によってちがう場合は、この1か月でいちばん長かった日の時間を教えてください。

1. 1日()時間くらい
2. わからない

問19 お世話をしていることで、次のようなことがありますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. お友だちと遊べないことがある
2. じゆくや習い事に思うように行くことができない
3. 宿題など勉強する時間が少ない
4. 学校に行けなかったり、学校にちこくやそつたいすることがある
5. ねむる時間がたりない
6. 自分が行きたい学校(希望する進路)に行くことができない
7. 自分の時間が取れない
8. その他()
9. 特にない

問20 お世話をすることについて、どのようなことを感じていますか。

1. 体がつかれる
2. 心がつかれる
3. もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい
4. その他()
5. 特に何も感じていない
6. 答えたくない

問21 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話のなやみをだれかに相談したことはありませんか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. ある
2. ない → 問23へ

問22 問21で「ある」と答えた人にお聞きします。それはだれですか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 家族(お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、 7. ふくしサービスの人)
2. きょうだいや親せき(おばさん、おじいさんなど)
3. お女たち
4. 学校の先生(ほけん室の先生以外)
5. スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー
6. 病院(かんご士さんや相談員など)の人
7. 役所の人
8. 近所の人
9. SNSで知り合った人
10. その他()
11. 答えたくない
12. 答えたくない

問23 問21で「ない」と答えた人にお聞きします。相談していない理由を教えてください。

(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. だれかに相談するほどこまっていないから
2. だれに相談するのがよいかわからないから
3. 相談できる人がいないから
4. 家族のことを話したくないから
5. 家族のことを他の家族とはちがうと思われたり、自分のことをかわいそうと思われたいくないから
6. 相談しても何も変わらないと思うから
7. その他()
8. 答えたくない

問24 問21で「ない」と答えた人にお聞きします。お世話をしている家族のことや、お世話のなやみを聞いてくれる人は近くにいますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. いる
2. いない

問25 お世話のなやみを相談する機会、どのような方法で話や相談をしたいですか。

(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. ちよくせつ会って
2. 電話
3. SNS
4. 電子メール
5. その他()
6. わからない

問26 学校やまわりの大人にしてみたいことはありますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 自分のことについて話を聞いてほしい
2. 家族のお世話について相談のってほしい
3. 家族の病氣やしょうがい、お世話のことなどについてわかりやすく教えてほしい
4. 自分がしているお世話をだれかに代わってほしい
5. 自由に使える時間がほしい
6. 自由にすすめる場所がほしい
7. しょうがいや進学のことについて相談のってほしい
8. 勉強を教えてください
9. お金の面で助けてほしい
10. その他()
11. 特にない
12. わからない

④ヤングケアラーについて

問27 「ヤングケアラー」という言葉をこれまで聞いたことがありませんか。
(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. 聞いたことがあり、ないようも知っている 3. 聞いたことばない → 問29へ
2. 聞いたことばあるが、よく知らない

問28 問27で「聞いたことがあり、ないようも知っている」「聞いたことばあるが、よく知らない」と答えた人にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。
(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. テレビや新聞、ラジオ
2. ざっしや本
3. SNSやインターネット
4. 広告やチラシ、ポスターなどのけいじが
5. イベントや交流会など
6. 学校
7. お友達から聞いた)
8. その他()
9. 覚えていない

問29 家族のお世話をしている子どものために必要だと思うことや学校やまわりの大人にしてもらいたいこと、あなたがお世話をしていることまっまっていることを自由にお書きください。
(みなさんの名前や家族の名前、住所、学校の名前は書かないでください。)

[]

【設問分岐①後】

問12-1 もしあなたが家族のお世話をすることになった場合にあなた以外に家族をお世話でさる人はいいますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. いる 2. いない 3. わからない

問13-1 もしあなたが家族のお世話をすることになった場合にこまりごとやなやみがあるときに相談する人はいいますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. いる 2. いない 3. わからない

問14-1 あなたは自分のための時間(じゅくや習い事、お友だちと遊ぶ時間、勉強する時間など)が週にどれくらいありますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. ほとんど毎日 3. 1週間に1~2日 5. その他()
2. 1週間に3~5日 4. 1か月に数日 6. わからない

問15-1 あなたは1日何時間くらい自分のための時間(じゅくや習い事、お友だちと遊ぶ時間、勉強する時間など)がありますか。
※日によってちがう場合は、この1か月でいざばん長かった日の時間を教えてください。

1. 1日()時間くらい 2. わからない

問16-1 もしあなたが家族のお世話をすることになった場合にどのようなこまりごとがあると思いますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. お友だちと遊ぶべないことがある
2. じゅくや習い事に思うように行くことができない
3. 宿題など勉強する時間がない
4. 学校に行けなかつたり、学校にちこくやそうたいすることがある
5. ねむる時間がたりない
6. 自分が行きたい学校(希望する進路)に行くことができない
7. 自分の時間が取れない
8. その他()
9. 知らない
10. わからない

問17-1 もしあなたが家族のお世話をすることになった場合にどのように感じると思っていますか。
(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 体がつかれると思う 4. その他()
2. 心がつかれると思う 5. 特に何も感じないと思
3. もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい 6. わからない

問18-1 もしあなたが家族のお世話をすることになった場合に役所の相談まどぐちを知っていますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. 知っている 2. 知らない

問19-1 もしあなたが家族のお世話をすることになった場合に病院の相談まどぐちを知っていますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. 知っている 2. 知らない

問20-1 もしあなたが家族のお世話をやることになった場合にかくしサービス(ヘルパーさんなど)の相談までぐちを知っていますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. 知っている
2. 知らない

問21-1 もしあなたが家族のお世話をすることになった場合にどのような方法で相談したいですか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. ちよくせつ会って
2. 電話
3. SNS
4. 電子メール
5. その他()
6. わからない

問22-1 あなたはお友だちが家族などのお世話をしている話を聞いたことやお世話について相談を受けたことがありますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. ある
2. ない

問23-1 そのお友だちがどれのお世話をしていますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. お母さん
2. お父さん
3. おばあさん
4. おじいさん
5. きょうだい
6. その他()
7. わからない

問24-1 そのお友だちはお世話をだれとしようとしていますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. お母さん
2. お父さん
3. おばあさん
4. おじいさん
5. きょうだい
6. 親せきの人
7. かくしのヘルパーさんなど
8. お友だちだけ
9. その他()
10. わからない

問25-1 そのお友だちはお世話をしていること、どのようなこと、どのようなやりやみを持っていますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. お友だちと選べないことがある
2. じやくや習い事に思うように行くことができない
3. 宿題など勉強する時間が少ない
4. 学校に行けなかったり、学校にちこくやそうたいすることがある
5. ねむる時間がたりない
6. そのお友だちが行きたい学校(希望する進路)に行くことができない
7. 自分の時間が取れない
8. その他()
9. 知らない
10. わからない

問26-1 そのお友だちがどのような方法であなかに相談しましたか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. ちよくせつ会って
2. 電話
3. SNS
4. 電子メール
5. その他()
6. 覚えていない

④ヤングケアラーについて

問27-1 「ヤングケアラー」という言葉をこれまで聞いたことがありましたか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. 聞いたことがあり、ないようも知っている
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことばない

問28-1 問27-1で「聞いたことがあり、ないようも知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた人にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. テレビや新聞、ラジオ
2. ざっしや本
3. SNSやインターネット
4. 広生やナラシ、ポスターなどのけいじぶつ
5. イベントや交流会など
6. 学校
7. お友だちから聞いた
8. その他()
9. 覚えていない

問29-1 家族のお世話をしている子どもたちのために必要だと思うことや学校やまわりの大人にしてもらいたいことなどを自由に書いてください。(みなさんの名前や家族の名前、住所、学校の名前は書かないでください。)

【読問分岐の後】

問23-2 あなたは学校生活が楽しいですか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. すごく楽しい
2. まあ楽しい
3. 楽しくない
4. まったく楽しくない
5. 考えることがない
6. 答えたくない

問24-2 あなたは学校のこと(学校でのできごとや生活など)やなやみについて家で話しますか。

(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. よく話す
2. ないようによつては話す
3. 話したくないので話さない
4. 聞いてもらえないので話さない
5. 答えたくない

問25-2 あなたが一番まっすぐできるいばしょはどこですか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 自分の家
2. お友だちの家
3. 学校の教室
4. 学校のほげん室
5. 学校の教室以外のいばしょ(図書室や音楽室など)
6. きつずクラブ
7. 区内の児童館やこどもプラザ、こども食堂など
8. じゅくや習い事のいばしょ
9. ファストフード店やショッピングモールなどの商業しせつ
10. ほつとでできるいばしょがない
11. 答えたくない

問26-2 あなたがだん思っていることで大人にしてもらいたいことはありますか。

(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 自分のことについて話を聞いてほしい
2. 家族のことについて話を聞いてほしい
3. お友だちのことについて話を聞いてほしい
4. 自分の意見を大事にしてほしい
5. しょうらいや進字のことについて相談のつてほしい
6. 勉強を教えてほしい
7. スポーツを教えてほしい
8. 変なルールや決まりを見直してほしい
9. その他()
10. 特にない
11. わからない

④ヤングケアラーについて

問27-2 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでで聞いたことがありますか。

(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. 聞いたことがあります、ないようも知っています
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことばない

問28-2 問27-2 で「聞いたことがあります、ないようも知っています」「聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた人にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。

(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. テレビや新聞、ラジオ
2. ざしや本
3. SNS やインターネット
4. 広告やチラシ、ポスターなどのけいじぶつ
5. イベントや交流会など
6. 学校
7. お友だちから聞いた
8. その他()
9. 覚えていない

問29-2 家族のお世話をしている子どものために必要だと思ふことや学校やまわりの大人にしてもらいたいことなどを自由に書いてください。

(みなさんの名前や家族の名前、住所、学校の名前は書かないでください。)

II 普段の生活についてのアンケート（中学生）調査項目

普段の生活についてのアンケート(中学生)

- このアンケートでは、みなさんの普段の生活についてお聞きします。
- このアンケートの答えに正解や間違いはありません。思ったとおりに答えてください。
- このアンケートはたれか答えたかばわからないようになっていきます。
- ◎家族やお家のことについての質問で答えたくないと思ったら、わからないや答えたくないを選んでください。
- わからないことがあった場合は、まわりの友達に聞かず、次の質問に進んでください。

① あなたの生活について教えてください

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. 男 2. 女 3. その他 4. 答えない

問2 あなたの学年を教えてください。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. 1年生(7年生) 2. 2年生(8年生) 3. 3年生(9年生)

問3 あなたが今、一緒に住んでいるのは誰ですか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. お母さん 3. おばあさん 5. お兄さん()人 7. 弟()人 9. その他()人
2. お父さん 4. おじいさん 6. お姉さん()人 8. 妹()人

問4 あなたの普段の体調について教えてください。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. よい 2. まあよい 3. かつう 4. あまりよくない 5. よくない

② 普段の生活について教えてください

問5 学校を欠席することがありますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. ほとんど欠席しない 2. たまに欠席する 3. よく欠席する

問6 学校を遅刻や早退することがありますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. ほとんどしない 2. たまにする 3. よくする

問7 放課後、部活動や塾、習い事などをしていませんか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. はい 2. いいえ

問8 普段の学校生活などにおいて、あてはまるものはありますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 授業中に寝てしまうことが多い 7. 保健室にいることが多い
2. 宿題ができていないことが多い 8. 学校では一人でいることが多い
3. 持ち物の忘れ物が多い 9. 友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
4. 部活動や塾、習い事を休むことが多い 10. 特にな
5. 提出物を出すのが遅れることが多い
6. 修学旅行などの宿泊行事を欠席する

問9 あなたが今、悩んだり、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 友達のこと 6. 生活や学校生活に必要なお金のこと
2. 勉強や学校の成績のこと 7. 自分のために使える時間が少ないこと
3. 部活動や塾、習い事に行くことができない 8. その他()
4. 進路(自分が行きたい高校など)のこと 9. 特にな
5. 家族のこと 10. 間11へ

問10 問9で答えた「悩み」や「困っていること」について、話を聞いてくれる人が近くいますか。

1. いる 2. いない 3. いるが相談や話はしたくない
(あてはまるもの1つを選ぶ)

③ 家族やお家のことについて教えてください

問11 家族の中にあなたが世話をしている人はいますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

- ※答えたくない場合は2. いないを選んでください。【設問分岐①】
※お世話とは次のようなことです。
・家事(食卓の用意や後片付け、掃除、洗濯、買い物など)
・さよだいの世話や保育園への送り迎え
・着がえやお風呂、トイレの手洗いなど
・病院や買い物、散歩などに一緒に行き、手助けをする
・困りごとを聞く、話し相手になる
・晩んだり、危ないことをしなしたりしりしないか見守る
・通訳(日本語を漢語したり、手話で通訳したりするなど)
・家のお金の管理をする(お金の使い道を考えたり、お金を払ったりする)
・薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする

1. いる 2. いない → 設問分岐①後の問12へ

問12 問11で「いる」と答えた人にお聞きします。あなたが世話をしている人は誰ですか。

1. お母さん 3. おばあさん 5. さよだいたい 7. 答えたくない
2. お父さん 4. おじいさん 6. その他()

問13 あなたがお世話をしている人について、お世話が必要な理由を教えてください。

- (あてはまるものすべてを選ぶ)
1. お年寄り(年齢が65歳以上)のため
2. 介護(身の回りのお世話など)が必要のため
3. 幼い(小さい)ため
4. 「認知症」(ものを買ったり考えたりする力が弱くなって、今までとおり生活できなくなったりしてしまっている)のため
5. 手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなど身体に障害があるため
6. 文章を読んだり理解することが難しかったり、おつりのやりとりなど計算が苦手だったりするなどの知的障害があるため
7. 心の病気や依存症(薬持ちが落ちこんでいてずっと鬱んでいる、よく泣いたり、泣いたりする、1日中ずっとお酒を飲んでいるなど)のため
8. そのほかの病気やケガのため
9. 日本語が苦手なため
10. その他()
11. 答えたくない

問14 あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 食事(食事の用意や後片付け、掃除、洗濯、買い物など)
2. さようだいのお世話や保育園への送り迎え
3. 着替えやお風呂、トイレの手伝いなど
4. 病院や買い物、散歩などに一緒に行き、手助けをする
5. 困りごとを聞く、話し相手になる
6. 転んだり、危ないことをしたりしないか見守る
7. 通訳(日本語を翻訳したり、手話で通訳したりするなど)
8. 家のお金の管理をする(お金の使い道を考えたり、お金を払ったりする)
9. 薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする
10. その他()
11. 答えたくない

問15 あなたはお世話をだれと一緒にしていますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. お母さん
2. お父さん
3. おばあさん
4. おじいさん
5. きょうだい
6. 親せきの人
7. 福祉のヘルパーさんなど
8. 自分だけ
9. その他()
10. 答えたくない

問16 あなたはお世話を何からしていますか。

※はつきりとわからない場合は、だいたいどの年令でお答えください。

1. ()才
2. 覚えていない

問17 あなたはどのくらいお世話をしていますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. ほとんど毎日
2. 1週間に1～2日
3. 1週間に3～5日
4. 1か月に数日
5. その他()
6. わからない

問18 あなたは1日何時間くらいお世話をしていますか。

※日によって違う場合は、この1か月で一番長かった日の時間を教えてください。

1. 1日()時間くらい
2. わからない

問19 お世話をしていることで、次のようなことがありますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 友達と遊べないことがある
2. 部活動や塾、習い事に思うように行くことができない
3. 宿題など勉強する時間がない
4. 学校に行けなかったり、学校に遅刻や早退することがある
5. 眠る時間がたりない
6. 自分が行きたい学校(希望する進路)に行くことができない
7. 自分の時間が取れない
8. その他()
9. 特になし

問20 お世話をすることについて、どのようなことを感じていますか。

(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 体が疲れる
2. 心が疲れる
3. もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい
4. その他()
5. 特に何も感じていない
6. 答えたくない

問21 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みをだれかに相談したことはありませんか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. ある
2. ない → 問23へ

問22 問21で「ある」と答えた人にお聞きします。それはだれですか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 家族(お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、)
2. きょうだいや親せき(おばあさん、おじいさんなど)
3. 友達
4. 学校の先生(保健室の先生以外)
5. 保健室の先生
6. スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー
7. 福祉サービスの人
8. 役所の人
9. 近所の人
10. SNSで知り合った人
11. その他()
12. 答えたくない

問23 問21で「ない」と答えた人にお聞きします。相談していない理由を教えてください。

(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. だれかに相談するほど困っていないから
2. だれに相談するのがよいかわからないから
3. 相談できる人がいないから
4. 家族のことを話したくないから
5. 家族のことを他の家族とは違っていると思われたい、自分のことをかきわいそうと思われたいから
6. 相談しても何も変わらないと思うから
7. その他()
8. 答えたくない

問24 問21で「ない」と答えた人にお聞きします。お世話をしている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人は近くにいますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. いる
2. いない

問25 お世話の悩みを相談する場合、どのような方法で話や相談をしたいですか。

(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 直接会って
2. 電話
3. SNS
4. 電子メール
5. その他()
6. わからない

問26 学校や周りの大人にしてもらいたいことはありますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 自分のことについて話を聞いてほしい
2. 家族のお世話について相談のつてほしい
3. 家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく教えてほしい
4. 自分しているお世話をだれかに代わってほしい
5. 自由に使える時間がほしい
6. 自由に過ごせる場所がほしい
7. 習字や進歩のことについて相談のつてほしい
8. 勉強を教えてください
9. お金の面で助けてほしい
10. その他()
11. 特にない
12. わからない

④ヤングケアラーについて

問27 「ヤングケアラー」という言葉をこれまで聞いたことがありましたか。
(あてはまるもの1つを選ぶ)

- 1. 聞いたことがあります
- 2. 聞いたことはあるが、よく知らない
- 3. 聞いたことはない

問28 問27で聞いたことがあり、内容も知っている「聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた人にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。
(あてはまるものすべてを選んで)

- 1. テレビや新聞、ラジオ
- 2. 雑誌や本
- 3. SNSやインターネット
- 4. 広告やチラシ、ポスターなどの掲示物
- 5. イベントや交流会など
- 6. 学校
- 7. 友達から聞いた
- 8. その他()
- 9. 覚えていない

問29 家族のお世話をしている子どものために必要だと思うことや学校や周りの大人にしてもらいたいこと、あなたがお世話をしていることで困っていることなどを自由に書いてください。
(みなさんの名前や家族の名前、住所、学校の名前は書かないでください。)

【説明分岐①後】

問12-1 もしあなたが家族のお世話をすることになった場合にあなた以外に家族をお世話できる人はいいますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

- 1. いる
- 2. いない
- 3. わからない

問13-1 もしあなたが家族のお世話をすることになった場合に困りごとや悩みがあるときに相談する人はいいますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

- 1. いる
- 2. いない
- 3. わからない

問14-1 あなたは自分のための時間(部活動や塾、習い事、友達と遊ぶ時間、勉強する時間など)が週にどれくらいありますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

- 1. ほとんど毎日
- 2. 1週間に3～5日
- 3. 1週間に1～2日
- 4. 1か月に数日
- 5. その他()
- 6. わからない

問15-1 あなたは1日何時間くらい自分のための時間(部活動や塾、習い事、友達と遊ぶ時間、勉強する時間など)がありますか。

※日によって違う場合は、この1か月で一番長かった日の時間を教えてください。

- 1. 1日()時間くらい
- 2. わからない

問16-1 もしあなたが家族のお世話をすることになった場合にどのような困りごとがあると思いますか。(あてはまるものすべてを選んで)

- 1. 友達と遊べないことがある
- 2. 部活動や塾、習い事に思うように行くことができない
- 3. 宿題など勉強する時間が少ない
- 4. 学校に行けなかったり、学校に遅刻や早退することがある
- 5. 暇な時間がたりない
- 6. 自分が行きたい学校(希望する進路)に行くことができない
- 7. 自分の時間が取れない
- 8. その他()
- 9. 特になし
- 10. わからない

問17-1 もしあなたが家族のお世話をすることになった場合にどのように感じると思いますが。
(あてはまるものすべてを選んで)

- 1. 体が疲れると思う
- 2. 心が疲れると思う
- 3. もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい
- 4. その他()
- 5. 特に何も感じないと思う
- 6. わからない

問18-1 もしあなたが家族のお世話をすることになった場合に役所の相談窓口を知っていますか。
(あてはまるもの1つを選んで)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

問19-1 もしあなたが家族のお世話をすることになった場合に病院の相談窓口を知っていますか。
(あてはまるもの1つを選んで)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

【設問領域の後】

問23-2 あなたは学校生活が楽しいですか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. すごく楽しい
2. まあ楽しい
3. 楽しくない
4. まったく楽しくない
5. 考えたことがない
6. 答えたくない

問24-2 あなたは学校のこと(学校でのできごとや生活など)や悩みについて家で話しますか。

(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. よく話す
2. 内容によっては話す
3. 話したくないので話さない
4. 聞いてもらえないので話さない
5. 答えたくない

問25-2 あなたが一番ほつとできる居場所はどこですか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 自分の家
2. 友達の家
3. 学校の教室
4. 学校の保健室
5. 学校の教室以外の居場所(図書室や音楽室など)
6. 部活動を行う居場所
7. 区内の児童館やこどもプラザ、こども食堂など
8. 塾や習い事の居場所
9. ファストフード店やソフツピニングモールなどの商業施設
10. ほつとできる居場所がない
11. 答えたくない

問26-2 あなたが普段思っていることで大人にしてもらいたいことはありますか。

(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 自分のことについて話を聞いてほしい
2. 家族のことについて話を聞いてほしい
3. 友達のことについて話を聞いてほしい
4. 自分の意見を大事にしてほしい
5. 将来や進学のことについて相談にのってほしい
6. 勉強を教えてほしい
7. スポーツを教えてほしい
8. 理不尽な(変な)ルールや決まりを見直してほしい
9. その他()
10. 特になし
11. わからない

④ヤングケアラーについて

問27-2 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでで聞いたことがありましたか。

(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. 聞いたことがあります
2. 聞いたことがありますが、よく知らない
3. 聞いたことはない

問28-2 問27-2で「聞いたことがあります」や「聞いたことがありますが、よく知らない」と

答えた人にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。

(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. テレビや新聞、ラジオ
2. 雑誌や本
3. SNSやインターネット
4. 広告やチラシ、ポスターなどの掲示物
5. イベントや交流会など
6. 学校
7. 友達から聞いた
8. その他()
9. 覚えていない

問29-2 家族のお世話をしている子どものために必要だと思うことや学校や周りの大人にしてもらいたいことなどを自由に書いてください。

(おなごんの名前や家族の名前、住所、学校の名前は書かないでください。)

Ⅲ ヤングケアラーに関するアンケート（高校生等世代）調査項目

ヤングケアラーに関するアンケート(高校生等世代)

- このアンケートでは、みなさんの普段の生活とヤングケアラーについてお聞きします。
- インターネットの入力フォームにアクセスしてご回答ください。
(アクセス方法については同封の依頼文をご参照ください。)
- このアンケートは個人情報を取集いたしません。だれの回答内容かはわからない仕組みになっています。
- インターネット環境が良好な場所での回答作業をお願いします。
- 本回答にかかわる通信料は大変恐縮ですが、回答された方のご負担でお願いします。
- ご回答いただいた内容は今後の区政の参考にさせていただきますので、ぜひともご協力くださいますようお願いいたします。

※以下は質問項目です。事前に回答をご準備いただくこととスムーズに進みます。

① あなたのことについて教えてください

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つを要否)

1. 男 2. 女 3. その他 4. 答えなし

問2 あなたの年齢を教えてください。(あてはまるもの1つを選択)

1. 15歳 2. 16歳 3. 17歳 4. 18歳

問3 あなたの状況について教えてください。(あてはまるもの1つを選択)

1. 通学している(通信制高校を含む)
2. 働いている
3. 通学(通信制高校を含む)しながら働いている
※日中に仕事をし、夜間に学校に通う、または日中に学校に通い、夜間に仕事をするなど
4. 家で過ごしている(通学していない、働いていない)

問4 あなたが今、一緒に住んでいるのはだれですか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 母親 3. 祖母 5. 兄 → () 人 7. 弟 → () 人 9. その他
2. 父親 4. 祖父 6. 姉 → () 人 8. 妹 → () 人 ()

問5 あなたの普段の体調について教えてください。(あてはまるもの1つを選択)

1. よい 2. まあよい 3. かつう 4. あまりよくない 5. よくない

② 普段の生活について教えてください

問6 学校や仕事を休むことがありますか。(あてはまるもの1つを選択)

1. ほとんど休まない 2. たまに休む 3. よく休む

問7 学校や仕事を遅刻や早退することがありますか。(あてはまるもの1つを選択)

1. ほとんどしない 2. たまにする 3. よくする

問8 放課後や学校・仕事が終わりの日に若い人や部活動(クラブ活動)、塾などに行っていますか。
(あてはまるもの1つを選択)

1. はい 2. いいえ

問9 普段の生活などにおいて、あてはまるものはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 授業中に寝てしまうことが多い
2. 宿題ができていないことが多い
3. 持ち物の忘れ物が多い
4. 部活動や塾、若い事を休むことが多い
5. 提出物を出すのが遅れることが多い
6. 修学旅行などの宿泊行事を欠席する
7. 体調不良にすることが多い
8. 学校では一人でいることが多い
9. 友達と遊ぶだけ、おしゃべりしたりする時間が少ない
10. 仕事中に寝てしまうことがある
11. 仕事に集中できないことが多い
12. 勤務先では一人で過ごすことが多い
13. 趣味や好きなことをする時間が少ない
14. 特になし

問10 あなたが今、悩んだり、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

1. 友達のこと
2. 勉強や学校の成績のこと
3. 部活動や塾、若い事に行くことができないこと
4. 進路(自分が行きたい大学や就職先など)のこと
5. 家族のこと
6. 生活や学校生活に必要なお金のこと
7. 自分のために使える時間が少ないこと
8. 職場での人間関係のこと
9. 仕事の内容のこと
10. その他(具体的に)
11. 特にない → 問12へ

問11 問10で選んだ「悩んだり」や「困っていること」について、話を聞いてくれる人が近くにいますか。
(あてはまるもの1つを選択)

1. いる 2. いない 3. いるが相談や話はしたくない

問15-1(1)は問13で「1.母親」「2.父親」と答えた人にお聞きします。

(1)あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 家事(食事の用意や後片付け、掃除、洗濯、買い物など)
2. 着かえやお風呂・トイレの手伝いなど
3. 病院や買い物、散歩などに一緒に行き、手助けをする
4. 困りごとを聞く、話し相手になる
5. 転んだり、危ないことをしたりしないか見守る
6. 通訳(日本語を翻訳したり、手話で翻訳したりするなど)
7. 家のお金の管理をする(お金の使い道を考えたり、お金を払ったりする)
8. 薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする
9. その他(具体的に:)

問15-1(2)は問13で「3.祖母」「4.祖父」と答えた人にお聞きします。

(2)あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 家事(食事の用意や後片付け、掃除、洗濯、買い物など)
2. 着かえやお風呂・トイレの手伝いなど
3. 病院や買い物、散歩などに一緒に行き、手助けをする
4. 困りごとを聞く、話し相手になる
5. 転んだり、危ないことをしたりしないか見守る
6. 通訳(日本語を翻訳したり、手話で翻訳したりするなど)
7. 家のお金の管理をする(お金の使い道を考えたり、お金を払ったりする)
8. 薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする
9. その他(具体的に:)

問15-1(3)は問13で「5.きょうだい」と答えた人にお聞きします。

(3)あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 家事(食事の用意や後片付け、掃除、洗濯、買い物など)
2. きょうだいのお世話や保育園への送り迎え
3. 着かえやお風呂・トイレの手伝いなど
4. 病院や買い物、散歩などに一緒に行き、手助けをする
5. 困りごとを聞く、話し相手になる
6. 転んだり、危ないことをしたりしないか見守る
7. 通訳(日本語を翻訳したり、手話で翻訳したりするなど)
8. 家のお金の管理をする(お金の使い道を考えたり、お金を払ったりする)
9. 薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする
10. その他(具体的に:)

問15-1(4)は問13で「6.その他」と答えた人にお聞きします。

(4)あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 家事(食事の用意や後片付け、掃除、洗濯、買い物など)
2. 着かえやお風呂・トイレの手伝いなど
3. 病院や買い物、散歩などに一緒に行き、手助けをする
4. 困りごとを聞く、話し相手になる
5. 転んだり、危ないことをしたりしないか見守る
6. 通訳(日本語を翻訳したり、手話で翻訳したりするなど)
7. 家のお金の管理をする(お金の使い道を考えたり、お金を払ったりする)
8. 薬を飲んだか確かめたり、薬を渡したりする
9. その他(具体的に:)

問16 あなたはお世話をだれと一緒にしていますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. きょうだい
6. 親せきの人
7. 福祉のヘルパーさんなど
8. 自分だけ
9. その他 ()

問17 あなたはお世話を誰からしていますか。

※はつきりとわからない場合は、だいたい年齢でお答えください。

- ()歳
- 問18 あなたはどのくらいお世話をしていますか。(あてはまるもの1つを選び)
1. ほとんど毎日
 2. 1週間に3~5日
 3. 1週間に1~2日
 4. 1か月に数日
 5. その他(具体的に:)

問19 あなたは平日と休日それぞれ何時間くらいお世話をしていますか。

※日によって違う場合は、この1か月で一番長かった日の時間を教えてください。

1. 平日()時間くらい
 2. 休日()時間くらい
- 問20 お世話をしていることで、次のようなことがありますか。(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 友達と遊べないことがある
2. 郵便物や塾、習い事に思うように行くことができない
3. 宿題など勉強する時間がない
4. 学校や仕事に行けなかったり、遅刻や早退することがある
5. 眠る時間がたりない
6. 自分が守きたい学校や職場(希望する進路)に行くことができない
7. 自分の時間が取れない
8. その他(具体的に:)
9. 皆にない

問21 お世話をすることについて、どのようなことを感じていますか。

- (あてはまるものすべてを選ぶ)
1. 体が疲れる
 2. 心が疲れる
 3. もっと遊んだり勉強したりする時間がほしい
 4. その他(具体的に:)
 5. 特に何も感じていない

問22 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みをだれかに相談したことはありますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. ある
2. ない

問23 問22で「ある」と答えた人にお聞きします。それはだれですか。

- (あてはまるものすべてを選ぶ)
1. 家族(母親、父親、祖母、祖父、きょうだい)や親せき(おばさん、おじさんなど)
 2. 友達
 3. 学校の先生(保健室の先生以外)
 4. 保健室の先生
 5. スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー
 6. 病院の職員(医師や看護師、相談員など)
 7. 福祉サービスの職員
 8. 役所の相談窓口職員
 9. 近所の人
 10. 職場の人
 11. SNSで知り合った人
 12. その他(具体的に:)

問24 問22で「ない」と答えた人にお聞きします。相談していない理由を教えてください。
(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. だれかに相談するほど困っていないから
2. だれかに相談するのがよいかかわからないから
3. 相談できる人がいないから
4. 家族のことを話したくないから
5. 家族のことを他の家族とは違うと思われたり、自分のことをかわいそうと思われたくないから
6. 相談しても何も変わらないと思うから
7. その他(具体的に:)

問25 問22で「ない」と答えた人にお聞きします。お世話をしている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人は近くにいますか。(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. いる
2. いない

問26 お世話の悩みを相談する場合、どのような方法で話や相談をしたいですか。
(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 直接会って
2. 電話
3. SNS
4. 電子メール
5. その他(具体的に:)

問27 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援がありますか。
(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. 自分のことについて話を聞いてほしい
2. 家族のお世話について相談にのってほしい
3. 家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく教えてほしい
4. 自分がしているお世話をだれかに代わってほしい
5. 自由に使える時間がほしい
6. 自由に過ごせる場所がほしい
7. 将来や進学のことについて相談にのってほしい
8. 秘話を教えてほしい
9. お金の面で助けてほしい
10. その他(具体的に:)
11. 特になし
12. わからない

④ヤングケアラーについて

問28 「ヤングケアラー」という言葉をこれまで聞いたことがありますか。
(あてはまるもの1つを選ぶ)

1. 聞いたことがあります、内容も知っています
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことがありません

問29 問28で聞いたことがあります、内容も知っている「聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた人にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。
(あてはまるものすべてを選ぶ)

1. テレビや新聞、ラジオ
2. 雑誌や本
3. SNS やインターネット
4. 広まやチラシ、ポスターなどの掲示物
5. イベントや交流会など
6. 学校
7. 友達から聞いた
8. その他(具体的に:)

問30 家族のお世話をしている子どもたちのために必要だと感じることや学校や周りの大人にしてもらいたいこと、あなたがお世話をしていることで困っていることなどを自由に書いてください。(みなさんの名前や家族の名前、住所、学校、会社の名前は書かなくてください。)

江東区ヤングケアラー実態調査 報告書
令和5年3月 印刷物登録番号(4)100号

編集発行 江東区教育委員会事務局 庶務課
江東区東陽四丁目11番28号
電話(3647)9111(大代表)